慧美网
蝴蝶网
hudie.com

ダウト長期自作自演ツアー上巻 「御礼参り EXPO'10～三周年記念祭～」

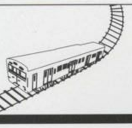
~~大阪 BIG CAT~~

おおさか びっぐ きゃっと

THANK YOU SOLD OUT

東京キネマ倶楽部 | Shibuya O-EAST

OSAKA BIG CAT



ダウト長期自作自演ツアー下巻 「御礼参り WORLD EXPO'10～侍ジャポン～」

2010.6.26(SAT)

初 一日二回フリーライブ公演決定!!

-Grand Finale-

Shibuya O-EAST

しぶや　おーいーすと

1部 OPEN 14:30 / START 15:00
2部 OPEN 18:30 / START 19:00
¥0（ご入場時にDrink代500円を頂きます）

【ご入場について】
●第1優先：優先当選ハガキをお持ちの方、整理番号順にてご入場
●第2優先：当日受付に並んで頂いた方、先着順にてご入場

大阪 BIG CAT | DREAM

Shibuya O-EAST

蝴蝶网 hudie.com

ダウト長期自作自演ツアー下巻
「御礼参り WORLD EXPO'10～侍ジャポン～」

5月28日　Finland Gloria
5月29日　Poland Ucho
5月30日　Hamburg Knust
6月01日　Netherlands Tivoli de Helling
6月02日　Cologne Underground
6月04日　Paris Trabendo
6月05日　Munich Backstage
6月12日　韓国 ソウル 弘大入り口（地下鉄2号線）LiveclubSSAM
6月13日　韓国 ソウル 弘大入り口（地下鉄2号線）LiveclubSSAM
6月19日　台湾 台北 THE WALL
-Grand Finale-
6月26日　日本 Shibuya O-EAST

大吟醸！約1年7ヶ月振り待望の極上NEW ALBUM

CARNIVAL浮世

NOW ON SALE

[CD]（共通）　CARNIVAL浮世　明星オリオン　SUNRISE　下剋上　鬼門　野良猫と♪（おんぷ）　体温。　サテライトTV　花咲ビューティ　青い鳥　フェンダー　ファンファーレ

祝 オリコンメジャーチャート41位、インディーズチャート3位
「SUNRISE」テレビ東京系列「ピラメキーノ」3月度エンディングテーマ

GNCL-7018　¥3,675（税込）
初回盤 TYPE-A<CD+DVD>
[DVD] SUNRISE+CARNIVAL浮世制作(裏)映像
[封入特典] 芸術的閃光スリーブケース

GNCL-7019　¥3,675（定価）
初回盤 TYPE-B<2CD+特典写真集>
[BONUS CD] SAKURAリフレイン
[写真集] 豪華48P七変化的写真集
[封入特典] 芸術的閃光スリーブケース

GNCL-7020　¥3,150（定価）
通常盤 TYPE-C<CD>
[封入特典]
着せ替えジャケット（全10種類よりランダム封入）
芸術的閃光ジャケット

vimee.net

2010年 夏 New Single発売決定!!

Speed-disk　XXX

蝴蝶网
hudie.com

公演日程

5月23日 なんば Hatch　6月09日 Shibuya O-EAST　7月11日 高崎 CLUB FLEEZ　7月19日 横浜 SUNPHONIX HALL　7月21日 仙台 darwin　7月28日 新潟 CLUB JUNK BOX　7月30日 Shibuya O-EAST　8月02日 仙台 darwin
8月04日 札幌 KRAPS HALL　8月05日 札幌 KRAPS HALL　8月14日 京都 FANJ twice　8月15日 岡山 CRAZY MAMA KINGDOM　8月17日 鹿児島 CAPARVO HALL　8月18日 博多 DRUM LOGOS　8月21日 大阪 BIG CAT　8月22日 名古屋 E.L.L

ダウト公的サイト
http://d-out.net

◆TOTAL INFORMATION:《SPEED-DISK》〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-3-8 OFFICIAL WEB SITE : http://www.xxxrecords.jp/speeddisk/

■ ファンレターなどの宛先はこちら ■　SPEED DISK 内「土俵際四丁目投函処」○○(個人名) 宛

2010.08.30(mon) 単独公演

『極東の花嫁』

渋谷O-WEST

open/start 18:00/18:30
前売¥3,000 当日¥3,500

□チケット 問い合わせ
SPEED DISK (03-5386-6016)
□問い合わせ
渋谷 O-WEST (03-5784-7088)

SPEED DISK PRESENTS
森羅万象tour' 10#3

●7月30日(金)
渋谷O-East
●8月1日(日)
郡山CLUB#9
●8月2日(月)
仙台darwin
●8月4日(水)
札幌 KRAPS HALL
●8月5日(木)
札幌 KRAPS HALL
●8月10日(火)
長野CLUB JUNK BOX
●8月11日(水)
新潟CLUB JUNK BOX
●8月12日(木)
金沢AZ
●8月14日(土)
京都FANJ twice
●8月15日(日)
岡山CRAZY MAMA KINGDOM
●8月17日(火)
鹿児島CAPARVO HALL
●8月18日(水)
博多DRUM LOGOS
●8月20日(金)
高松DIME
●8月21日(土)
大阪BIGCAT
●8月22日(日)
名古屋E.L.L

In Store Event

■7月4日(日)
ライカエジソン
東京店
■7月11日(日)
ZEAL LINK
新宿店
■7月16日(金)
池袋
ブランドエックス
■7月24日(土)
新宿
自主盤倶楽部

LIVE SCHEDULE

□6月3日(木)
高田馬場AREA
□6月5日(土)
表参道 FAB
□6月13日(日)
高田馬場AREA
□6月16日(水)
高田馬場AREA
□7月2日(金)
Shibuya O-WEST
□7月21日(水)
高田馬場AREA
□7月25日(日)
高田馬場AREA

慧美网 hudie.com 蝴蝶网

R指定
蝴蝶网
hudie.com
2010.6.23
NEW SINGLE
アリス心中
2type同時Release！！
◇A type（初回限定2000枚）
S.D.R-214-A ／ ￥2,100(tax-in)
／ 計3曲＋PV
◇B type
S.D.R-214-B ／ ￥1,575(tax-in)
／ 計3曲
※収録曲3曲目はAtype・Btypeで異なる楽曲となります。
慧美网
vimee.net
R指定OFFCIAL WEB SITE http://www.r-shitei.net

1st Mini Album

「吊り下げの恋」

2010年7月14日発売

全5曲収録 S.D.R-215 ¥2,625[税込]

2nd onemanLive 2010年8月6日

[she/ne-/night/trsk~]

池袋 Black Hole

開場 / 開演　19:00/19:30

前売 ¥3,000/ 当日 ¥3,500　当日ドリンク代 ¥500

チケット発売日

●5/22～A チケット：ローソンチケット /tel:0570-084-003[L コード：74936]

主催 ;NightingeiL　企画 / 制作 : SPEEDDISK

問い合わせ :SPEEDDISK 03-5386-6016

AL INFORMATION:[SPEED-DISK]〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-3-8-609　TEL 03-5386-6016　OFFICIAL WEB SITE : http://www.xxxrecords.jp/speeddisk/

慧美网
vimei.net
蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

ネオ・ヴォルテージ

NEO VOLTAGE

世代ヴィジュアル系バンド最強オムニ

2010年5月26日(水) Releas

01. in my secret… / ν[NEU]
02. Days. / HERO
03. unforgive you / exist†trace
04. SPACY LOVER / シリアル⇔NUMBER
05. 落陽 / 花少年バディーズ
06. 光彩の沈殿 / Aioria
07. 春夏秋冬 / 愛狂います。
08. AUTO DE‹ATH CUSSION -別会議 ver.- / 【_Vani
09. †ザ・V系っぽい曲† / ゴールデンボンバー
10. 四季 / ベルベット
11. Wish Upon A Star -first edition- / キャンセル
12. Foolish / 凛

XNBG-10001 ¥2,500(tax in)

発売元：(株)blowgrow 販売元：avex marketing(株)

VOLTAGE CIRCUIT 開戦!!

～仙台 VOLTAGE～

6月6日(日)

仙台darwin

OPEN 16:30 / START 17:00

出演：愛狂います。
Annie's Black feat.Aioria
キャンセル／ν[NEU]
花少年バディーズ
HERO／ベルベット(50音順)

チケット料金：スタンディング
¥3,300(消費税込／ドリンク代別) ※当日券 ¥3,800
プレイガイド：
★チケットぴあ 0570-02-9999+店頭(Pコード：105-718)
★ローソンチケット 0570-084-002+店頭(Lコード：26791)
★イープラス http://eplus.jp
問合せ：GIP 022-222-9999

～大阪 VOLTAGE～

6月10日(木)

大阪OSAKA MUSE

OPEN 16:30 / START 17:00

出演：愛狂います。／exist†trace
シリアル⇔NUMBER
ν[NEU]／花少年バディーズ
【_Vani;lla】HERO
ベルベット(50音順)

チケット料金：スタンディング
¥3,300(消費税込／ドリンク代別) ※当日券 ¥3,800
プレイガイド：★チケットぴあ 0570-02-9999+店頭(Pコード：105-645)
★ローソンチケット 0570-084-005+店頭(Lコード：58616)
★イープラス http://eplus.jp ★ライカエジソン大阪店 06-6252-6262
★I.D.PILOT DEAD ONE 06-6258-5186
★OSAKA MUSE 06-6245-5389 ★大阪ウドー音楽事務所 06-6341-4506
問合せ：大阪ウドー音楽事務所 06-6341-4506

～名古屋 VOLTAGE～

6月11日(金)

名古屋BOTTOM LINE

OPEN 16:30 / START 17:00

出演：愛狂います。／exist†tra
シリアル⇔NUMBER
ν[NEU]／花少年バディーズ
【_Vani;lla】HERO
ベルベット(50音順)

チケット料金：スタンディング
¥3,300(消費税込／ドリンク代別) ※当日券 ¥3,800
プレイガイド：
★ローソンチケット 0570-084-003+店頭(Lコード：43179
問合せ：SWEET LOGIC 052-979-7047

TOUR FINAL～東京 VOLTAGE～ 6月18日(金) 渋谷O-EAST

OPEN 16:30 / START 17:00

出演：愛狂います。／exist†trace／キャンセル／ゴールデンボンバー
シリアル⇔NUMBER／ν[NEU]／HERO／ベルベット／凛 …and more(50音順)

チケット料金：スタンディング ¥3,500(消費税込／ドリンク代別) ※当日券 ¥4,000
プレイガイド：★チケットぴあ 0570-02-9999+店頭(Pコード：105-454) ★ローソンチケット 0570-084-003+店頭(Lコード：71226) ★イープラス http://eplus.jp ★East店頭 / ライカエジソン / ZEA
問合せ：ディスクガレージ 03-5436-9600

2010年4月29日(木)よりチケット一般発売開始!!

v慧美网
vimoo.cn

★★

連動FMラジオレギュラー番組 Tokyo FM「RADIO DRAGON "MONTHLY DRAGON 水曜日～NEO VOLTAGE～"」

TOKYO FMの新番組「RADIO DRAGON」内「Monthly Dragon」水曜日を、「NEO VOLTAGE」参加ミュージシャンが週がわりで担当!!
番組携帯サイト(http://www.tfm.co.jp/dragon)では、オンエア後に出演者からメッセージが届くメルマガを配信中!! 配信登録も随時受付中!!

RADIO DRAGON
MON_THU 20:00_21:55

★★

インストア情報!! オムニバスCD「NEO VOLTAGE」を以下の各店で購入すると先着でインストアイベントに参加できます!!
6/9(水)ライカエジソン大阪店 6/12(土)ライカエジソン名古屋店 6/20(日)ライカエジソン東京店 6/26(土)ZEAL LINK渋谷店

NEO VOLTAGE http://www.blowgrow.co.jp/neovoltage/

蝴蝶网
hudie.com
S COMPANY PRESENTS ViViD ONEMAN LIVE
08.08(SUN) SHIBUYA-AX『Day of Awaking』
OPEN 17:30 / START 18:30 ●スタンディング：前売¥3,990 当日¥4,500(税込) / Drink 代別 ¥500 ●2F 指定席：前売¥4,500 当日¥5,000(税込) / Drink 代別 ¥500 ※2F 指定席は一般発売のみとなります
10.05.23 (SUN) よりチケットぴあ / ローソンチケット / e+ にて全国一斉発売開始 DISK GARAGE 03-5436-9600
ViViD のパラつき祭り de アレっくす!? Vol.2」06.05 (SAT) 高田馬場 AREA OPEN 17:00 / START 18:00
僕が生まれた次の日 by ジョン零乃ン～
前売¥3,000 / 当日¥3,500 (Drink 代 ¥500 別)
THANK YOU SOLDOUT
慧美网
VE SCHEDULE]
.30(SUN) SHIBUYA-AX Shibuya O-EAST ●06.20(SUN) 高田馬場 AREA ●07.11(SUN) 高崎 CLUB FLEEZ ●07.17 (SAT) さいたま新都心 HEAVEN'S ROCK VJ-3 ●07.18(SUN) 柏 PALOOZA
.19(MON) 横浜 SUNPHONIX HALL ●07.23(FRI) 青森 QUARTER ●07.25(SUN) 札幌ペニーレーン 24 ●07.28(WED) 新潟 CLUB JUNK BOX ●07.29(THU) 金沢 AZ
STORE EVENT SCHEDULE]「PRECIOUS」初回盤 A・B 同時購入者対象
vimee.net
.07 (WED) 3661 新宿 ZEAL LINK 03-5379-7155 ●07.10 (SAT) 渋谷 ZEAL LINK 03-5784-9666 ※ZEAL LINK2 店舗同日開催 ●07.20 (TUE) 仙台 HMV 一番町 022-213-0321 ●07.26 (SAT) GURUGURU 011-251-4480
.27 (TUE) 新潟 BRAND X 03-3980-6780 ●08.07 (SAT) 自主盤倶楽部 03-3371-3851 ※参加方法に関する詳細は各 SHOP にお問合せください。
ンターネットネットラジオ LIVECAST「ボクら、せいいっぱいイキてます。」第 2・第 4 火曜 21:00 ～ 21:30 ON AIR http://livecast.jp/
TAL INFORMATION]
COMPANY Co.,Ltd. / Indie PSC. 〒168-0064 東京都杉並区永福 3-41-9-2F TEL: 03-5355-3822 (平日 12:00 ～ 18:00) ※ファンレターにはメンバー名を必ず明記の上お送り下さい。また、その他お問合せはお電話でお願いします。
ーディー募集：条件～ 18 歳以上の男性、要普通免許 (ペーパードライバー不可)、関東在住の方は履歴書をお送りください。
PS COMPANY OFFICIAL MOBILE SITE
PS mobile
着うた・待ち受け画像配信中!
[OFFICIAL WEB SITE] http://www.indie-psc.com/vivid

ViViD
夏の夜の奇跡の出会いにのせて、待望の4thシングル遂にリリース！
PRECIOUS
2010.07.07(WED) Release
[初回盤A] CD+DVD
MUSIC CLIP 収録
¥1,890 (tax in)
[初回盤B] CD+20P ブックレット
01.PRECIOUS
02.Bright red garden
03.survive
PSIM-40003 / ¥1,890 (tax in)
[通常盤] CD
01.PRECIOUS
02.Bright red garden
03. 悪女♂トリッキー
【特典対象】07.07 発売「PRECIOUS」の初回盤 A (¥1,890) / 初回盤 B (¥1,890) / 通常盤 (¥1,575) を 3 タイプ各 1 枚ずつ同時にお申込みの方にコメント CD を 1 枚差し上げます。
※こちらの特典は数に限りがございますので先着順となります。無くなり次第終了となりますのでご了承下さい。
【申込方法】インターネット通信販売サイト「Indie PSC. ONLINE SHOP」http://shop2.pscompany.co.jp よりお申込み下さい。「Indie PSC. ONLINE SHOP」は PC・携帯電話にてご利用いただけま
蝴蝶网
hudie.com
vimee.net

CONTENTS

蝴蝶网
hudie.com

082 **SCREW** スクリュー

084 **零乃&怜我(ViViD)** レノ&リョウガ(ヴィヴィット)

088 **TOON-FACTORY** トゥーンファクトリー

099 **seek(Mix Speakear's,Inc.)** シーク

100 **Mix Speakear's,Inc.** ミックス・スピーカーズ・インク

154 **花少年バディーズ** ハナショウネンバディーズ

156 **12012** イチ・ニー・ゼロ・イチ・ニ

158 **大佑と黒の隠者達** ダイスケトクロノインジャタチ

160 **イベント"deep sleepers"** ディープスリーパーズ

162 **NoGoD** ノーゴッド

164 **アンド**

104 **凛** リン

102 **杉本善徳** スギモトヨシノリ

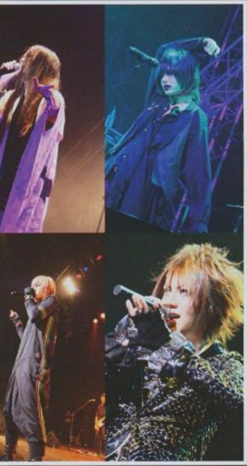
106 **SHOCK WAVEアポロ**

108 **HERO** ヒーロー

110 **ネガ**

112 **NEO VOLTAGE対談** ネオヴォルテージ

115 **メガマソ**



118 **SHOXX MODE**
厳選してお届けする最新情報!!
DEATHGAZE デスゲイズ
ν[NEU] ニュー
WHITEBLACK ホワイトブラック
the Riotts. ライオット

126 ぽっくんの早耳情報
131 エクスペクトラッシュ
ケミカルピクチャーズ
ALSDEAD オルスデッド
140 アーティストBOX
148 Mission in ぽっくん
150 プレコン WORLD
152 ぽっくんの主張
153 大島暁美のロックン-ロール日記

>> マークの説明 <<

●マークがついているアーティストは
携帯サイト「音楽せんか?」とリンクしています。

■アクセス方法

>>i-mode「メニューリスト」→「音楽/映画/芸能」→「音楽情報」→「音楽せんか?」
>>EZweb「トップメニュー」→「カテゴリーで探す」→「エンターテイメント」→「音楽」→「音楽せんか?」
>>vodafone「メニューリスト」→「芸能・映画・音楽」→「映画・音楽」→「音楽」→「音楽せんか?」

Editorial in chief/Kuniaki "B" Suzuki
Editors/Misako Shida, Junko Arasawa

Art Director/Noriaki Ishimatsu
(Keisyo Office)
Design Stuff/Yoichirou Fujii,
Maki(mam)Yoshikawa, Hitomi Ikeuchi
(Bakery37.1), Nakane (amulet label),
Yukako Takayama, Noriaki Ishimatsu,
Youki Maenohama,
T.O.MAMMOTH graphics,
Kyoko Yasunaga(ZOISite),
Asaka Yamamoto(glitter glow)

VISUAL & HARD SHOCK MAGAZINE
Vol.210は2010年6月21日(月)発売
http://www.ongakusenkasha.co.jp
発行所/株式会社音楽専科社
104-8228 東京都中央区銀座6-2-3ダヴィンチ銀座アネックス5F
TEL/03-3574-0201(代表)
発行人/荒井敏行
編集人/鈴木邦昭
製版・印刷/株式会社プロスト/凸版印刷株式会社
発行日/2010年7月1日
特別定価/980円本体933円

慧美网
vimee.net

SHOXX

2010
7月号
Jul Vol.209

Cover Model：彩冷える

Photo：Susumu Miyawaki(PROGRESS-M
Design：Noriaki Ishimatsu(Keisyo Office

012 **彩冷える**
アヤビエ
Part 1：彼等の"今"を探る、Personal Interview
Part 2：「ドラマティック」に込めた想い

030 **ナイトメア**
4/29フォーラムレポート&NEW SINGLE
「a:FANTASIA」のヒントをYOMI・咲人が語る

040 **ムック**
シングル「約束」に秘められたものとは？

048 **シド**
マオが綴るレインソング

052 **SHOXX創刊20周年記念イベント**
SHOCK WAVE 2010
JCBホールでのライヴを完全レポート

056 **有村竜太朗×Aiji**
(Plastic Tree) (LM.C)
アリムラリュウタロウ×アイジ
そんなこと話していいの!?（笑）

060 **Plastic Tree**
プラスティック トゥリー

062 **LM.C**
エルエムシー

064 **Alice Nine**
アリスナイン

067 **Kagrra,**
カグラ

070 **heidi.**
ハイジ

073 **ジュイ(un SCAR NERVE**
アン・スカー・ナーヴ

074 **ヴィドール**

076 **D'espairsRay**
ディスパーズレイ

078 **D**
ディー

080 **Versailles**
ヴェルサイユ

vimee.net
蝴蝶网
hudie.com

2009年5月27日に「会いたくて」でメジャーデビューした彩冷える。彼らは今年、結成6年を迎えた。そして今、ニューシングル「ドラマティック」をリリースする。今年の1月にリリースされた1stアルバム『彩-irodori -』以降初のシングルであり、シングルとしては昨年の12月にリリースした「サヨナラ」以来、約6ヶ月ぶりとなる待望の作となる。4枚目のシングルとなるこの「ドラマティック」は、夏らしさが詰め込まれたポップな1枚。集合インタビューでは、そんなシングルの制作秘話を、そして、ソロインタビューでは、結成から現在に至までを、じっくりと語ってもらった。

彩冷える ayabie

ドラマティック

Photography:SUSUMU MIYAWAKI(PROGRES
Art Direction:NORIAKI ISHIMATSU
Interview:NAOKO TAKEICHI(集合/葵/インテツ)・ERI MIZUTANI(
Hair&Make-up: NATSUKI KOJIMA

v慧美网 vimee.net
蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com
慧美网
vimee.net

自分が負ける訳にはいかない —— 葵

——2004年の5月8日といえば。

「結成日、ですよね。7年目？　になるんですかね、今年。なんか、結成して1年、2年とかは、〝あぁ、もう1年かぁ〟とか実感あるんですけど、4年目を過ぎたあたりからは、何年目とかよく分からなくなってきちゃって（笑）。3年目くらいまでは、アニバーサリー的な感覚があるんですけど、パッと何年目っていうのが出なくなっちゃってる感じで（笑）。恋人とかもそうですけど、3年目くらいまではアニバーサリーとか大事にして祝うけど、その先ってお互い一緒に居るのが当たり前な感覚になってきちゃうっていうか。それだけ充実してるってことなんだと思うんですけど」

——インテツもそんな事言ってたけど、葵くんもやっぱりバンドを恋愛に例える感じ？

「あぁ〜、バンド自体はどうかな？　僕は、バンド自体を恋愛に例えたり置き換えて考えてみたことはないかな。メンバーとの関係性を恋人同士みたいに置き換えて考えたこともないし。メンバーって不思議な関係性だとは思いますけどね。家族でもないし、恋人でもないし、僕は友達でもないと思ってるんですよ。この世のモノでは例えられないかな。運命共同体って言うのとも違うし。メンバーはメンバーっていう、家族と並ぶくらい大切な存在だと思ってますね。ウチのバンドって、音楽のバックボーンも違うし、年齢差もあるし、趣味や興味のあるモノもまったく違うから、バンドという繋がりがなかったら、一緒に歩んでない人たちの集まりな気がするんですよ。だから、そこにも必然性を感じていて」

——バンドって、バンドという人生を共に歩くことだからね。それぞれの想いや道を持った人が1つの人生を一緒に歩む難しさってあると思うし。一人で歩いた方がよっぽど簡単なことかもしれない。

「そうですね。自分一人が辛いんだったら、自分が踏ん張ればなんとかなると思うし、負けない自信があるんですよ。けど、やっぱり、バンドって5人の人生がそこにあるから、自分だけが負けないって思っててもそうはいかないこともあったり。ぶっちゃけ、若い頃は、何も考えずバンドだけを見つめていられたけど、だんだん身の周りの変化もあったりで……。家族のことや、いろんなことで考えなければいけない出来事や、辛い出来事が起こったりもして。それって、避けては通れないことだったりしますからね」

——そうだね……葵くんも、一昨年、お母さん亡くなったりしたしね……。

「そうなんです。本当に、いろんなモノを背負いながらやっていかなくちゃいけない現状もあって」

——辞めてしまえば楽なのに……って思ったりしたことはない？

「いや。バンドはないですね。もちろん、やっていて、しんどいなって思うことはあったりしますよ。納得してやっていることでも、思ってることとは違う方向に行きそうになることもあるし。でも、そこはみんなで話し合えばなんとか乗り越えられるんで。けど、個人的なところでいうと、メジャーデビューしてからのプレッシャーは半端なかったですね。歌詞の面とか、歌の面だったり。時に、負けそうになるんですけど、負けたら今までやってきたことが全部崩れてしまう気がして、負けたくないんです」

——どうやってその気持ちに勝ってきたの？

「とにかく、負けたくないっていう気持ちだけな気がしますね。僕はもともと人見知りで、人前で歌を歌えるような人間じゃないんですけど、人と上手く話せない人見知りの人って、世の中にたくさん居ると思うんですよ。僕は、そんな人たちが、僕の姿を見て、自分も頑張れる、出来るんだ！って思ってもらえる様な人間になりたいんです。それが僕個人の目標でもあって。だから、自分が負ける訳にはいかないって思ってるんです。逆境をバネにするというか。そこは5人の共通点だと思っているんで。きっと、それぞれ辛いと思うことは違うと思うんですけど。【乗り越えられない壁はない】って、それだけは本当に強く心に刻んでいるんです。今辛くても、その辛さは、その先にある光に繋がる試練だって思っています」

——すごく解る。出来れば、辛いことが少なくて、楽しいことが多い人生がいいけど、きっと、辛いことがなかったら、楽しいって思えることも少ないかもしれないもんね。

「そうなんですよ。辛いことがあるからこそ、楽しいっていう想いが強くなるんだと思うんですよね。バンドやってる時点で、平坦な人生を選んでないと思うんです。平坦な人生を選んでいたら、バンドなんてやってないと思う。ショックが大きいほど、大きくジャンプ出来るというかね。SHOXXだけにね！」

——え？　…………（苦笑）。

「あははは。すいません（笑）。でも、ホント、刺激のある毎日の方が生きてて楽しいと思うんですよ。けど、正直、明後日までに歌詞を3曲分仕上げなくちゃいけないっていうときは、本当に辛いと思いますね（笑）」

——あははは。解る解る、その締め切りとの戦いは、私も同じ！　明後日までの締め切りをなんとか乗り越えたら、この苦しみからは開放されると解っていても、辛いときあるよね（笑）。全部投げ出したろかっ！　ガッシャーン！　みたいな。

「あははは。解ります解ります（笑）。だって、僕、絶対にライターだけにはなりたくないですもん！」

——私も〜！

「いや。ライターじゃないですか！」

——そうなんだけどね（笑）。なんでライターやってんだろ？って思うときあるけど、やっぱり誌面を通して読者に伝わってくれたときの嬉しさとか喜びって、何にも代え難いモノがあるんだよね。

「そこは僕らと同じ感覚ですよね。僕らもそうです。聴いてくれる人たちに、伝わってくれたり、何かを残せたなっていう手応えがあったときの喜びは本当に何にも代え難いモノがあるし、このためにやってるんだなって思えるんです。もしかしたら、ここから逃げ出したら、すごく平穏無事な生活が送れるのかもしれないけど、でも、そこに行こうとは思えないんです。ウチのオヤジもそうなんですけど、根っからの夢追い人なんですよね。夢を追ってないと生きられないというか。普通の生き方を選んだら、自分が生きてる意味を見付けることに、すごく悩むと思うんです。僕も、生活の99％以上が音楽だしバンドなので、音楽とバンドを辞めちゃったら、僕には何も残らない気がして怖いんです。その生き方が幸せなのか、不幸なのか解らないですけど、こういう人生を自らが選んだ以上、この道を最後まで貫き通さないといけないなって思うんです。たまに考えるんですよ。自分が歌うことを辞めてしまったらって。本当に何も思いつかないんです。生きる意味すらも。でも、生きていかなくちゃいけないから、バイトでも探すのかな……とか。考えてるうちに、〝やっぱ、歌以外ないな〟って思って、考えることを辞めちゃうんですけどね（笑）。ホント、それくらいバンドしかないんです」

——趣味もないって言ってたもんね。

「そうなんですよ。まったく興味のあることが他になくて。だから、インテツとかみてると、すごく羨ましいんです。自分を楽しませることを知ってる人だなって思うんです。僕の場合、趣味も含め、音楽活動になっちゃってるんですよね。それと、趣味を見付ける怖さもあったりするんですよ」

——ん？　どういうこと？

「僕、趣味を見付けちゃうと、そっちにハマりっきりになっちゃって、趣味じゃなくなっちゃう気がして怖いんですよね（笑）。趣味に終わらなくなっちゃうというか。0か100かの人間なんで。かといって、何もしないで休むのも怖いんです。3日何もない日があったら、心配で心配で。貧乏性なんです（笑）」

——その感覚すごく解るけどね。ところで、ソロ・プロジェクトも始まるとか？

「はい。もともと、メジャーデビューをしたタイミングで、バンドはもちろん、個々の可能性も引き出していけるようなバンドであれたらいいねっていう話をしていたので、ケンゾがカラスで活動したり、夢人も夏に映画に出たり、インテツもブランドとコラボしてグッズの製作をしてみたり、いろいろソロ活動をしてきているので、僕のソロ自体は第4弾目になるんですけど、4月29日からオンエアーされているジュエリー・メーカーの『ジェムケリー』さんのCMソングにソロ曲の「Gem CEREY」を起用して頂けることになって。CMには陣内智則さんが出演されて、僕は楽曲提供のみなんですが、ライヴもやっていく予定だったりします。そんな個々のソロ活動も、彩冷えるの活動にプラスにしていけたらいいなと思ってます」

蝴蝶网
hudie.com
慧美网
vimee.net

蝴蝶网
hudie.com
慧美网
vimee.net

蝴蝶
hudie.com

守るべきところはしっかりと守って ——夢人

——最近の夢人さんというと、映画に出演なさったそうで。

「そんな、一瞬だけですよ（笑）。今回、僕が出演した映画『Wonderful World』（6月19日ロードショー）は、主人公が精神的にフワフワしていて、気が付いたら真っ白な世界にいたっていうところから始まるんですけど、それを取り巻く人たちが普段とは全く違う人格になっているっていう不思議な話なんですね。最終的には謎が隠されていたりするんですけど、2つの次元を行き来した内容になっているため、僕も2つの役をやらせてもらったんです。とは言え、ありえない設定だったので難しかったです」

——ところで、なぜに出演依頼が？

「なぜだかわからないけど、僕のところに依頼がきたんですよね。とりあえず、夢人に回しておくかって感じだったんじゃないですか。っていうのは冗談ですけど（笑）、事前に監督から、夢人にやってほしいと言っていただいていたので、はい、やりますって返事して。その監督とは、以前に彩冷えるが別の映画で主題歌を担当した際、お世話になっていて。だから了解したっていうのもあるんですけどね。今回、共演者は声優さんばかりだったんですけど、さすがはプロ、演技がものすごく上手で。これは僕も負けていられないって思って撮影に挑んだんですけど、できあがった作品を見てみたら、思い切り負けてました（笑）」

——近頃の彩冷えるは、テレビ出演も頻繁じゃないですか。それでも、映画の撮影は緊張するものですか？

「さすがに、演技は違いますね。仕組みも段取りも違うし。最初、ほんとオドオドしていました。とりあえず、棒読みにならないように気を付けたんですけど、難しかったです。変わった役っていうのもあったんでしょうけど、台詞が少ない分、表情で演技しなきゃいけないっていうか。でも、明るくない役っていうのは良かったですね、僕に近いものがあって」

——（笑）。そういった役者経験というのは、こうした写真撮影にも活かされていそうですかね？

「表情でいったら、そうですね。けど、改めて、表情を作るのって大変なんだなって思いました。普段、自分がライヴで見せていたりする表情って、すごく自然に出せるものなんですけど、動画で何か考えながら付ける表情って、自分が思っているものと違っているんですよね。けど、それがすごく勉強になりました」

——役者もミュージシャンも、表現者というところでは一緒ですしね。

「それに今回は、好きな声優さんと共演できただけでも嬉しかったんです。僕、自分がやれることはやりたいんですよ。ただの目立ちたがり屋なのかもしれないんですけど」

——目立ってなんぼ、大いにけっこうじゃないですか。って、何か悩みでも？

「こうして映画に出ることを、うーんって思う人もいると思うんですよ」

——本業はミュージシャンなんだから、音楽に専念してほしい、とか？

「って思われているのかなぁって（苦笑）。僕、人の評価ってすごく気になるタイプなんです。そういうの気にしちゃいけないって思っているんですけど、それがどうもダメで」

——何事にも積極的に挑戦するっていうのが、夢人さんの良いところだと思うんです。結果として、その好奇心の強さが曲に結び付くわけですから。だから、何も不安に思うことはないと思うのですが、どうでしょう。

「確かに、好奇心って大事ですよね。そういえば、この前出した『彩-irodori-』というアルバムも、色んなジャンルの曲を書いていて、その楽曲たちも好奇心から生まれたものなんです。そういう意味では、色んなことに挑戦することが僕のパワーアップに繋がっているのかって思いますね。そうか、ということは、映画の出演も、自分にとって意味のあることだったってことですよね。言われてみれば、こうした映画出演ができるのも、芯に音楽があるからなんですよね。それがなかったら絶対にできない。僕の根底にあるものは音楽だし、みんなに愛される曲を届けるのが僕の使命だと思っているので、そこは心配しないでほしいなと思うんですけど、どうなんでしょう」

——それで良いと思います。なので、夢人さんは自分の思ったことを素直にやっていけばいいのではないかなと。

「なら、明日、いきなりクイズ番組に出ろって言われても出る自信ありますよ。バカですけどいいですか！って（笑）」

——（笑）。でも、ほんと挑戦することって大事ですよね。そう思うと、アルバムも挑戦の連続だったのではないですか？

「できあがって思ったことは、自分の可能性はどこまでも広がっていくってことでしたね。自分の芯になる部分は残しながらも新しいことに挑戦していこうというのは、作る前から思っていたので、それが見えたのは良かったと思うし、まだまだこんなものじゃないぞっていうことも見せられたかなと思います」

——自由ながらも個性的。何だか、ようやく肩の力が抜けた感じがしますが。

「アルバム曲では、やっと自分のやりたいことをやれた気がします。前にも言ったと思うんですけど、それまでは色々と悩むこともあったんですよ。自分の思っていることをうまく出せなかったりして。でも、これって夢人が作った曲だよね、って人から言われると嬉しかったり。ほんと単純なことなんですけど、そういったことで自信が取り戻せたんですよね。それに、ライヴでも、一プレイヤーとしてアルバム曲を弾くことで、僕は音楽をやっているんだなって実感できたし。何か、今まで以上に、前へ前へと出るギタリストになれた感じがします」

——また、作曲者としても今まで以上にセンスが光ってきたなと。新作では、リード曲「ドラマティック」の作曲を手掛けられていますけど、これはもう、夢人さんにしか作れない曲だと思いますよ。

「嬉しい！　ありがとうございます。最近、開き直って自分の持ち味を出すようにしたんです。そうすれば、必要とされる曲が出来上がるだろうって。例え、A面にならなくても、自分のやりたいことが出来るならそれでいい。そういった思いで出来たのが、この「ドラマティック」だったんですよね」

——開き直ってきたのが、逆に功を奏したと。

「完全にそうですね。その結果、今回、編曲に携わってくれたアレンジャーさんに1番盾を突いたという（笑）」

——夢人さんにしては珍しい行動で。

「ありえない、とか、気に入らない、とか連呼してました。ほんとはそういうことって言ってはいけないと思うんですよ。でも、良い作品を残したいって思った瞬間、これは屈することはできないって思って言ってしまったんですよね。そこで、ハイハイ言っていたら、自分の曲ではなくなってしまうような感じがして。自分の作った曲には、最低限守らなくてはいけないものがある。1番に大事なのはメロディ。そこを変えられてしまった段階で、自分のものではなくなってしまうんですよ。オーバーに言うと、その瞬間、夢人という人間を否定された気になるというか。だから今回は、守るべきところはしっかりと守っていって仕上げていったんですよね。なので、これからも強気な夢人でいこうかなと」

——それで良い曲が出来上がるのならば、大賛成です。

「それには、かっこいいデモを作らないと。そうしないと、きちんと自分の意見は言えないんで（笑）。でも、そこに気付けたことで、今は気持ち良く音楽が出来ていると言えるんじゃないでしょうか」

——ですね（笑）。そうやって自分の意見を言えるようになったというのは、ものすごい進歩だと思いますし、これからのますますの自信になるのでは？

「とにかく、自分が正しいと思うことをやっていこうかなと。そうすれば、人からの評価も自ずと良くなっていくものだろうし」

——何だか、進んでいく道が見えてきましたね。

「そうですね、そういったところでは、成長出来ているのかなと思います」

——では最後に。そこを踏まえての、夢人さんの今後の野望を聞かせて下さい。

「最近、夢が広がりすぎて収集付かなくなっているんですけど、自分の音楽を表現するためには、目の前にある階段を一歩ずつ上がっていくということですね。小さなことかもしれないけど、そこをちゃんとやらないと先がないと思うので。今ですか？　今はまだまだ勉強中の身です。それで最終的には、生きているうちに、このアルバムを出せて良かったと思える作品を作れたらいいなって。とは言え、まだ24才。全力で頑張っていかないといけないですよね（笑）」

vimeee.net

もっと〝ロック〟をしたい——タケヒト

——今年初めに、フルアルバム『彩冷える-irodori-』をリリースされましたけど、そこでタケヒトさんが得たものとは何だったのでしょう？

「彩冷えるというバンドは、何でも出来るってことですかね。シングルだとどうしても、やりたい方向性って同じところを向きがちなんですけど、うちはメンバー全員が作曲できるし、本当にやりたい音楽性というのは、良い意味でバラバラなんですよね。それが、このアルバムでは出せたと思うんです」

——プレイヤーとして、試されているなという場面に出くわすこともあったとか。

「さすがに、これだけ色々な曲が入っていると。作曲者によって言ってくることも違うし。例えば、ケンゾだったら、〝太陽が見える感じで弾いてみてよ〟とか」

——相変わらず、抽象的な（笑）。

「あはは（笑）。まぁ、プレイ面ではあらゆるものを必要とされて大変だったんですけど、そこを乗り越えたことによって、どんな曲調にも広げていけるなという自信にはなりましたね。メジャーに行ってから、シングル3作品、アルバム1作品作ったことで、メンバーそれぞれの求めてくる部分も掴めてきたし」

——ようやく、これだ！　というものを実感できたというわけですね。

「メジャーに行ってから出したシングル、「夏物語」と「サヨナラ」に関しては、タイトルトラックを僕が作っているので、そこからの流れっていうのは自分の中では見えていたつもりではいたんですけど、アルバムを作ったことで、そのイメージが変わってきたというか。彩冷えるとしてのスタイルが出来た分、どこでもいけるようになったと思うんですよね。ただ、レコーディングをして、作品が出来た時点では自分たちは満足しているんですけど、それをファンのみんなが聴いてどう思ってくれるのだろうって、そこは不安でもありましたね。」

——いくら自信のあるものでも？

「楽しみであり、不安ですね。ここまでバラエティに富んだアルバムを作ったのも初めてだったんで。正直、作曲者の個性が強く出すぎてしまったかなと思った部分もあったんですよ。でも、リリース後、実際にツアーを廻ってみて、これらの曲をセットリストに組み込んでみたら、そんな不安は一気に解消されて。ライヴに来てくれた人たちが、曲を聴いてすぐにノッてくれたんです。そのときようやく、この作品を作って良かったなって実感したんですよね。だからこそ、6月にリリースされる新作「ドラマティック」は、みんなの個性がぶつかり合った作品になっていると思うんです」

——それはやはり、アルバムが大きく影響しているということになりますよね？

「アルバムを経験したことで、メンバー自身、作曲者としての個性を伸ばすことができたのかなって。僕としては、今までのシングルは、ヴォーカルをメインとして聴きやすさを全面に押し出したものが多くなっていたと思うので、今回は、もっとバンド感を出してもいいんじゃないかなって考えたんです。「サヨナラ」でもそこは出ていたんですけど、さらに、5人が一直線に並んでいるところを見せられたらと思って音を作っていったんですよ。それだけに、今までの中で1番、分厚い音になっているんじゃないかな」

——聴きやすさはそのままに、分厚くなった音のおかげでライヴ感が出たなと。

「アレンジも、今までとは違う手法を取ってみたんです。シンプルに聴こえるかもしれないけれど、ところどころに、一瞬だけ音を入れたりとかしているんですよ。そこで抑揚が付いたのかなって思いますね」

——そこは、ヘッドフォンで聴くとわかりやすいですよね。

「今回は、L・Rの振り方も譜面に起こして、ちゃんと計算してやっていきましたからね。今までとは違う分、面白く録ることが出来ましたよ」

——それにしても、お互いのやりたいことがわかった上で作るものって、音がまるで違うんだなって改めて思いました。

「今までよりもロックしてますからね。単純に、レコーディングしていて気持ち良かったです。そう思うと、今まででは自分の録りに厳しすぎたかなって。でも、理想の弾き方や音っていうのは譲れないところだし。とは言え、現実では追い付けないっていうこともあって。そこでいつもは葛藤するんですけど、今回は、イメージどおりの音が一発目から出たんです。自分の中で方向性が明確になってきた分、迷いなく弾けたのかなって思うんですよね」

——ところで、現時点で考える、タケヒトさんのやりたい方向性とは？

「もっとバンド感を出したい、ロックをしたいってことですね。きっとそれは他のメンバーも思っていることだと思うんですけど。だから、例え抽象的な要望でもわかるようになってきたのかもしれないんですよね。〝夢人だったらこういう音を欲しがるだろうな〟とか。それで、スムーズにレコーディングが進んだのかもしれないし、各々がさらに個性的になってきたのかなって」

——なるほど。確かに、聴く側としても、この曲はメンバーの誰々が作ったんだろうなというのが、クレジットを見なくてもわかるようになりましたから。と言いつつ、2曲目の「君だけを映して」は、ケンゾさんの曲ではなく、タケヒトさんの曲かなと思ってしまったんです（苦笑）。勝手な解釈ですけど、メンバーの思考回路が似てきたから、曲の雰囲気も近付いてきたのかなと。良い意味で、同じ色に染まってきたなと思うんですよね。

「似ている部分ってあるんですよ、面白いことに（笑）。きっと、これだけ一緒にいると、お互いに良い部分を吸収してきているんでしょうね。今回、インテツの作った「brand new story」って曲では、久しぶりに、夢人とギターソロを前半と後半で分けて弾いたんです。短い小節の中で起承転結を付けるっていうのは意外と難しいことなんですけど、夢人だったらこういうソロでくるだろうなっていうのが見えたんですよね。なので、僕はアドリブに近い形で出していったんです。お互いにわかりあってきたからこそ、こうしたことができるんだなって思いました」

——ちなみに、ギターソロに関しては、作曲者からの要望はなく？

「ケンゾからはありますね。しかも、ソロに限っては歌ってくるんですよ（笑）」

——抽象の域を超えた感じがします（笑）。

「あと、インテツに関しては、今回もそうだったんですけど、大まかな注文しかしてきませんね。〝早いフレーズを入れておいてね〟とか」

——それが、逆に難しいっていう。

「（笑）。なら、早いフレーズ入れておいてやるかって感じでやっていったんですけど、あの曲はイントロがイントロなだけに、どうしようかなと内心思いつつ、インテツの好きな感じを入れてみました。そしたら、〝すごぉく良いよぉ～〟って言ってもらえました」

——（笑）。となると、相方が作る曲はやりやすいのでは。ギタリスト同士、持ってくる方向性が掴みやすいというか。

「最近の夢の作る曲って、クールな感じがするんですよね。そこが、僕の持ってくるものと共通しているかなと思います。「夏物語」のカップリング曲「オリオン」から、「サヨナラ」のカップリング曲「淡雪」まで、通じるものはあるなと。その分、割り振りもしっかりできますしね。僕は土台となって、夢はそこに乗っかってウワモノを弾くといった具合に。お互い、レコーディングに入る前って、そこまで会話はないんですけど、不思議と、いつもの感じでできるんですよ」

——いわゆる、あうんの呼吸というやつですか。

「夢人は器用なんで何でもできるから、こっちとしても不安はないですしね。だから割と、ギター隊は柔軟な方なのかなと思います。あと、今回はアレンジャーの人がすごくやりやすい方で。ギタリストっていうだけあって、こっちの気持ちもわかってくれたし。それもあってか、なおさらやりやすかったです」

——3曲ともすごく堪能できましたよ。

「3曲しかないんですけど、全部通して何度でも聴けるというか。僕としては、彩冷えるの作品の中で、1番好きな作品になりました。自分で言うのも何ですけど、彩冷えるってかっこいいバンドだなって」

——そこを踏まえて、タケヒトさんの今後の目標というと？

「人から憧れられるギタリストになりたい。まぁ、それは昔から変わらずに持っている目標ですね。最近嬉しいことに、そういったバンドキッズが出てきたんですよ。高校入学と同時にギター買ってもらいましたとか。振り返ると、僕も同じだったなと。hideさんに憧れてギター買ってもらって。そう思うと、僕も、もっと頑張らないとなって思いますね」

hudie.com

蝴蝶网
hudie.com
慧美网
vimee.net

慧美网
vimee.net
蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

毎日、ちっちゃな幸せを感じて過ごしています ——インテツ

——今回メジャー第4弾シングルがリリースされる訳だけど、彩冷えるも結成から振り返ると、結構長くなってきたよね。

「そうなんですよ。彩冷えるが最初のライヴをしたのは2004年の5月8日。ホームグラウンドだった高田馬場AREAで最初のライヴをやったんです。そこからもう6年ですよ。びっくりですよね。先輩のバンドさんが、10周年など迎えているの見てて、すごいなぁって思ってたんですけど、彩冷えるも、もう7年目って……なんか、振り返ったら、いつの間にか長い道のりが出来てたって感じです。3年目くらいまでは、前に進んでるなっていう意識があるんですけど、5年くらい過ぎると、なんかあんまり振り返らなくなっちゃうというか。こうやって改めて振り返る機会があると、あぁ、いろんなことあったなぁ～って」

——そうだね。彩冷えるは今に至るまで、メンバーチェンジもあったしね。

「うん。ホント、振り返るといろいろありました。僕がバンドをやりはじめたのは、彩冷えるの初期ギタリストの涼平（現メガマソ）くんに憧れたのがきっかけだったんです。その出逢いがあって、彩冷えるの前身バンドとなる雛罌っていうバンドを、涼平くんとタケヒトと一緒に始めて、彩冷えるを結成するに至ったんですが、振り返ってみても、今、こうして彩冷えるっていうバンドが出来てることを幸せに思うんですよね。メインコンポーザーである涼平くんが抜けちゃったときは、彩冷えるという名前も変えて、0からスタートさせるという方法もあったと思うんです、けど、あのとき、そうしていたら、きっと続けている意味を感じられなかっただろうなって思うんです。彩冷えるとして続けることを決めて、夢人くんが入って新たな彩冷えるがスタートしたんですが、不思議と、メンバーが変わって、曲を作る人も変わったのに、彩冷えるらしさは変わらなかったんですよね。そのときに、改めて、バンドってすごいなって思ったんです。メジャーというシーンに来てからも、楽曲のテイストが少し変化したり、葵くんの歌詞も多くの人に伝わるように、少し分かりやすく変化したこともあったんですが、それでもやっぱり彩冷えるらしさはちゃんとあったし、ライヴでも今までと変わらない彩冷えるらしさがあった。やっぱり続けていることの意味ってあるんだなって思ったんです。涼平くんとは、抜けちゃってからは、お互いバタバタしてたからなかなか連絡を取れていなかったんですが、知り合いのバンドのライヴを観に行ったとき、3年ぶりに会って話したんですけど全然変わってなくて（笑）」

——相変わらずのマシンガントークだった（笑）？

「はい（笑）。話のテンポの良さとか、頭の回転の速さとか、さすがだなって思いました。なんか、そのとき思ったんです。バンドって、恋人っていうか、恋愛みたいだなって。涼平くんと会ったときは、別れた恋人と久々に顔を合わせたって感覚でしたからね（笑）。お互い別の道を行くって決めて別れた恋人同士が久々に会った感覚。ホント、不思議だなって思いますよ、バンドって。6年もやっていれば、それぞれいろいろと気持ちの変化もあるだろうし、方向性の違いとかも出てくるとは思うんですけど、お互いを見ていれば、お互いが今やりたいこととか考えてることって、なんとなく伝わるものだし。でも、彩冷えるは変わらない。それをみんなに言いたいですね。応援してくれている人たちは、その変わらないところについて来てくれてるんだと思うし。その気持ちに応えられる彩冷えるで居続けたいなと思います」

——6年って一言で言っても、本当に長いもんね。インテツは1番楽しかったこと、辛かったことってなんだった？

「ちっちゃなことも含めたらたくさんあるけど、5人の気持ちに魔法がかかるときって、大きな壁にぶち当たったときだったりするんですよ。普通だったら、〝もう終わりじゃない？〟的な壁が目の前に立ちはだかったとき、いつも以上というか、200%の力がそこに働くんです。いつも以上にみんなももがくし。やれるだけのことをやるし、やれること以上の力が働くし。それが周りのみんなにも伝わって、応援してくれるその気持ちが力になって、気づいたら乗り越えられてたりするんです。すごい苦しいけど、いつの間にか乗り越えられてる。1年後に振り返ったとき、〝あのときは本当にもう無理だと思った〟とか〝あのときは本気で死ぬかと思った〟って、笑って言えてるっていう。そういうこと、よくあるんです。彩冷えるって、それがすごく多いと思うんです。それでも、5人が5人とも、〝僕たちが彩冷えるだから大丈夫！〟っていう自信をそれぞれが持ってる。だから、崩れずにいられるんじゃないかなって」

——辛さと喜びって一体なのかな？

「そうですね。喜びは常にファンの人たちからいっぱいもらってますからね。その喜びが、辛いときのパワーに変わるんです。みんなの笑顔があるからこそ、いろんなことを乗り越えられるし、また、辛さを乗り越えた分、ライヴで見せてくれるみんなの笑顔がすごく大切に思えるっていう。その繰り返し。ライヴでの、みんなのあの笑顔を見るために頑張ってる。そう言っても過言ではないです」

——すごくいい関係性だよね。

「そう思いますね。本当に感謝してます。それこそが、バンドをやってる意味なんだと思うんです。僕が最初に行ったライヴはX JAPANだったんですけど、家でビデオ観ているのとは違った、会場でしか味わえない、会場がひとつになる瞬間に感動したんです。自分もあんな感動を作りたい！そう思ったんですよね。それを、今、彩冷えるを愛してくれている人たちと作れてるっていうのが、本当に幸せなんです。何にも代え難い瞬間なんですよね。みんなの笑顔のためだったら、どんな壁も乗り越えてみせるって思うし、乗り越えられると思うから。ホント、喜びも苦しみもいっぱいあったな、6年間。でも、必死にもがいたり、悩んだり、考えたりするときって、前に進もうとしているからだと思うんですよね。だから、そういう苦しみがあったときの方が、達成感があったりするんです。悩んで苦しんで、何かを掴めたときって、本当に嬉しいし、充実感があるから。だから、これからも彩冷えるとして、いっぱい悩んで、いっぱい苦しんで、いっぱいの笑顔を作っていけたらいいなって思ってますね」

——そうだね。ところで、最近バンド以外で何に興味があるの？ インテツはプライベートな時間の使い方が上手いと思うんだけど。紅茶教室通ってみたり、人生をちゃんと楽しめてる感じがして、すごい羨ましいんだけど（笑）。

「はい。楽しんでます（笑）！ インテツは、大きな幸せを欲しいタイプではなく、ちっちゃな幸せがいっぱいあるといいなって思うタイプなんですよ。大きな幸せは、今言ったみたいにバンドで貰えてるから、プライベートでは毎日ちっちゃな幸せを感じながら過ごしてますよ。例えば、今日は新しいレシピで美味しくワッフルが焼けた！とか、タイマーを使うようになったら、紅茶が今までよりも美味しく入れられるようになったとか。ブイヨンの上手な使い方を覚えたら、コンソメスープが前よりも美味しく出来るようになったとか。カメラ持って友達と出かけたら、すごく素敵な写真が撮れたとか。本当にちっちゃい幸せを常に感じながら生きてます」

——んふっ。いいね、インテツ。

「いいでしょ、インテツ（笑）。ちっちゃい頃は、本当に何も考えていない元気だけがとりえの子供だったんですけど、高校生の頃も一回やったことあるんですけど、彩冷えるを始めるちょっと前に、肺に穴が空いちゃう肺気胸っていう病気になったときに、健康であることの幸せを実感したんですよ。そのとき、タケヒトがよくお見舞いに来てくれてたんですけど、病院のベッドの上で何も出来ずにずっと点滴打ってて。ちっちゃな幸せの大切さを知ったんです。最近はバンド以外の友達と遊ぶことが多くて、いろんなことに気づかされたりもするんです。バンドだけに目がいってて、見落としちゃってる大切なことに気づけたりするんです。それに気づけたことで、またバンドに気持ちを向けると違うんです。だから、そういうことの大切さを大事に思ったり、ツイッターも始めたんで、日々の出来事をちょこちょこ呟いてたりしてるんです（笑）。ブログには、ちゃんとしたことをちゃんと文章にして書き込んでいるんですけど、ツイッターは本当に呟き。それも最近の楽しみのひとつかな。結構充実した感じの毎日を送ってます」

vimee.net

ドラマーというよりは"ケンゾです"って気持ちで ——ケンゾ

——ケンゾさんの最近の変化というと？

「プレイヤーとしてはないかな。どっちかって言うと、ドラマーっていうより、作曲者として、作業の面で変化があったっていうか。最近、新しいものが掴めた感じがする。」

——作曲するにあたって、大事にしていることって何です？

「まず、大事にしていることの1つとして、自分が良いって思える曲を作ること。彩冷えるって、メンバー全員曲作れるから、媚びることもしたくないし。あと、メロディはもちろん、なるべく、レコーディングをする段階から関わりたいなって。最初にドラム、ベースを録って、ギターを録っていって。その全部に立ち合いたいんだよね。自分の曲って、任せる部分とこだわる部分があるんだけど、両方ともはっきりさせておきたいかなって。うーん、あと何かあるかな？」

——私に聞かれても（笑）。でも、全ての録りにかかわりたいっていうのは珍しいですよね。自分の録りが終わった時点で撤収してしまう人が多いと聞きますから。

「逆に、自分の思っていることが、エンジニアとかに伝わっているのかどうかが不安。だから、全ての工程を見ておきたいっていうのがあるんだろうけど」

——妥協は許さないぞと。

「うん、ワガママだからね（笑）。だから、関わってくれる人には、自分の意見を押しちゃうのかもしれない。できない事もたくさんあるけどね（笑）。言い方悪いかもしれないけど、バンドってスタッフのために音楽をやってるわけじゃないじゃん？ 自分が好きでやっているわけだし、それを好きって言ってくれる人がいるわけだから。まぁ、難しいこともあるんだけど」

——と言いつつ、それをこうした場ではっきりと口にして、さらには実行に移してしまうケンゾさんは、とてもかっこいいなと思います。

「そんなこと言うと調子乗るよ（笑）」

——（笑）。でも、そう言えるということは、音楽を好きという気持ちが右肩上がりになってきている証拠ですから。

「だけど、音楽を好きって、正直、去年の後半くらいからはあんまり思わなくなってたんだよね。何か、もちろん大好きなんだけど色々あってバンドに対しての気持ちが薄れてて。でも、ここ1ヶ月ぐらいかな、人との会話だったり、自分で昔好きだったものを振り返った結果として、昔の衝動を取り戻すことができたんだよ。多分これって、曲だけじゃなくて何かを創る側になると誰もが1度はぶつかる壁だと思うんだけど。にしても、ほんの少しのきっかけで取り戻すことができて良かったなって思った。」

——好きな気持ちを取り戻してみて、改めて思ったこととは？

「結局は、自分のままでいいんだなって」

——こういう言い方って失礼かもしれないですけど、ケンゾさんでも自分に自信をなくすことってあるんですね。

「あるある、そんなのすごくある！ 俺、キャラクター的にこんなんだし、あまりそう思わないかもだけど（苦笑）、自信なくすことなんて、しょっちゅうだよ。だから、自分と戦っていることがすごく多くて。で、そんな自分に勝って、またひとつ芯ができてっていう繰り返しなんだよね。でもさ、自分のことを信じられないと、人のことって信じられないと思うから。正直、音楽やっていると色々なことあるけど、まずは自分の為にやらないとなって」

——では、新作「ドラマティック」は、そういう葛藤を乗り越えながら作っていったということになりますよね？

「そうだね。今回、俺の作った曲は2曲目に入っているんですけど、メジャーに行くまでは、明るい曲って作らなかったからね。別に暗い曲だけ出そうとしていたわけではないんだけど、あんまり作れないというか（笑）。でも、これは、自分の中でのポップっていうものを出したつもりです。俺のことを知っている人ならきっとケンゾの曲だなって気づいてくれるだろうし」

——そんなポップナンバー「君だけを映して」を最初に聴いたとき、これは確実にタケヒトさんの曲だろう！ と思ってしまったんですけど（苦笑）。

「（笑）。でも、それだけ曲が柔軟になってきたのかも。まぁ、今、こういった明るい曲を作れるかっていったら、無理かもしれないけど。」

——それにしても、ミュージシャンって良いですよね、自分の成長の記録として、こうして楽曲を残しておけて。

「うんうん、確かに。俺の曲を、芸術って言い方をするつもりはさらさらないけれど、形として残せるっていうのはすごく大きいことだなって思う」

——曲によって気付かされることも多いでしょうし。

「難しいこともあるけどね、俺1人の形じゃ彩冷えるにはならないし」

——でも、ケンゾさんは臨機応変なプレイヤーだと思うんですよ。カラスで見せてくれたドラムプレイもそうでしたけど、その場その場で適しているものを考えて輪に溶け込みつつも、しっかりと個性を残していくという。それって、一種の特技なんじゃないかなって。

「カラスは、自分の通ってきたルーツに近いものがあったし、仲の良いアーティストの人たちと一緒にバンドをやることによって、すごく身になった。自分のバンドでは絶対にやらないような遊び方もやらせてもらえたしね。だから、参加できて、カラスのメンバーになれて良かったなって。でも、そう言ってもらえるのは嬉しい。どこでどういう風な形でやっても、ケンゾはケンゾであるって感じてもらえたこと。それって、1人のアーティストとして見てくれているってことだと思うから」

——うまいアーティストなんて、この世にたくさんいる。けれども、私が思う魅力を感じるアーティストっていうのは、テクニックうんぬんよりも、その人じゃなければダメ、というぐらいの説得力を持っている人というか。そういう人がステージに立っているだけで、何だかこちらも嬉しくなってきてしまうんですよね。

「そうだね。俺も、昔から好きなアーティストって、そこまで演奏面で長けていなくても、なぜだか惹き付けられるものがあった。振り返ると、確かにみんなそういう要素を持ってたな。あの人じゃなきゃダメだって思える何かをね。俳優さんでもそうじゃない、どんな役もできるけど、その人じゃないと演じられないっていう。そういう風に俺もなりたいし、多くの人が、ケンゾじゃないとダメだって思ってくれたら嬉しいよね。とても大変なことだけどね」

——ケンゾさんならなれると思いますよ、見る人にとって、かけがえのない存在に。

「それ、アーティスト冥利に尽きるよ。俺ってあくまで、エンターテイナーでいたいんだ。ドラマーって言われるのは嫌いじゃないけど、ドラマーって目立たないイメージで捉えられがちじゃない？ そういうのが嫌で。ドラマーだからどうこうっていう」

——でも、目立たなかったところを見たことありませんけど（笑）。

「そういうのが嫌だから、目がいくようなプレイを心掛けてるから（笑）。だからこれからも、ドラマーというよりは、"ケンゾです"って気持ちでやっていくと思うよ」

——その思い、音楽シーンにも通ずるところがありますね。

「最近、自分を信じていれば大丈夫なのかなって思えるようになってきた。何かを人に与えられるだろうって思ってやっているから、続けていられるのかなって。あと、そう思えるのは周りの力も大きいんだよね。普段から仲良くしてもらってる先輩方や周りにいるすごく大事な仲間は相手のことを蹴落としてやろうって気が微塵もないんだよね。良いことがあったら、自分のことのように喜んでくれるし、応援してくれる。そういう仲間に囲まれているから俺も頑張れるし、このシーンを変えていけるっていう自信に繋がっているのかも。ヴィジュアル系っていうだけで、はねのける人もいるかもしれないけど、俺はやっぱり音楽が、そしてバンドが好きだからさ、自分がかっこいいって思えるものをやっていけばいいだけなんじゃないかなって。実際問題、自分の明日だけみて未来を見よ、頭の固い大人達になんか負けてられないしね（笑）」

——その言葉を聞けて安心しました。とにもかくにも、今はケンゾさんの5年後が楽しみですよ。

「きっと、どんどんかっこよくなれてると思う。自分で言うのも何だけど、それだけは自信を持って宣言する。自分に言い聞かせる為にも（笑）。[illegible]でも自分の原点と信念を忘れなければ絶対にいい方向に進めるってわかってるから。まぁ、とりあえず5年後に今よりいい男になれてるように頑張ります（笑）」

vimec.net 蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com
慧美网
vimee.net

蝴蝶网
hudie.com

未来を切り開くのは自分自身

――1枚を通して夏っぽい印象を受けたけど、季節的なコンセプトありきで？

タケヒト：いや。そこまでのコンセプトはなかったんですけど、リリースが初夏なんで、多少、明るめな、夏っぽい空気感が欲しいねってことになって、そこで最初に選ばれたのが、2曲目のケンゾ曲「君だけを映して」だったんですよ。

――「君だけを～」が1番夏っぽいもんね。でも、この曲、最初に聴いたとき、絶対にタケヒト曲だと思ったんだよね。

タケヒト：あははは。みんなに言われる（笑）。メジャーコードの曲が多かったですからね、僕の作る曲は。

――キャッチーなフレーズの挟み込みや、音色やアレンジのディティールがタケヒトっぽかったから、ケンゾだとは思わなかったなぁ、的な。

ケンゾ：どうした？ ケンゾ？って思った訳だ（笑）。ま、ポップな曲もたまには作ってみようかなと。

――ケンゾもポップな曲を作っては来たけど、ここまで振り切った感はなかったよね。サマークリスマスな感じというか。

ケンゾ：ね。たしかに、オーストラリアのクリスマスって感じかもね、ベルの音とか入ってるし。けど、原曲は夏っぽい感じではなかったんだよね。アレンジとかでだんだんそういう雰囲気になってったんだけど、結構冒険だったね。

葵：今回、どの曲が表題曲になってもいいように、3曲同時に作業を進めていったんですよ。そんな中でも、僕的にはこの曲が1番表題曲になりそうな空気感を持っていると感じたこともあって、そこを意識しながら歌詞を乗せたんですよ。僕はケンゾのデモ曲より、もうちょっとアレンジを固めた後の状態を聴き入っていたこともあって、デモの段階よりも既に夏の雰囲気が色濃く漂っていたこともあり、歌詞もそこが前面に押出された感じになったんです。キメのダッダダッダダッっていうフレーズも印象的だったんで、普通の歌詞を乗せてもインパクトないなと思って、わざとチープな言葉を選んでファニーな歌詞を乗せたんです。

タケヒト：ギター的には、爽やかな、キラキラしたギターを弾こうと思いまして、アレンジャーさんといろいろと試しながら一番ハマりのいい音を探したんです。アルバムで一通りの経験が出来たんで、原点に戻れた部分もあって。自信を持って音作り出来たって感じでしたね。

夢人：今回アレンジャーさんがギタリストだった人だから、すごくギターを解ってくれていたんで、思ったままを音に変えられたこともあって、すごく楽でした。

インテツ：ベースは結構難解でしたね。疾走感で押し切れる感じじゃない、丁寧なフレージングのベースだったりするんで、結構表現するのが大変で。ケンゾくんがイメージで伝えてくれてたんですが、なかなか自分の中でそれを音にするのが大変な作業だったりしたんです。

――結果、表題曲を「ドラマチック」にしたのはどうして？

葵：「ドラマティック」です。〝チック〟じゃなくて、〝ティック〟でお願いします（笑）。そこ年齢出るんですよね（笑）。

――うるさい（笑）。大名古屋ビルヂング（名古屋駅前のビルの名称）的なね。

夢人：それ知ってる！ は？ ビルヂング？ ビルディングだろ！ みたいな。

――さすが三重県人。よくご存知で（笑）。で、どうして？

葵：歌を入れてみて聴き返してみたときに、「ドラマティック」が1番バンドっぽい表現が強く出せてたこともあり、今までのシングルの流れを見ても、この曲が1番合うのかなって思ったんです。

――楽曲の構成的にも、間奏が3カ所くらい入ってて、バンド感があるもんね。

夢人：ロックな構成で見せてますね。ヨーロッパ調のバイオリンが入ってみたり。

インテツ：チェンバロっぽい音もすごく印象的だったりしますよね。

夢人：あそこらへんの音をロックと絡めるのは、個人的に昔から大好きなんですよ。アレンジャーさんがいろいろとそういう音色を集めてくれたんですけど、ヴィジュアルシーンの音を昔から聴きあさってきた僕と、ヴィジュアルシーンの音を想像上でイメージするアレンジャーさんとの感性のコラボというか、すごくいい状態で具現化出来たのかなと。僕のギターに古き良き時代のバイオリンが絡み付く感じとか、相当いい感じですよね。

――夢人は結構印象が強い同期音を前に出す楽曲の作り方をするけど、そこまで尖った同期を使っていないし、生の楽器の後ろで同期音が活きてる感じだよね。

夢人：そうなんですよ。そこはアレンジャーさんの個性でもあると思いますね。自分でアレンジしてたら、もっと違う形になっていたと思うし。今回は、そこも面白いところだなって思いますね。

タケヒト：夢人の曲ってイメージが伝わりやすいんで、この曲もすぐに掴めましたね。図太いギターの音が、楽曲に合うんじゃないかなと思って選んだんですけど、正解でしたね。ちなみに、メロディアスなギターは夢人が弾いてます。

インテツ：夢人くんの曲って、慣れてる彩冷えるらしさがあるんですよね。この曲にもそれを感じたので、とにかくベストテイクに向かって詰めていきましたね。ベースの音もかなりいいと思います。

ケンゾ：この曲、キメが多いんでそこにちょっと神経使ったかな。シンプルなんだけど、個性的に見せていく感じっていうか、そこにはいつもどおりこだわりを持ったというかね。

――この曲と「君だけを～」は、とくにケンゾらしいドラミングを感じたんだよね。ハットとかシンバルの使い方とかね。

インテツ：Aメロのハイハットの使い方とか、アクセントの付け方とか、ケンゾらしいですよね。慣れてないと出来ない細かい技を感じますよね。

――そうそう。葵くん、歌詞は？

葵：曲がすごく綺麗だなと思ったんで、普通に綺麗な歌詞を乗せちゃうとありきたりになっちゃうと思ったから、敢えて泥臭い言葉というか、人間臭い言葉を選んで歌詞にしていったんです。他の曲には物語性を持たせたんですが、この曲に関しては、敢えてそこを避けて、伝えたいテーマをぶつ切りにして、作っていない言葉でまとめてみたんです。朝は誰にでもやってきて、ドラマティックな未来は自分自身じゃなくちゃ作れないんだよ、っていうことを歌っているんです。

――なるほど。そして3曲目の「brand new story」はインテツ曲ですが。

インテツ：ライヴで一緒に楽しめるのが、彩冷えるの良さだとも思っているので、一緒に踊れるような曲が欲しくて。メジャーに来てから4つ打ちのガシガシした曲って作ったことなかったから、ここらへんで作ってみてもいいかなと。

――にしても、随分と中華だね。

インテツ：去年、台湾ツアーに行ったとき、中華料理が美味しくて美味しくて、それを思い返しながら作ったんです！ だから、どうしてもドラが入れたくて、ワガママ言って用意してもらって僕が叩きました（笑）。あの〝アタァ～ッ！〟っていう掛け声とかは、ケンゾくんです！

ケンゾ：うん。2回目は〝インテツ～！〟って言ってんの。

夢人：俺も〝かき氷！〟って叫んだ（笑）。

ケンゾ：インテツのベースソロの裏で、夢人とオカマ声でインテツがなんちゃらって言ってたりもしてる。

タケヒト：僕はブースの外に居たことは居たんですけど、参加しなかったですね（笑）。でも、打ち合わせしてないのに、ケンゾと夢人の息がピッタリ合っててビックリしたんですよね（笑）。曲調的にはインディーズの頃もあったんですけど、ギターでちょっと冒険したんですよね。普通にパワーコード弾いてるんじゃなくて、いろんなことを足してってるんで、そこは実験的でしたね。

夢人：ギターは2人で弾いた、間奏のギターソロも聴き所かなと。

ケンゾ：「brand new world」は、

――「brand new story」だよ。

ケンゾ：あ。間違えた（笑）。「brand new story」は、4つ打ちの派手な感じと、リズムの心地よさとを楽しんでもらえたら嬉しいなと思いますね。

葵：歌詞は、メジャーデビューが決まったときに、お客さんに贈った「electric moon light」っていう曲があるんですけど、その歌詞は、みんなへのありがとうを込めて、それまでのシングルのタイトルを歌詞に入れて書いたモノだったんですが、今回は、夢人が加入してからのツアータイトルを歌詞に入れて組み立てていったんです。1月6日にやった今年初のワンマンライヴのタイトルも「brand new story」だったこともあり、そういう歌詞を書いてみようって思いついたんです。例えば、〝初雪の色〟は『バージンスノーカラー』で、〝ウォータースライス〟は『水に解ける雪』だったり、メジャーデビューシングルのタイトル〝[illegible]たくて〟がそのまま歌詞になってたり、最後の方には、〝彩り冷える〟って彩冷えるっていうバンド名を入れてるんです。他にもたくさん、ちりばめてあるので、見付けてもらえたら嬉しいです。

（問）http://www.ayabie.net/

581691

慧美网
vimee.net

蝴蝶网
hudie.com
慧美网
vimee.net

愛狂います。
アイクル
aicle
全国20箇所単独公演「浪漫帝國」
日）札幌KRAPS HALL
水）盛岡クラブチェンジ
金）仙台HooK
金）柏PALOOZA
8月14日（土）さいたまHEAVEN'S ROCK VJ-3
8月16日（月）新潟JUNKBOX mini
8月17日（火）金沢AZ
8月19日（木）神戸VARIT.
8月20日（金）広島ナミキジャンクション
8月22日（日）松山サロンキティ
8月23日（月）高松DIME
8月25日（水）鹿児島SR HALL
8月26日（木）熊本DRUM Be-9
8月28日（土）福岡DRUM-SON
8月30日（月）岡山IMAGE
9月 1日（水）浜松FORCE
9月 3日（金）新横浜SUNPHONIX HALL
全会場共通
OPEN 17:00 START 17:30
前売¥3500 当日¥4000（ドリンクチャージ別途）
チケット発売中
総合問合せ:チッタワークス044-276-8841
大阪浪漫帝國
9.22 大阪MUSE
OPEN17:00 START17:30 前売3500円当日4000円（ドリンク代別途）
チケットぴあ0570-02-9999(Pコード:105-528)
ローソンチケット0570-084-005(Lコード:59716)
ライカエジソン大阪 06-6262-5988 DEAD ONE 06-6258-5186
(問)YUMEBANCHI 06-6341-3525 http://www.yumebanchi.jp
名古屋浪漫帝國
9.24 名古屋ell. FITS ALL
OPEN17:00 START17:30 前売3500円当日4000円（ドリンク代別途）
チケットぴあ0570-02-9999(Pコード:105-313)
ローソンチケット0570-084-004(Lコード:43239)
ライカエジソン名古屋 052-229-8211
(問)サンデーフォーク 052-320-9100
東京浪漫帝國
9.30 渋谷O-WEST
OPEN17:00 START17:30 前売3500円当日4000円（ドリンク代別途）
チケットぴあ0570-02-9999(Pコード:106-545)
ローソンチケット0570-084-003(Lコード:72649)
ライカエジソン東京 03-3369-3708 ZEAL LINK 03-5784-9666
(問)チッタワークス 044-276-8841
す。2ヶ月連続リリース決定 完全予約限定販売
Aタイプ（CD+DVD）¥2100
NNCR-0033,34
NNCR-0035
第二弾 9.15 ドラマチック。
Aタイプ（CD+DVD）¥2100
NNCR-0036,37
Bタイプ（2曲入りCD）¥1260
NNCR-0038
封入特典:着せ替えジャケット（全10種類のうち一種）
TOTAL INFOMATION NINE 1-1-11-406 Okubo,Shinjuku-ku Tokyo 169-0072 Japan TEL 03-5287-3455 FAX 03-5287-3454 http://www.aicle-web.com
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

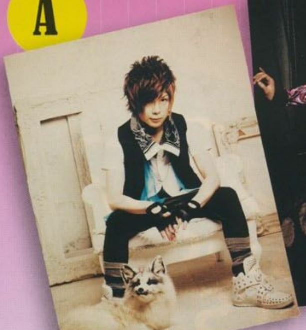
Present!

彩冷える

生写真
応募者全員
サービス!!

彩冷えるの生写真を
応募者全員に
サービスしちゃいます。

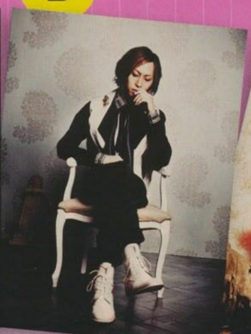
A



B

C

D



E

タイプは5パターン（個人各1点）。
応募券1枚でどれか1枚をあなたのお手元に!!

●応募に必要なもの
·80円切手2枚（申し込み用の封筒に貼るものと返信用の封筒に貼るもの）
·20円分の切手（手数料用）
·定型封筒2枚
·応募券（このページの左下にあり）

【応募方法】
①生写真（9×13cm）が入る大きさの定型封筒（定形外の大きな封筒での応募は無効になります。ご注意下さい）2通と、80円切手を2枚、手数料の20円分の切手を用意します。
②1通の封筒に80円切手を貼り、表にあなたの住所、氏名を記入。封筒の裏には希望の生写真のアルファベット（A～E）のいずれか1つを大きく書いてください。この封筒は、編集部から応募者に写真をお送りする返信用封筒になります。
③②の返信用封筒と共に、手数料の20円分の切手をもう一通の封筒に入れ、あて先のヨコに応募券がはがれないようにしっかり貼って、下記の住所まで送ってください。

【あて先】
〒104-8228　東京都中央区銀座6-2-3　ダヴィンチ銀座アネックス5F
株式会社　音楽専科社　彩冷える生写真プレゼント○係
※○の中には返信用封筒に書いた希望写真（A～E）のアルファベットを書いてください。

【締め切り】
2010年6月21日（当日消印有効）

【発送】
2010年8月中旬からになります。8月末になっても届かない場合はご連絡ください。
（SHOXX編集部　03-3574-0205／月～金　11:00～18:00）。

【お願い】
・希望のアルファベットが未記入の場合は、ランダムに送らせていただきます。
・応募券のコピーは不可です。コピーの場合は無効になります。
・応募券1枚につき一通のご応募でお願いします。複数お申し込みのお客様はその数分の応募でお願いします。

SHOXX VOL.20
彩冷える
応募

蝴蝶网 hudie.com

FREE-WILL OFFICIAL MOBILE SITE

FREE-WILL ONLINE　アーティスト オフィシャル モバイルサイト

DIR EN GREY / kannivalism / 12012 / the studs / 圭 / boogieman

アーティストの最新情報を無料で配信中!!

有料会員登録後は、待受 / Flash / 着メロ / 着ボイス / アーティストメッセージ / マネージャーメッセージ / 配信メール 等、様々なコンテンツをお楽しみいただけます!!
リリースやツアーに連動した期間限定企画も予定しています!!

着うた®も配信中!! 情報料：¥105（税込）/ 曲

期間限定企画

- **DIR EN GREY ONLINE**
  [配信期間]～2010.6.30
  2010.5.26 RELEASE LIVE DVD
  『UROBOROS -with the proof in the name of living...- AT NIPPON BUDOKAN』デコメテンプレート配信中!!
- **the studs ONLINE**
  [配信期間]～2010.6.30
  2010.6.2 RELEASE
  NEW SINGLE『翻弄』
  デコメテンプレート配信中!!
- **12012 ONLINE**
  [配信期間]～2010.6.30
  2010.5.26 RELEASE NEW SINGLE
  『THE PAIN OF CATASTROPHE』
  デコメテンプレート 無料 配信中!!
- **圭 ONLINE**
  [配信期間]～2010.7.30
  圭 ONLINE 特別企画
  Λucifer MAKOTO × 圭
  Special対談配信中!!

※対応機種等により、一部ご利用頂けないサービスもございます。情報料：月額 ¥315（税込）/1アーティスト

FREE-WILL うたフルサイト　着うたフル®サイト

月額無料、1曲から購入可能!!

300曲以上のラインナップ！
新曲はもちろん、過去の音源も随時配信！

DIR EN GREY 最新SINGLE『激しさと、この胸の中で絡み付いた灼熱の闇』
kannivalism 最新ALBUM『helios』収録『mum.』配信中！

【配信アーティスト】
DIR EN GREY、kannivalism、the studs、12012、boogieman、
DOG inTheパラレルワールドオーケストラ、BugLug、蜉蝣、baroque etc...

※一部の機種ではご利用いただけません。情報料：¥315（税込）/ 曲

EXTRA-TERRITORIAL
出演アーティストの着うたフル®を配信中!!
EXTRA-TERRITORIAL待受FLASH無料配信中!!
（期間限定～5.31まで）

FREE-WILL CALL SITE　メロディコール・待ちうたサイト

DIR EN GREY 最新SINGLE『激しさと、この胸の中で絡み付いた灼熱の闇』配信中！

今では入手困難な音源から最新の音源まで幅広く配信！

お気に入りの曲を見付けて呼び出し音に設定！

Y!ケータイでも遂にサービス開始!!

【配信アーティスト】
DIR EN GREY、kannivalism、the studs、12012、boogieman、
DOG inTheパラレルワールドオーケストラ、BugLug、蜉蝣、baroque

※一部の機種ではご利用いただけません。情報料：月額 ¥105（税込）/ 曲

EXTRA-TERRITORIAL
出演アーティストの楽曲を配信中！

蝴蝶网 hudie.com
慧美 vimee.net

蝴蝶风
hudie.com

Nightmare

音楽をやっている事の意味

今年1月9日にさいたまスーパーアリーナにて行われた『GIANIZM〜天魔覆滅』を受けてのツアー、
『Request of "GIANIZM" the Tour』のファイナル公演が、4月29日東京国際フォーラムにて行われた。
今回は、その日の模様をレポートすると共に、後日、YOMI&咲人にライヴの感想と、
6月23日にリリースとなるSingle「a:FANTASIA」へのヒントを語って貰った。次号（SHOXX Vol.210）では、
「a:FANTASIA」の世界に、表紙巻頭特集にてぐぐっと迫りますので、そちらもお見逃しなく！

Photography:MIWA OHYA(4/29LIVE)
Report&Interview:YUKA SUGIE

vimee.net

蝴蝶网
hudie.com

――ツアー『Request of "GIANIZM"』最終日、国際フォーラムでのライヴは、非常に集中力高く臨めていたように見えましたが…実際、自分たち自身ではどう感じましたか？

咲人：ライヴ的には、勢いもあったしすごく良かったと思うけど…演奏面にしてもステージングにしても、個人的な反省点はものすごくあった。ただ、昔はミスがひとつでもあるとそのライヴ自体がダメな印象になっちゃってたけど、そのへんに関しては、今は分けて考えられるようになったかな。

YOMI：俺的には、フォーラムでライヴをやっても、そこまで圧迫感を感じなかった。前にフォーラムでやったときは、お客さんからのプレッシャーというか、ちょっと押されるような感覚があったんだけど。今はもう、逆にそれを俺たちが跳ね返せてるなって実感できたんで。

――しかし、よくあのアグレッシヴモードで貫くセットリストでツアーを廻って、無事に戻ってきましたよね。あらためて考えると、普通にスゴイなと感心します。

咲人：確かにスゴイよね。今までは毎回、セットリストを考えるときに、大体2ブロック目か3ブロック目に落とし所を作ってライヴをやってきて、パターン化してた部分があったからね。

――そして、それは多くのアーティストにとってごく当たり前な形ですもんね。

咲人：そうそう。そこに落ち着くっていうのはベターなことかもしれないんだけど、何かしら変えないとメンバー自身もまったりしちゃうし。アルバム『GIANIZM』は激しい曲のオンパレードだったから、とりあえず1月のさいたまスーパーアリーナに関しては、全部激しい曲で貫きたかったんだけど…その感触が良かったから、今回のツアーができたのかなって。

YOMI：でさ、もしかして中だるみするのかなっていう心配もなくはなかったけど、やってみたら大丈夫だったしね。

――確かに、そこもスゴイと思いました。それは、有無を言わさず次々曲をたたみかけていったからでもあると思うんですが…あの体力と気力にも、感服しました。

咲人：ま…疲れるよね（笑）。

vimeo.net

YOMI：ファンレターにさ、〝私がムリです〟って書いてあったりしたし。

咲人：もしかしたら、曲を知ってる人じゃないと何が起こってるのかわからないかもしれないよね。

YOMI：どこで曲変わったの!? みたいなね（笑）。

咲人：1曲の中でテンポが変わったりもするからね。

——そんな中、歌い手としてもいつにも増して激しく動いて、ノドも酷使したでしょうね。

咲人：ゾジーさんの「東京傷年」の動きはスゴかったよね。あのわけわかんない動きは、後でライヴ映像を観てビックリしたもん。あと、お立ち台から落ちるし（笑）。

YOMI：はは！ 落ちた落ちた！ でも、自分的にはこのセットリストでもノドを壊さないで廻れたっていうのは、自信につながったし。

——それは、ちゃんとケアも怠らなかったからでもありますか。

YOMI：そうそう。この間、西川（貴教）さんと対談したときに、〝歌った後はノドを冷やしたほうがいい〟って教えてもらったりしたから、ちゃんと実行して。ケアはちゃんとしてたからね。だから、今後どんなセットリストがきても、コンディションを保っていける自信もついた。

——その自信はひしひし伝わってきましたし、今回のライヴではナイトメアの真髄を見た気もします。

咲人：確かに、今回に関しては、曲に込めた想いを伝えるとかじゃなくて、バンドとしてのアイデンティティが伝わればいいっていうノリではあったかもしれない。もちろん、ナイトメアの要素はそれだけじゃないし、この先もずっと激しい曲だけのセットリストをやり続けるわけじゃないけど、他の人がやらないことの良さっていうのは見つけていきたいから。

——そういう意味では、新たな道を開拓できたわけですし…それが予想以上にバンドの底力を引き出したわけですからね。

咲人：そうなってたらいいんだけど。ま、

vimee.net 蝴蝶网 hudie.com

慧美网
vimee.net
蝴蝶网
hudie.com

ナイトメアのファンがどの曲を好きかっていうのは人それぞれだと思うけど…極端に言えば、ナイトメアのライヴにバラードを聴きに来るわけではないだろうしね。ノれて暴れられてナンボっていう部分はあると思うから、ライヴではそこは大事にしたいなと思う。

——音源とライヴは、別モノであると。

咲人：そう。極論だけど、たとえば、Slipknot（モダンラウド&ヘヴィな米国バンド。見た目通り、ステージングは破壊的で猟奇的）のライヴに行ってミディアムテンポの曲ばっかりだとしたら…面白くないでしょ？

——まぁビックリします（笑）。

咲人：だから、俺たちもみんなが求めるナイトメア像っていうのは意識しているし。自分たちの表現したいことと、ウマくバランスはとっていきたいけどね。

——ということも考えたツアーを終えた今、バンドとして、それぞれとしてどう向かうべきかは見えていますか。

YOMI：今の自分を突き詰めてはいきたいけど…激しい曲だけじゃなくて、聴かせる歌もしっかり歌える感じにはなりたいかな。

——以前から口にしていることではありますけど、あらためてその想いを強めていると。咲人さんは？

咲人：ウチらって、急成長するバンドではないと思うのね。少しずつ、少しずつ階段を昇ってきたというか。で、ここ最近、レコーディングをしてる中で思ったんだけど…曲作りとかレコーディングに関して、ある程度出来上がってしまったフォーマットを一度壊さないとダメだなって。そうやって考え直して作ったものを聴くと、少しずつでもクオリティは上がってるなって思うし。同じことをずっと続けていても意味がないし、今まで盲点だったなって自分でも思えるところを突いていきたいなって。

——その盲点は、現時点で見つけられているんですか？

咲人：うん、ちょっとずつ。いろんなアーティストの曲を聴いてても、〝こういうアプローチもあるんだ〟っていう発見があったりするし。そういうまだ採り入れてないものと自分たちの肝になってる部分とを照らし合わせて、穴を埋めていけたらいいなって。ナイトメアっていうものを、より確実性のあるものにしていきたいっていう想いは強い。

——ちなみに、メンバー全員でそういう話をしたりもしているんですか？

咲人：ウチらは、そういう話ができないバンドなんで。

YOMI：ホント…話がすぐ逸れちゃうんだよね。

——それがわかっているなら、誰か軌

vimee.net
蝴蝶网
hudie.com

道修正できないですかねぇ（笑）。

咲人：うん…それがなかなかできないんだよねぇ。なんかね、みんながみんな、気を遣い合うっていうか。

――それこそ、10年来の付き合いなのに!?

咲人：みんなどこか優しいからね。だからこそできてきたこともあるし。ま、それが良くもあり、悪くもあるんだろうけど…今年は何とかしたいなって思ってる。それぞれに、このままじゃダメだとか、この先どうしようっていう危機感は持ってるだろうし。

YOMI：でも、自分たち自身、バンドに対して自信を持ててはいるからね、今。悪くない状態だとは思う。

咲人：うん、確かに悪くはないね。昔みたいに勢いだけでやれるわけではないし、いろんなことを考えた上で曲を作って活動もしなきゃならないけど、最初に持っていた楽しさみたいなものは感じなきゃいけないことなんだなって、ここにきて思ってたりするし。なんで今自分たちが音楽をやってるのかっていうことを、あらためて考える時期なのかなって。

――その想いは、国際フォーラムで披露された新曲「a:FANTASIA」にも込められているんでしょうが…ニューシングルの3曲とも、曲力が非常に強いですね。

YOMI：うん、今の自分たちだからこそ、より説得力がある曲にできたと思う。

咲人：ま、それが結果的にどう受け止められるかっていうのが重要だけど…作曲者、作詞者それぞれの人間性がすごく出てるとは思う。中でも、俺はNi～yaの曲を評価したい。Ni～yaの曲が表題曲でもいいって思ったから。

――そういう曲をカップリングに入れても構わないほど、さらに凌ぐ名曲が控えているということでもあったりして？

YOMI：うん、そりゃ凌ぎますよっ。とりあえず、俺的には今回、バンドが夏の手前に出すシングルなイメージなんで。必ずライヴに来たくなる…ハズ！（笑）。

Nightmare

蝴蝶网 hudie.com

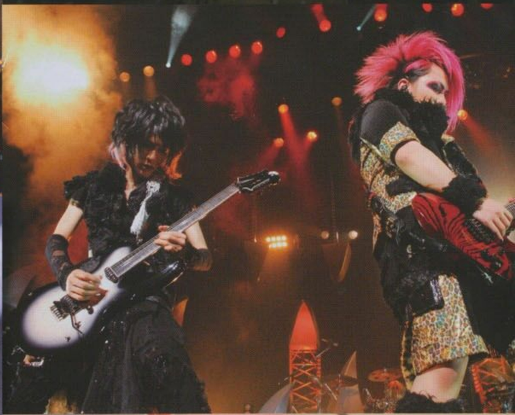
慧美网 vimee.net

蝴蝶网
hudie.com

Request of "GIANIZM" the Tour

Live at 東京国際フォーラム・ホールA 2010.4.29

v慧美网
vimee.net



さいたまスーパーアリーナというマンモスキャパでさえ、見事ライヴハウスへと仕立て上げてしまった彼らだけに、当然のことと言えば当然のことなのだろうが。過去、幾度か立っている国際フォーラムのステージで、たたみかけることおよそ2時間半。ひたすらアツく昇り詰めることに徹した結果、少しおすまし気味な会場がこれまでで一番、ライヴハウスと見紛うほどの凄まじい熱量に支配された。

そもそも、彼らの攻めの歴史を象徴するアルバム『GIANIZM』を軸に、彼らの歴史の中でも激しく突き抜けたナンバーをズラリと並べて10周年の1発目を猛々しく飾ったのが、前出のさいたまスーパーアリーナ。その熱を受けてのアンコールツアー最終日だったわけだが、テンション、気迫、一体感とともに、あるいはスーパーアリーナを上回っていたのではないだろうか。何しろ2階席などは、思わず建物の耐震性能が心配になるほど、1曲目の「自傷（少年テロリスト）」からとんでもない激震に見舞われっぱなし。幾度となく1階客席がまさかのモッシュ状態になるなど、オーディエンスのリアクションも凄まじく男前であった。

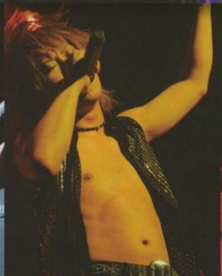
しかも、さいたまスーパーアリーナで見られた燃え盛る炎の演出はなくとも、体感する興奮度は変わらなかったわけだから、ナイトメアのバンド力が演出や状況に左右されないものであることも、見事証明できたわけだ。それもこれも、メンバー5人の尋常じゃなく高い集中力の賜物だろうが、同時に顕著だと思ったのは、どこか伸び伸びとしたような雰囲気。

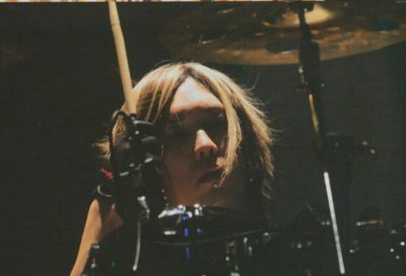
「惰性ブギー」では、後ろを向いて尻尾をグルングルン回す柩の姿に嬌声が上がったり、「東京傷年」ではYOMIと柩が妙なステップで沸かせたり、「ジャイアニズム究」を前にインプロヴィゼイション的な場面があったりと、ライヴならではのお楽しみ、醍醐味もそこかしこに垣間見せてくれた。

MCでYOMIが〝今回のツアーはいつにも増して楽しかった！〟と発言していたが、ツアーで全編に渡ってフルパワーで押し切ることに体力も気力

蝴蝶网
hudie.com
慧美网
vimeee.net

Request of "GIANIZM" the Tour





も慣れてきたせいなのか、力んで張り詰めた緊張感はなし。だからか、観ている側としても身構えることなく、その勢いに乗っかって心底楽しむことができたのではないだろうか。柩いわく、"ツアーの最初は、終わった後に楽屋でへばってたけど…ライヴを重ねるうちにケロっとしてた"というRUKAだが、確かにステージ左右のスクリーンに時折映し出される顔を見ても、しんどそうな表情は確認できなかった。本編だけで18曲、どれもこれもハイテンポの曲だが、それらを支え続ける彼の底力を見た気がした。その上で、Ni~yaのワイルドなドライヴ感、咲人のテクニカルで華やかなプレイ、柩の攻撃力にもますます磨きがかかっているのだから、無敵と言う他ない。YOMIのフロントマンとしての牽引力もますます強まっているようで、彼が扇動すればオーディエンスは面白いように跳ぶわ、叫ぶわ、コブシを挙げるわ、思いのまま。

"自分で言うのも恥ずかしいけど、ナイトメア、このごろカッコ良くなったと思ってますっ。だんだん理想のバンドに近づいてきている気がするんで…オンリーワンでナンバーワンを目指します!"と堂々宣言した彼だが、そんな言葉にも、歌そのものにも、余裕と自信がはっきりと滲んでいた。

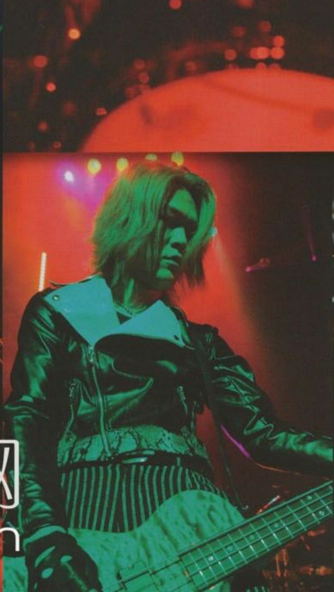
アンコールのMCでは、柩が暴走しつつ、6月23日にリリースされるシングル「a:FANTASIA」表題曲を披露。バンド感とキャッチーなメロディがベストバランスなナンバーへ向けられた大拍手は、好感触の証だ。そして、最高の笑顔と大合唱が飾った「極東乱心天国」、メンバーもオーディエンスもすべて出し切った「the FOOL」…大きな達成感の先には明るい未来と新たな可能性が見えた。

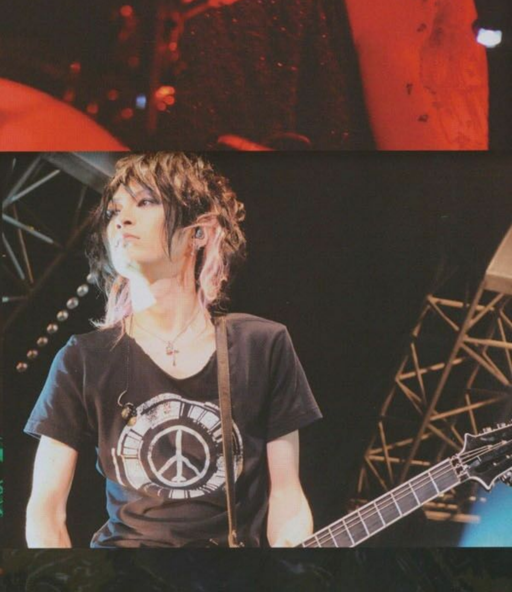
7月からは、全国ホールツアー"re:START of TE[illegible]ISM TOUR"がスタートする彼ら。ファイナルは、8月25日の日本武道館。ナンバーワンでオンリーワン、そこを目指す彼らの気概が、この夏を面白くしてくれそうな予感だ。

<伊達漢>〒162-0831 東京都新宿区横寺町３２TR神楽坂Bld.　TEL:03-3268-7213（受付時間・平日12:00～18:00）　dateotoko@nightmare-web.com

蝴蝶网 hudie.com
慧美网 vimee.net

【セットリスト】
1.自傷(少年テロリスト)
2.ジャイアニズム痛～生涯皆殺し～
3.ジャイアニズム惨
4.ジャイアニズム誤
5.ジャイアニズム碌
6.BOYS BE SUSPICIOUS
7.Mr.trash music
8.惰性ブギー
9.東京傷年
10.DIRTY
11.Cynical Re:actor
12.TrickSTAR
13.HATE
14.ジャイアニズム叱
15.ジャイアニズム罰
16.ジャイアニズム究
17.ジャイアニズム天
18.ジャイアニズム死
EN1.a:FANTASIA
EN2. Яaven Loud speeeaker
EN3.MASQUERADE
EN4.極東乱心天国
EN5.the FOOL





慧美网 蝴蝶网 hudie.com

v慧美网
vimee.net
蝴蝶网
hudie.com

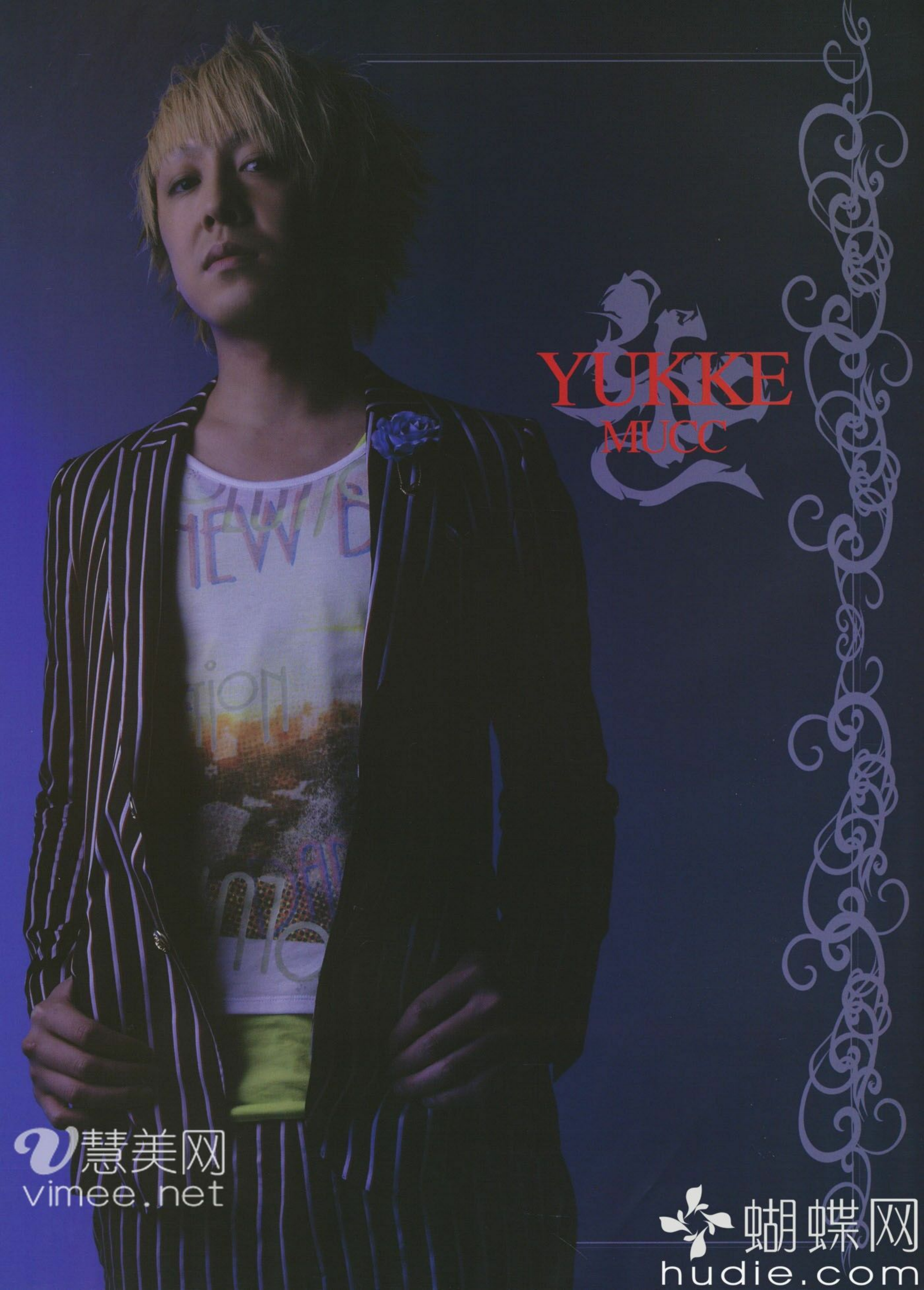
蝴蝶网
hudie.com

promise the promise—

慧美网
vimee.net

蝴蝶网
hudie.com
慧美网
vimee.net

v慧美网
vimee.net
蝴蝶网
hudie.com



慧美网
vimee.net
蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com
慧美网
vimee.net

蝴蝶网
hudie.com

――今年のムックの日には、シングル『約束』の発売が決まりました。こちらの表題曲は、TVアニメ『閃光のナイトレイド』のOP曲として、すでに4月からオンエアされているそうですね。

達瑯：今回の場合、最初っからアニメのタイアップっていう話はもう出てたんですよ。だから、曲作りの時にもそこは多少は意識するかたちでやってくことになりました。

――具体的には、どんなところにポイントを置いて作ったのでしょうか。

達瑯：思ってたのは、やっぱりアニメの曲ってサビ始まりなのが多いでしょ？ そこがまずひとつと、あとはメロディそのものが覚えやすくて、勢いのあるものがいいかなっていうこと。ただ、今回そういうことを考えながら曲を作ってたのは、俺だけでもなかったんですよ。みんな、そういう方向で作ってて他にも曲はあったんですよね。

――その中にあって、結果この「約束」が選択された背景には、どんな経緯が？

ミヤ：あぁ、そこは向こうサイド（アニメ制作側）の判断ですね。こっちから何曲か出した中から、最終的にこれがピックアップされたんで。

――ミヤくんからすると、この曲がピックアップされた最大の理由は、どんな点にあると思われます？

ミヤ：（アニメの）内容的な部分とのマッチング、でしょうね。話の時代設定が1930年とかの昔で、その雰囲気にもこの曲が合ってたんだと思います。

――ちなみに、今回はこの表題曲「約束」だけでなく、カップリングの「イソラ」、そして「瓦礫の鳥」も含めて、全曲に〝空〟とか〝飛ぶ〟というフレーズが折り込まれているようなのですが、これは意図した上でのことだったのですか？

ミヤ：いや。それは今ここで言われて、〝あれ、そうだったんだ〟って思いました（笑）。意外と、そういうことってありがちなんですよね。

――意図せず、その時に表現したいことが各曲の中に出て来ているという？

ミヤ：というか、カップリング作る時って、表題曲ありきっていうところで作ったり、選んだりするんで、そういう意味では全く別のところから持ってきた曲っていうのは、まずシングルに入んないでんですよ。何かしらイメージの部分での繋がりが出て来るっていうのは、むしろ自然だと言えるかもしれないです。

――なるほど。ここで再び話は「約束」についてに戻りますが、SATOちくんは、この曲に対してどんなプレイを心がけましたか。

SATOち：達瑯も言ってた通り、アニメのタイアップ曲っていうのがあったんで、聴きやすさは重視しようって思いました。でもあの四分打ちの部分は録りの段階でグイグイ行く感じになったんで、そこで力強さとか、ノレる感じが出せたと思います。

――曲の後半で、軽やかにハットワークを展開している部分からも、聴いていては小気味よさを感じられました。

SATOち：あれは、その場の勢いでけっこう適当にやったやつだったんですよ。そしたら、現場にいたリーダー（ミヤ）に〝それ！〟って言われて〝えっ？ 今どうやったか自分でも分かんない〟ってなっちゃって（笑）。〝すいません、もう一回聴いていいですか？〟って確認してから、改めて録り直しました。

――対して、YUKKEくんのベース・パートについては、今回どのように録っていったのでしょう。

YUKKE：起承転結とか静と動、そういうメリハリをこの曲の中ではちゃんと表現できたような気がしますね。TVの番組で曲が流れる時間って、秒数にしたら89秒程度だと思うんですけど、そのサイズの中でも起伏をつける、っていうことを出来たんで良かったです。

――その際のコツのようなものは何かありました？

YUKKE：やっぱり、曲の流れとしてサビではグイグイ行ってるし、逆にAメロなんかは淡々としてるんで、そういう曲の内容にどれだけ沿えるのか、っていうのがいちばん大事だと思います。

――それから、この楽曲にはストリングス等の音も入っていますが、ミヤくんはそれらも踏まえた上で、ギター・パートを構成していったわけですか。

ミヤ：だから、ギター的には

慧美网
vimee.net

目なアレンジですよね。それより弦の響きとかのほうを聴かせたかったんで、ギターではあんま主張はしてないです。その分、全体的にいろんな音の抜き差しは多かったですけど。

——バランス的には絶妙ですよ。

ミヤ：一応、アニメの制作サイドからの希望として、今回は劇中で流れる音楽を葉加瀬太郎さんが担当してるんで、それとの兼ね合いでヴァイオリンの音が入ってると嬉しいです、っていうことは言われてたんですよ。そもそも、あの弦はそこが発端で入れたものだったんですけど、思ってた以上にマッチしました。

——ただし、ソロに限っては少し個性的な音を使いながら、ワウを駆使したギター・プレイを披露されていますよね。

ミヤ：そうっすね。まぁ、あれはソロくらいは表情つけて弾こうっていうのがあったんで。基本、この曲は全体として落ち着いた雰囲気だと思うんですけど、あの部分に限ってはちょっとエグさも欲しいなと思って、敢えて厚めな音にしてあります。

——さて。ここからはヴォーカル・トラックについても伺いたいのですが、「約束」のメロディラインは、分かりやすいくらいに達瑯節が全開ではありません?

達瑯：うん、そうかもしれないですね。歌詞も今回はほぼ仮歌詞のままで行ったし、確かにタイアップどうこうっていうのはありつつ、それ以上にこの曲は自分の中から自然に出て来たものがそのまま曲になった、っていうところのほうが大きいと思いますよ。歌い方も、特に不特定多数に向けてとかは意識してなくって、あくまで歌詞の内容に比重を置いて歌ってましたね。

——そもそも、「約束」の詞は何をキッカケに書き出したものだったのですか?

達瑯：俺、猫を2匹飼ってたんですね。1匹はもう8歳になるんですよ。で、もう1匹は近所から拾って来たので、ある時ちゃんと検査しようと思って病院連れてったんですね。そしたら、白血病だったんですよ。

——そうでしたか。外猫の場合は、どうしても感染率が高いのですよね…。

達瑯：それでまぁ、もう罹ってしまうと治らないっていうことを言われまして、それでもそこから1年くらいは生きてたんですよ。だけど、ちょうどこの詞を書き出すちょっと前くらいに死んじゃって。そのことを歌詞に書いたんです。

——言葉の端々に切なさが滲んでいる理由が、やっと分かりました。しかしながら、この歌詞はそこに終始するだけでなく、聴いている側がそれぞれの立場で、感情移入することが出来る余白も、きちんと残されていますよね。

達瑯：結局、その猫の話っていうのは曲を聴いてる人たちは知らない話だしね。それとは関係ないとこで、個々の解釈で受け止めてもらった時には、どうとでも取れるように書いたっていうのは確かにありました。

——そんなこの曲に、「約束」と題した理由についても教えていただけますか?

達瑯：歌詞を書きながら、これの肝になってる部分ってどこかな?って考えたら、〝やっぱこれだろうな〟って。

——Bメロ部分の、《約束さ》というフレーズからですね。

達瑯：そう。響きも良いし、シンプルだし。もちろん、意味合い的にも「約束」っていうのがハマりました。

——分かりました。では、カップリング曲たちについても伺っていこうかと思います。まず、「瓦礫の鳥」はSATOちくんの作曲作品となりますが、こちらはどんなヴィジョンのもとで作り出したものでしたか。

SATOち：イメージは、〝汚いオッサン〟でした（笑）。

——いやー、それは斬新ですねぇ（笑）。

SATOち：曲を出した時、リーダーに〝音的にはどっち方向なの?〟って言われたんで、その時は〝汚いオッサンで、なんか80年代っぽい感じ〟って言ったんですけど、そうしたらあの♪ドゥルドゥドゥ♪っていうギター・リフが出て来たんですよ。そこからまた、どんどん広がっていきましたね。

ミヤ：まぁ、凄い簡単に言うとハードロックなんですよ。でもね、洋楽じゃないんですよね。何だろう? イマイチ洋楽になりきれてない、日本のハードロック、みたいな（笑）。

——微妙かつ細かい設定ですね。

ミヤ：しかもこれ、メロ自体はけっこう〝和〟なんですよ。祭りの音楽みたいな要素が入ってるんで、その部分がハードロック的な音と融合すると、今度はまた演歌的なニュアンスなんかも出て来ちゃって（笑）、そこをさらに面白くするために、今回はサイケっぽいアプローチも取り入れてみたんです。

あの日に誓う“約束”とは——
“ムックの日”に放たれるニュー・シングル

喪失と別離。生きている以上、それらと全く出会わずに過ごしていくことは難しい。もちろん、出来れば遭遇しないに越したことはない。その反面で人はそれらを経験して初めて、大事な何かを知ることもある。6月9日に発表される、ムックのシングル『約束』は、そんなことにふと気付かせられる深い作品だ。滲む空の向こうにある、明日への約束。それが、いつか叶えられることを願って——

Photography : SHINJI TANAKA(Luz-p.o.)
Art direction & Design : T.O.MAMMOTH graphics
Hair & Make-up : DAISUKE"BOB"TANAKA(JET SPEEDeR)
Styling:MITSURU KUROSAWA(eight peace)
Interview : YUKI SUGIE

——結果的には、ずいぶんと〝いなたい〟音になりましたよね。これ、シャレが利いていてとってもカッコ良いと思います。

ミヤ：敢えて現代的ではないロック、っていうとこの面白さですよね。

——SATOちくんの、ペダルの踏みっぷりも激しいですし。

SATOち：はい、けっこう忙しく踏んでます。

YUKKE：これはベースも、弾いてて凄く楽しい曲でした。あのエンディングの感じとかも、けっこう良いんですよ。

——こちらの詞については、どんな事柄を軸に書いていったのですか。

達瑯：音が音なんで、ところどころ詞もアホっぽさが見え隠れするようにしたいと思ってたんですよ。で、使ったのがwikipediaのおまかせ表示（笑）。

——それをどう使ったのですか??

達瑯：Aメロに《穴の空いた心には〜》っていうとこがあるでしょ。で、後にその続く言葉として《ホニャララくらいが丁度いい》って俺は書きたかったんですよ。要するに、心に空いた穴を埋めるにはどのくらいのものが必要かな、っていうことなんだけど。

——そこで出てきた言葉が、この〝クロエリア〟なんですね。

達瑯：最初はね、だいたいリンゴくらいの大きさのモノで歌詞にハマる何かってないかな?って探してたんです。だけど、これが全然見つからなくってね。いよいよ困って、wikipediaのおまかせ表示を見てたら、全然知らない〝クロエリア〟っていう言葉が出てきて、意味は小惑星だっていうんですよ。〝これ、デカすぎて逆にアリだな〟ってなった（笑）。

——この曲はライヴでも映えそうです。

達瑯：歌詞書いてる段階で、ライヴでみんなで歌ってる図が完全に見えてましたからね。間違いないでしょう。

——もう1曲の「イソラ」は、詞・曲ともにミヤくんによるものですが、こち[illegible]

ミヤ：これは「約束」が表題曲に決まって、カップリングをどうするか?ってなった時に書き下ろした曲です。今までにない曲が欲しかったんで、空気感の面ではヒップホップとか、R&Bの手法なんかを取り込んだかたちです。具体的には、ワンコードの循環で作ってます。

——ホントですか? 全然そうは聴こえなかったです。

ミヤ：だとすれば、成功ですね。ワンコードでどこまで持ってけるか、っていうのを試したかったんですよ。

——では、歌詞の題材は何だったんですか?

ミヤ：これはサビに全て集約されてて、後はそれを広げていっただけです。シンプルなんだけど、内容的にはウダウダしてるとこもあるっていうか、なかなか気持ちの整理がつかない感じが出せれば良いかなと。あんまりデフォルメもしたくなかったんで、ただ思ってることを書いたっていうのに限りなく近いです。このタイトルの〝イソラ〟っていうのも、意味とかも分かんないでふと思い浮かんだ言葉でしたからね。

——つまり、語感に対するイメージだけでつけたタイトルだったと。

ミヤ：うん。後から、イタリア語で〝島〟っていう意味だっていうのは知りました。

——これ以外にも、今回のシングルの初回限定盤には「フリージア-Electro mix-」も収録されているそうですね。

ミヤ：これは単純に、最近リミックスとか凄い好きなんでやりました、っていうだけの話です。狙いとしては、暗い曲が明るくなっちゃうくらいのイジリ方はしてます。ただ、曲自体がしっかりしてるといくらイジってもそこまでは変わんないっていう側面もあるんで、そこもやってて面白かったですね。

——以上、計4曲の聴ける『約束』は、6月9日＝ムックの日に出ます。当然、当日にはまた何かあるのですよね?

達瑯：そこはねぇ、今まさにあれこれと画策中です。でも現段階では何も決まってないんですよ。だから、別に隠してるとかでもなく、ホントに未定です。

——密かに期待しております。

達瑯：とりあえず、〝何かしようと思っています〟。以上!ってとこかな（笑）。

vimee.net 慧美网
蝴蝶网 hudie.com

シド

最新シングル『レイン』6月2日ドロップアウト!!

優しい歩幅で

癒す傷跡

届きそうで

届かない距離

v慧美网
vimee.net

Interview:YUKI SUGIE

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网 hudie.com

"自分でも歌ってみたい！"
そういう気持ちになれるような曲になりました。

水無月の空から零れる涙雨。
その雨音に混じりながら叙情的に響く音があるのだとすれば、それはきっとこんな旋律をしているのだろう。
6月2日、シドが発表する『レイン』は、彼らが最も得意とする"聴き手の胸を打つ"作品へと仕上がった。やがて梅雨が明ければ、
7月31日には[SID Summer Festa 2010 〜SAITAMA SUPER LIVE〜]が行われる。ここは折々の季節感を楽しみたい。

SID

—この号が出る頃には既に終了しているのですが、今現在（取材時点）のシドはツアー［いちばん好きな場所 2010］の真っ最中となります。本日も、これから長崎に旅立たれるそうですけれど、皆さんここまでにはどんな手応えを得てきていらっしゃいますか。

マオ：ライブハウスツアーって、僕らとしては2年ぶりくらいなんですよ。やっぱ、熱さとか距離感の面でホールとはいろいろ違うなって思います。なんか、凄い新鮮な気持ちで廻れてますね。

明希：ほんと、ライブハウスってファンの反応が手に取るように分かるから、やっててリアルです。久々にライブハウスならではの熱気、っていうものを感じながらやれてます。

ゆうや：ただ、その反面で大変な部分っていうのもありますけどね。楽しいことを楽しく行う為には、それに伴う諸々の管理が必要になって来るというか。

—全23公演もありますしね。

ゆうや：なんか、今更かもしれないですけど、ここに来て"ツアーって大変なもんなんだな"って感じてるのは事実です。しかも、今回はセットリストも毎回おんなじって訳じゃないですからね。これだけ本数がある中でも、毎日ちゃんと新鮮な気持ちでやれるのはいいんですけど、中には若干忘れかけてる曲なんかもあったりするんで（苦笑）、そういう面でもけっこう大変なんです。

Shinji：今んとこ、トータルで66曲はやってることになるのかな？

—それは凄い！

Shinji：毎回全くライヴ内容が違うんで、今回はツアーが始まってからも沢山練習してるんですよ。ホテルの部屋で、（曲を）さらったりとか。こういう経験は、バンドやって来た中でも初めてです。

マオ：出る前のツアーリハでやってない曲を、その日の事前リハでいきなりやってみたりっていうこともありますから。

—凄いですね。いきなりでやれてしまうものなんですか？

明希：どうしても、昔の曲って最近の曲たちと比べるとやる機会が少ないんで、一瞬忘れてたりすることはあります。でも、そこをツアーしながらそれぞれ思い出してってる感じですかね。

ゆうや：バンド側にとっても、鍛えるっていう意味では、身になってる実感が相当ありますよ。今回はこういうやり方をして良かったなって、俺は思ってます。

—そうした中、今度6月2日にはニューシングル『レイン』が発表されますね。頂いたプレス向け資料には、"まさにシドの真骨頂！"というコピーも添えられていますし、今回はバンド側としてもシドとしての核部分を、あらためてみせておきたいという気持ちが強かったのでしょうか。

ゆうや：そうですね。今回はタイアップ（TVアニメ『鋼の錬金術師 FULLMETAL ALCHEMIST』OP）の話とかもありつつだったんですけど、そこにシドの色を濃く入れたいっていう気持ちはありました。

—シドは以前にも、『鋼の錬金術師 FULLMETAL ALCHEMIST』とはコラボしたことがありましたよね。

ゆうや：ほぼ1年前に、その時はエンディング（09年春発売『嘘』）をやらせてもらったんですよ。それで、当時そのタイアップっていうものの威力というか、破壊力の大きさっていうものを非常に強く感じまして。

—その件をきっかけに、初めてシドの存在を知ってくださった方も、随分といらっしゃったのかもしれません。

ゆうや：そこなんですよね。タイアップって、そういう可能性も持ってるものだからこそ、今回はよりシドらしさを入れた方が良いだろうなと思ったんです。

—その際、曲作りにあたって特に心がけたことはありましたか。

ゆうや：一番にあったのは、聴いた人がすんなり歌える曲っていうことかなぁ。だから、メロは覚えやすくしましたね。

マオ：って言ってますけど、この「レイン」って歌うと実はめっちゃ難しいんですけどねー。

ゆうや：そっか、さすがに"すんなり"ってワケには行かないか（苦笑）。えっと…じゃあ、聴いてて無性に歌いたくなる曲、っていう表現はどう？

マオ：あ、ソレいいね（笑）

ゆうや：なんていうか、これって聴いてて言葉がストレートに飛び込んでくるような曲になったと思うんですよね。そうなると、きっと聴いてくれてる皆も自然と歌いたくなるんじゃないかな、っていう気がするんです。

—そういう曲を作る為のコツや秘訣って、どんなところにあるのでしょうか。

ゆうや：そうだなぁ〜、僕カラオケが好きなんですよ。そういう、自分自身歌が好きっていう部分が、おそらく曲にも反映されてるんじゃないですか。

—余談にはなりますが、ゆうやさんの十八番というと？

ゆうや：ミスチルとか良く歌います。基本的に、バラードっぽいものの方が歌ってて気持ち良いんですよ。

—その姿は、メンバーの方々も目撃されたことはあります？

Shinji：あります、あります。

明希：皆聴いてますよ。

ゆうや：もう飽きるくら聴いてるよね？なんなら、途中で寝ちゃうくらい（笑）

マオ：まぁね（笑）。でも、これが歌けっこう上手なんです。

—では、この「レイン」にもそんなゆうやさんの歌心が存分に充填された、ということなのでしょうね。

ゆうや：うん、それは間違いなくありますね。自分でも歌ってみたい、っていう気持ちになれるような曲になりました。

—そこから、アレンジについてはどのように練って行かれたのですか。

ゆうや：ウチはいつも、デモを持ってくる段階で、自分なりに全体的なアレンジもして、仮歌も作曲者が歌って、っていう形にはなってるので、後はそこに各メンバーの視点から見ての補足を付け加えて精度を高めていく、っていう流れでした。

—Shinjiさんは、この「レイン」という曲に対して、ギタリストとしてどのようなアプローチを？

Shinji：まず、ゆうやから「水っぽくしたい」っていう話はされてたんで、そこをどう表現するかっていうことを考えながら、アレンジを組み立てて行きました。

—なるほど、レイン＝雨だけに「水っぽく」ですか。クリーントーンを使った音が入っているのは、その為だったと。

Shinji：どうしたら水っぽくなるんだろう…？って、15分くらいは悩んだんですよ（笑）。そしたら、最初に歪みのギターを入れちゃってたことに気が付いて、"これじゃなくて、クリーンでテーマ的なものを入れれば良いのか"ってなったんです。

—同時に、この曲の中ではアコースティックギターの醸し出す繊細な存在感も、見逃せない点だと思います。

Shinji：今回、アコギとエレキをユニゾンさせてるとこがけっこう多いんですよね。音的にはそこがなんとなく12弦（ギター）っぽい響きになってて、曲の雰囲気をより綺麗なものに出来て良かったです。

—また、ギターソロについてもこの曲でのShinjiさんは光るプレイをされていますよね。いわゆる、泣きのフレーズが凝縮されている印象です。

Shinji：あれはですね、何回か録り直しながらあそこに行き着きました。

ゆうや：そういえば、スタジオで何パターンか録ってたなぁ。

Shinji：結局、シドってたいがいの曲にソロがあるんで、普通に弾いちゃうと何か違うな、ってなりがちなんですね。それで、ついソロの入り口とかでヒネくれて弾いてしまうことも多いんですけど、それだとマニアックになり過ぎるというか、なかなかヒトの心をぎゅっと掴むのは難しかったりするんですよ。今回は、そこを何とかうまくまとめたかったんで、アレンジャーさんとも相談しつつ、入り口部分を変えたりして、ああいう泣きのフレーズに落ち着きました。

ゆうや：あれは、うまいこと曲にハマったよね。曲のイメージが、あのソロが入ることでより広がったと思います。

—一方、明希さんは「レイン」という楽曲を表現していく際、どんなことを大事にされましたか。

明希：シンプルさ、ですね。あんまり難しいことを詰め込むとかではなく、一本筋が通っているような力強い音にしたかったんですよ。

—明希さんらしいテイストが、曲を彩りましたよね。

明希：俺、別に細かいプレイもキライではないんですけど、それでもどっちかっていうと大胆に弾くことの方が多いんですよね。今回のも、曲のイメージがこれだけ繊細なんで、逆にベースの音はしっ

慧美网 vimee.net

SID

前に進んでく為には、何かを断ち切る事も必要なんだ。

かりさせて、骨格の部分で曲を支えたかったんです。

――そのヴィジョンは、音作りの段階でも活かされていましたか。

明希：はい、それはもう竿（ベース）選びの段階からずっと。ちょうど、この曲を録りだす前にいろんなベースを買ってたんで、それをいろいろ試したうえで、これが一番（曲に）合ってる、っていうのを使ってレコーディングしました。まさに、狙った通りの音になったんで良かったです。

――さて。作曲者でもあるゆうやさんの場合、ドラマーとしてはこの「レイン」をどのように料理されたのでしょう？

ゆうや：僕もですね、悲しい曲とか切ない曲ほど、力強い音で表現した方がよりその感情が伝わるような気がしているので、ドラムプレイに関してはそこを考えてやって行きました。男ならではの、秘めた情熱っていうんですか。そういうものを出せたら、より〝ぐっと〟来るんじゃないかなと。

――結果、「レイン」はとてもドラマティックな楽曲に仕上がりましたね。

ゆうや：そこはほんと、バランスだと思います。リズム隊はわりとしっかりしてるんだけど、そこでギターが水っぽいイメージを出してくれてて、マオの歌もあれだけ切なくて綺麗な感じになってるから、きっとここまで奥行きのある曲になったんでしょうね。

――奥行きといえば、この「レイン」については歌詞世界の奥深さも特徴的ですよね。これは、どんなことをきっかけに書き出したものだったのですか？

マオ：あらかじめ、ゆうやから何か言葉をもらったりっていうのは無かったんですけど、曲を聴いたときにイントロのあのギターの音が、僕も〝雨っぽいな〟って思ったんですよ。それに、この曲が出るのも6月だし、これはちょうど良いなと思ってテーマはそのままのイメージで雨にしました。

――四季には入りませんが、日本における梅雨というのは実に風情のあるものですしね。それをモチーフとしたとき、これだけ切なくて物憂げな詞世界が出てきたというのは、なんだか頷けます。

事とか多くしちゃうもんですからね。雨で、どうしても内にこもってる時間が長くなるせいなのかなぁ。

――ということは、この詞にはマオさんのリアルな感覚が入っているのかもしれません。内容的には、主人公が過去の恋愛を振り返るシーンが多く出てきますが、そういう部分も含めて自分自身に重なる部分はあります？

マオ：いや、個人的にはあんまり。かといって全く無いってことはないけど。

――これは、フィクションとしてのドラマ性をもった詞なのですね。

マオ：俺の詞は、わりとそういうのが多いんですよ。そういう内容を、俺らしい言葉で書くっていう感じで。

――美しい曲に、切ない歌詞。「レイン」の軸は、あくまでそこにあるのだと思います。ただ、少し見方を変えると、この歌詞からはある種〝男の弱さと狡さ〟も垣間見られるような気が。

マオ：あぁ…でも現実って、多分こういうケースけっこうあると思いますよ。確かに、そういうのってあんまり綺麗な話では無いのかもしれないけど、そのくらいリアルなものを、こういう綺麗な曲にのせて歌うことで初めて生まれる切なさ、っていうのもあると思うんですよ。

――夢見がちなだけの詞には、説得力が無いということなのですね？

マオ：それもあるし、それ以上にそういう詞は歌うの恥ずかしいんっすよ（苦笑）。いかにもウソっぽいなぁ、っていうことを歌うのはちょっとねぇ。自分の実体験そのままの歌詞ではないにしても、自分の価値観は常に歌の中に入れておきたいなって俺は思ってるんです。

――ゆうやさんは、作曲者としてこのような詞があがってきたとき、どんな印象を持たれました？

ゆうや：いやもう、とにかく素敵だなと。毎回マオくんの歌詞には感心するんですけど、これだけ鮮明に情景が浮かぶって、まるでドラマを観てるみたいだなって思います。

Ｓｈｉｎｊｉ：僕も、これが10代の頃とかだったら、普通に綺麗な感じでまとまった歌詞の方が良いと思ってたはずなんですけどね（笑）。だけど、今となってはこ

好きです。

明希：「レイン」はこのタイトルと、歌詞と、音がちゃんと繋がって、ひとつの世界が出来てるんですよ。

――タイトルといえば、今回この曲にカタカナ表記で「レイン」と冠した理由も教えて頂けますか。

マオ：「雨」とか「Rain」だと、どうもしっくり来なかったんです。それで、考えてたら〝カタカナの「レイン」って、あんまり見ないな〟って思って。

――言われてみれば、そうですねぇ。まして、今回の場合はタイアップの兼ね合いもありますし、TVのテロップで「レイン」と出ると非常に分かりやすくて良いのではないでしょうか。

マオ：ですよね。シドの「レイン」って、めちゃめちゃ凄い覚えやすい。

――TVで見かけたら即検索をして、そのままネット通販でCDを買う、という流れも期待出来るかと。

マオ：いいっすね、それ（笑）

――ところで、今回このシングルにはほかにもカップリング曲が収録されています。まず、「cut」は明希さんの作られた楽曲になりますね。

明希：これは、ライヴで盛り上がるような曲が作りたいな、と思ってた中で出来た曲でした。もともと、僕はこういうタイプの曲っていうのが凄く好きなんですよ。

――颯爽としたビート感が心地良いだけでなく、メロディも快活かつキャッチーですし、カップリングにしておくのがもったいないくらいの仕上がりです。

明希：メロは鍵盤で作ったときの、自分の手癖みたいなものがわりとそのまま出ちゃいました。あと、意識してたのは全体的なテンポ感とかテンション感っていうんですかね。聴いたときに、曲としての展開が早くて勢いが感じられるような曲にしたかったんですよ。

ゆうや：これは、録る時もライヴ感をいかに出せるかっていうとこがポイントでした。いかに元気よく走り切れるか、っていうところですよね。

Ｓｈｉｎｊｉ：僕がこだわったのは、音作りでした。そんなに歪み過ぎてても重たくなってしまうし、音的に古臭くなら

けながらやりました。

――それから、この「cut」の歌詞については、ここに今現在のシドの姿勢と意思が強く表されているように感じました。これを書くに至る背景には、具体的なことがあったのでしょう。

マオ：こっちの曲は、いわゆるカップリングなんですが、それでも伝えたいことはちゃんと伝えたかったんです。

――〈このフィールド　かき回してみたいんだ〉というフレーズは、中でもその意思が明確に表された一節ですよね。

マオ：やっぱね、思うんですよ、世の中には沢山のCDがあって、いろんなかたちで表現をしてる人たちがいるじゃないですか。もちろん、シドとしてはその中で誰にも負けたくないって思ってるわけですよ。アイドルにだって、R&Bの人にだって、俺たちは負けたくないんですよ。そういう昔からずっと変わらないで持ち続けてきてる気持ちと、ファンの皆に対する気持ち。その両方をここには込めました。このタイトルの「cut」っていうのも、ほんと今の気持ちの顕れなんですよ。

――つまり、今は何かを断ち切りたいという心境なのですね？

マオ：きっとそういうことです。そこまで深い意味は無いんだけど、純粋にもっと前に進んでく為には、何かを断ち切ることも必要なんだろうなっていう気持ちが、こういうかたちになりました。

――ならびに、このシングルには今ツアーでライヴ収録した「chapter 1 Live from［いちばん好きな場所 2010］」も入るそうですね。

マオ：3月11日に、Zepp Tokyoでやったカップル限定の時のライヴ音源が入ります。

――今夏、7月31日には「SID Summer Festa 2010～SAITAMA SUPER LIVE～」も控えてるそうですし、このテイクを聴いてシドのライヴへの期待感を高めて頂くのもまた一興かと思われます。

マオ：うん、そういう風に聴いてもらえると嬉しいっすね。ここからは、僕らもそこに向けて気持ちと力をより高めて行

蝴蝶网
hudie.com
慧美网
vimee.net

蝴蝶网
hudie.com

SHOXX START 20th Anniversary CONGRATULATIONS!

SHOXX 創刊20周年記念

SHOCK WAVE 2010

2010.4.29 @ JCB Hall

慧美网
vimee.net

20年を祝う宴、にぎにぎしく開催!

司会を務めていただいたのは、dunch(jealkb)と大島暁美女史!

たくさんのバンドマンたちから、今までに何度もこんな言葉を聞いたことがある。「自分も読んでいた『SHOXX』に載ることは、ひとつの夢でした」と。1990年の創刊から、実に20年。多くのアーティストとたちと共に歩み、育んできたその歴史に想いを馳せながら、今回は東京JCBホールにて行なわれた、創刊記念イベント[SHOCK WAVE 2010]の模様をお伝えしよう。

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI (SHOXX) Report:YUKI SUGIE

編集部セレクトによる、ミニ写真展も開催!

1.KAIROS
2.スカーレット
3.Cursed Hurricane

SCREW (Opening Act)

ク。このコンセプトのもと、本誌が創刊されたのは1990年秋のことだ。

以来、なんと20年。本誌は数あるロックマガジンの中でも、独自のアプローチと、絶対的ヴィジュアル主義を貫くことにより、超個性的音楽誌として長く人々に愛されてきた。

このたびは、そんな『SHOXX』の20th Anniversaryを祝う場として、長年恒例となってきた本誌主催のライヴ・イベントの拡大版、その名も[SHOCK WAVE 2010]がGW突入直後の4月29日、水道橋のJCBホールにて盛大に開催され、約三千人にものぼるオーディエンスが終結したのだった。

ちなみに、場内では開演前から編集長・鈴木"ぽっくん"邦昭氏の選曲で、X JAPAN、LUNA SEA、SHAZNA、Janne Da Arc…等々、これまで本誌を華麗に彩ってきたアーティストたちの楽曲が次々とSEとして流されて、そこからは『SHOXX』の紡いできた歴史というものを伺い知ることが出来た。

だがしかし、『SHOXX』のいちばんの本分は?と問うならば、それは間違いなく過去を振り返ること以上に、シーンの今をリアルに読者へと伝えてゆくことにほかならない。その意味も踏まえた上で、今イベントではメインアクトの他に、今まさに伸び盛りなオープニングアクトして、気鋭のSCREWが登場。

彼らはフロントマン・鋲を筆頭に、全員が白を基調とした衣装で現れると、ドライヴ・ロックチューン「KAIROS」や、最新シングル曲の「Cursed Hurricane」を堂々たる面持ちで[illegible]てみせた。新ベーシスト・ルイを迎えて間もないとあって、今はバンドとしてのグルーヴを再構築していく過程にあると思われるが、心機一転した彼らの前途はきっと明るい。

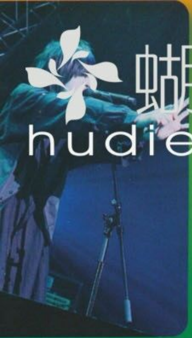
ところで、今イベントでは本誌連載"ロックンロール日記"でもおなじみの音楽ライター・大島暁美女史とjealkbのベーシストであるdunchが司会進行役として幕間を繋いでくれていたのだが、このdunchが[illegible]ファンだと公言してはばからないの[illegible]ていた。LM.C（なんでも、楽屋[illegible]は彼らと写

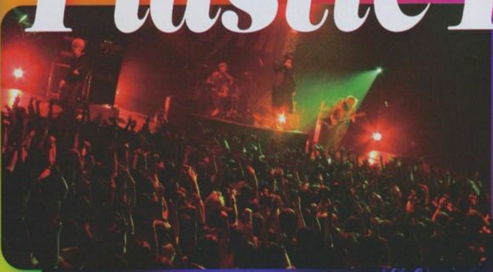
vhudie.com 蝴蝶网

蝴蝶网
hudie.com

Plastic Tree

1.うつせみ
2.梟
3.春咲センチメンタル
4.ダンスマカブラ
5.ヘイト・レッド、ディップ・イット
6.puppet talk
7.リプレイ





メったりしていたのだとか)。

つい数日前に海外遠征から帰国したばかりのLMCは、国内ツアーを前に欧州各国で重ねてきた経験値を発揮し、mayaとAijiの躍動感あふれるパフォーマンスと、カラフルなサウンドで、dunchの心のみならず、聴衆の心をも瞬時に奪取することとなった。

〝こういうイベントは楽しんだもん勝ちだからさ。みんなも楽しむ準備は出来てる? 別にノリとか分かんなくても適当に飛び跳ねてれば大丈夫なんで(笑)〟

そう。LMCのライヴには、基本的にウェルカム&ハッピーな空気しか漂わない。故に、仮に初見の人がいたとしても臆することはないのだ。この日について言えば、その傾向は最新アルバム『WONDERFUL WONDERHOLIC』収録の「EDO FUNK」にて特に顕著で、このとき場内は一気に無礼講モードのダンスフロアへと化した。

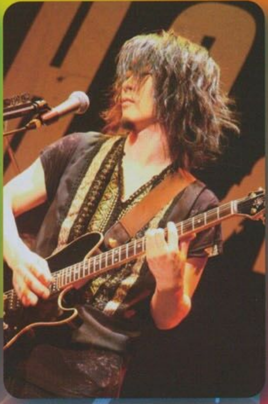
ツアー帰りといえば、この後のAlice Nineも負けてはいなかった。メニュー的にも、演奏的にも、この夜の彼らは約2週間前に終わった全国ツアー[幾何学ノ理]の余韻を残したライヴを展開していて、その様子からは彼らの逞しさや、ライヴバンドとしての熟成度合を感じることが出来た。

また、今や彼らの代表曲ともなりつつある「RAINBOWS」が演奏された際には、くだんのツアーで定着させてきたという Xジャンプならぬ〝Aジャンプ〟を聴衆に促し、一体感を場内に生み出していたことも、ここに付記しておきたい。

今後のAlice Nineは、8月にニュー・シングル『閃光』を発表し、その後は再び長期ツアーに出るという。そして、来年1月6日には初の日本武道館単独公演を行なうことが決定したそうだ。Alice Nineの、本気とプライドを懸けた戦いは、ここから激化していくことになる。

さて。いよいよイベントも佳境へと差し掛かってきたところで、この場をいっそう引っかき回しに来てくれたのは、ムック御一行。

やや懐かしい「流星」で、まずは爽やかに聴かせつつも、グラマラスなキラ

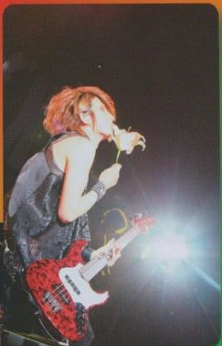


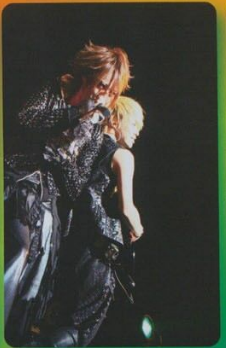
慧美网
vimee.net

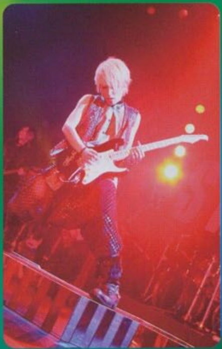
ムック

1.流星
2.ファズ
3.オズ
4.約束
5.謡声
6.名も無き夢
7.リブラ

1.the beautiful name
2.TSUBASA.
3.九龍-NINE HEADS RODEO SHOW-
4.ハイカラなる輪舞曲
5.RAINBOWS
6.RED CARPET GOING ON
7.春夏秋冬







Alice Nine

それぱかりか、6月9日（ムックの日！）にリリースの新曲「約束」まで、いち早くこの場で披露してくれたとあり、ムッカーたちは大喜び。

〝今日、ムック初めての人っていますか。ん？　見たとこゼロと。ってことは、ぶっちゃけ今日のイベントでいちばんオイシイのはSCREWですね（笑）〟

逹瑯ならではのウィットの利いたMCも相変わらずで、気付けば「名も無き夢」が演奏される頃には、客席フロアが数多くのダイバーたちによりごった返すという事態に突入。それでいて、最後には「リブラ」でじっくりと聴かせてシメるあたりも、鮮やかなことしきり。さすがの貫録、というものを我々は存分に味わうことが出来たのだった。

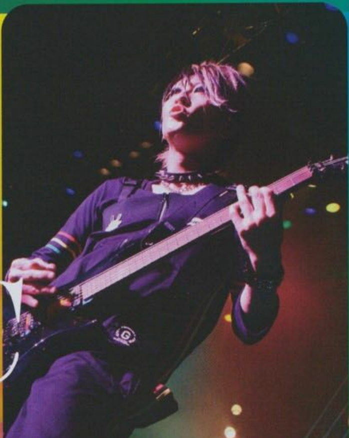
その一方で、〝トリに向いてないバンドですいません〟という、殊勝な発言と共にステージへ上がってきたのは、今回出演した計5組のうち本誌最古参となる、Plastic Tree。

もっとも、この期に及んでも常に低姿勢で、良い意味でエラそうな風格を持たない彼らには、あまりベテランだとか、大御所という類いの言葉は似合わない。

実際、ライヴを観ていても彼らの生み出す空気感には、この日もみずみずしさというものが滲んでいた。竜太朗のパントマイムを模した所作が曲の世界を拡張する「うつせみ」や、少しばかりの季節外れ感はあれど聴き手を惹き込んだ「春咲センチメンタル」をはじめとして、彼らの描き出す世界はこの日も唯一無二の存在感を感じさせた。

本誌20年の歴史を紐解いてみても、彼らくらい新鮮なまま長続きしているバンドには、他にお目にかかったことがない。そんな彼らの真髄は、8月13日に行なわれる日本武道館公演［テント②］でも、堪能できることだろう。

かくして、4時間半の長丁場となった[SHOCK WAVE 2010]は、幾多の名場面を残しながら盛況のうちに幕を閉じた。これからも[SHOCK WAVE]シリーズと、本誌『SHOXX』は、魅力的なたくさんのバンドたち、そして彼らを愛する読者と共に在る。



LM.C

1.GHOST † HEART
2.Space Wannabiez
3.FUNNY PHANTOM
4.Z-MAN
5.OH MY JULIET.
6.EDO FUNK
7.☆Rock the LM.C☆
8.PUNKY♥HEART

蝴蝶网
hudie.com
慧美网
vimee.net

蝴蝶网
hudie.com
慧美网
vimee.net

―おかげさまで、本誌は20周年を迎えることが出来ました。その中にあって、お二人は長きに渡り誌上で活躍して来ている重鎮ということで、今回は改めて対談をしていただこうかと。

竜太朗：ヤバいですね。いい加減、重鎮とか言われても否定できないとこまで来ちゃいました（笑）。

Aiji：特に太朗さんの場合は、ずっとおんなじ看板でやって来てるしね。俺なんかは新しい看板で始めてまだ3年だし、中には知らない人たちもいるかもしれないけど、さすがに『SHOXX』読んでて太朗さんのこと知らない人っていうのはいないでしょ（笑）。

―とはいえ、このお二人というのはほぼ"同期"ではないですか。しかも、いまだに現役かつシーンの最前線にいるという意味では、大変に貴重な存在なのではないかと思うのです。

Aiji：確かに、相当いなくなっちゃったよね。いまだに現役でやってて一緒に飲みに行けるのなんて、ディルの薫くんと太朗さんくらいですよ。

竜太朗：俺なんかは、すでに当時からほぼそんな感じだった気がするけど（苦笑）。東京に出てきた頃で言うと、cali≠gariとかムックとは交流あったんだけど、特に前の事務所ではAijiくんくらいでしたもん。ちゃんと喋ったり、飲みに行ったり、家を行き来したことがあったのって。それが今も続いてるっていうのは感慨深いです。

―貴重な関係性ですよね。

Aiji：我々もはや、絶滅寸前のトキみたいな存在なんっすかね（笑）。

竜太朗：あはは！（笑）

―ちなみに、前事務所に同じく所属して、互いに家を行き来するようになったという頃、この二人の間で共有する話題には、どんな事柄が多かったのですか？

Aiji：とりあえず、UKロックの話はよくしてましたよね。

竜太朗：うん、音楽の話は凄く多かった。聴いてる音楽が近かったみたいで、趣味も似てたから。近年なんかは、いろんな相談事なんかもしてますけど。

Aiji：そういえば、前に台湾で深い話したこともありましたよね。

―それって、2008年に台湾の野外フェスで共演した時の話ですか。

Aiji：そうそう、ホテルで部屋呑みしながら。

竜太朗：僕にとってのAijiくんは、大げさに言えば、同じ時代を共に生きてきた戦友みたいなものなんです（笑）。

Aiji：そうだね。やってきたこと自体は違うけど、同志みたいな。

―そもそも、この二人が絡むようになったキッカケは何だったのですか？

竜太朗：ウチのバンド、その前事務所にはイレギュラーなかたちで、変な時期に入ったんですね。Aijiくんのとこみたいに、インディーズの時から所属してたわけじゃなかったんですよ。

―いわば、感覚的には転校生的な雰囲気はあったかもしれません。

竜太朗：しかも、たまに事務所イベントとかあって打ち上げなんかに行くと、"あ、雑誌でよく見る！"っていうような人たちがダーッと揃ってるでしょ。そういう時、ふと見たらおんなじ空間にAijiくんがいて、"そういえば、前に対バンしたことあったよね？"っていうところから会話が始まったんです。

―対バンというのは、最初がいつどこでだったかは覚えています？

竜太朗：たぶん、GIOかナルシスですよ。

―なるほど。当時、市川クラブGIOと言えばプラのホームグラウンド、浦和ナルシスといえばAijiくんたちのホームグラウンドでしたものね。

Aiji：うわー、めちゃめちゃ懐かしい（笑）。そういえばさ、プラって何年やってるんだっけ。

竜太朗：ちゃんとライヴをやるようになったのは、94年とかかな。音源的には、最初の『Strange Fruits-奇妙な果実-』を出してから今年で15年。

Aiji：そっか。俺が前のバンド入ったのが95年の2月だから、対バンしてるとしたら、たぶんその95年あたりが最初だったんじゃないかなぁ。…っていうか、その頃からもう15年も経ってんの？　当時産まれた子、もう中学卒業しちゃったんじゃない？（笑）

―その頃に産まれた方が、今プラトゥリや、LMCのライヴに来ているケース

SHOCK WAVE *SPECIAL TALK SESSION*

SHOXXの創刊以来20年という歴史の中で、創刊初期から"ヴィジュアル・シーン"と言われる中で活躍し続け、今や本人たちですら"重鎮"という言葉を自覚しているという（笑）、竜太朗とAiji。20周年記念イベントにも出演していただいた二人ということで、当日の楽屋裏でスペシャル対談を敢行！　バンドは違えど、苦楽を共に時代を駆け抜けて来ている二人だからこそ語れるアレコレ。大爆笑の会話の中には、今後のシーンへの有難い言葉も隠されている…かも!?

Photography: SUSUMU MIYAWAKI(PROGRESS-M)　Hair & Make-up: KAOLU ASANUMA(Ryutaro),CHINATSU TABATA(Aiji)
Styling: MASATO HISHINUMA(Ryutaro)　Interview: YUKI SUGIE

もありそうですよね。

竜太朗：実際、ウチはたまに親子連れのお客さんもいるからね。握手会とか、お母さんと娘さんの二人で来てるパターンとかあるし。

Aiji：ホント？　そう考えると、シーンの流れも変わるはずだよね。だいたい、今みたいに海外でやるなんて、15年前じゃ考えられなかったじゃない？

竜太朗：うん。そこがいちばん変わったっていうか、全然予想できてなかったことだと思う。あと予想できてなかったっていう面では、自分がここまで音楽続けられるとも当時は全く思ってなかった。

Aiji：それはね、ぶっちゃけ俺も思う。あの頃の感覚で言えば、30過ぎてもメイクしてステージ立ってんのか？って考えたら、そこからして全く見えてなかったからなー。場合によっちゃ、カート・コバーンとかジミヘンとかジャニスみたいに27歳で死ぬんじゃねぇか、的な（笑）。

竜太朗：あー、それ分かる。ロックやってるからには…っていうのはどっかであった気がする。

Aiji：逆に、そうじゃないと伝説になれない！くらいな。

竜太朗：そうそう、そういうのに憧れてる自分が嫌いじゃないっていう側面もあったりして。ま、そこから27歳なんか普通に通りすぎちゃったけど（笑）。

Aiji：結果、何事もなく終わっちゃったよね（笑）。

―しかし、一方では継続していくことで作られていく伝説もありますよ？

Aiji：あぁ、それは確かにね。

竜太朗：僕らにしても、別に長く続けること自体を目的にしてはやって来てないんだけど、ここまで続いてきたら続いてきたで、今度はそこに意味を見出し始めてる、っていうのは事実としてあると思う。でも、基本はいつも目の前のことに必死なだけなんだよなぁ。

Aiji：たぶん、それでいいんじゃないかな。俺も絶対に長く永遠にとは思ってないし、かと言って太く短くとも思ってないけど、目の前のやりたいこととか、やらなきゃいけないこととか、それを続けてくことで、自然と未来って開けてくんじゃないかと思ってる。

―そんなお二人の眼から見て、先ほどの海外云々という件以外で、この15年の間にシーンが大きく変わった点は、どんなところだと思われますか。

Aiji：こんなこと言っていいのか分かんないけど、似た感じのバンドが増えたんじゃない？　昔はもっと、キャラにしても音楽性にしてもバラけてたよね。プラしかり俺たちしかり、先輩で言えばマリスミゼルにしても、みんなそれぞれの方向に濃かったでしょ。その時代を知ってる人間からすると、今ってなんかみんな一緒に見えちゃう。もっとも、これって大人がアイドルの見分けつかない、っていうのとおんなじなのかな（苦笑）。

―AKB48の区別がつかん！的な（笑）。

竜太朗：いや、でも分かるなー。もっと言うと、俺なんかは最近バンドマンと歌舞伎町のホストの看板の人たちの区別もつかないですもんね。ウチのナカちゃんなんて、前に『SHOXX』を見ながら"すげぇ男たちのカタログだな"って言ってたし（笑）。

Aiji：それ、凄い名言だね（笑）。

竜太朗：だけど、よくよく考えると見分け付かない人たち自体は、昔もけっこういたのかなって思います。だって、GIOとかナルシスにいっぱいいなかった？

"オマエら、何とかかんとかー!!"って叫んだ後、カンカンカン！ってカウントして、スタスタスタ〜ッ！って2ビートの曲やってるようなバンド。

Aiji：いたね。凄いいた（苦笑）。

―あとは、最近あまり見られない流れとして、当時はシーンの中にも地域性というのがありましたよね。名古屋系とか、新潟系とか姫路系とか。

竜太朗：大阪のバンドも独特なとこがいろいろありましたよね。言われてみると、そういう地域性のあるバンドって、今あんまりいないかも。

Aiji：やっぱりそこは、ネットの存在が大きいんじゃないですか。情報の伝達速度が上がったというか。地域性とかあんまり関係なく、みんなが"中央っぽい"感じになってるのかも。

―インターネットのここまでの普及もまた、15年前にはまだ起きていなかったことでしたね。

Aiji：ネットのインフラがこれだけ整ったっていうのは、ホント、デカいよね。もちろん、その反面でCDが売れなくなったり、雑誌が売れなくなったりっていう弊害が出てきてるのも事実だけど、それでもバンドにとっては簡単に情報を発信できるようになってる、っていうのはホント凄いことだと思いますよ。それこそ、我々が海外でやれるようになったっていうのも、まさにネットありきの話ですから。

竜太朗：そうだよね。特に、インディーズ・バンドにとっては、いかにお金をかけずに自分たちのことを知ってもらうか？って凄い大事なことだし。当時の俺たちなんて、まだ雑誌に載れるわけでもなく、ただコピーでビラ作ってライヴハウスの壁に貼るっていう、そのくらいしかやれることなかったですもん。

Aiji：昔は雑誌で見て興味持っても、CD買うまではどんな音のバンドなのか、全く分かんなかったもんね。そこも今はMyspaceとかですぐ試聴できちゃうから、便利な反面、そこで瞬時に判断されて買うには至らないっていうケースも多いんだと思うな。だから、そこにミラクルは起きないっすよね。

竜太朗：写真とかジャケットの雰囲気で気に入って、盤を買って聴いた時の"ホントにこれカッコ良い！"っていう、あの凄い奇跡に出会ったみたいな感覚。あれはもう久しく体験してないなぁ。

――利便性と合理性を引き換えにして、我々はロマンを少しばかり失ってしまったのでしょうか。

Aiji：作り手側の話に限って言えば、いろいろ便利になったことで真似がしやすくなったっていうのも、ひとつにはあると思いますけどね。たとえ才能がなくても、プロトゥールスとか使えばそれなりの音が出来ちゃったりとか（笑）。写真も、タッチ次第で何か雰囲気作れたりするでしょ。なんか見てると、すでに成功してるパターンをお手本として、そこに乗っかってくみたいなケースのほうが多いんじゃないかな。

竜太朗：そういうもんなのかなー。

Aiji：逆に、あんまり個性的すぎると受け入れられないんじゃないか、っていう恐怖感でも持ってるように見えるっていうか。でも、ホントにそうなら音楽

Plastic Tree 有村竜太朗 × Aiji LM.C

SHOCK WAVE
SPECIAL TALK SESSION

――さすが先輩。言い切りましたね。

Aiji：ただ、こんなこと言ってはいるけど（笑）、若手でも良いバンドがいるのは知ってるんですよ。太朗さんとも、たまに話すし。"我々も、若手のことちゃんと勉強したほうがいいよね"って。

竜太朗：僕も、このシーンっていうもの自体はやっぱり凄く好きだし。ずっとここでやって来た分、愛着もあるし。だから、たまに面白いなと思うバンドに出会うと刺激も受けるし、やっぱりこの世界も悪くないなって思えるんですよね。

――どこか特殊で歪んだ世界ではありますが、これほど音楽的にも、それ以外の部分でも、好き放題にやれるシーンはそうないはずですものね。

Aiji：そういうシーンを支えていくっていう意味でも、『SHOXX』さんにはこれからも頑張ってもらわないと。確実に、ひとつの文化を築き上げた雑誌でもあるしね。

竜太朗：今度は、次の創刊30周年を目指していって下さい。

――ではでは、今後とも末長くお願いします。共に歩いて行きましょう！

Aiji：っていうか、我々ちゃんと出してもらえるんっすか？そろそろ年齢制限とか大丈夫？（笑）

――大丈夫です。全く問題ありません。参考までに、読者アンケート葉書には、13歳の女の子が"可愛い"と書いていたそうですよ。

Aiji：さすが太朗さん、まだまだイケますなぁ！（笑）

竜太朗：…っていうことであれば、これからもシーンの中のトキとして（笑）、何とか生き抜いていこうと思います。

Aiji：それと同時に、我々だけじゃなく読者のみんなにも、このシーンを作っていってほしいと俺は思います。もしかしたら、みんなの中には"ヴィジュアル系が好き"とかって、なかなか大きな声で人に言えない子もいると思うんですよ。でも、俺はもっと自分の好きなものを信じていいと思うんだよね。もちろん、そういう子たちに対して、自信を持ってもらえるような音楽を我々が届けなきゃいけないっていう大前提はあるんだけど、みんなにも好きなものは好きって、もっと胸張ってほしいな。

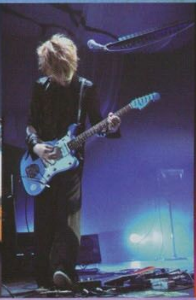
hudie.com
vimee.net

慧美网
vimee.net
蝴蝶网
hudie.com

Plastic Tree

Strange Fruits― 奇妙な果実 ― 15周年・追懐公演

2010.5.3 JCB HALL



**15年の時を経て、あの頃なった“奇妙な果実”は、Plastic Treeという名の大樹へ成長した。
今回のツアー［Strange Fruits-奇妙な果実-15周年・追懐公演］で、彼らが見せたものは、きっと未来へと繋がってゆく。
7月28日に発表されるシングル『ムーンライト――――。』、そして8月13日の日本武道館公演［テント②］も、
彼らにとって大事な枝葉となっていくはずだ。**

Photography:SAWAE HARA　Report:YUKI SUGIE

リューズを逆回転させるように、奏でられる音とともに記憶をたどりながら、15年分の時を遡ってみると。やがて邂逅することになったのは、出会いという名の奇跡に対する感謝の念だった。

あの頃からPlastic Treeのことを知っている人たちはもちろん、その頃にはまだ彼らのことを知らなかった人たちにとっても、今回の東名阪ツアー［Strange Fruits-奇妙な果実-15周年・追懐公演］が、貴重で大切な場となったことは言うまでもない。

長く伸びた樹の枝にも、張り巡らされた樹の根にも見える、どこか意味深なデザインのあしらわれたステージセットが組まれているのは、2010年現在の東京JCBホールであったが、ディジー・チェインソーの「Hope Your Dreams Come True」がSEとして流れ出すと、自然と意識は水道橋から黄色の総武線快速で連れられるが如く、千葉県は市川の駅前ビル地下へと飛ばされる。そう、今はなきクラブGIOと思しき光景が…そこには拡がっていた（ような気がした）。

ここから、伝説のミニ・アルバムを再現するかたちで、「サイコガーデン」を手始めに全6曲が演奏されていく間、感じていたのは何とも不思議な感覚だ。

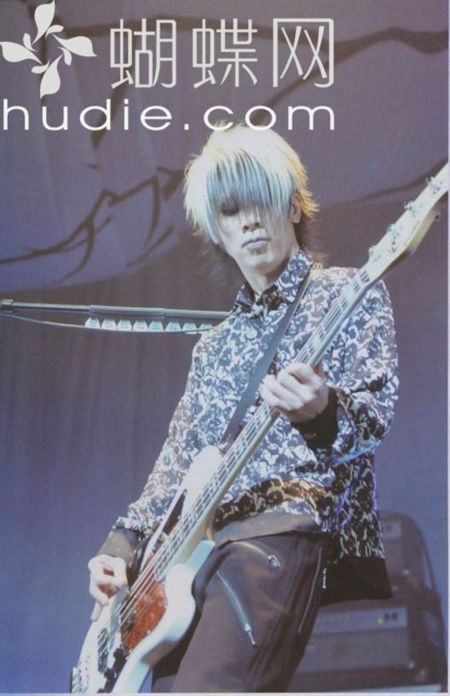
当時を意識してのことなのか、照明もかなり薄暗めで、楽器隊の楽器交換も一切なしに進んでいくライヴは、確かにやたらと懐かしい感覚に満ちていた。ハーフパンツにボーダーのソックスを合わせた正が頭を振りながらベースを弾いていたり、竜太朗がシルクハットをかぶって歌っている姿や、アキラが黒ブラウスを着てシャラシャラしたクリーントーンを鳴らしている様も、全てが懐古的で最高だ。ケンケンが、自分なりにPlastic Treeの過去と対峙している姿も実に微笑ましい。

だが、一方ではいわゆる思い出補正機能（過去は美化されやすいというアレ）をもってしても、〝あの頃〟が〝今〟を超えることはない、という事実にも筆者は直面してしまったのである。

つまり、簡潔に言うと〝あの頃だって凄く良かったけど、今こうやって聴くともっとイイじゃん!!〟と感じたわけだ。15年も経てば、それもそうだろう。バン

vimee.net
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com



たわわに実った“追懐”の果実——

【set list】
1.サイコガーデン
2.Twice
3.クリーム
4.Rusty
5.銀ノ針
6.アブストラクトマイライフ
7.1999
8.テトリス
9.眠れる森
10.ヘイト・レッド、ディップ・イット
11.cell
12.イロゴト
13.蒼い鳥
14.スライド
15.May Day
16.クローゼットチャイルド
<encore>
17.メイク
18.Ghost
19.エンジェルダスト

ト本体も、そこに属するメンバーも、もろもろ〝良くなって〟当たり前だ。

ところで。今回のライヴには、この後に予想外の展開が待っていた。なんと、彼らは『Strange Fruits-奇妙な果実-』の収録曲たちを全て演奏し終えた途端、さらっと退場してしまうことに。

けれども、これは要するにフリだったのだ。一瞬の間を置き、唐突に大音量で響き出したのは、朗らかすぎる「○子の部屋テーマ」。何が起こったのかと思いきや、ここでは演劇的演出を用いて、音声のみで『Strange Fruits-奇妙な果実-』をリリースした当時のドラマー・コポことShinのコメントが、しばし流された（ちなみに主な内容は、当時の思い出話とケンケンへのエール）。

そして、その後にはビリー・ホリディの「Strange Fruits」を来場者に聴かせるというオツな演出も挟まれ、さらには『ドナドナ』から『hide and seek』まで、歴代のアルバムを遡るかたちで、それぞれの作品から1曲ずつを演奏するという展開が待っていた。

名付けて、［続・Strange Fruits-奇妙な果実-15周年・追懐公演］。これにあたっては、事前に〝なにぶん、久々の演目です。多少の不安感はございますが、ご意見・ご感想等はお客様の心の中にしまっておいて下さい〟というシャレっ気たっぷりなことわりが入れられていたが、フタを開けてみれば内容は及第点以上どころか、満足度充分。ライティングもこちらは〝今〟っぽい雰囲気で、完全にリアルタイムなPlastic Tree像がそこにはあった。

なお、アンコールでは正いわくの〝裏メニュー〟として『Strange Fruits-奇妙な果実-』初回盤にのみ収録されていた幻のシークレット・ボーナストラック「メイク」や、ファンから人気の高い「エンジェルダスト」も演奏され、〝追懐〟の名にふさわしい一夜は、大いなる喝采を受けながら幕を閉じたのだった。

時期は違えど、それぞれに彼らとの出逢いを経て、わたしたちは今もこうしてPlastic Treeと時を共有している。その確かな事実に感謝しながら、これからもこの素敵な奇跡が続いてゆくことを、心の奥底から願いたい。

vimeo.net

蝴蝶网
hudie.com

LM.C

LIVE TOUR 2010 START!!
2010.5.4～5@SHIBUYA C.C.Lemon Hall

"素晴らしい世界"を作り上げる国内ツアー、スタート!!

旅はまだ続いている。Aijiが言うには、今年のLM.Cは当面ライヴ活動を軸とし、最新作『WONDERFUL WONDERHOLIC』の世界をより広げていきたい、と考えているのだそうだ。そんな彼らが5月4日と5日に、渋谷C.C.Lemonホールで国内ツアーをスタートさせた際の模様を、ここではお届けしたい。ハッピーでピースフルでワンダーな〈素晴らしい世界〉が、そこにはあった。

Report:YUKI SUGIE

〝ただいま〟と笑顔で帰れる場所があって、〝お帰り〟と優しく迎えてくれる存在がいる人は、とても幸せなのだと思う。もちろん、これはその立場を逆にしたとしてもまた然りだ。

アイスランドの火山噴火騒動に巻き込まれ、一部の公演がキャンセルになる事態にも見舞われたという、てんやわんやのワールドツアーから何とか無事に帰国したLM.Cが、このたびGWの真っ只中に、東京は渋谷のC.C.Lemonホールへと帰ってきた。

LM.Cの提示する〈素晴らしい世界〉を、驚異的ミラクルサウンドと天衣無縫な詞世界によって具現化したアルバム『WONDERFUL WONDERHOLIC』を、いよいよ国内で披露する時がやって来たのだ。しかも、今回のC.C.Lemonホール公演は、いきなりツアー初日にしての2デイズ設定。

それぞれの日によって、セットリスト的には多少の入れ替えはなされていたものの、基本的な雰囲気自体は両日とも共通していて、エキサイティングでダイナミックな「Space Wannabiez」や、今までにないクールな質感が光った「mosaique city」などを筆頭に、『WONDERFUL～』収録曲が全曲惜しげもなく披露されていく様は、観ていて小気味が良かった。

中でも、5人(?)のDENKI-MANズが登場し、文字通り音頭をとって場内が祭り会場となった「EDO FUNK」、mayaのゆったりした歌とスカビートが癒しの波動を生んでいた「Optimisland」、浮遊感のある音像の中でAijiのギター・ソロが秀逸に響いた「The Midnight Museum 4」あたりは、特に見応えも聴き応えもたっぷりで、アルバムの世界がここまでライヴで拡がるものなのか、と感心させられたほどだ。

と同時に、相変わらずサービス精神旺盛な彼らはMCでも大いに観客を沸かせていて(mayaいわく、〝LM.Cって Long MCの略なのかも〟とのこと／笑)、両日に渡り本編の端々に海外遠征の思い出話や、くだらないけれどもつい笑ってしまうような雑談が、ふんだんに盛り込まれていた次第だ。

一瞬だけ、mayaがいつになく真面目な面持ちでその口を開いた場面があった。それは、本編中盤で「pOlyLifE」を歌い終えた後のことである。

『ホントは、ここでは続けて曲に行くはずだったんだけど、喋りたいんでちょっといいですか。あのね、LM.CをAijiさんとやるってなった時から、ずっと思ってることがあって。それは最近改めて感じたことでもあるんだけど、我々にとって何がいちばん大切かって言ったら、とにかく我々が楽しいこと、我々が仲の良いことっていうとこに尽きるんですよ。(中略)だけど、もし今後なんかで自分たちの歩幅に合わないような活動をしようとして、無理なことをしようとしたり、そこで何か歪みが出た場合に、我々がもう会話もしない、寿司も一緒に食べに行かない、移動も別、楽屋も別、集合写真はソロカットを合わせて作りましょう、みたいなことになるくらいだったら、LM.Cなんてその瞬間になくなっちまえばいいと、本気でそう思ってます。結局、何が言いたいかっていうと、これからも我々はくっだらないことを素でやっていける関係で、ずっといられたらいいなっていうことです』

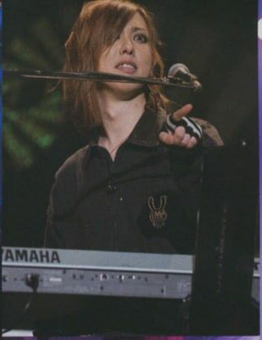
この言葉を受けた後、万感の想いを込めて歌われたのは「meteorion」だ。この詞は、昨年秋にmayaとAijiの2人で流星群を観に千葉の海ほたるへ行った時、mayaが感じたことを言葉にしたものなのだという。

今まで、LM.Cのライヴを観てきて楽しい気持ちにさせられたり、びっくりさせられることは多々あったが、この時に聴けた彼らの音は、紛れもなく感動を呼ぶものとして聴き手の胸に届いた。加えて、2日目のラストに位置していた「It's a Wonderful World」にも、彼らの素直な気持ちが目いっぱいにこもっていて、そこに居合わせた人々はもれなく、きっと温かな気持ちになれたのではないかと思う。

来る7月19日、彼らは再びこのステージに帰ってくるそうだ。その時にも、笑顔で〝お帰り〟と〝ただいま〟を言い合いながら、この場所へみんなで集まることが出来たなら…きっとそこにはもっと

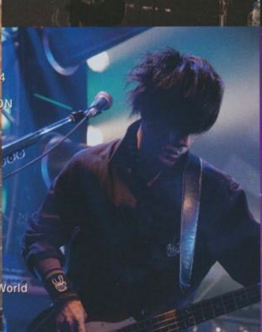
慧美网
vimee.net

蝴蝶网
hudie.com



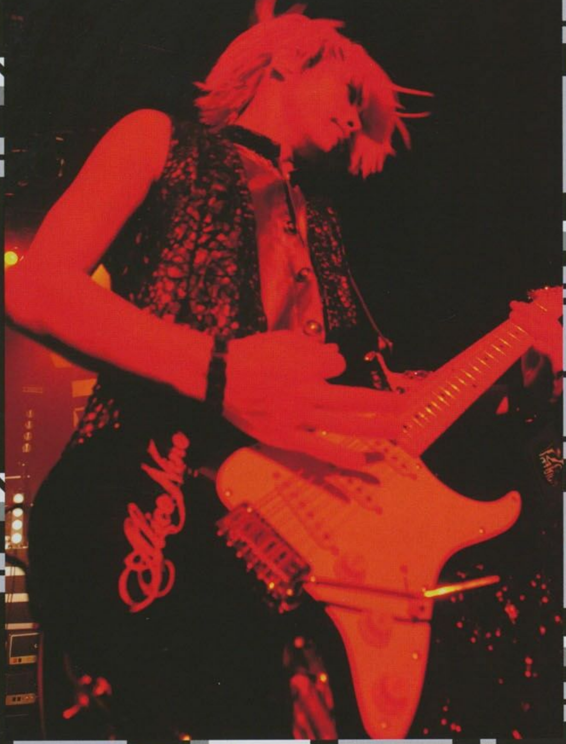
【0504set list】
SE ～A Sound Odyssey～
1.mosaïque city
2.Space Wannabiez
3.OH MY JULIET.
4.The Midnight Museum 4
5.DAYS
6.cosmology
7.CRAZY A GO GO
8.GHOST†HEART
9.Z-MAN
10.CHEMICAL KING-TWOON
11.EDO FUNK
12.Optimisland
13.88
14.僕らの未来。
15.pOlyLifE
16.meteorion
17.Tiny Circus
18.BOYS & GIRLS
19.It's a Wonderful Wonder World
20.☆Rock the LM.C☆
21.PUNKY♥HEART

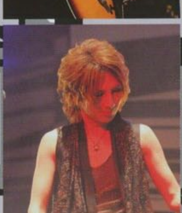
【0505set list】
SE No.9
1.GHOST†HEART
2.Space Wannabiez
3.JOKER
4.mosaïque city
5.The Midnight Museum 4
6.DAYS
7.CHEMICAL KING-TWOON
8.CRAZY A GO GO
9.METALLY
10.OH MY JULIET.
11.EDO FUNK
12.Optimisland
13.88
14.僕らの未来。
15.pOlyLifE
16.meteorion
17.PUNKY♥HEART
18.LIAR LIAR
19.little Fát Mán boy
20.☆Rock the LM.C☆
21.It's a Wonderful Wonder World
EC.BOYS & GIRLS

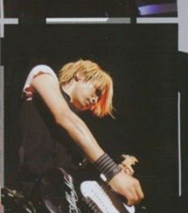


慧美网
vimee.net

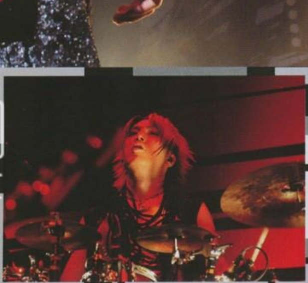
蝴蝶网
hudie.com







慧美网
vimee.net



蝴蝶网
hudie.com

Alice Nine

Alice Nine Tour 2010
幾何学ノ理

Live at Zepp Tokyo 2010.4.10

3月22日のCLUB CITTA'川崎から幕を開けた2010年の初ツアー『幾何学ノ理』。全国8カ所でのツアーは、Alice Nineにとって決して長いツアーではなかったが、彼らは、ファイナルのZEPP TOKYOのステージで、このツアーが確実に身のあるツアーだったことを証明してくれた。

昨年の8月23日に東京国際フォーラムでファイナルを迎えた前ツアーから約半年ぶりだったツアーで、彼等が掴んだモノとは――――？

Photography:MIWA OHYA／Report:NAOKO TAKEICHI

慧美网
vimee.net

【セットリスト】
1.華/2.ヴェルヴェット/
3.THE LAST EMPIRE/4.TSUBASA./
5.Q/6.Drella/7.Kiss twice,Kiss me deadly/
8.ハイカラなる輪舞曲/9.光環/
10.FANTASY/11.Bass&Drum Jam/
12.RAINBOWS/
13.RED CARPET GOING ON/
14.闇ニ散ル桜/
15.九龍-NINE HEADS RODEO SHOW-/
EN1.the beautiful name/EN2.華一匁/
EN3.閃光/EN4.極彩極色極道歌〈G3〉/
EN5.ブループラネット/EN6.春夏秋冬/
EN7.RAINBOWS

蝴蝶网
hudie.com

バンドという人生を選んだ者は、オーディエンスに直接音を届けているときが一番輝きを放つものなんだな——。

2010年4月11日ZEPP TOKYO。この日は、そんなことを改めて思い知らされた瞬間の連続だった。いかに、彼等がライヴというこの瞬間に普段から惜しみなく時間を費やし、この瞬間に全てを吐き出し、この瞬間に命をかけているのかを、このライヴで見せてもらった気がした。

〝ライヴレポート、期待してます!〟ライヴ直後の打ち上げで、目を輝かせた沙我に、そんな言葉を貰った。

〝了解!〟私は、彼の言葉に短く答えた。

いつ頃からだろうか? 彼らとは、ライヴレポートを通して会話が出来るようになったように感じている。

毎回、こうしてライヴ後に交わす短い会話と5人の表情から、その日のライヴの手応えをも感じ取れるようになってきたように思うのだ。届け手である彼らが、ステージから見る景色と、受け取り手である私たちが客席から見る景色は違う。それ故に、時に感じ方が違うときもある。が、しかし、文句無しに素晴しいと感じるライヴは、双方の感じ方が同じことが多いものだ。この日もそうだった。

ライヴを見ている最中からずっと、彼らがこのライヴに、しっかりとした手応えを感じているのが感じ取れたし、受け取り手のひとりである私も、1曲目に届けられた「華」のイントロを聴いた時点で、もう既にこの日のライヴが相当ヤバいライヴになる手応えを感じていたのだ。

5人は、自分たちに向けられた大きな歓声の渦の中心へ飛び込むように、最初の音を放った。SEからフェードインするように、4つ打ちの華やかな世界へと客席を導いていく。ループするディープなリフが、鮮やかに響き渡り、一気に、彼らの本質が露になるサビへと繋げられていく。この曲「華」は、激しさと鮮やかさとを共存させるAliceNineの軸と言える曲でもある。【構築のための破壊】という景色を見事に描き、全てを打ち砕こうとする攻撃性だけを意味するものではない、構築のために必要とされる破壊を意味した形を残した3rdアルバム『VANDALIZE』後、自ら、AliceNineというバンドが進むべき方向性を掴み取るため、相当悩んだという。そこで、彼等が出した1つの答えとして目指した場所が、【ポップなんだけど、アバンギャルドで、裏にはちゃんとロックの基盤がある音】だった。『VANDALIZE』から上に行くために必要だった、ロックだけど、普遍的でキャッチーなエッセンスを加えたモノ。その音こそが、この「華」である。

彼らはこの日、そこから「ヴェルヴェット」「THE LAST EMPIRE」へと音を繋げ、フロアを拳で埋め尽くした。ゾクゾクするほどのオープニングを越えるほどの、最高の流れを見せたのは中盤から後半にかけてである。「THE LAST EMPIRE」の後にMCを挟むと、彼等は間髪入れずに攻め入った。「Drella」「Kiss twice,Kiss me deadly」「ハイカラなる輪舞曲」で、ヘヴィかつ艶やかに攻めた後、沙我とNaoの確かなリズムセッションでAliceNineの音と基盤を見せつけ、後半戦の流れを確立し、「闇ニ散ル桜」「九龍-NINE HEADS RODEO SHOW-」で、この日のノリを確実なモノとし、本編を締めくくったのだったのだ。

そして——。

この日、彼等は私たちに最高のサプライズをくれた。それは、アンコール後のスクリーンに映し出された【2011年1月6日・日本武道館】の文字だった。目の前に大きく打ち出された【日本武道館】の文字に、集まったファンたちは歓喜の声を上げ、中には涙する者も居た。

〝一緒に目指す場所に行ける〟という想いが一気に込み上げてきたのだろう。

彼等は、そんなファンに対し、アンコールで自らがこの先進んでいく方向性を提示するかのように、新曲「閃光」を贈った。ド頭から、美しく重なり合う2本のギターが描き出す旋律がとても印象的なこの曲は、AliceNineにとっては新境地と言ってもいいだろう。素晴しくロックである。

少々余談を挟むが、私自身、歌謡曲は実にクオリティの高い楽曲構成だと思っている。が、私はそこにロックを感じない。それは、同期を取り入れ、バンドサウンドと融合させたバンドありきの音とは異なると思っているからだ。全編が同期に覆われ、バンド本来の音がかき消されてしまっているような、ロックとは呼べない歌謡曲的なバンドサウンドが指示されがちな今のロックシーンを少し残念に思う中、彼等が届けてくれたこの新曲は、そんなバンドシーンを斬るかのような、バンド力を感じるモノだった。私は、そんな彼等の新しい音に、音楽人としての意地を見た気がした。

〝よしっ!〟と拳を握った瞬間だった。これこそが、彼等からの答えだと感じた。〝売れる曲〟〝媚びる曲〟ではない、〝純粋にロックで、純粋にいい曲〟。今、彼等は、AliceNineというバンドが追求していくべき音を、徐々に掴みかけていると確信した。

ここからだ——。そう心から思った。

まちがいなく。彼らはこの日、日本武道館の文字に恥じることのないライヴをした。しかし、勝負は〝ここ〟からである。

ここに至るまで、彼らのライヴを見続けてきたが、彼らは大抵決まって、最高のライヴをした後にバランスを崩すことが多い。こんなことはあからさまに書くべきではないかもしれないが、これは、今後の彼等を期待するが故の言葉と受け止めてほしい。気負いからなのか、間隔を置いてしまうことでの感覚のズレであるのか、なんともそこは分析のつかないところであるのだが、彼らはそんな波をいくつか越えてここに立っている。ここから更に一歩上のステージへ進む底力はもう十分に付いたはずである。だからこそ、今、今こそが踏ん張り時なのだ。

この日、その底力を感じたからこそ、この言葉を敢えてここに記しているのかもしれない。この言葉は、彼等にとっては精神的重圧になるに違いない。しかし、今の彼等なら、この重圧を跳ね返すだけの力を持っている。これは私から彼等に贈る最高の餞の言葉と受け取ってもらいたい。そして。これこそが、この日のライヴに対する私の答えである。

AliceNineは、今、一歩先のまだ見ぬ世界へ大きく飛び立とうとしている。鳥が大空へと飛び立つ瞬間の姿が、今の彼等と重なり[illegible]

鳥は羽ばたくとき、精一杯翼を広げ、大きく風を取り込む。大きな深呼吸のような、そんな前触れを感じる——。

2011年1月6日・日本武道館。

まずは、此処に向けて突っ走ってほしい。その先に、今よりも相応しいAliceNineを待つ世界が広がっていることを信じて——。

慧美网
vimee.net

hudie.com

10th Anniversary

Kagrra

10周年を彩る第1弾シングル、

『月に斑雲　紫陽花に雨』完成

そぼ降る雨の中に咲く、淡い小花たちは時の移ろいとともに、きっとその色合いを変えていくだろう。梅雨の最中にあたる6月16日、Kagrra,はシングル『月に斑雲　紫陽花に雨』（つきにむらくも　はなにあめ）を発表する。10周年結成記念日となる6月3日に渋谷O-EASTで行なわれる［鬼咆］と、夏の全国ツアー［行脚　百鬼夜行～陰～］を前に、彼らの音がここから拡がり出す。

Photography:SUSUMU MIYAWAKI (PROGRESS-M)
Interview:YUKI SUGIE

慧美网
vimee.net

蝴蝶网
hudie.com

――6月16日に出るシングル『月に斑雲　紫陽花に雨』（つきにむらくも　はなにあめ）の表題曲は、梅雨の情景を映し出した美しい1曲に仕上がりました。すでに曲を作り出した当初から、季節感というのは意識されていたのでしょうか。

楓弥：まぁ、何となくはありました。最初は普通に鼻歌まじりにギターを弾きながら作ってたんですけど、そこにコードを付けてった段階で、ギターの音が季節感というより、なんか水っぽさというか、湿気感があるような雰囲気になってるような気がしてたんですよ。

――そこを土台に、曲全体を仕上げていく際にはどんなことを留意しました？

楓弥：今回は、かなりシンプルなかたちにまとめてます。どうしても、軸となる歌をとにかく活かしたくって。今年はちょうど結成10周年っていう節目でもあるし、後々まで残るような良い歌を作りたい、っていう気持ちが強かったんです。"Ｋａｇｒｒａ，の歌とはこういうものである"っていうひとつの提示が出来ればいいなって思ってましたね。

――白水くんの場合、ドラマーの立場からこの曲の中で重視したのは、どんなことだったでしょうか。

白水：今回は、いろんなタイプのドラムを試してからレコーディングに入ったん木製の深胴なスネアのほうがきっとハマるんじゃないかと思ってたんですよ。でも、実際に音を出してみたら、意外にもスティール・シェルのスネアのほうがこの曲には合ってて、それが自分的には新しい発見だったりしましたね。そういう意味では、今回みたいにあれこれ試してから録ると、ちゃんと細かいとこまで音にこだわれて良いなって思いました。

――決してドラムが前面に出ているタイプの曲ではないですが、合間・合間で聴こえて来る音がスッキリとしつつ鳴りも良くて、とても心地良いと感じました。

白水：レコーディングの時、真さんとも"隙間は大事にしたいよね"っていう話はしてたんです。今回は、隙間を見つけてはゴーストノート（隠し味的な音）を入れてくことによって、厚みを出すことが出来ました。こういう試みはちゃんとやったのは初めてだったんで、これはまた次に繋げていきたいです。

――では、女雅くんがこの曲においてこだわったのはどんなところでしたか。

女雅：フレージング、ですね。

――歌メロありきで、そこにうまく絡むフレージングが印象的ですよ。

女雅：さっきの白水の話ともかぶるんですけど、俺も合間にスッと出て行くようなプレイをしてるんですよね。歌メロに、っていうとこを狙ってるんです。それと、個人的にはサビがリフレインする最後のとこで、おなじみのハイポジションでちょっと派手に行くっていう部分も入れられたんで（笑）、ホント今回は凄く満足できました。

――それから、この曲にはＫａｇｒｒａ，ならではという要素として、おなじみの箏の音も取り入れられています。やはりこの曲の場合、情景を描き出すためにもこれはマストでした？

真：そうですね、箏はマストでした（笑）。

楓弥：特に、あのイントロなんかは箏が主役みたいなもんだよね。

真：今回は大変だったんですよ。レコーディングの直前に、今までレコーディングでずっと使ってた箏が割れちゃって、まずは箏探しからのスタートでした。今回は、お箏屋さんにもアドバイスをいただきながら、いちばん良い感じなのをお借りして録ったんですよ。

――しかし、お箏屋さんの思う"良い音"と、バンド・サウンドの中で使うことを前提とした真くんの思う"良い音"は、多少違ったりするのではないです？？

真：そうそう、そうなんです。明らかに違いました（苦笑）。しかも、前に使ってた箏はお師匠さんからもらった箏だったんで、すでに乾いてるのに柔らかい音

vimee.net

蝴蝶网
hudie.com

音が若いんですよ。だから、今回は結局普段ライヴで使ってるほうの箏を持ってきて、それで録りました。まぁ、そっちも音の調整は大変でしたけどね（笑）。

――箏って、繊細な楽器なのですね。

真：古い楽器だけに、融通が利かないんですよ。ちょっと前まで、東京ってけっこう寒かったじゃないですか。

――4月後半に雪が降りましたからね。

真：気温が低いと、それだけで音が縮こまって硬くなっちゃったりするんですよね。そのへんは、一応エアコンつけたりしつつ、なるべく良い状態に持っていって、後で少し加工もしたんで、結果的にはちゃんと全体の中で〝立つ〟音に出来たんで良かったです。

――その一方で、ギタリストとしてのアプローチはどのように？

真：あっきーの作ってきたデモの段階で、充分〝これいいなぁ〟って思ってたんで、あとはそこにプラスして自分だったらこう弾くな、っていう要素をちょっと足していったくらいです。あ、後からアコギは入れましたけど。

――このアコギがまた、曲に陰影をつけていて味わい深いのですよね。

真：これは最初から1本入ってたところに、もう1本入れちゃおうってなって、重ねて弾きました。

――レコーディングでアコギを弾く場合、どんな時にどちらが担当するという

楓弥：いや、基本的に特に決まりはなくて、その時のノリです（笑）。

真：特に、今回はちょうど同時に別の曲でもアコギを録ってたから、〝じゃあ、こっちも弾いちゃうか〟って、そんなノリでしたね（笑）。

――楓弥くんの場合、自分の曲でもあるということで、当初からヴィジョンははっきりしていたと思いますが、ギタリストとしてはこの曲とどう向き合っていきましたか。

楓弥：何度も言うようですけど、今回はホントに歌を大事にしてたので、全てはそこ基準で考えてました。だから、あんまりギターで主張するっていうよりも、ベーシックの部分は箏の音に添って弾いてるんですよ。途中、そこからちょっと展開していきつつ、ギター・ソロでは一気に聴き手を引っ張っていくところもあるんですけど、その全てをアタマで考えるというより、自然に出来たっていうのが今回の特徴でした。

――かくして、歌そのものを率直に伝えるためのオケが出来た時、一志くんはヴォーカリストとして、この曲といかなるスタンスで対峙しましたか。

一志：曲の持ってる独特の湿気感、詞の内容、それらをどれだけ声のトーンでも表せるか、っていうところに今回はいちばん気を遣いました。

――この「月に斑雲　紫陽花に雨」は、

後々まで残るような良い曲を作りたい

されていますし、詞そのものも味わい深い世界が綴られていますよね。

一志：実を言うと、内容的にはかなり観念的だし、難しいものなんですけどね。でも、それを文字面や耳触りの面では、綺麗にまとめてあるんです。

――バンドとしての節目に出る新曲、ということが影響しているのかもしれませんが…この詞の中で一志くんは、改めてアイデンティティの確認というものをしようとしていますよね。

一志：えぇ、はい。もっとも、それは今に始まったことではなく、僕が常に考え続けてることのひとつです。それに、矛盾とか葛藤っていうのは、きっと誰しも持ってるものだと思うんですよね。そのへんも含めて、この曲も聴いた人それぞれに解釈をしてもらえればと思います。

――それから、このシングルにはカップリングも2曲収録されていますので、ここからはそちらにも触れていきましょう。まず、「日ノ本」と書いて〝ひのもと〟と読むのは、真くんの曲ですね。

真：これはですね、しっかりと力強くて、他にはない雰囲気の曲が欲しかったんですよ。箏の使い方にしても、他ではメロディックな要素として入れることが多いんですけど、この曲ではちょっと新しいスタイルを試せました。

――そんな「日ノ本」の詞には、メッセージ性が込められている印象がありました

書いたのですか。

一志：これは、今いちばん言いたいことですね。根本的には、あんまり自分の意見を押し付けるような詞って書きたくないんですけど、これに限ってはむしろ出来ることなら押し付けたい！っていう詞になってます（笑）。日本人として忘れちゃいけないことがあるだろう、と。

――ゆえに、「日ノ本」なのですね。

一志：ただ、ここは誤解してもらうと困るんですけど、こういう内容とタイトルだからって、別に僕がどういう主義だとか、そういう話ではないですからね？

――ここに込められた真意は、曲をちゃんと聴いていただければ、みなさんにも分かってもらえると思います。

一志：曲としては、凄く率直で感情的で人間的なところを歌ってる曲でもあるんでね。これは、きっとライヴでも良い雰囲気を創れる曲になっていくんじゃないかと思います。

――反対に、「戯曲　華一匁」のほうは、やたらと密室的でずいぶんとネジれた雰囲気の曲ではありません？

楓弥：ネジれてますよね。それに、絶妙にダサかっこ良いというか。

真：ウチじゃなきゃ出来ない、〝濃い〟曲をやりたかったんですよ。しかも、シリアスっていうよりは、今っぽいコケティッシュな方向で。そしたら、こういう曲が出来ちゃいました（笑）。

な曲になったのではありません？

白水：おかげでこれは、叩いててよく分かんなくなるくらい手数が多くて、途中で死にそうになりました（笑）。

女雅：いやー、これはホント難しかった。僕、三連のリズムの曲って本来は大好きなんですけど、これはやってちょっとキライになっちゃいましたね（苦笑）。音もここまで歪ませて録ったのって、初めてでしたよ。っていう意味では、新しい自分と出会えた曲でもありますね。

――ちなみに、こちらは「戯曲　かごめ謡」に続く戯曲シリーズの第二弾になるのですよね？

一志：そうですね、はい。

――「戯曲　かごめ謡」もそうでしたが、〝戯曲〟シリーズは詞の内容が基本エロ縛りだったりするんですか？　これも、けっこうアダルティですよねぇ。

一志：えっ、別にそんなことはないですよ（笑）。純粋に、昔の日本の童謡をリアルに描くと実はこうなるよ、っていうだけの話です。

――この曲も含めて、今回のシングルに入っている曲たちは生でも早く聴いてみたいです。夏のツアー「行脚　百鬼夜行～陰～」がとても楽しみですよ。

一志：今年の夏は、例年にも増してハイペースな活動内容になりそうなんで、我々も楽しみですよ。ただ、やりたいことが多すぎて時間が足りないです（笑）。

慧美网
vimee.net

heidi.
義彦×ナオ

ちゃんと前に進めてるから

5月26日にリリースされる最新シングル『予感』から、
メジャーシーンに飛び立つheidi.。
新たなシーンへの旅立ちという追い風も加わり、
ますます勢いを感じる彼らだが、メンバー内の
意識はどのように変化してきているのだろうか？
今回は、ヴォーカルの義彦とメインコンポーザーであり
リーダーでもあるギターのナオに、
お互いのことを訊いてみた。

Photography:SHIGERU TOYAMA（starmine）
Hair & Make-up:KAORI KOYAMA（kurara system）
Styling:YOSHIAKI TAKAYAMA
Interview:NAOKO TAKEICHI

蝴蝶网
hudie.com
v慧美网
vimee.net

――最近では義彦くんも歌詞を書くことが多くなってきたけど、昔はずっとナオくんが歌詞を書いていたでしょ？　義彦くんが、歌詞を通してナオくんの変化に気づくことはある？

義彦：ありますね。ナオくんの歌詞は、軸がブレてなくて、自分だけの世界観をしっかりと持った人だっていうことを感じさせられるモノなんですよ。そう感じる中で、『イノセンス』（2008年4月リリース）のあたりから変化を感じるようになったんです。軸はブレてないんですけど…何だろ、言い回しが柔らかくなったというか、開けた印象を持ったというか。歌詞にそんな変化を感じるようになったんです。ね？

ナオ：あ、そう？（笑）

義彦：うん。歌詞だけじゃなく、曲も、広がる印象を受けるというか。光を感じる曲を書くことが多くなってきたから、自分の歌い方にも変化が出て来たなと。

――歌詞の変化を感じ始めた時期に、実際のナオくんに変化を感じたことは？

義彦：大人になったのか、柔らかくなったんじゃないかなと。受け入れるモノが多くなったというか。昔よりも、〝いいよ〟っていう雰囲気が強くなった。

――昔は頑な部分が多かったって感じ？

義彦：うん。自分の持っている信念みたいなモノを絶対に曲げたくない人だと思うんだけど、そこがちょっと広がったというか、〝こういうのもアリかな〟って思えるようになった気がするんですよね。許容範囲が広がった感じ。昔ほど頑固じゃなくなったのは確かだと思いますよ。もちろん、これはいい意味で。これは失礼な意味じゃないですからね。ね!?

ナオ：あはははは。大丈夫だよ、そんないちいち伺いながら話さなくても（笑）。

義彦：いや、だって、横にいる人のこと話すの、何か照れますよね（笑）。

――（笑）ナオくんは、義彦くんが感じたような変化を、自分でも感じる？

ナオ：そうですね。曲に関しては、結成当初にやっていた閉鎖的な感じは今も嫌いではないんですけど、だんだん広く大きく見られるようになってきたのは確かですよね。元々、誰もが共感する歌詞だったり、純粋にいい曲っていうのは好きだったりするんですけど、今、それがやっと出来るようになってきたって感じではあるんです。『イノセンス』の頃は、今思えば、そこに向かってる途中でもあって、まだ若干無理して、そこに向かっていた感があるように自分では思うんです。でも、今聴き返してみても、それはそれでありかなって思うんですけどね。

――『イノセンス』の頃は自分の中で若干背伸びしてる感があったということ？

ナオ：ですね。あのアルバムはあのアルバムで良く出来たものだとは思うんですけど、今思うと、そういう自分が見えるというか。自分的には、昔やってたバンドから軸にする部分は変わっていないし、変えるつもりもないんですよね。それしか出来ないし。でも今、何が変化かと言えば、コースケも桐も曲を書くし、よっしー（義彦）も詞書くし…っていうところが自分の変化にも繋がってるのかなって思いますけどね。他のメンバーが曲を作るようになって、周りがもっと見渡せるようになったと思うし、よっしーが言ったみたいに、〝これもアリかな〟って思えるようになったというかね。昔は、自分の中にないモノは受け入れる余裕を持っていなかったと思うんですけど、今は受け入れる余裕が出来たかなと。

――なるほどね。ナオくんから見て、義彦くんは出逢った時から変化してる？

ナオ：歌詞の中の変化といえば、よりよっしーらしさが出て来てるかな。最近すごく素直に自分を出せてる気がしますね。

――義彦くんが去年あたり、毎回ライヴ前に吐いてたって言ってた時期あったでしょ？　あの頃って、ナオくんから見て、義彦くんはどんな感じだった？

ナオ：ん～…結局、よっしー自身も何が原因だったかはっきりと解っていないまま、そこから抜け出したのもあって、いまだに俺もよっしーの深い部分を理解してあげられてないままなんですよ。俺、そうなったことがないから。まぁ、バンドやってたら、普通に生きてるよりもストレスも多いと思うんですよ。でも俺は、そういうのも含めて楽しめるタイプなんで、そういう風な状態になっちゃうのが解らなかったし、どうしてあげようもなかったというか。このままダメになっちゃうか、これを乗り越えて良くなるか、どっちかしかないと思ったんで。ちゃんと理解してあげられるように歩み寄って話そうと思って。やっぱ、よっしーもツラいと思うけど、チケットを買ってもらってライヴしてるわけだし、お客さんのことも考えないといけないからね。

“追いつく”じゃダメなんだ

――義彦

義彦と会うまでは、ダメかと思ってた

――ナオ

義彦：そう。俺があそこから抜け出せたのは、その、ナオくんの〝チケットを買ってもらってライヴしてるし、お客さんのことも考えないといけない〟っていう言葉も大きかったと思うんですよ。あの時期ね、ツアー中だったこともあって、自分自身、どうしたらいいか解らなくなってたんですよ。原因も解らないし。福岡だったかな？　ライヴ前だっけ、後だっけ…？

ナオ：…ん？　何のことだろ？

義彦：あははは。そうだよね（笑）。今から話すことが何なのか、俺にしか解らないからナオくんに聞いても解らないよね（笑）。ナオくんがライヴ終わってから、〝今日、よっしーの部屋行ってもいい？〟って言って、独りで俺の部屋に来てくれたんですよ。それで、〝何か抱え込んでる悩みとかあるの？　もし、吐き出してラクになるなら、俺に吐き出してみて〟って言ってくれて。俺的にその言葉が本当に嬉しかったんですよね。その時は、〝ヤル気はあるし、辞める気もないけど、自分でも原因が解らないから苦しい〟って言ったんだけど、本当にあの時のナオくんの言葉に救われたのは間違いないです。今思えば、早く3人に追いつかなくちゃっていうプレッシャーもあったと思うし、いろいろと重なってのことだと思うんですけどね。

――結成してから初めてのことだったの？　そうやって二人きりで話すの。

義彦：そうですね、本当に深刻に二人っきりで話すっていうのは初めてだったかも。あの時のね、ナオくんの〝バンドやってる限り、独りじゃないから〟っていう言葉はホント、嬉しかったですね。でもね、そんな二人きりでホテルの部屋で話すってのは初めてだったから、ナオくんに〝部屋行ってもいい？〟って言われた時、俺、マジでビビりましたからね。〝ヤル気ないなら辞めれば〟って言われちゃうのかな？　俺、ヤラれちゃうのかな？って。

ナオ：あははは。何だよそれ（笑）。

――あははは。怖いイメージがあるんだ。

義彦：そうなんですよ。最初に会った時の印象が印象だったんで…（笑）。

――最初の印象が印象って？　どんな印象だったのか義彦くんにしか解らないから言葉にしてもらわないと（笑）。

義彦：確かに（笑）。でも……どこまで言っていいのかな？

ナオ：え～!?　そんなに？（笑）

義彦：最初、俺、どつかれたんですよ！

ナオ：え？　いつ？　どついたことなんてないじゃん！（笑）。

義彦：覚えてない？（笑）　まだヴォーカルを探してる時期で、初めてスタジオに入った時、「街角慕情」って曲を歌ってって言われて2時間くらいで覚えてその場で歌ったんだけど、曲の中盤くらいで、音止めて、俺んとこ来て、胸のあたりを、ボンッってどついて、〝オマエ、ちゃんと歌えよ！〟ってやったの！

ナオ：あははは。そんなことした？　でもね、たぶん、したとしたら、〝コイツ、真剣に歌ったらもっと歌えるヤツだな〟って思ったからだと思うよ、絶対！（笑）

義彦：そうか！　そうだったんだ！

――…って、今!?（笑）　もう4年も前のことなのに（笑）。

義彦：確かに（笑）。けど、メンバーと敬語でしか話せない俺に対して、ずっと〝敬語じゃなくていいから〟って言い続けてくれてたのはナオくんだったんですよね。一緒にバンドやって、同じところを4人で目指してるんだから、敬語はやめようって。けど、そのどつかれた思い出があるんで、なかなか…（苦笑）。でも、俺なりに頑張ってはいたんですよ。まず、携帯番号の登録を〝ナオさん〟から〝ナオくん〟に変えてみたりとか。

ナオ：あははは。おっかしいな、よっしー（笑）。でもまぁ、確かに大事だよな（笑）。うん。そこ大事（笑）。

――ナオくんは、義彦くんが陥ったようなスランプは今までなかったの？　さっき、〝俺はストレスも含めて楽しめる人間だ〟って言ってたけど、落ち込んだりしない？

ナオ：ん～…最近は全くないですね。バンドもすごくいい状態にあると思うし、heidi.になってからは壁にぶち当たったりはないかな。さすがに、さっき話したよっしーのスランプの時は、ちょっと心配したけど、常にがむしゃらにやれてるし、ちゃんと前に進めてる気

vimee.net 慧美网
蝴蝶网 hudie.com

がしてるし、このタイミングでメジャーに行けたのも、新しいスタートだと思ってるし。ツラかったと言えば、heidi.を始める前に、ヴォーカルを探してた時がいちばんツラかったかも。本気で〝コイツだ!〟っていうヤツが見つからなくて、よっしーと会うまでは、もうダメかと思ってた。その頃は極致でしたね。円形脱毛症になるかっていうくらい、今までにない苦しみを感じてたっていうか。よっしーに会ってなかったら、バンド自体を諦めてたかもしれないっていうくらいツラかったから。それに、あのタイミングでよっしーと出逢えてなかったら、このバンド、なかったと思いますからね。

――環境の変化も大きいけど、ナオくんにとっては、義彦くんがヴォーカルであることの安心感も大きいってことだよね。

ナオ：ですね。そこは本当に大きいと思います。

義彦：今、メンバー全員、お互いがすごくいい関係が築けてると思うし、ナオくんは、ギタリストとしてリーダーとして、heidi.をしっかりと引っ張っていってくれる人だし、本当に頼りにしてるし、一緒に頑張っていける人だなって思えるし。新しい環境の中で、今、頑張り時だなって感じてますね。

――今後、お互いに望むモノはある?

ナオ：よっしーに望むモノ? いや、俺は別にないかな。これからも、ずっと歌ってもらえたら嬉しいなと思うし。この4人でずっと頑張っていけたらいいなと思ってるんで。結果は後からついて来るものなんで、とにかく今は前を向いて頑張っていきましょうと。メジャーという新しい環境の中で、新たにスタートを切ったし、これからもよろしくって感じですかね。

義彦：はい。いい意味で、ナオくんには変わらないでいてほしいなって思いますね。ナオくんの持つ独特の世界観こそがheidi.らしさだと思うし、そこをこれからも貫き通して、いい曲を書き続けてほしいですね。僕もいい歌を歌っていけるように頑張ります!(ナオを横目で見ながら)何かこういうインタビュー、恥ずかしいね(笑)。

蝴蝶网
hudie.com

慧美网
vmee.net

義彦×
eidi.

un SCAR NERVE

「Over the Edge'10@OSAKA」で遂に実現！！

一日限定だけでも本気で僕はやるつもりです!!

本誌203号に登場したun SCAR NERVE（アン・スカーナーヴ）という
バンドを覚えているだろうか。
昨年大晦日の『Over the Edge』に出演するバンドから選ばれた、
ジュイ（ヴィドール）、玲央（lynch.）、酒井洋明（12012）、愁（ギルガメッシュ）、
桐（heidi.）によるヴァーチャルバンドだったが
なんと5月23日、なんばHatchで行われる[illegible]その姿を現すことに！
一体どんなバンドになるのか[illegible]に話を訊いた。

Interview : MIYUKI MURAYAMA

vimee.net
蝴蝶网
hudie.com

ジュイ Personal Interview

――誌面上のヴァーチャルバンドとして生まれたわけですが、本当にライヴをすることになったんですね。

「このイベントが決まったときにセッションをやるってことで、そういう話が出たんです」

――どういうバンドになりそうですか。

「たくさん音楽聴いてる人が多いから、共通する部分はわりとあるんです。僕自身がプライベートで聴いてる音楽を、他の人も聴いてるんじゃないのかなって、各々のバンドのサウンドから思う部分があるんですね。だから、サウンド的には、バリバリ洋楽みたいな感じのをやったらカッコいいかなと思って。好きな音楽とか共通する部分があるので、どういう風になるのかすごく楽しみだし、本当はオリジナルをやりたかったんですけど」

――さすがにちょっとオリジナルは無理？

「各々の活動があるんで、コピーでということになったんですけど、本当はオリジナルがやりたかったですね。コピーなら、ヴィジュアル系の曲をやるよりも、洋楽のほうが絶対合ってると思うんです。そういうのを考えつつ、何をしようかなって」

――今（5月初旬）、考え中？

「今、考えてるのはミューズとか、ちょっと暗い感じのUKロック。でも、あのバンドは3ピースなんで、5人でやったらどうなるのかなとか思ったり。あとは、アメリカンでエモーショナルなロックで、ロストプロフェッツとかストーリー・オブ・ザ・イヤーとか。たぶん、皆絶対通ってるはずだと思うんですね。でもそれとかは、俺のヴォーカルスタイル的には違うんですよね。サウンドは好きなんですけど、そういう風になろうとは思ってないんですよ。だから、ああいうアングラな暗い世界観の中に僕のヴォーカルが乗って、シャウトをするんじゃなくて歌い上げたら、面白いものが出来るかなって。ある程度、皆を活かせるような楽曲を選びたいなって思っちゃったんですね」

――各々の個性が出せるものにしようと。

「それでいろいろ曲を迷うんですけど。自分主体で、自分がこの歌を歌いたいからやりますと言って成り立つようなメンバーじゃないと思うんですね。この人はこういう音を出すってわかってる部分があるんで、それを引き出しつつ、自分も歌いたいんです」

――ヴィジュアル系の有名な曲をやって皆で盛り上がるんじゃなくて、5人に合った曲をやろうと。

「1曲ぐらいはサービスしようかなとは思ってるんですけど（苦笑）。ちょっとコアな感じのをやれたらいいなと思いますね。セッションでも、自分のお客さんも観てるわけだし、ちゃんとしないといけないっていう気持ちはあるんで。これなら盛り上がるっていう曲をするのもサービスとしてはいいと思うんですけど、そんなことをしても面白くないし、やりがいもないし。だったら、こういう曲もあるんだよって皆に聴かせたいと思うんで。この日限定ですけど、本気で僕はやるつもりではいるんです。このバンド、こういう魅力がありますよっていうのが伝えられるのがいいかなと思って」

――かなり真剣ですね。

「セッションだからって、手は抜かないんで。セッションだからこそ、一緒にやる人達にしょぼいと思われたくもないし。真剣にセッションしようかなと」

――これまでもセッションすることはあったと思うんですけど。

「バースデーイベントとかではやったりしてますね。そのときは演歌やったり、

祭りっていう感じのセッションですけど、何かこのセッションは、そういう風な感じでもないなって」

――それは、このメンバーだから？

「そうですね。各々の色をちゃんと出して、自分らのお客さんにも皆を見てほしいし、他のバンドのお客さんにも俺を見てほしい。そこが一番強いですかね。その場を楽しく、はい終わりました、っていう感じじゃないんです」

――自分で選んだメンバーじゃないにも関わらず、かなり強い想いが生まれてるみたいですね。

「面子を見たとき、面白いなって思ったんで」

――楽しみになって来ました。最後に、イベントに向けての意気込みを。

「もちろん一番カッコいいところを見せるつもりで頑張ります」

ヴィドール

TOUR 2010 “Real Monadism” FINAL!!

2010.5.2 AKASAKA BLITZ

ヴィドールの本質を再確認させた ツアー・ファイナル

アルバム『Monad』を引っ提げた全国ツアー『Real Monadism』を、赤坂BLITZ 2デイズでファイナルを迎えたヴィドール。その2日目、5月2日のライヴは、まさにファイナルらしい充実の内容だった。数え切れないほどのライヴを重ねて来た彼らにとっても、ツアーで得るものは大きいのだということを、ツアー初日とこのファイナルに足を運び、改めて実感した。こうした活動を続けることで、まだまだ彼らは成長していくのだろう。

Photography:SAWAE HARA(5/1)　Report:MIYUKI MURAYAMA

慧美网
yimee.net
蝴蝶网
hudie.com

妖しげなSEに、真っ赤な照明。そこへメンバーを迎え入れる歓声が響く。不穏な空気が漂う中、重々しく「Darwinism」が始まった。緊迫感に包まれながらジュイが歌い上げる声の印象は、極めてシリアス。オーディエンスを一気に自分たちの世界へ引き込むようなオープニングとなった。闇の中、揺れ動く頭がぼんやりと見え、「Eirene」でそれらは激しく動き出す。続いて「Blue star」が軽快に流れ出し、合わせて軽やかに動くジュイの調子も良さそう。いいライヴになりそうな予感がする。

〝会いたかったぜ、東京！〟の第一声を挟んで、「リマインドストーリー2～初恋～」へ。爽やかで甘い歌を聴かせる。笑顔を浮かべ、オーディエンスを見つめるラメ。力の入ったプレイをしながらも、各々この空間を楽しんでいる様子が、そこかしこから伝わって来た。

「nevaeH」で一層[illegible]をむき出しにし、ステージに挑[illegible]楽しみながらも、ツアー・ファイナルに賭ける熱い想いも伝わって来る。全員でリズムに乗ってジャンプし、躍動するような「焔恋」…ファイナルに集まったオーディエンスもまた、イヤでも気合いが高まるようだ。荒々しく叫んだ「Nausea」でオーディエンスのヘド[illegible]と、特効のCO2が彩る。攻め立てるようなビートが、パワフルさを増していった。そこからドラマティックな世界を描き出した「Lost voice」。一語一語丁寧に、そして激しく歌うジュイの声の豊かさ、力強さに圧倒される。けれども、「IKAROS」で煽られたオーディエンスも、負けてはいない。

ここで、ステージにジュイとテロが残る。中央に引き出されたピアノの前に座るテロと、傍らに立つジュイ。今回のツアーでは、毎回中盤にピアノでのバラードを聴かせて来た。ファイナルで選ばれた曲は、「十年後の今日此処で…」。10年という長い年月を超える想いが、ピアノの音と共に一言一言リアルに届いて来る。想いのたけが込められた歌声の豊かさに、ジュイのヴォーカリストとしての能力の高さを改めて目の当たりにする。テロも落ち着いた様子でピアノを奏で、ツアーで繰り返して来た成果が感じられた。観客はじっと耳を傾けて聴き入り、静かな中に熱い集中力を秘めているよう。

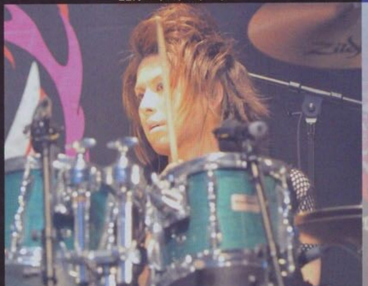
再び5人が揃い、後半戦は「EVE」でスタート。的確で過不足のないプレイの中、特に黙々と刻んで前へサウンドを押し進めていくようなベースのリズムが心地いい。あくまで歌は切なく、その想いは、「Dreamboat」、「Lib[lo] ve」へと続いていく。〝笑顔で君らしく聴いて下さい〟という優しい言葉に続いた「Focus」は、歌詞のメッセージどおり、笑顔が溢れているかのように辺りが光り輝いた。

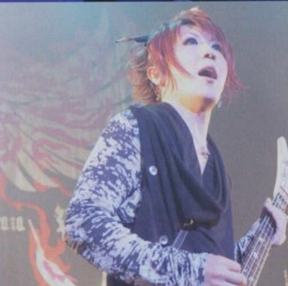
〝さぁ、ブリッツ！ もっとひとつになろうぜ！〟といよいよライヴもラストスパート。同時に、ツアーの締め括りに向けて気合いもますます漲っていく。「Tree」では、元気にジャンプするオーディエンスに対し、フロント4人も大きく動く。動けないテロも、後方から精いっぱいのアピールで存在感を示している。さらに一気に荒々しい空気に包まれた「新聞マスコミ関係者の方へ…」から、最後は「ゴシカロイド」。ジュイが激しく頭を振り乱し、もちろんオーディエンスもヘドバンで応える。熱気が広い会場に広がり、さらにシャウトとオーディエンスの叫び声が重なる。濃密な空気が満ちる中、本編は終了。

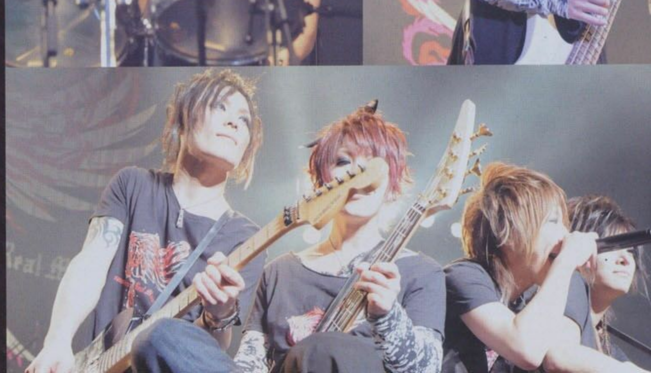
アンコールを求める強い声に応え、ダブル・アンコールでは、まず一人ひとりマイクを手に声を届ける。ツアーの楽しかった様子が伝わって来るような内容に笑顔がこぼれた。そして最後は、ここぞとばかりに「ワイセツ人形」。ファイナルらしいハチャメチャな空気の中、シュンがダイブ、さらにジュイも続く。ギルも大暴れし、大はしゃぎ。荒々しく乱れ、熱くなった空気に、「人魚」が美しく爽やかに流れ出す。イキイキと表情を輝かせるメンバー。ツアーの成功を祝う、明るい締め括りとなった。

終演のアナウンスが流れても、アンコールを求める声は止まない。すると、なんともう一度メンバーが登場！ 予想外の3度目のアンコールは「リマインドストーリー」。煌々と照らされる照明の下、幸せな気分に包まれて、全て終了した。〝ありがとう！〟というジュイの心からの叫びには、納得のいく形でツアーを終えられた喜びと達成感で溢れていた。

【set list】
1.Darwinism
2.Eirene
3.Blue star
4.リマインドストーリー2 ～初恋～
5.nevaeH
6.焔恋～Long amour de la distance～
7.Nausea
8.Lost voice
9.IKAROS
10.十年後の今日此処で…（Pfコーナー）
11.EVE
12.Dreamboat
13.Lib[lo]ve
14.Focus
15.Tree
16.新聞マスコミ関係者の方へ…
17.ゴシカロイド
<encore Ⅰ>
18.Puzzle ring
19.シャットダウン
<encore Ⅱ>
20.ワイセツ人形
21.人魚
<encore Ⅲ>
22.リマインドストーリー







蝴蝶网
hudie.com
慧美网
vimee.net

D'ESPAIRSRAY

LIVE SHOW CASE［LOVE IS DEAD］

Live at 渋谷O-EAST 2010.4.24

蝴蝶网
hudie.com

ずっと求めていたものが、そこに。
シングル『LOVE IS DEAD』の発売と連動するかたちで、
D'espairsRayが渋谷O-Eastにて行った
[LIVE SHOW CASE "LOVE IS DEAD"]は、
4月23～24日の両日間にわたり、集ったマニアたちが
狂喜乱舞する充実のライヴとあいなった。
ここでは、その最終日公演について触れてみたいと思う。
もたらされしものは、強き光明なり──。

Interview:YUKI SUGIE

思うこと、感じたことは数あれど、それらをざっくりと集約して行き着いたのは、結局〝そうそう、ディスパのライヴはこうでなくっちゃ！〟という、再確認的な気持ちだ。

単刀直入なかたちで、ライヴタイトルにもその名が冠せられているだけあり、当日のオープニングを飾ったのは、ほかでもない最新シングル曲「LOVE IS DEAD」だった。TSUKASAの刻む頼もしい4つ打ちビートを基盤に、バンドとしての新機軸的な発想と、クラブミュージックの艶やかな香りを融合させたこの曲を、彼らは音源で聴かせてくれていた以上の完成度で、よりグラマラスに聴かせてくれていた。我々にしてみれば、テーブルについた途端、いきなりメインディッシュがサーヴされたも同然な始まり方ではあったものの、この夜の晩餐はメインに次ぐメインがあれもこれもと出て来る大変に贅沢な内容となっていたので、ここから先にも見どころ・聴きどころは幾つも用意されていた次第である。

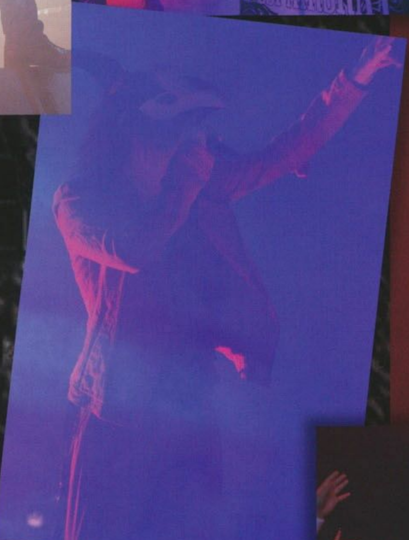
たとえば。本編の前半あたりで聴けた「Infection」における、あの濃密で神秘的な音の渦には、思わず瞑想でもしたくなるほど聴き入ってしまったほどだ(特に、ZEROのフィンガリングベースが絶品!)。今やキャッチーな楽曲も得意とするようになった反面で、相変わらずあれだけのディープな精神世界を具現化出来るところは、彼らにとっての明らかなる強みのはず。その変わらぬ三つ子の魂は、D'espairsRayが何時までもD'espairsRayたらしめている、何よりの重要ファクターにほかならない。

かと思えば、本編中盤で演奏された「GOING ON」では、マニアたちがこぞって飛び跳ね、勢い良く拳を振り上げる光景が繰り広げられもして、前述の要素とは全くの逆ベクトルを持った、〝快活なロックチューン〟をも彼らは体現してみせた。根本的には完璧主義で神経質なところのあるKaryuが、いたずらっぽいギター小僧と化して、思いきりハジけている姿に何とも言えない微

慧美网
vimeo.net

蝴蝶网
hudie.com

【セットリスト】
1. LOVE IS DEAD
2. Angeldust
3. REDEEMER
4. Infection
5. DAMNED
6. Lizard
7. PIG
8. GOING ON !
9. Lost in re:birth
10. 新曲
11. MASQUERADE
12. WEDICINE
13. Squall
14. SCREEN（Single ver.）
15 HORIZON
16. Bullet
17. MIRROR
18. Garnet
EN1. CROSSED ARROWS
EN2. BORN
EN3. 「浮遊した理想」
EN4. KAMIKAZE
EN5. Cocoon



慧美网
vimee.net

そして。この夜のライヴにおける最大のクライマクスポイントは…本編後半に差し掛かったところで、幾分不意に訪れた。なんと、ここでは楽器隊は一旦袖へとはけてHIZUMIだけがステージ上に残り、ひとりバックトラックが響く中、鬼気迫る表情で「SCREEN」を歌い出したのだ。彼が今、この歌をこの場で敢えてひとりで歌い上げたかった理由。それは、ここ1年ほどの経過を知るマニアの方々ならば、おそらく誰もがお分かりであったことだろう。さらに、ここで聴けたHIZUMIの力強い歌声を聴いた時には、ある種の安堵と感動を覚えた方も多かったのではなかろうか。

つまり、「SCREEN」の詞の内容になぞらえるなら、HIZUMIはここに来てようやく〝光〟を取り戻したのだ。事実、今回のライヴにおけるHIZUMIの咽は、ここ半年のことを振り返れば間違いなくベストコンディションであったと言い切れる。

TSUKASA、ZERO、Karyu、HIZUMI。4人それぞれがイーめて、D'espairsRayはその本領を発揮するという、当たり前のようでいて実は奇跡的なその現象。それこそが、今回のライヴの背景にはあった。

〝やっべ、今日まじ楽しい！ オマエらほんと、どうしてやろう?? 楽し過ぎて、もう他のメンバーも皆してうきゃうきゃですよ（笑）。もっと楽しんでくぞ!!〟

アンコールにて、HIZUMIが満面の笑顔からも、この日のライヴが如何なるものであったかは明白だ。

なお、現在D'espairsRayは絶賛アルバム・レコーディング中（今回のライヴでは、まだタイトルもない新曲が1曲披露された）であり、それが終わった8月からはUSツアー、9月には結成日の9日に渋谷AX公演を行い、その後にはEUツアーも行うのだとか。もちろん、10月からは待望の国内ツアーも決定しているそうだ。

見事リカバリーを完了し、バンドとしてさらにビルドアップされたD'espairsRayのとめどない猛攻が、今ここから始まる！

（問）Sword Records　〒107-0062　東京都港区南青山1-10-3　橋本ビル2F
TEL：03-5413-7026（平日14：00～18：00）

7th ANNIVERSARY TOUR 「7th Rose」FINAL

2010.4.25 SHINAGAWA STELLAR BALL

ただ楽しいだけじゃ、Dという薔薇は守りきれない——

最新アルバムを引っ提げての7thANNIVERSARY TOUR「7th Rose」のツアー・ファイナル。ラストに予想外のアンコールとして「7thRose」を歌う前に、ASAGIは印象的な言葉を発した。"原点回帰"というテーマを掲げて臨んだアルバム制作と、それに付随した全国ツアーにて、彼らが提示し、掴んだものは何であったのか。真価を見せたファイナル公演の模様をレポートする。

Photography:TAKAAKI HENMI / Report:KYOSUKE TSUCHIYA

結成から7年を迎えたDが〈春〉にリリースした『7th Rose』は、〈原点回帰〉を掲げて制作されたアルバムだった。ただ、これまでの活動の中で彼らが原点から離れたことは一度もない。では、それが何を意味していたのかと言えば、ASAGIは2005年発表の第一作『[illegible]name of the Rose』のような[illegible]メージのアルバム〟であること、[illegible]な楽曲を打ち出してきた中で、本質的なDのカッコよさをより追究〟することの二点を挙げていた。

一つの作品としてのコンセプトを明確に打ち出し、なおかつ新たなフィールドへも踏み出す。つまり、結成以来、Dが邁進してきたことを、現在の視点でそのまま体現することに他ならなかったのだ。実際に『7th Rose』に触れてみれば、意図は明確に伝わるだろう。一聴しただけで伝わるDらしさが継承されている一方、過去に表現してきたどのアルバムとも異なる質感を持っている。

同作を引っ提げた全国ツアーの最終公演。そんな印象を改めて抱いたのが、この日の冒頭のシーンだった。予想に反して「妖奇譚」でスタートしたライヴ。まず選曲自体に意味があったはずだが、Tsunehitoを筆頭に静よりも動と言えるステージングで序盤から観客を惹き付けていく。この後には邪悪なグロウルが強烈なアクセントとなる「7th Rose」が配され、薔薇の花弁を模したものが上方から舞い落ちる演出。さらにオーディエンスを煽るアグレッシヴな「Guardian」、タンバリンを叩くASAGIの姿と変拍子を絶妙に叩き込むHIROKIのドラミングが象徴的な「花摘みの乙女〜Rozava Dolina〜」とテンポよく続いていった。

まったく先が読めない流れである。しかも、直後のMCは『Dの領域へ、ようこそ参られた』『共に求め合い、愛し合おうぞ』といった言い回し。緻密に打ち合わせされた舞台進行とま[illegible]その場の瞬間的なパフォーマンスが混在する在り方は、ある種の予定調和を排する試みだったと解釈していいだろう。換言するなら、『7th Rose』における理念を反映させた臨み方でもある。次にセカンド・アルバム『Tafel

蝴蝶网 hudie.com
慧美网 vimee.net

【set list】
1.妖奇譚
2.7th Rose~Return to Zero~／7th Rose
3.Guardian
4.花摘みの乙女~Rozova Dolina~
5.青い果実
6.我が敵は我にあり
7.風がめくる頁
~Dr.Solo~
~session(Independent Queen ver.)~
8.Independent Queen
9.Night-ship"D"
10.Crimson Fish
11.Sleeping beautiful beast
12.三日月揺籃歌
13.闇の国のアリス
14.絡繰り絵巻
15.闇より暗い慟哭のアカペラと薔薇より赤い情熱のアリア
16.閧の声
17.13月の夢見丘
18.Day by Day
<encore I>
19.太陽を葬る日
20.EDEN
<encore II>
21.Tightrope
22.メテオ~夢寐の剣~
<encore III>
23.Dearest you
24.7th Rose

昨今のマテリアルと並んだ時に違和感がないところからも、自ずと原点が浮かび上がってくる。

『私たちが知られざる愛の手ほどきを教えてあげよう』『内なる声を解き放て-!』と導かれた「Independent Queen」に始まった中盤は、『7th Rose』の奥深い世界観を様々に立体化していく。ニューヨークのチャイナ・タウンを舞台に描いた「Crimson Fish」で幻想的なヘヴィネスを堪能させ、新たなヴァンパイアの物語でもあるバラード「Sleeping beautiful beast」、子守唄のように浸透する「三日月揺籃歌」をじっくり聴かせる。繊細かつ鮮やかに音を紡ぐメンバーと彼らが繰り出す変幻自在な空間に集中するオーディエンス。欲を言うなら、それぞれの楽曲が巧みに連関するストーリーを有するだけに、個人的にはアルバムの曲順通りに完全再現するライヴを観たい想いが強まった時間帯でもあった。それは後半に用意されていた「絡繰り絵巻」「閧の声」「13月の夢見丘」といった、Dのポテンシャルが発揮された楽曲群を体感した時も同様だ。今後、何らかの形でそんな特別企画が実現されることを期待したいが、作品の高い密度を考えた時、リリースされたばかりの現時点では、このレベルでとどめておいたのも一つの正解ではあったかもしれない。

三度に及んだアンコールは「Dearest you」で締め括られたが、バンド側はここで急遽、再び「7th Rose」を演奏することを決意。言うまでもなく、突然の流れに盛り上がりは熱いものだったが、『ただ楽しいだけじゃ、D[illegible]薔薇は守りきれない』というASAGIの注目すべき発言があったことも付記しておきたい。その沸き上がる想い[illegible]敢えて最後に「7th Rose」を[illegible]たわけだ。取り巻く環境[illegible]限って言えば、『7th Rose』が完成に至るまでの道[illegible]りは決して順風満帆ではなかった[illegible]逆風[illegible]と感じる中でも彼ら自身を鼓舞し[illegible]のは、恐らくDという存在への誇りだろう。崇高な意思を貫くには想像を超えたメンタル面での強さも求められる。何らかの新たな結実が生まれる余韻を残し、5人は精悍な表情でステージを去っ[illegible]。

vimee.net 蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

Versailles Philharmonic Quintet

World Tour 2010

"Method of Inheritance" —JUBILEE—

2010.4.30 JCB HALL

共に苦しみ、歩き、笑いましょう——

メジャー 1stアルバム『JUBILEE』を引っ提げてのワールド・ツアー"Method of Inheritance"が、4月30日・JCBホールに辿り着いた。スタートから約2ヶ月、『JUBILEE』の世界を大きく成長させたVersailles。彼らは、6月からの海外公演を経て、9月4日・渋谷C.C.Lemonホールのグランド・ファイナルまで世界を駆け抜けていく——。

Photography:TAKAAKI HENMI
Report:RINGO AOMORI

実に面白いライヴだった。…という稚拙な言葉でこの夜について表現すると、ヴェルサイユというバンドの持つ世界観にそぐわないだろうか。アルバム『JUBILEE』を引っ提げて行われたワールド・ツアーの、ひとまずの国内ファイナルであるJCBホール公演が終演した時、まず実感したのはこの言葉だった。

今年1月にリリースされたメジャー1stアルバム『JUBILEE』は、様々な想いを込めて制作されたものだっただけに、非常に重厚で充実した作品に仕上がっていた。と同時に、これまでの彼らが追求してきたこと、表現してきたこと、そして新しいアルバムで伝えたかったこと…その全てが腑に落ちたような、清々しい気分にさせてくれた作品でもあった。

そんなアルバムが、約2ヶ月のツアーを通して大きく成長していく様を目の当たりにでき、作品の持つポテンシャルをバンドが存分に発揮していた姿を見たこの夜は、ゾクゾクするほど"面白い"ライヴだったのだ。

松明が焚かれ、深紅のカーペットが敷きつめられ、あらゆるところに薔薇がしつらえられる…ステージを覆う幕が開け放たれた時、鮮やかな"God Parace"が現れた。そして、ステージ後方には白装束姿のコーラス隊…荘厳な雰囲気を持ってオープニングを飾ったのは、ヴェルサイユのストーリーの原点とも言える曲、「The Love from a Dead Orchestra」だった。慎重な面持ちで、1音1音を確かめるように、ゆったりと時が流れ始めるも、目まぐるしく変わっていくテンポが会場の熱を徐々に上げていくと、ファスト・チューン「愛と哀しみのノクターン」へ引き継がれる。YUKIの細かいタム回しと、TERUの奏でる速弾きソロ・プレイがピッタリとキマると、否が応にも焦燥感が掻き立てられる。

『ようこそ我が城へ。Welcome to Versailles!! 今夜も楽しく激しく美しい、特別な夜にしようぜ』

KAMIJOがまず最初の挨拶を済ませると、「Rosen Schwert」へ。「Beast Of Desire」と共に、指さばきも軽やかに、ワウやアームも駆使しながら聴かせるHIZAKIのプレイが堪能できる曲が続く。そして、オープニングでの慎重な表情もようやく溶け始めたか、激しいサウンドの裏でメンバーの柔らかな面も垣間見えるように。

緩急のついた楽曲の配されたライヴ前半は、ヴェルサイユというバンドの意思や、ファンとの絆を確認できるような内容になっていて、そんな世界を堪能できる流れになっていた。

中盤には、ツアーで進化していた楽器陣によるインストゥルメンタル・パートを聴かせてくれた。まずは音圧に圧倒されたYUKIによるソロ・プレイ。そこに弦楽器陣が加わり「Silent Knight」へ。ここではHIZAKIの圧倒的なプレイが男性ファンの歓声を集めると、いつの間にか観客のフリが生まれていたTERUによる「Reminiscence」へと続く。インスト曲、特にギターのソロ・パートでこれだけ観客を熱狂させられるのは、やはりさすが。ここ最近では他に見られないシーンなのではないだろうか。

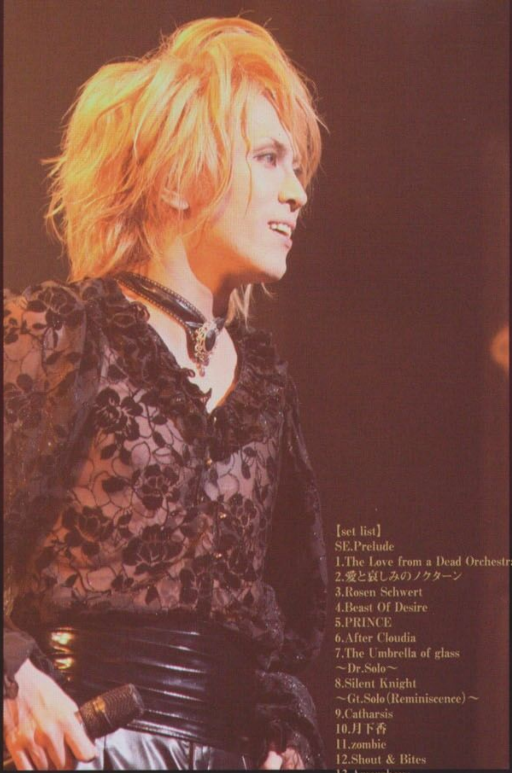
「Catharsis」「月下香」と、インスト・パートそのままに、ギターでたたみ掛ける曲からライヴは後半へ。ツアーでのメニューを踏襲した流れの中で、メンバーがそれぞれに個性を発揮（KAMIJOはより不思議なキャラを確立?·笑）。それだけに、中でもデビュー曲「ASCENDEAD MASTER」での4人の圧倒的な存在感は、実に印象的なシーンとして心に焼きついた。

しかしこの日のクライマックスはやはり本編ラスト——HIZAKIが情感的なソロを聴かせた「Serenade」で一旦閉じた幕が再び開くと、ライヴ冒頭と同じステージが目の前に広がっていた。そして始まったのは、「God Parace」。YUKIの乱れぬリズムに先導されるように壮大な曲が動き始めた。コーラスが加わったことでさらにドラマティックになったサウンドがもたらすものは、息が詰まりそうなほどの説得力。それでも胸に去来するものは不思議と晴れやかな景色であり、彼らはこのツアーで『JUBILEE』が見せる世界をさらに昇華させていたのだ。

ヴェルサイユのライヴはまだまだ"面白く"なる…そう確信しながら、海外ツアーを経て、さらに『JUBILEE』がどう変貌を遂げているのか、9月4日に決定しているグランド・ファイナル公演を楽しみにしたい。

慧美网
vimee.net

蝴蝶网
hudie.com



【set list】
SE.Prelude
1.The Love from a Dead Orchestra
2.愛と哀しみのノクターン
3.Rosen Schwert
4.Beast Of Desire
5.PRINCE
6.After Cloudia
7.The Umbrella of glass
～Dr.Solo～
8.Silent Knight
～Gt.Solo(Reminiscence)～
9.Catharsis
10.月下香
11.zombie
12.Shout & Bites
13.Amorphous
14.ASCENDEAD MASTER
15.PRINCESS
16.Serenade
17.God Parace
<encore I>
18.The Red Carpet Day
19.Aristocrat's Symphony
<encore II>
20.Sympathia
21.The Revenant Choir

慧美网
vimee.net

蝴蝶网
hudie.com

情景の違う4曲——『ANCIENT RAIN』の世界

『Cursed Hurricane』に引き続き、6月9日に『ANCIENT RAIN』をリリースするSCREW。作品として聴かせることを意識したというタイトル曲から、それとはまるで真逆のライヴをイメージしたという曲、新しい試みの新鮮な曲など、様々な4曲と、「ANCIENT RAIN」のPVを作り上げた。それと並行して次々とライヴを重ね、夏にもまだまだライヴは予定されている。現在進行形で成長中の彼らの姿を、今、確かめておきたい。

Interview:MIYUKI MURAYAMA

——「Cursed Hurricane」は明るい印象の楽曲でしたが、「ANCIENT RAIN」また違った綺麗な印象がありますね。

鋲：今まではライヴを意識することが多かったんですけど、今回はCDとして良い曲を出そうということで。あんまりライヴを意識せず、良い曲を聴いてくれって感じですね。

——それで歌い方も変えているんですか？

鋲：今回は、ディレクターの方が体調を崩して欠席だったので、その代わり和己がその役をやって、〝あぁでもねぇ、こうでもねぇ〟って言いながら、録ってましたね。

——厳しかった？

鋲：そうですね。滑舌悪いとか、いろいろ（笑）。

和己：やっぱり前作を超える作品を作るためには、それなりに言わないと。

鋲：一緒に作ってる感じがしたし、今思えばよかったなって。

——今思えば？

一同：（笑）

——実際にやってる時は？

鋲：うっせぇなとか思ってました、正直（苦笑）。

——和己くんとしては、こう歌ってほしいというイメージがたくさんあったんですか。

和己：いっぱいありますよ。でも、鋲自身が、俺が言おうと思ったところを気づいてたし、成長してるなってすごく思いました。

——「ANCIENT RAIN」の原曲は、どなたですか。

マナブ：自分が持って来たんですけど、「ANCIENT RAIN」用に書いた曲じゃなかったんで、試行錯誤して、タイトルのイメージに曲を近づけていくようにしたんです。

——タイトルは先にあったんですね。

鋲：ありましたね。綺麗な響きだなと思って、どっかしらに使いたかったんです。「Cursed Hurricane」と世界観が真逆のイメージだったんで、これがいいだろうって。

——レコーディングでも、曲をしっかり聴かせることを意識したんですか。

ジン：基本のドラム・パターンを叩きつつ、ドラムで歌うような感じを意識して、アクセントと強弱をつけたパターンですね。曲自体が長いので、飽きないようなドラムをつけたつもりです。曲の世界観を大事に考えました。

vmee.net

鋲 Vo

和己 Gt

マナブ Gt

ルイ Ba

ジン Dr

SCREW

たんで、ベースは動く場所と乗っかる場所をはっきり分けて考えましたね。時間をわざとかけて、前回こだわらなかったような、動く場所の強弱とかまでこだわりました。

——ギターも何かこだわりはありました?

マナブ：今回は、ブロックごとに音とか使う楽器とかも替えて、その部分ごとにいちばん良い音で録るのを意識しました。

和己：僕も、フレーズって言うより音のほうを意識しました。アコギを弾いてるんで、その音だったり、ストロークとアルペジオで違う楽器に替えてみたり、違うマイクを立ててもらったり。アコギを録るのは大変でしたね。

——歌詞も、タイトルからイメージしたもの?

鋲：「Cursed Hurricane」とは正反対の立場から見た歌詞ですね。今回は4曲とも、気持ちとしては同じで、情景違い的な感じなんです。あんまりコンセプトとかを口にしてないじゃないですか。だから、歌詞についても何のこと書いてるのか…って感じだと思うんですけど、その分、メロディが耳に残ってくれたらなって思いますね。

——そのコンセプトについては、いつか明らかになるんですよね。

鋲：分かるようにはしたいですね。全貌を明かしますんで。

和己：まだまだ物語は続くんですよ。

——そして、シングルの3タイプに共通して収録されるのは「Barbed wire」。

和己：表題曲とのバランスで他の曲は決めてるんで、これはライヴな感じの曲ですね。

ジン：今回は、コンセプトから敢えて外した曲を持って来たんです。カップリング的な部分で、こういうのがあったらいいなって持って来た曲のひとつですね。これは、新しい試みの音もあったりして面白いです。アナログベース的な同期音を入れてるんですけど、同期ものは自分の曲ではあんまり使ってなかったんで、今回はドカッと入れてやろうと思って。ライヴで盛り上がれたらいいなって曲ですね。

——同期ありきなんですね。

ジン：同期のおかげで、ド頭のイントロは印象的になったかなって。最後のほうのアウトロは、弦楽器隊のみなさんにすごいお願いをして、フレーズもこう弾いてくれってこだわりを聞いてもらいました。

オトナになれる2枚のシングル!?

逆にサビは、みんなの意見でデモ段階とは変わりました。

和己：サビ、ごっそり変わったもんね。

ジン：サビで抜け出るような感じになりましたね。

——レコーディングも勢い重視で?

鋲：こういう曲はだいたい最後に録るんですけど、超早かったです。秒殺です。

ルイ：ベースも、これはほぼ一発でしたね。めっちゃ早かったです。「ANCIENT RAIN」とは真逆ですね。こだわってないとかじゃないですけど、面白いぐらい一発で録れてしまいましたね。

——ただ、同期の雰囲気のせいか、また違う部分もあって。

ジン：若干妖しさもありつつ、攻撃的な面が出たんじゃないかと思います。

——歌詞の表記にもこだわりが?

鋲：何か変わった感じにしたかったんです。普通に並べても全然面白くなかったんで、デザインしようかなって。いろいろイジりました。パソコンに感謝してます(笑)。

——初回盤Bに収録されるのが、「その声が聴こえなくなってあの子がもう視えなくなった」ですね。

和己：「ANCIENT RAIN」のタイトルのような綺麗なイメージじゃなくて、もっとマイナス思考的なイメージを感じて、この曲を作ったんです。僕の中では、死を意識するぐらいの落ち込みようと言うか。ヘヴィバラードじゃないですけど、そっち寄りにしてみました。

——そこはみなさんも意識して?

マナブ：デモを聴いた時から、澄んだ感じよりダーティな感じがしたんで、アレンジもやっぱりそういう方向になりましたね。でも、聴けば聴くほどいい歌だなって思った曲ですね。

ルイ：「ANCIENT RAIN」で意識した細かいニュアンスとか、歌うようなラインとはまたちょっと違う、どんよりした感じですよね。気持ち悪いような。音も他とは違う音にして、どんよりした感じを出してます。

ジン：「ANCIENT RAIN」とは対照的な、熱いバラードというか、どっしりとした感じの曲なので、モロに感情的なドラムを叩いたつもりです。哀しい感じがすごい出てるんじゃないかと思います。

——歌も、暗さや重さがポイント?

鋲：嘆きを歌ったと言うか。仮歌を歌う時って、適当な歌詞を歌ったりするんですけど、〝今すぐ雨になろう〟ってところだけはパッと出て来て、これは決定って感じでした。まだ明かしてない〝コンセプト〟に沿った映画を観て、そこから感じたことだったり、その人の立場になって書いたりしました。

——こういうタイトルはこれまでなかったですよね。

鋲：意外性を感じてほしいですね。このタイトルから、まさかこんな良い歌が出て来るなんて!って。考えて考えてこのタイトルにしたんですけど、パッと見ると、え?って感じじゃないですか。1曲ぐらいこういうのがあってもいいかなって。

——そして、通常盤には「蹂躙ノ煙」が収録されます。

ジン：元々イントロは違う感じだったんですけど、がっつりユニゾンになって。バラードチックなんですけど、疾走感もありつつ。わりとSCREWでこういう曲って、ライヴになるとみんなおとなしく聴いちゃうんですけど、逆にライヴではノってくれって。楽曲面で言うとですけど、落とす曲として受け止めてほしくないんですね。

——ただ、歌としては切ない面がありますね。

鋲：歌はいつもどおりですよね。切なさが出ればいいなって。激しい中に切ないメロディがあっていうのがSCREWだと思うんで。

——実際にライヴでやったらどんな感じになりそう?

和己：曲調自体はテンポ感もあるし、重たい部分もあるんで、やってみないと分からない曲のひとつではあるかなと思います。「Barbed wire」は、やらなくても雰囲気の想像できる曲だと思うんですけど、これは1回やってみないと…って感じですね。ただ、静かに観てほしくない気持ちはあるんで、[illegible]っちの提示の仕方次第じゃないかと思います。8月もどんどんライヴをするんで、この収録曲もやって行きます。

マナブ：今回の2枚のシングルの8曲で、大人っぽい曲も出て来たんで、自分も大人になるだろうし。

和己：…え⁉

マナブ：そんな大人にしてくれる曲です。

一同：(笑)

慧美网 vimee.net 蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网 hudie.com
慧美网 vimee.net

彼の存在なくして、俺はなし。

大反響だったイヴ&Ko-kiのリズム隊対談に続き、今回は零乃&怜我のギター隊の対談をお届けします。ポップさを全面に押し出した、前回のリズム隊とは対照的に、"大人の魅力"を押し出した零乃&怜我。初の和装にてフォトセッションを敢行。妖艶な零乃に目力鋭い怜我。いつもとは、一味違う彼等の表情をお楽しみ下さい。また、インタビューでは、公私ともに固い絆で結ばれている2人の関係を垣間見れるはずです。

蝴蝶网 hudie.com
慧美网 vimee.net

蝴蝶网 hudie.com

――先月のリズム隊フォトセッションは、おしゃれでかわいらしい雰囲気でしたが…打って変わって、随分と艶っぽさと迫力のある写真になりましたね。
零乃：リズム隊と俺ら、年齢は近いですけど、今回は俺らのオトナな魅力を出せたらいいなと思って。
怜我：最初は、私服でいこうと思ってたんだよね。でも、それじゃ面白くないし。
零乃：そうそう。ViViDで和装はできないだろうから、やってみたいなって。
――そういうアイデアは、普段から2人で出し合ったりするんですか？
零乃：あ、そうですね。そういう話は、怜我と一番よく話をします。
怜我：うん、そうだね。
――これまで集合インタヴューをしてきた中では、2人になったときの会話とか雰囲気が想像つかなかったりしたんですけど…どんな感じなんですか？
零乃：2人でいると、会話が止まんないよね。
怜我：そうそう。俺、最近自分がボケてるってことに気付いたんですけど、そういう俺に突っ込んでくれるのが、零乃なんですよ。ただ、途中で零乃が疲れてくると、放置されるんですけど（笑）。
零乃：疲れてくると、シカトするよね（笑）。でもホント、怜我は面白い発想のボケをかましてくるんですけど、それが俺的にすごくツボで。そこに俺も乗っかっていって2人でどんどん加速していくのが、すごく楽しいんですよ。
怜我：この前のツアー中も、かなりひどかったよね。
零乃：ツアーだと、俺と怜我が相部屋になるんですけど…盛り上がってなかなか寝付けなかったりして。飽きないですね。ずっと同じようなことばっかり話してても楽しいんですよ。
――波長がとても合うんでしょうね。
零乃：確かに。すごく合いますね。
怜我：メンバーの中でも、一番しっくりきますもん。
――ちなみに、最初に会ったときは、お互いどんな印象でした？
零乃：怜我は結構引っ込み思案というか、あまり自分の意見を言わなかったですからね。もともと、口数も多いほうではなかったし。だから、大人しいのかなって。だな、俺も頑張ろうって（笑）。
零乃：同い年なのに、基本、俺にずっと敬語使ってましたからね。
怜我：最初はやっぱ、距離があったんで。でも、気付いたら今みたいな感じになってたよね。
零乃：うん。俺の家でギターのプリプロをしたりして、一緒にいる時間も長かったし…プライベートでも、よく俺の家に泊まりに来てゲームしたりとかね。
怜我：一緒に呑みに行ったりするしね。
零乃：そうそう。そうやって2人のノリを確立してきた感じです。怜我は、最初は距離があるけど、仲良くなったらもう…圧力が強いんですよ。どんどんアグレッシヴにボケてくるし（笑）。
――この人には心を許せる！　と思った人には、まっしぐらなんですね。
怜我：まさにそうですね。でも、どうして俺がこんなになってしまったかっていうと…以前、ViViD内がテンションの低かった時期があったんですよ。だから、俺が雰囲気を明るくしよう！　と思って、延々とボケ続けたんです。
零乃：…その前からじゃん！
怜我：いや、ここまでクレイジーじゃなかった（笑）。
零乃：まぁ、今がトップレベルのクレイジーではあるけど…もともと怜我は面白いよ！（笑）。
怜我：なんか、面白いこと言わないとじっとしていられないんですよ。
零乃：でも、そういう彼が、だんだんとViViDのテンションを上げるムードメーカーになりつつありますからね。
――にしても、ステージで見せる気迫は凄まじい2人だけに、素の顔とのギャップをことさら大きく感じます。
零乃：ステージに立った瞬間、人が変わりますからね。
怜我：うん、その前までどんなに面白いことしてても、みんなで円陣組んで気合い入れたらよっしゃ！ってスイッチが入るんで。
――そうやってステージに立っているとき、お互いを見てたりもするんですか？
怜我：しょっちゅう見てますね。
零乃：うん、見てるよね。で、怜我のところに絡みに行ったりとかするときは…。
怜我：テンション上がるよね。

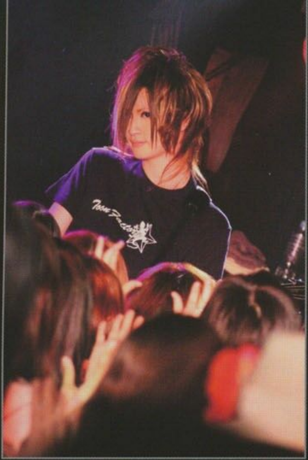
零乃×怜我
RENO ViViD RYOGA

んじゃいますもん。そうやって2人で絡むと、心底楽しいって思いますよ。
――なおかつ、お互いに"コイツ、カッコイイな！"って思う瞬間もあったり？
零乃：めちゃめちゃありますね。
怜我：あるね、ある。たとえば、零乃がお立ち台でチョーキング（音を鳴らしたまま、弦を押し上げたり押し下げたりする奏法）してる顔とか。
零乃：顔もチョーキングされちゃうからね（笑）。怜我は、何と言っても立ち姿、シルエットが一番カッコイイんで。ギター弾いて手を上げた瞬間とかに、コイツやるな！って思いますよ。そういう怜我を見て、俺ももっと頑張ろうって思うし。
――お互いに刺激し合える、理想的なツインギターの在り方ですね。
零乃：ホントそうだと思います。昔は、ずっとバンドにギターは1人でいいと思ってましたけど…怜我と出会ってから考え方がガラっと変わりましたからね。逆に、今は怜我がいなかったらイヤだって思いますもん。怜我がいることですごく安心感があるし。怜我なくして、俺のギターはないですよ。
怜我：零乃は、その曲に合うギターフレーズを絶対つけてくるんですよ。で、最初は自分は支えればいいのかなって思ってましたけど、合間で自分のやりたいことができるし、その結果、どっちも引き立つんで。そういう面白さもあるよね。
――では、お互いギタリストとしてもっとも尊敬できるところは？
零乃：怜我は、アルペジオとかコードカッティングが、俺よりもウマいんですよ。だから、そういうところは一番尊敬してるし、怜我に安心して任せてます。
怜我：零乃は、もちろん速弾きもスゴイんですけど…俺的には、ニュアンスですね。歌ってるようなギターを弾くんですよ、彼は。ものすごい速弾きの中でそれができる人は、なかなかいないんじゃないかと思います。
――お互いにないものを持つからこそ、惹かれ合うし補い合えるんでしょうね。
零乃：そうなんです。同じギタリストだから、ある意味ライバル的な感じでもあると思われがちなんですけど、完全に別

怜我：だから…お互い頑張ろうよ！って感じです（笑）。
――ここまで仲が良くて波長が合うと…お互いに言えないことはないですか。
零乃：ないですね。基本的に、怜我には何でも最初に話しますからね。
怜我：俺も、前の日にあったことを普通に話すし。
――2人の仲を例えるなら…家族的な感じ？
零乃：俺のプライベートのあんなことからこんなことまで、怜我は全部知ってるけど……俺らってどういう関係？（笑）。
怜我：親友じゃない？
零乃：今は何でも相談できるし、ホント親友だね。一緒にお風呂入ったりするし。
怜我：零乃の家に泊まりに行ってて、朝方に酔っぱらってね。
――え!?　銭湯とかじゃなくて家風呂ですか!?
零乃：そうです、そうです。確かに、母親は"え!?"って顔してましたけど（笑）。
怜我：シラフのときに一緒に入ったこともあったしね（笑）。
零乃：でも、すべて曝け出しても恥ずかしくないですからね。彼なら、俺のことをすべて受け入れてくれるんで（笑）。
――とはいえ、お互いに"ここはこうしてほしいな"って思ってること、実はあったりしませんか？
怜我：…たまに適当になって、何もかも投げ出す瞬間があるんですよ、零乃は。
――ボケ倒す怜我さんについていけないときですね（笑）。
怜我：そうなんですよ。だから、いつでもちゃんと聞き逃さないでほしいかな。
零乃：わかりましたっ（笑）。怜我は、寝起きを良くしてほしいかな。何しろ、寝起きの悪さは最悪なんで。ツアー先でも、100%俺が起こしますからね。
怜我：じゃあ…頑張ってみるっ（笑）。
――そこのとこ、お互いによろしくお願いします。では最後に、ツインギターとして想い描く未来像を教えてください。
零乃：役割はこれまで通りちゃんと分かれつつ、お互い最大限のスキルでハモれるソロを弾きたいですね。速弾きで掛け合えたら、絶対強いと思うんで。
怜我：俺も、バカみたいに速いタッピングでハモったりもしてみたいんで…何し

慧美网 vimee.net

蝴蝶网 hudie.com
慧美网 vimee.net



蝴蝶网
hudie.com

「INNOCENT WORLD」

TOON-FACTORY

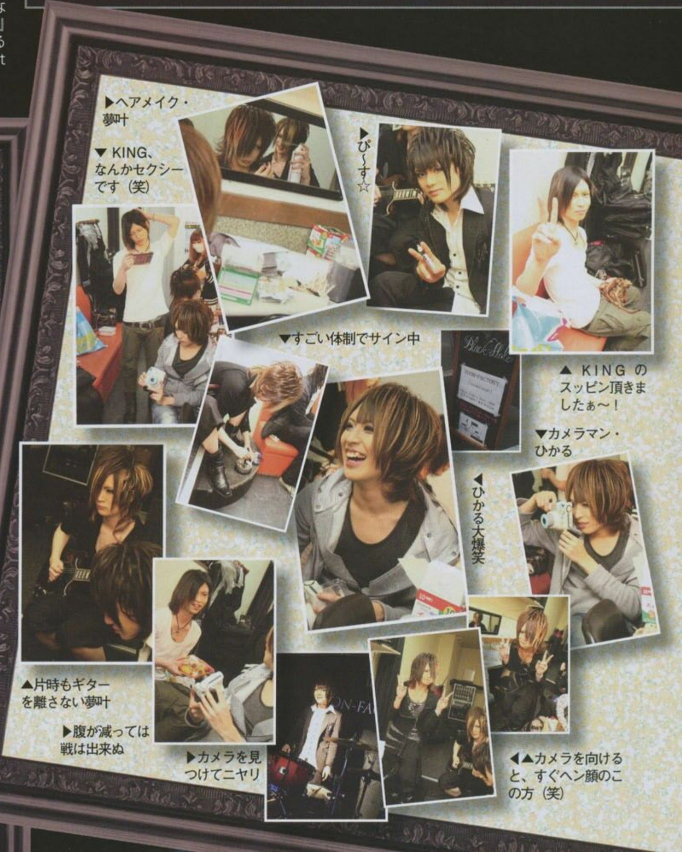
Live at 池袋BLACK HALL 2010.4.25

楽屋潜入!! INNOCENT WORLD

3月17日にリリースされたミニ・アルバム『Innocent』を受け、4月25日池袋Black Hallにて、Dr.ゆーぃちが加入し、現在の体制となってから3回目のワンマン・ライヴとなる『Innocent World』を行ったTOON-FACTORY。今回は、そんな『Innocent World』の模様を、ライヴ前の楽屋での様子も含め、レポートします。5月28日に発売となるSHOXX別冊「glitter pop No.5」では、メンバーの直筆コメントで綴る『Innocent World』の模様を掲載予定(ポスター付き)。そちらもお見逃しなく！

Photography:MASAKAZU KOBAYASH(SHOXX)／Report:MISAKO SHIDA(SHOXX)

慧美网
vimee.net



▶ヘアメイク・夢叶

▼ KING、なんかセクシーです（笑）

▶ぴ～す☆

▼すごい体制でサイン中

▲ KING のスッピン頂きましたぁ～！

▼カメラマン・ひかる

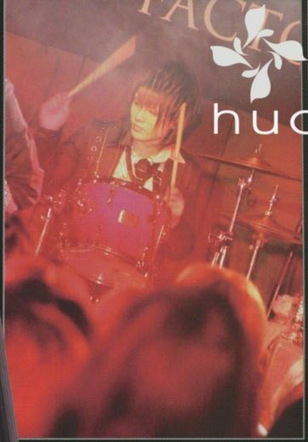
◀ひかる大爆笑

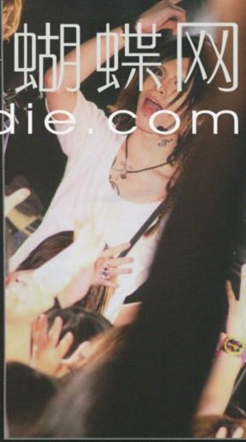
▲片時もギターを離さない夢叶

▶腹が減っては戦は出来ぬ

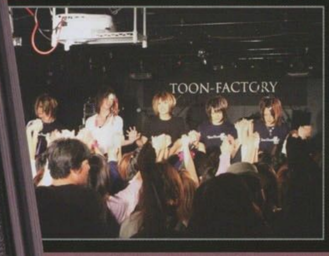
▶カメラを見つけてニヤリ

◀▲カメラを向けると、すぐヘン顔のこの方（笑）





蝴蝶网
hudie.com



【SET LIST】
1.イノセント　2.DEVIL'S INVITATION　3.激彩パレット　4.Dive to heaven　5.Sarcastic story　6.Addiction　7.サヨナラ、バイバイ。　8.Tiny Planet　9.Sweet&Dispain　10.キミを探して　11.Re:write　EN1.Dessert　EN2.StaRT　EN3.アオゾラメロディー　EN4.妄想Honeyの玩具箱

『Innocent World』――純潔な世界。彼等にぴったりのタイトルだと思った。

彼等は、純粋に音楽を、ライヴを、そして、仲間と音を奏でられる事を、心の底から〝楽しい〟と感じ、その感情を隠すことなく、全力でステージにぶつけて来る。毎回、そんな彼等の姿に、元気を貰っている自分がいる。TOON-FACTORYのライヴには、人を〝笑顔〟にさせる温かさがある。それは、彼等自身が、音楽を、ライヴを、仲間と音を奏でられる瞬間を、本当に心から楽しんでいるからに他ならない……。

※

2010年4月25日。
16:00 楽屋潜入レポートの為、少し早めに会場へ。すると、予定より若干時間が押しているのか、まだリハーサル中のメンバー。
16:45 リハーサル終了。楽屋へと戻って来るメンバー。配布物へサインをし、物販用のチェキを撮り、メイクをし……。広いとは言えない楽屋の中を、一息つく間もなく、あっちへこっちへと走り回る。そんな中、夢叶は片時もギターを離さずに、ちょっとでも空いた時間が出来ると、ギターの練習をしていた。ふと彼の手元を見ると、その指先に【ギターだこ】が出来ているのが見てとれた。〝今日、映像が入っているから、いつも以上に頑張らないと！ 緊張する～〟(夢叶)。昨夜、好きなアーティストのDVDを観て気持ちを高めて来たというひかるは、〝コンディションはバッチリ〟と力強く答えてくれた。ゆーぃちは、〝今日は俺のアダルトな魅力を見せつけてやります！〟と、いつもユーモアたっぷりの彼らしいコメント。自身の思い出の曲でもあるという、「Dessert」や「激彩パレット」を、ライヴで久しぶりに演奏出来る事が嬉しくてたまらないと語ってくれたのは雫。レガは、楽屋の隅でヘッドホンを付け、目を閉じ精神統一。開演まで、思い思いの時間を過ごしていた。
18:20 予定時刻から約20分遅れで、『Innocent World』の幕が開いた。

※

ステージ前のスクリーンに、『Innocent World』の文字と、メンバー名が映し出されると、集まったオーディエンスから嬌声が上がった。ステージの幕が開き、「イノセント」、「DEVIL'S INVITATION」と、ミニ・アルバム『Innocent』収録の2曲が、ライヴの始まりを告げた。ここ最近の定番曲ともなっている2曲だが、初めてライヴでこの曲達を耳にした時よりも、楽曲が格段に成長しているように感じた。〝ライヴを意識して制作した〟と言うだけあり、ライヴで磨かれる事により、その輝きを一層強めているのだろう。続いて、雫とレガが、2人で初めて作った曲だと言う「激彩パレット」、ひかるの動きに合わせ、会場が揺れた「Dive to heaven」、「Sarcastic story」と、ノリの良いナンバーが立て続けに届けられると、会場のヴォルテージは急上昇。すると、〝リハーサルと同じ曲をやっているハズなのに、やっぱりみんなの熱気が凄くてもうバテそう(笑)〟と、オーディエンスの【熱】=【愛情】を身体いっぱいに感じ、嬉しそうに語るひかる。そして、〝静かな曲を聴いて下さい〟と、火照った身体を少しクールダウンする様に、雫の奏でるアコースティック・ギターの音色が心地よく響いた「Addiction」。前日に急遽決まったと言う、雫のアコースティック・ギターとレガのアップライト・ベースでの演奏で、よりアダルトな雰囲気が醸し出された「サヨナラ、バイバイ。」と、ちょっと大人なTOON-FACTORYを演出。余談だが、前回のワンマン・ライヴ（昨年11月22日・原宿アストロホール）で、雫がステージで初めてアコースティック・ギターを用いた姿を観て、レガに〝「サヨナラ、バイバイ。」とかで、アコギとアップライトの絡みなんかあったら、見せ方の幅も広がって良いんじゃない？〟と、何気なく言った事がある。すると、後日〝アップライト、買っちゃいました！ 今、ベースの先生に付いて貰って、猛特訓してます。楽しみにしてて下さいね！〟と、レガから報告。彼のベースの先生には、現場で何度かお会いした事があるのだが、その度に〝頑張ってますよ〟とレガの頑張りを教えてくれた。そんな彼の素直さ、貪欲さを嬉しく思ったのだった。

〝楽しくって、時間の流れが早く感じる〟。そんなひかるの言葉通り、「Tiny Planet」「Sweet&Dispain」と、TOON-FACTORYの王道とも呼べる曲が演奏されると、本編もラスト2曲。〝喋るの苦手だから、みんなへの感謝の気持ちは、曲に込めて伝えます〟(ひかる)と、「キミを探して」、「Re:write」と、彼等の等身大のメッセージが詰め込まれた2曲が届けられ、本編は終了。

アンコールでは、お揃いのTシャツ姿で登場したメンバー（何名かTシャツを忘れて来たメンバーもいたようだが／笑）。ここで、嬉しいお知らせとして、初の東名阪仙ワンマン・ツアーが決定した事が発表された。そして、アンコール1曲目の「Dessert」が、ひかるによりコールされると、会場から歓声が上がった。

〝アンコールで、「Dessert」やりますって言った時、歓声が上がったじゃないですか？ それを聞いて、俺、すごく感動したんです。……続けて来て、本当に良かったなって。そう思えた瞬間だった〟。

後日、そう語ってくれたのは、雫。曲数も増え、最近では演奏する機会も減ってしまった「Dessert」だが、今も昔も変わりなく、自分達が生み出した曲が、愛され、求められているという事実に〝続けてきた意味〟を感じ、感動したのだと言う。…実は、以前、彼等は、【やりたい事】と【求められている事】との狭間で、自分達が進むべき道を迷っていた時期があった。その時に、そこで自分達が悩んで出した【答え】が、間違いじゃなかった…と言う事を、肌で感じられた瞬間でもあったのだろう――。

アンコールのMCで、各メンバーも語っていた様に、みんなで作り上げ、みんなで楽しんだこの日のライヴは、会場に笑顔が溢れていた。

〝誰でも　泣いたり悩んだり　辛くなるけれど　暗い夜も朝が来るように　誰もが笑顔になれるから　今を生き抜こう　流した涙の数だけ　強くなれる事　わすれないで〟

本編ラストで届けられた「Re:write」の一節。彼等自身、これからもバンドを続けて行く上で、けっして楽しい事だけではなく、様々な壁にぶち当たり、時に悩み、時に涙を流す日もきっと訪れる事だろう。しかし、彼等には、この日この場所で感じた【この想い】を忘れずに、音楽を、ライヴを、そして、仲間と音を奏でられる瞬間を、心の底から〝楽しい〟と感じられる、そんな今の気持ちを大切にして行って欲しいと思う――。

9月1日、高田馬場AREAにて、また一回り成長した彼等と出会える事を楽しみに……。

慧美网
vimeei.net

(問)〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-5-2 フィヨーレ西新宿102
http://www.toonfactory.jp/

蝴蝶网
hudie.com

✴東名阪ワンマン決定!!

2nd ANNIVERSARY ONEMAN TOUR

[BLACK HEAVEN]

2010.07.27 (Tue) Shibuya O-Crest

開場/18:00 開演/18:30　前売/3,000円 (drink代別) 当日/3,500円 (drink代別)　(問) I.D.PILOT DEAD ONE 06-6258-5186

2010.08.06 (Fri) NAGOYA ell.SIZE

開場/18:00 開演/18:30　前売/3,000円 (drink代別) 当日/3,500円 (drink代別)　(問) I.D.PILOT DEAD ONE 06-6258-5186

2010.08.17 (Tue) OSAKA MUSE

開場/18:00 開演/18:30　前売/3,000円 (drink代別) 当日/3,500円 (drink代別)　(問) I.D.PILOT DEAD ONE 06-6258-5186

yimee.net

✴✴✴✴✴✴✴✴✴✴✴✴✴✴✴✴✴✴✴✴2010年05月15日(土) より一般発売開始!!✴✴✴✴✴✴✴✴✴✴✴✴✴✴✴✴✴✴✴✴

LIVE SCHEDULE

05.04 (火) 福岡 DRUM LOGOS
(問) SKULL ROSE 092-741-0501
05.07 (金) 名古屋 ell.FITS ALL
(問) ell.FITS ALL 052-211-3123
05.08 (土) ESAKA MUSE
(問) I.D.PILOT DEAD ONE 06-6258-5186
05.09 (日) 高田馬場 AREA
(問) 高田馬場 AREA 03-3361-1069
05.14 (金) アメリカ村 FANJ-twice
(問) FANJ-twice 06-6484-3880
05.16 (日) 高田馬場 AREA
(問) PS COMPANY Co.,Ltd./Indie PSC. 03-5355-3822
05.23 (日) 池袋 CYBER
(問) 池袋 CYBER 03-3985-5844
06.04 (金) 目黒鹿鳴館
(問)目黒鹿鳴館 03-3494-1801
06.13 (日) 福岡 DRUM LOGOS
(問) SKULL ROSE 092-741-0501
06.15 (火) 名古屋 ell.FITS ALL
(問) ell.FITS ALL 052-211-3123
06.16 (水) OSAKA MUSE
(問) I.D.PILOT DEAD ONE 06-6258-5186

蝴蝶网
hudie.com

初回限定盤

¥1,890(tax in) DSMCD-009A

■CD(2曲収録)+DVD[BLACK HEAVEN] (MUSIC CLIP)
収録曲：01.BLACK HEAVEN 02.BelieverS

慧美网
vimee.net

通　常　盤

¥1,260(tax in) DSMCD-009B

■CD(3曲収録)
収録曲：01.BLACK HEAVEN 02.BelieverS 03.SAKURAソラロイド

INSTORE

06.12 (土) 福岡SKULL ROSE
(問) SKULL ROSE 092-741-0501 ■18:00~

06.23 (水) I.D.PILOT DEAD ONE
(問) I.D.PILOT DEAD ONE 06-6258-5186 ■18:00~

06.26 (土) 自主盤倶楽部
(問) 自主盤倶楽部 03-3371-3851 ■13:00~

06.26 (土) 池袋ブランドエックス
(問) ブランドエックス 03-3980-6780 ■15:00~15:30 ※30分店員

06.26 (土) 新宿ZEAL LINK
(問) 新宿ZEAL LINK 03-5379-7155 ■18:00~19:00 ※1時間店員

07.26 (月) 渋谷ZEAL LINK
(問) 渋谷ZEAL LINK 03-5784-9666 ■18:30~

THGAZE

蝴蝶网
hudie.com

NEW SINGLE「SORROW」
2010.05.26 WED ON SALE!!

【収録曲】1. SORROW / 2. irredeemably evil ¥1,050(税込) EBCS-2009

ONEMAN TOUR 2010「BANISH SORROW」

OPEN 17:30 / START 18:00 前売り ¥3,000 / 当日 ¥3,500
一般発売日 4月24日(土) ※FINAL 公演以外全会場共通
【総合問い合わせ】enter brain : 052-760-2477 http://www.enter-brain.jp

6.25 FRI HEAVEN'S ROCK さいたま新都心 VJ-3 【問】VJ-3 : 048-858-7251
6.27 SUN 豊橋 ell.KNOT 【問】ell.KNOT : 0532-57-3655
7.02 FRI 岡山 CRAZY MAMA 2nd ROOM 【問】セカンドシーン : 082-212-0810
7.04 SUN 高松 DIME 【問】M.T.R. : 089-945-8485
7.09 FRI 姫路 Beta 【問】Beta : 079-222-0485
7.11 SUN 静岡 Sunash 【問】Sunash : 054-288-0880

TOUR FINAL 7.30 FRI Shibuya O-WEST

OPEN 17:00 / START 18:00 前売り ¥3,500 / 当日 ¥4,000 一般発売日5月26日(水) 【問】ART POP : 045-650-2155 http://www.artpop.org

Do you intend to still grieve?

慧美网
vimee.net

NOW ON SALE

SINGLE
BLOOD
CD(2曲収録) + DVD(「BLOOD」PV & Making)
EBCS-2007 ¥1,575(TAX IN) 【発売元・販売元】enter brain

RETAKE ALBUM
THE CONTINUATION
CD(13曲収録)
EBCA-2006 ¥3,150(TAX IN) 【発売元・販売元】enter brain

会場限定盤 LIVE DVD
BLOODY ALL LOVERS
2009.12.20 @表参道 FAB
EBVD-2008 ¥3,000(TAX IN) 【発売元・販売元】enter brain

【Total Information】enter brain
〒465-0025 名古屋市名東区上社2丁目54 本郷マンション403号室 TEL : 052-760-2477 HP : http://www.enter-brain.jp

http://www.deathgaze.jp

蝴蝶网
hudie.com
慧美网
vimee.net

銀座よろず屋本店 仮想店舗『柿ノ木』

蝴蝶网 hudie.com

凛 -the end of corruption world-

■凛オリジナルストラップ ¥1,000【ULI-1】

■凛オリジナルミラー ¥1,000【ULI-2】

■凛ポラロイド写真 ¥1,000【ULI-3】

LIVE SCHEDULE 2010
「As If Forever Exists.」
● 5.23(日) 難波 HATCH(初ライブ)
「Over the Edge'10 @ OSAKA」
● 6.06(日) 大阪住之江名村造船所跡地
「STRAIGHT LIFE」
● 6.15(火) 渋谷 AX
● 6.18(金) 渋谷 O-EAST
● 7.03(土) 渋谷 O-EAST
「ソドムの晩餐　第一夜」
● 7.18(日) 渋谷 O-EAST
「LOOP ASH 10th ANNIVERSARY ループ開き -2010-」
● 8.09(月) 名古屋 BOTTOM LINE
● 8.15(日) 埼玉会館
● 8.31(火) 梅田 SHANGRILA

■凛写真セット 1-A ¥1,500【ULI-4】

■凛写真セット 1-B ¥1,500【ULI-5】

■ネガ 最新写真セット A ¥1,000【UNE-37】

■ネガ 最新写真セット B ¥1,000【UNE-38】

ネガ

■ネガ 最新写真セット C ¥1,000【UNE-39】

追加スケジュールは、OFFICIAL HP をチェック!!
http://www.under-code.jp/

0420092158040617704 2

■ミラー（黒×金）¥1,000【LZI-9】

Zip.er

マフラータオル ¥1,500【LZI-10】

「LOOP ASH 10th ANNIVERSARY ループ開き -2010-」開催!!

DZ-/v「NEU」/ALiBi/Zip.er/他

(金) さいたま新都心 HEAVEN'S ROCK VJ-3
(土) 新潟 JNUK BOX
(金) 大阪 MUSE
7/10(土) 名古屋 BOTTOM LINE
7/18(日) 渋谷 O-EAST
7/19(祝・月) 渋谷 BOXX
7/22(木) 札幌ベニーレーン 24
7/23(金) 札幌 mole

【INFORMATION】〒153-0064　東京都目黒区下目黒 2-23-7 日栄ビル 3 階 LOOP ASH　ホームページ→ http://www.loopash.com/

ネックレス・ストラップ・ヘアゴム etc …アレンジ多様

■アクリルスターチャーム ¥1,000【LAL-19】

ALiBi

■直筆サイン入り「キラ☆メキ未来」B2 ポスター ¥1,000【LAL-22】

■新ミニタオル ¥1,000【LAL-21】

蝴蝶网
hudie.com

UnsraW

ミラー
¥1,000【SUN-7】

リストバンド
¥1,000【SUN-10】

マフラータオル ¥1,500【SUN-8】

ダウト

ストラップ
¥1,300
【SDO-26】

ポーチ
¥1,300
【SDO-27】

タオル ¥1,500【SDO-22】

NightingeiL

手ぬぐい ¥1,000【SNI-3】

限定Tシャツ
(Mサイズ)
¥3,500
【SNI-11】

コンパクトミラー
¥1,000
【SNI-12】

Ap(r)il

メンバー全員入り
チェキ(5人)
¥2,000【SAP-16】

写真 5-A
¥1,000【SAP-15】

写真 5-B
¥1,000【SAP-16】

Administrator

写真 4-A
¥1,000【SAD-7】

写真 4-B
¥1,000【SAD-8】

集合チェキ
¥500
【SAD-6】

R指定

写真 5-A
¥1,500
【SRS-8】

写真 5-B
¥1,500【SRS-9】

写真 5-C
¥1,500【SRS-10】

Speed-disk

※注意事項
・バックナンバーの受け付けは終了となりました。
・今月号のグッズの締めきりは6/21到着分までとさせていただきます。

慧美网
vimee.net

●SPEEDDISKのイベント
★SPEED DISK PRESENTS『桜華乱舞 TOUR'10』
・5/20 高田馬場 AREA
OPEN 16:30/START 17:00 前売り ¥3,000/¥3,500
Cast：Administrator/DOG in The パラレルワールドオーケストラ/DragonWAPPPPPPER/xTRiPx/BugLug 他

★SPEED DISK PRESENTS～『森羅万象』
・5/21 渋谷 O-EAST
Open/Start：16:00/16:30　前売 ¥4,000 当日 /¥4,500(税込)
Cast：UnsraW
Guest：アンド／ケミカルピクチャーズ/Sel'm/TIME SECTION #6/DELUHI/DuelJewel/vistlip

★SPEED DISK PRESENTS『桜華乱舞』
・6/16 高田馬場 AREA
OPEN 16:30/START 17:00 前売り ¥3,000/¥3,500
Cast：R指定 / ケミカルピクチャーズ / SLOD / DOGinThe パラレルワールドオーケストラ / 他

・6/17 高田馬場 AREA
OPEN 16:30/START 17:00 前売り ¥3,000/¥3,500
Cast：Administrator / Ap (r) il / DragonWAPPPPPPER / BugLug / 他

★SPEED DISK PRESENTS～
『森羅万象 tour'10#3』
7/30(金) 渋谷 O-EAST
8/1(日) 郡山 #9
8/2(月) 仙台 darwin
8/4(水) 札幌 KRAPSHALL
8/5(木) 札幌 KRAPSHALL
8/10(火) 長野 CLUB JUNK BOX
8/11(水) 新潟 JUNK BOX
8/12(木) 金沢 AZ
8/14(土) 京都 FANJ twice
8/15(日) 岡山 CRAZYMAMA KINGDOM
8/17(火) 鹿児島 CAPARVO HALL
8/18(水) 博多 DRUM LOGOS
8/20(金) 高松 DIME
8/21(土) 大阪 BIGCAT
8/22(日) 名古屋 E.L.L

Cast：ダウト /R指定
Special Guest:Kra
Guest：vistlip/VIDOLL/SCREW/DuelJewel
※各会場で出演バンドが異なりますのでご注意下さい。
Open/Start：17:00/17:30
※8/21 大阪公演のみ 16:30/17:00
チケット代 All standing
前売 ¥4,000 当日 /¥4,500(税込)
当日 DRINK 代　¥500 / 入場整理番号付
発売日
● 5/17(月)～26(水) WEB 優先 (郵便振替にて受付)
優先詳細 URL → http://xxxrecords.jp/speeddisk/
● 6/5(土)～各ショップ、各プレイガイド

SPEEDDISKのイベント詳細はHPをご覧下さい。
http:/www.xxxrecords.jp/speeddisk/

摩天楼オペラ

■PHOTO SET A ¥1,000 [SASPIX-124]

■PHOTO SET B
¥1,000 [SASPIX-125]

■パンフレット「AMONIE」
¥2,500 [SASPH-102]

■パンフレット「HISTORY」
¥2,500 [SASPH-103]

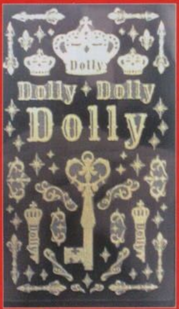
■パンフレット「OFF SHOT」
¥2,500 [SASPH-104]

PHOTO SET C ¥1,000 [SASPIX-126]

■ポーチ ¥1,500 [SASGDS-104]

■ミラー ¥1,500
[SASGDS-103]

Dolly



■デコシール
¥1,000【FDO-1】

y 5th Anniversary Oneman Tour

(sat) 浦和 ナルシス（FC 限定）
(fri) 横浜 SUNPHONIX HALL
(sun) 名古屋 ell.FITSALL
(tue) 大阪 MUSE
(thu) 松山 SALONKITTY
(sat) 福岡 DRUM SON
(sun) 岡山 IMAGE
(sat) 仙台 JUNK BOX
(sun) 宇都宮 HEAVEN'S ROCK VJ-2
(tue) 新潟 JUNK BOX
Final
0(sat) 赤坂 BLITZ
詳細は Dolly Official Site をご覧ください。
//www.dolly-web.com/

Fuji Production inc.
Music Creative Office

■ペンライト（緑／オレンジ／赤／白／青）
1本 ¥1,200【FDO-2】

愛狂います。(アイクル) aicle.

■ケセラAセット ¥1,000 [NAI-7]

■ケセラBセット ¥1,000 [NAI-8]

■浪漫。携帯ミニストラップ
¥1,000 [NAI-11]

■浪漫。ステッカー
¥500 [NAI-11]

■チェキ【えみる ルビ さらん 玲音】
（メンバー選択可）¥500 [NAI-12]

■ケセラCセット ¥1,000 [NAI-9]

D'ESPAIRSRAY

■10周年記念パンフレット
¥4,200【DR-1】

2ページ・10周年を振り返ったメンバーロングインタビュー、
ンバー個人対談あり。
会場限定のポストカードはついておりません。※ 通販は数に限りがございます。

TOON-FACTORY

■柿ノ元限定サイン入り写真セット
（計6枚　実物にはサインが入ります）
¥1,000 [WSG-5]

■申し込み方法
商品をお申し込みの方は、郵便局に備え付けの振り込み用紙にて、定価＋送料700円を下記口座までお振り込みください。なお、通信欄には下記事項をお間違いないようご記入ください。

■郵便振替番号　00180-9-603494
■金額欄　定価に送料を加えた金額をご記入ください。(複数種お申し込みの方は定価の合計金額＋送料700円をご記入ください)
■加入者名　株式会社　音楽専科社
■通信欄　柿ノ元・希望商品名・商品番号・各商品の数量
■振込人住所氏名欄
あなたの住所、氏名、電話番号を丁寧にご記入ください。

【お問い合わせ先】
株式会社　音楽専科社『柿ノ元』
〒104-8228　東京都中央区銀座6-2-3
ダヴィンチ銀座アネックス5F
TEL03-3574-0203　FAX03-3574-8548

銀座よろず屋本店
仮想店舗
『柿ノ元』

蝴蝶网 mudie.com
慧美网 vimee.net

ALSDEAD

GALAXY PRESENTS 1st FULL ALBUM「ALSDEAD」発売記念EVENT

20100609 Shibuya BOXX

ALL SIXX NINE DEAD

蝴蝶网
hudie.com

ALSDEAD ／ Sel'm (GUEST) ／ born ／ Dali ／ Hi:BRiD ／ SKULL ／ Para:noir

OPEN 16:00 ／ START 16:30 ADV ¥3,000 ／ DAY ¥3,500

Lコード：77126（整理番号 101-200）／ローソンチケット：0570-084-003

バンド予約なし

【主催・企画】GALAXY ／ ALSDEAD 【製作】CITTA'WORKS 【問】CITTA'WORKS 044-276-8

2010.06.16 1st FULL ALBUM "ALSDEAD" RELEASE!!!

慧美网
vimee.net

【収録曲】

1.intro 2.Regret 3.A-dust 4.S.a.g.A
5. 傷 6.Life Of Sorrow 7.Vanity 8.F-99
9.VOR 10.Distrust 11.PARADOX
12.Cynical 13. 虹色の雨

GAR-1002
Including 13songs
￥3150 (tax in)

LIVE SCHEDULE

5月06日(木)	新宿RUIDO K4	GALAXY PRESENTS「ジャック in ザ・ハンター Fi
5月12日(水)	高田馬場AREA	Plug PRESENTS 「DEATHGAZE VS UnsraW」
5月13日(木)	HOLIDAY NAGOYA	Double River Record PRESENTS
5月15日(土)	目黒鹿鳴館	UNDERCODE PRODUCTION PRESENTS
5月17日(月)	HOLIDAY SHINJUKU	GALAXY PRESENTS「狂喜短命」
5月29日(土)	浜松FORCE	Ash-LD'50 PRESENTS

※その他、追加スケジュールや各公演詳細については、OFFICIAL SITEをご確認下さい。

http://www.alsdead.com/

■TOTAL INFORMATION「Galaxy」

蝴蝶网
hudie.com

これは凡人のごくありふれた日常の一コマを
凡人の手で書き写した記録の続きである。——— seek

続 凡人水族園

【連載】SHOXX No.162〜No.211掲載分
【非凡人写真館】過去のSHOXXにて掲載された写真
【凡人写真館】撮り下ろし写真
【書き下ろし】お題凡人、2008年1月ヨーロッパツアー日記

「凡人水族園」も
同時発売中!

申し込み方法

本書ご希望の方は、お近くの郵便局に備え付けの郵便振替用紙に必要事項をご記入の上、定価に送料を加えた代金(一冊:定価¥1,890+送料¥500=¥2,390)をお振り込みください。

郵便振替口座番号/00130-0-481019　加入者名/(株)音楽専科社
※通信欄/「続・凡人水族園」「凡人水族園」(必ず商品名をお書きください。)と希望部数
払込人住所氏名:あなたの住所(マンション/アパート名、部屋番号を正確に、引っ越しされる方は引っ越し先の住所を正確に)、氏名、電話番号を忘れずにご記入ください。海外への発送は行っておりません。ご了承ください。

価格 ¥1,890(税込) 「続・凡人水族園」「凡人水族園」共
+送料(一律¥500)

購入特典
SHOXX通販特典
直筆サイン、魚イラスト入り

さらに凡人水族園(2006年11月発売)と
続・凡人水族園を
二冊同時購入していただくと
続・凡人写真SHOXX版をプレゼント!!

上記は「凡人水族園」と「続・凡人水族園」の2冊購入する場合の表記例です。いずれか1冊の場合、それ以外の場合にはそれぞれの商品価格に送料を足した金額をご記入ください。

慧美网
vimee.net

通販受付期間 2010年5月21日〜6月30日(当日消印有効)
8月下旬より発送開始

凡思社企画「魚群」Tour決定
"群れし雑魚は一匹の大魚と成す。"

2010年09月10日(金)
「魚群 第六回」心斎橋JANUS
2010年09月12日(日)
「魚群 第七回」名古屋TAURUS
2010年09月14日(火)
「魚群 第八回」新宿ロフトプラスワン

詳細近日発表!!!

INFORMATION [凡思社Official HP] http://www.bonshisya.com/　[seek Official blog] http://ameblo.jp/seek-suityu-cafe/

seek

(Mix Speaker's,Inc.)

㊗100回目前!! 凡人の軌跡

“これは凡人のごくありふれた日常の一コマを凡人の手で書き写した記録の続きである”というコンセプトの下に続けてきた本誌連載「続・凡人水族園」が、まもなく100回目を迎えようとしている。その記念として発売される単行本第二弾について、著者であるseekに話を訊いた。尚、今日(5月21日)から通販の受付が開始とのことなので、確実に手に入れたい方は予約をお忘れなく！

Interview:ERI MIZUTANI

――本誌で連載中の「続・凡人水族園」も、気付けば100回目前ということで。

「連載開始して8年が経ちましたよ」

――意外とあっという間でしたね。ところで、テーマはいつもご自身で決められているんですか？

「そうですね、全部自分です。編集部からは、特にこれと言ったテーマは出されないので。でも、そこが長く続けてこられたところでもあるのかなと。ただ、困ったことに、担当編集からは、面白かったって言われることよりも、原稿の催促の方が多いんですよ」

――（笑）。文章を書くにあたって、何か気を付けていることなどはあります？

「連載が始まったときから、あんまりバンドのプロモーション的なものにはしたくなくて。雑誌の連載ではあるんですけど、バンドとは関係のないところで、seek個人として書いていきたいって思っているんですよね」

――なるほど。だから、日常で起こった面白い出来事を書かれているんですね。私、seekさんの連載とても好きなんですけど、毎回、どこかでクスッと笑えるところが魅力的だなと思うんです。

「そう言ってもらえると苦労して書いている甲斐がありますね。でも、面白さというのは意識して書いていることではないんですよ。きっと、昔から本を読むのが好きで、読んでいるみんながププと笑えるだろうなっていうのが潜在的にあるんだろうと思うんですけど」

――それこそ、作家に向いているタイプなのでは？

「それはどうなんですかね（笑）。でも、今、バンドで脚本書いているじゃないですか。それが勉強になっている部分はありますね」

――seekさんとしては、どの回が印象に残っています？

「どの回というよりは、前回、単行本化した後からが印象に残っているんですよね。この連載って、サイコ・ル・シェイムとして活動していた頃に「凡人水族園」というタイトルで始まったんですよ。それを一冊にまとめて、Mix Speaker's,Inc.としての活動が始まった。バンドが変わったことにより、自分にも変化があっていうのが、この連載を通してわかったことでもあって。何か、年を追うごとにそれを実感するんですよ、人間の中身って変わるんだなって」

――わかります。気持ちの変化で文章って変わってきますから。

「今の環境になってから、自分の時間というのが少なくなったんです。だからと言って適当な日記にはしたくなくて。これを書く時間はきちんと作りたいなと思いながら、毎号書いているんですよね。あと、文字数に関して言うと、自分の中で千文字ぐらいって書くっていう決まりがあるんですよ。でも、こうやって単行本化するにあたってムラに気付いたりするんですけど。あれっ、この回は意外と長かったな、とか（笑）」

――それにしても、今回も内容盛りだくさんですよね。ヨーロッパツアー日記も含まれていますし、さらに、写真は撮り下ろしだそうじゃないですか。

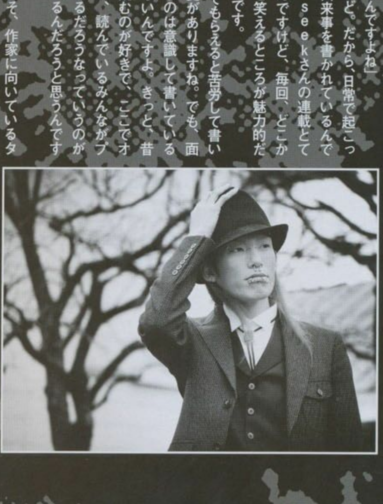
「写真は、前回に続き、小松先生に撮ってもらいまして。なかなかソロで撮られることもないので、ここでは連載で見せるseek個人を撮ってもらいたいなと思ったんですよね。なので、素に近い写真が撮れたんじゃないかと思います」

――そこも見所ですね。そして、近々、イベントがあるということで。

「これは、連載とは全く関係ないんですけど（笑）、またしても、〝魚群〟のイベントをやることになりまして。以前から憧れていた新宿ロフトプラスワンというライヴハウスで、仲の良いバンドマンと一緒に和気藹々な感じでやっていきます。そしてですね、これだけでなく、ツアーもやってしまおうかという話になって、9月に東名阪を廻ることになりました。普段の作りこんでいるライヴとは違う、リラックスして音楽を楽しんでいる様子を見ていただけたらなと思いますので、〝魚群〟を見た[illegible]は、是非！」

――プラス、単行本も是非—と。

「ですね（笑）。僕の変化も含め、2巻目は読んでもらいたいですね。バンドのときとは違う、seekというアーティストを、この本で感じてもらえたらなと。あとはね、たまには担当編集にも褒めてもらいたいですね。そうじゃないと、このまま連載続けててええんかな～って思ってしまうんで（笑）」



vimee.net

蝴蝶网
hudie.com

Mix Speaker's,Inc.

NEVER ENDING STORY
ライヴでのマスト曲集

毎回、コンセプトごとにさまざまな世界観で楽しませてくれるMix Speaker's,Inc.。そんな彼らが、6月16日に初のベストアルバムをリリースするという。1stストーリーであった『MONSTERS』と、2ndストーリーであった『Wonder Traveling』から、人気曲がセレクトされていることもあり、ライヴには欠かせないマストアイテムとなる。また、今回、このアルバムにしか収録されないという新曲「いつもの帰り道」も収録されるというから必聴だ！

Interview:NAOKO TAKEICHI

――初のベストアルバムということで。

seek：ですよ。初のベストです。今回は、ライヴでのマスト曲を集めてセレクトしてあるんです。ライヴの予習として、これを聴いて来てくれたら楽しめるよ！っていうベストでもあるんで、敢えてシングルベストにしてないんですよ。

AYA：この時期にベストを出した理由としては、今年の2月に結成3周年を迎えたということもあって、そこで、ベスト作ってみるのもいいかなと考え、動きだし、（リリース時期が）今になったという、そんな事情です（笑）。

――じゃぁ、メンバーそれぞれのベスト曲と、そこにある想いを語ってもらいましょうかね。では、まず、YUKI。

YUKI：はい。僕は「YOU♪愛♪メッセージ」ですね。去年2ndストーリーを引っさげてライヴをしてきた中で、ずっとこの曲をライヴのラスト曲にしてきてたこともあり、特別な思いはありましたね。去年、はじめてロングツアーを経験したんですけど、この曲で、お客さんと一緒に歌うという流れが生まれたことが自分の中にはすごく大きな出来事として残ったんですよね。それもあって、僕の中では特別な曲になってます。

――なるほど。結成当初はまた違った曲をラストに持ってきてたからね。

MIKI：おっと、そこから先は俺が言うから言わないでよ！ 俺のお気に入りの1曲は、その、結成当初にラストに持ってきていた「if」。この曲はずっと特別な曲として最後に歌ってきた曲でもあったからで、今回のアルバムでもラストに持ってきてるんだけど、「if」は、Mix Speaker's,Inc.にとって、裏代名詞というか、いろんな想いが詰まった1曲なんじゃないかなと。この曲で僕とYUKIが涙したライヴもあったっていう、思い出の曲だったりもするし。ベストのラストを飾るに相応しい1曲だなと。

S：僕は「GREEN」です。「GREEN」はですね、1年目のライヴでは、ほぼ欠かすことなくやってたんですが、2ndストーリーになってから、やらなくなってた曲でもあったんですよ。アンケートで、お客さんに〝どの曲を聴きたいですか？〟って訊ねると、必ずと言っていいほど、上位になるのが、この曲なんです。それもあって、最近のセットリストにも組み込むようになっ

たという思い出の曲なんです。それと、この曲は、僕たちのオリジナル音源には収録されていなく、オムニバスCDのみに収録されていた楽曲だったこともあり、音源として持っている人も少ないかもしれないってことで、今回、収録することにしたんですよ。

――オリジナルの音源で音源化されていなかったってことを忘れてた。それくらいライヴではマスト曲な気がするからね。

S：僕としては、ライヴで愛されて育った曲っていうところが、感慨深いですね。

AYA：僕は「JUNK STORY」ですね。これね、1番最初に書いた曲だったんですよ。この曲からMix Speaker's,Inc.の曲たちが生まれていったっていう、全ての始まりだったこともあり、個人的にすごく思い出深い曲でもあるんです。当時、モンスターというひとつの大きなテーマとコンセプトがある中で、ツインヴォーカルっていう新たな試みがあったこともあったし、とにかく最初の1曲になる勢い重視の曲にしようと思って向き合った曲でしたね。その勢いだけは、今も感じてもらえるんじゃないかなと（笑）。

keiji：僕は「BIG BANG MUSIC!〜青春ウォーカー〜」ですね。僕もはじめて歌ったという意味でも、思い入れは相当強いですからね。ヴォーカルデビュー曲ですから（笑）。

――クラブチッタ川崎のライヴではじめて披露したんだよね。花道に6人が広がってダンスしながら歌いだしたときは、身を乗り出して見入っちゃったからね。

keiji：1番最初のステージですよね。緊張しましたけど、〝見とけよ〟っていう気持ちもありました（笑）。

――keijiくん、当初ダンスがワンテンポ遅れるとか言われてたけど（笑）。

keiji：でも最近上手いって言われるんですよ。けど、そのこなれてきた感じが、初々しくなくて嫌だっていう意見もあって。どうなんですかね？

seek：半拍遅れるくらいが萌え〜なんやと思うわ。でも、最近はシャキシャキ踊るから可愛くないんちゃう（笑）？

keiji：たぶんね（笑）。

seek：僕は「MONSTIME」かな。

慧美网
vimee.net

Inc.の軸の部分なんじゃない？ 大テーマでもあるモンスターが題材だし。

seek：そうなんですけど、でもね、この曲はじめて聴いたときは、しょぉもない曲やなぁって思ったんですよ（笑）。

——AYA曲だよね（笑）？

AYA：そう、俺（笑）。

seek：でも、レコーディングして、ライヴをした時点で、一気に代表曲になった曲やったんですよ。

MIKI：うん。すごい化けた曲だったよね。覚えてる、その感覚。

seek：今でこそ、セットリストの重要な位置に置かれる曲なんですけど、その当時は、5曲目とか、本当に流れの中の1曲っていう位置に置いてた曲やったんですよ。だけど、お客さんのテンションが、すごくこの曲を求めてたことで、この曲がだんだん育っていったんですよ。僕らよりも、お客さんによって、この位置まで上がってきた曲やったんすよね。当時のマネージャが、ライヴ中、この曲聴いて泣きそうになったって言ってたくらいの存在感を放つ曲になったっていう。客席とメンバーとの掛け合いで生まれる一体感に涙したらしいんすよ。「JUNK STORY」に続くくらい、長いことやり続けてるマスト曲なんちゃいます？

AYA：回数で言うたら、「JUNK STORY」よりもやってると思う。

seek：たしかにね。イベントライヴでも「MONSTIME」は必ず入れてるしね。僕ら的に、「JUNK STORY」や「MONSTIME」に代わる新たな曲を生み出していこうという意識があるから、そういう曲を作るときに、〝「JUNK STORY」1〟とか〝「MONSTIME」2〟っていう仮タイトルを付けるんですけど、正直、「MONSTIME」を越えられる曲が、まだ自分たちの中で出来てないんですよね。そこは課題かなと思いますね。

——今回8曲目に新曲「いつもの帰り道」が入る訳だけど、この曲は今までにないテイストの楽曲だね。ここまでほっこりした楽曲はなかったんじゃない？

MIKI：うん。新しい方向性だと思う。この方向性でいくかどうかって、すごく話し合ったからね。俺とSさんとかは、「僕。三日月」とか「BIG BANG MUSIC!〜」みたいに、敢えてMix Speaker's,Inc.っぽくない、別方向性を持った曲を入れていきたいって言う意見で、AYAくんkeijiは、ぽい方がいいって言って。いろいろと話あった結果、この曲を持ってくることになったんですけど、

S：あんまり色を感じさせない、ただただほっこりと幸せになれる曲を入れたいなって思ったんで、1stアルバムを作る前あたりにあったseek曲のこの曲を引っぱり出して来て、〝この曲やろう〟って僕が言った[illegible]

YUKI：僕は個人的に、「if」よりもスローなバラードを歌いたかったんですけど、それは次のオリジナルアルバムに取っておこうって話[illegible]却下になったんです（笑）。で、結果よかったかなって思ってますね。seek曲のこういうテイストは、今まで表に出ることがなかったけど、結構王道の曲だったりもするし、バランス的にもすごくしっくりきたと思いますね。

keiji：最初はやっぱりベストだし、現在進行形で続いてる自分たちらしい、ぽい方がいいのかなって思ったんですけど、1stストーリー寄りにするのか2ndストーリー寄りにするのか、3rdストーリーに繋がるモノにするのかとか、いろんな繋がりを考えて、ここに落ち着いたんです。

seek：歌詞もストレートだし、歌もストレートに響く、Sさんの言うように、ただただ幸せを感じる曲になりましたね。『NEVER ENDING STORY』というタイトルでもあるように、ストーリーはまだまだここから続いていくんだよ、という意味も込められているので、ここから次のストーリーへと繋がっていく感じも入れられたんじゃないかなと思います。

——そして。7月3日には日比谷野外音楽堂でのライヴも控えてますが。

seek：はい。このベストを聴いて、このベストに付いて[illegible]ツ着て、みんなで遊園地に行く感覚で遊びに来てもらえたらいいんじゃないかなと思います。

AYA：野外を味方に付けた、3rdストーリーである【ANIMAL ZOMBIES】をテーマとした[illegible]を作ろう】というコンセプトをガッツリと感じてもらえるライヴにしようと思ってるので遊びに来て下さい！

(問)Mix Speaker's,Inc.　〒102-8366　東京都千代田区五番町5-1　JS市ヶ谷ビル7F　http://www.mixspeakersinc.com/

vimee.net 慧美网
蝴蝶网 hudie.com

杉本 善徳

GIG『The NEXT.』
Live at赤坂BLITZ 2010.4.17(sat)

あの光の先に新たな道が見える!!
“音”による確かな決意表明。

4月17日、赤坂BLITZで行われた杉本善徳のGIG『The NEXT.』。『The END.』を経てたどりついたこの場所は、さらに未来へと続く希望が感じられた。杉本自身も一回り成長し、同時に本来の姿を取り戻したように、再び大きな一歩を踏み出した。10月の東名阪ワンマンツアー、来年1月3日の赤坂BLITZのリベンジと、NEXTがあることが本当に嬉しい。

Report：MIYUKI MURAYAMA

昨年、11月29日渋谷AXで行われたGIG『The END.』から約5ヶ月。その間、特にリリースもなかったのだが、多くのファンが、杉本善徳のNEXTを待ち望んでいた。そして彼自身も、おそらく5ヶ月前には全く考えてなかった彼のNEXTをノビノビと味わいながら、自由にライヴを楽しんでいた。

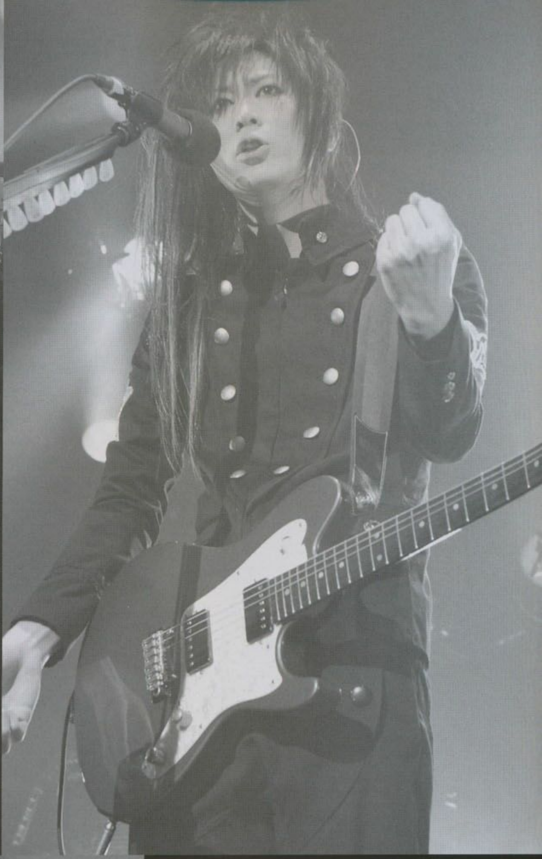
杉本にしては珍しく、ほぼオンタイムにライヴは始まった。「オフホワイト」が、まるで駆け出すように、前のめりにスタートを切る。楽器陣に新メンバーを迎えているせいか、サウンドの印象もこれまでとかなり異なる。そしてそれ以上に、昨年11月29日に行われた前回のワンマンと同じ曲でのスタートでありながら、あの日漂っていた緊張感は全くなく、その空気はまるで別もの。そこにあるのは、その場にいた誰もがこの瞬間を楽しみにしていたのだという、暖かく、熱い気持ちだった。

普段あまりやらないシングル曲の「NIGHT and DAY」や「朝焼けにざわめいて空を舞う鳥を見た」といった曲を織り交ぜつつ、一見難解とも思われる、緩急、硬軟の激しい展開の中、各々の曲のメロディー、言葉、歌が、心に残って行く。

10曲プレイしたところで、〝こんなに次があるっていいこととは思わなかった〟と語る杉本の言葉には、『The END.』を乗り越えた重さが感じられた。その後には度肝を抜くようなイントロから始まる彼らしいメロディーが印象的な

vimee.net 慧美网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com



杉本 善徳

GIG『The NEXT.』

Live at赤坂BLITZ 2010.4.17(sat)

【SET LIST】

M 01. オフホワイト
M 02. CLAUDIA
M 03. 南無 (NUM)
M 04. 東京コーリング
M 05. &
M 06. NIGHT and DAY
M 07. 朝焼けにざわめいて空を舞う鳥を見た
M 08. 最早、誰にも解けはしない「パズル」
M 09. おとぎ話
M 10. 甘党
M 11. 新曲
M 12. LIFE
M 13. ディペンデンスー依存症ー
M 14. THE WORLD IS MINE.
M 15. I LOVE YOU
M 16. ガーリッシュマインド
M 17. 狂気-insanity-
M 18. Role Playing Generation
M 19.スティクス-Styx-
M 20. I am Fragile
M 21.トラウマに××される自己肯定
M 22. Lie
M 23. DIVE
M 24. ミンナノウタ
——encore——
en 01. YOU & I

毒舌も絶好調。その冗舌ぶりは止まりそうもなく、しばし続いた。セットリストもそうだが、彼のライヴには、ありがちでお決まりの流れや展開は無縁だ。長すぎると思われるMCでさえ、決してライヴの流れを止めるものにはならず、必要不可欠の要素なのだ。

ここでライヴも折り返し。その後は、激しいヘドバンの応酬となった「THE WORLD IS MINE.」をはじめ、目まぐるしい展開で、まずは攻めて行く。そして、〝踊りたいか!〟と、「ガーリッシュマインド」が始まり、皆揃った動きで、ますます勢いづくと、会場の熱気も上昇。楽器陣の演奏もバンドらしいまとまりを見せながら、そのグルーヴで観客の体を自然に動かして行った。杉本のライヴには、盛り上がるという一面も、大きな魅力として存在する。

〝盛り上がってまいりました!〟と、杉本も満足げな様子。8時を回った頃、ようやく終盤戦を迎え、ここからラストスパート。「スティクス-Styx-」から立て続けにぶっ放して行くと、さらにまるで勢いまかせのような「DIVE」で突っ走り、勢い余るように、最後「ミンナノウタ」へと突入する。〝皆で歌って下さい〟とラップ部分を観客が合唱。なかなか満足行く声が聴けなかったらしく3回繰り返したものの、その結果思わず〝大好き〟という言葉が笑顔と共にポロッとこぼれるほど、杉本も嬉しかったよう。もちろんそれを聞いたファンも大歓声だ。本音が思わず口から飛び出した、といった風な彼の様子には、観ているこちらの心まで温かくなった。この日のライヴは、そんな温かな空気に終始包まれていたように思う。彼がファンに愛されていること、彼がファンを愛していること、そんなお互いの気持ちを素直に確かめ合える時間が、幸せでないはずがない。そしてこの日は、『The END.』を乗り越えて迎えた『The NEXT.』なのだ。幸せの余韻が続くように、本編は終了した。

アンコールは、まず延々と続く(笑)、グッズ紹介から。さらにメンバー紹介。おおいに笑い、すっかりリラックスしたところへ、この『The NEXT.』が次のスタートであることが告げられ、〝始まりの曲は常にこれであってほしい〟と、「YOU & I」が始まった。彼が、ソロとして初めてステージに立ったときに歌ったのが、この「YOU & I」だった。そこには、ENDを越え、これからNEXTを重ね、それがもっとずっと続いて行くであろう、杉本とファンの姿があった。そのまず第一歩として、NEXTを用意。さらには、この赤坂BLITZへ再び立つ日も。次は売り切るべくもう一度勝負すると宣言する杉本の表情には、前向きに音楽活動に邁進して行こうとする意気込みが感じられた。ただシンプルに、大切なファンと共に、大好きな音楽を楽しんで行く。そんな気持ちを改めて得たのではないか。ここからまたどんな音楽を生み出して行くのか、彼のNEXTをこれからもずっと追いかけて行きたい。

vinee.net

西の皇帝最後の聖戦。ついに5人が動き出す!!

凛
-the end of corruption world-

慧美网 vimee.net

蝴蝶网 hudie.com

ついにその全貌が明らかになる

いよいよ本格的に始動する期待のKISAKI新バンド、凛。結成記念の初音源『As If Forever Exists.』が、6月2日にリリースされる。幅広い曲調の収録曲からは、まだバンドの全貌は掴みきれないが、"静"と"動"のコントラストが生み出す世界観という、凛が掲げるコンセプトを強く感じ取れるだろう。ライヴも続々と決定しているので、ぜひともその姿を確かめてみてほしい。

Interview：MIYUKI MURAYAMA

——タイトル曲にバラードを持って来たのは、なかなか冒険ですよね。

KISAKI：僕の中では冒険でも何でもないんだけど。元々バラーダーなんで（笑）。僕がこのシーンに復帰する心境をストレートに歌詞に綴りました。

——皆さんはいかがでした？

REIYA：ちょっとビックリしたんですけど（苦笑）。でも、メッセージ性があるし、伝わりやすいんじゃないかなって。

KANATA：KISAKIさんが一番伝えたい内容だと思ったんで、これが一番初めに来るのは重要かなって。

KISAKI：これが凛ですって言ってもいいぐらい気持ちがこもってますから。

——そうなると、静かなバンドだと思われそうじゃないです？

KISAKI：僕の音楽活動を応援してくれてる人から見ると、何の疑問もないと思うんですよ。KISAKI PROJECTとかはバラードしかなかったし。楽曲の儚げな部分とか繊細な面を綺麗な音色で打ち出すことは重要視して来たんで。

——確かに。作曲のクレジットがバンド名義ですけど、作曲はどんな風に？

KISAKI：僕がもともと作ったデモやメロディーを、KANATAにギターで広げてもらった感じですね。

KANATA：歌詞を読んだ時点で、これは壮大なバラードが一番合うんだろうなって思って。歌詞を引き立てるのに徹しつつ、歌詞がなくても、演奏だけでも想いが伝わるイメージで作りました。

——楽器をプレイするときも、そこを意識したんですか。

MIZUKI：歌詞を読んで、KISAKIさんの強いこだわりがわかったので、見た目的に僕は一番バラードにそぐわないとは思うんですけど、そんな僕が表現できる最大限のバラードを考えて、気持ちを込めて弾きました。

REIYA：ドラムも、感情を込めて叩いてってKISAKIさんに言われてやったら、すごくいいテイクが録れました。

KISAKI：淡々と演奏してると、曲に躍動感や感情が出ないし、サビで聞かせたい部分の爆発力が大切だと思ったんで。バラードこそ、一番大事なのは強さだと思わされました。

——歌は、まさにメッセージを伝える役割を果たさないといけないですよね。

RIKU：僕は言葉がある分、自分が解釈した言葉の意味とKISAKIさんが歌詞を書いて伝えたい気持ちが合わないところとかがあったんで、そこで歌の録り直しが何回もありましたね。KISAKIさんがもっとこういう風に歌ってくれって言うのを忠実に再現した作品です。

——KISAKIさんとしては、歌への要望はかなりあったんですか。

KISAKI：メチャメチャあったんですよね。新しいRIKUの表情を出したいっていうところも含めて、徹底的にやりたくて。言いたい放題、言ってやりました（苦笑）。やればやるほど曲が深まって行くのがわかったんで、出来上がったときは泣きそうなぐらい満足感はありましたよ。

——3タイプ共に入るのは、「Freedom」。

KISAKI：当初は違う曲が入る予定だったんですけど、変えたんですよ。この曲を作ったときはライヴ向けのお遊び的なパーティーノリなイメージだったんですけど、仕上がりが予想以上によくて入れたくなってしまって。皆で自由にバカ騒ぎできるような曲を作りたかったんですけど、RIKUからも思ってるとおりのタイトルが来たんで、意思疎通もばっちりだなと思って。

——原曲を聴いたときの印象は？

RIKU：途中のリズムがゴロッと変わるところとかを聴いて、ライヴで全員が楽しくなるような感じを最初に受けて。ライヴで、自由に全員が楽しめるような曲だなと思ったんです。それでタイトルを自由にしたんですけど。歌詞の書き方も好き勝手やらせてもらいました。

——楽器隊はいかがでしたか。

REIYA：このドラムはシンプルなんだけど、打ち込みにパーカッションが入ってるんで、それが噛み合って、KISAKIさんのベースが入って、いいノリが生まれてるんです。

——打ち込みのパーカッションが入るのは、意外でしたね。

KISAKI：それは、この3年間ぐらいバンドを離れて、プロデュースをやって来て得た引き出しのストックだと勝手に自負しています（笑）

KANATA：KISAKIさんのイメージにパーカッションはなかったし、意表をつかれましたね。途中で来る変拍子みたいなところもそうだし。ギターソロは、二人でギターで話をしようっていうイメージで弾いてます。

MIZUKI：KANATAさんに家に来てもらって、そこでソロの話をしたんですけど、その時の話してる呼吸がギターソロになった感じですね。

——Bタイプに収録される「Imaginary Lover」は、また大曲が来ましたね。

KISAKI：これは、凛のコンセプトと言うか、僕がずっと音楽活動をして来たコンセプトでもある、静と動のメリハリをきっちりつけてます。だからドラムとかもとことん激しく行けって言ってたんですよね。

REIYA：この曲はとりあえずパワフルに行こうと思って。

KISAKI：バックだけ聴くとかなり激しいですよ。ベースとかもかなり歪ませてますからね。

——ギターも？

MIZUKI：どちらかと言うと僕は動のほうが強く出るので、静かなセクションに入っても、心の中で動を忘れないように意識してプレイしましたね。

——その辺りは歌も同じ？

RIKU：1回目のサビが終わって、またAメロで落ちるところの感情の込め具合が究極に難しいところですね。一番盛り上がったところで、またスッと止まらないといけないんで。そういうメリハリは意識しました。

——メリハリはありつつも、全体的には歌が中心の曲ですよね。

KISAKI：歌ものに近い感じですね、攻撃的ではあるんですけど。

——Cタイプに収録される「Fake Dance」は、ライヴでノれる曲ですよね。

KISAKI：暴れるノリでは無くて妖艶で体が自然に動くようなリズムの曲を作りたくて、歌詞のテーマもきっちり決めて。誘惑とか欲望とかに目が眩んで、踊らされてる人間の心の音をイメージして作ったんです。同期で、バッハの曲を引用してるんですけど、それで妖艶さが増した感じなんですよね。

——リズムはもちろんノリを意識して？

REIYA：これはジャングルビート的なノリで、タムを多用してますね。輪郭がある感じの軽めの軽快なリズムを意識してやりました。

——全体的に軽快な印象です[illegible]

MIZUKI：ダンスって言葉が入ってたので、自分で踊るイメージで弾きました。ライヴ中、踊れるような心持ちで。

KISAKI：踊ってもらおうと思ってるんだけどな（笑）。

MIZUKI：必要なら踊ります（笑）。

KANATA：RIKUさんが得意ですよね。

KISAKI：何かやってくれそうだなと思ってるんですけど。

RIKU：僕も歌詞とタイトルを見て、これは踊るんだなって。

一同：（笑）

——今回の作品では、KISAKIさんの作った曲が多いですよね。

KISAKI：今まで、楽曲はギタリストが作曲するのが一番良いと思ってたし、それによってスキルも上がるからあえてやらせてる部分はあったけど、このバンドは今まで以上に自由に出し合っていければいいかなって。そのうちREIYAもすごい曲を作って来ますから。

REIYA：一曲に何年もかかるんで、もうちょっと待ってて下さい（苦笑）。

——オムニバスの『NEO VOLTAGE』に入る「Foolish」はKANATA君の曲で、ライヴで暴れるイメージですよね。

KISAKI：このオムニバスに関しては、収録曲のラストで、ゲスト的な枠でどうですかって話だったので、バンド始動の勢いを見せたろうと思って、イケイケな曲を選びました。

——これを聴いて、シングルを聴くとまた落差がありますね。

KISAKI：通販限定盤の『凛』を聴いて、オムニバスを聴いて、シングルを聴くと、全部タイプが違う曲なんで、バンドイメージの全貌は掴めないと思うけど、多種多様で面白いバンドだなって思ってもらえると思います。

——そして初ライヴがいよいよ目前ですが、

KISAKI：初ライヴは、[illegible]チャに引っ掻き回してやろうかなと[illegible]てます。もうこのイベントに誘われなくなってもいいぐらいの気持ちで、後々伝説のライヴだったと言われるくらいにしたいですね。

MIZUKI：とりあえず気持ちだけは負けないように。そして、ダンスし[illegible]。

一同：（笑）

vimeet 蝴蝶网 hudie.com

SHOCK WAVE アポロ Vo.l 37

ve at 高田馬場AREA
010.4.18

raphy:MASAKAZU KOBAYASHI(SHOXX)／Report:TOMONORI NAGASAWA

毎月18日に高田馬場AREAを舞台に行っている「SHOCK WAVE アポロ」。4月18日のイベントには、シネマストリップ/LOST ASH/ DANGER☆GANG/Cla vi us/TOON-FACTORY/Tu[ism]/オトガデッドの計7バンドが出演。その日の熱気あふれたイベントの模様、今月もお届けしよう。

蝴蝶网 hudie.com

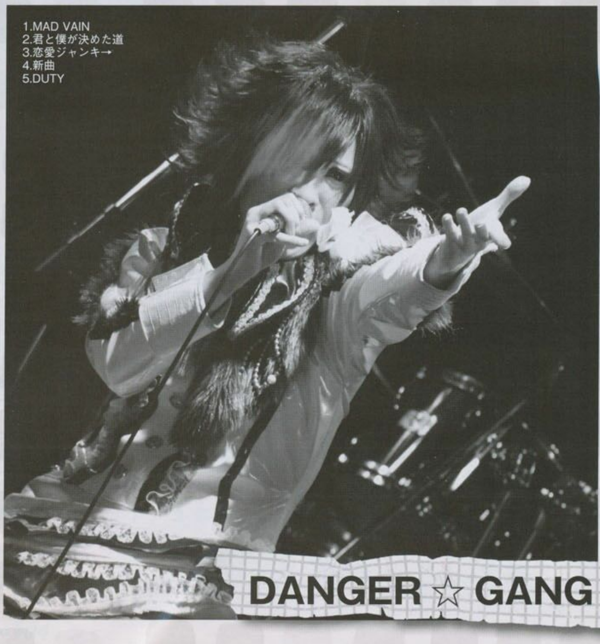
LOST ASH

シネマストリップ

1.クリムゾンメモリー
2.アナーキーフューチャー
3.アカシックレコード
4.木蓮の花

慧美网 vimee.net

Cla vi us



1.MAD VAIN
2.君と僕が決めた道
3.恋愛ジャンキ→
4.新曲
5.DUTY

DANGER ☆ GANG

1.クレッセント・ムーン
2.プロローグ
3.愛言葉
4.見上げた桜
5.ツインテールはアヒル口

Tu[ism]

1.イノセント
2. Sweet&Dispain
3.キミを探して
4.妄想Honeyの玩
5.Re:write

TOON-FACTORY

オトガデッド

1.涙目アリス
2.Dm'の雑音
3.楽園
4.Asterisk
5.Sora no tobikata
EN.トリップトラベル

蝴蝶网 hudie.com

同期を効果的に用いつつ、ライヴハウスという狭い空間で思いきり感情昂っていけるように、荒々しい体感的な演奏を奏でていく。でも本質にあるのは、【歌】を届けゆく姿勢。イベントの冒頭を飾ったシネマストリップは、1曲目に持ってきた「クリムゾンメモリー」を通し、いきなりバンドの本質を観客たちの前へ提示してくれた。歪んだ音のウネリが奈落の世界へ導いた「アナーキーフューチャー」。終盤には、騒ぐに相応しい楽曲を立て続けに演奏。目の前へ熱狂呼び起こす様を描きつつも、歌を届ける姿勢を忘れないところに、強く共感を覚えた。

ドラムのカウントが告げられると同時に、身体を貫くようエッジ鋭いギター・サウンドが解き放たれた。ザクザクとした鋭利な衝撃音を、タイトなビートが支えてゆく。でも、ただ重いだけではない。メロディックな歌を中心に据え、その声色へ過激な音のデコレートを施したと言ったほうが正しいだろう。自分たちの活かし方を認知したうえで、楽曲へバリエーションを与えているLOST ASHの面々。疾走感満載、デス声も交えた「FLARE」。一発で耳馴染む歌が胸に残り続けた「super NOVA」は、とくに印象深い表情だった。

今でこそV系の中で女性バンドが活動していても、認められる状況が出来ている。これもDANGER☆GANGの頑張りがあったことは、否定できないだろう。「君と僕が決めた道」では、会場中の人たちが笑顔で飛び跳ねたりと、この日もヘヴィな音のウネリとデスぎみな声を振り絞り、体感的な熱狂を場内へ作り上げていた。以前こそ、男勝りな姿を全面に出していたが、楽曲とステージングに説得力さえあれば、性別は関係ない。今の同性支持は、〝自分たちらしくあればいい〟という姿勢が認められたことの成果。拳振りまわし一体化した「DUTY」など、アッと言う間な熱狂の宴だった。

荒涼とした世界へ差し込んだ希望という光。「soup.」を聴いた瞬間、そんな風景が一気に頭の中へ広がっていった。頽廃の美学を奏でるよう、刹なメロディーという筆を用い、五線譜の上を麗美になぞってゆく。Cla vi usの演奏に触れながら感じた印象だ。「生命線」のように頭揺さぶる楽曲でも、倒錯の美学は貫かれてゆく。哀愁メロウな「ルララ」など、彼らの演奏の中へ僕は、ゴシックという言葉が定着する前の、内性的な感情を刹那という美意識で包み込んでいた頃のV系の源流を見た気分だった。こういうバンドこそ注目して欲しい。

幕が開くと同時に演奏をスタートさせたのが、SHOCK WAVEアポロでは半レギュラー・メンバーになっているTOON-FACTORY。この日も、マイナー調で疾走感のある歌物作「イノセント」を通し、会場の中へグリッターなディスコロック・ムードを飾りたてていた。もちろん、会場中を祭りの景観へ導いてゆく激烈な攻め系ナンバーも、彼らの持ち味だが、最近のTOON-FACTORYに限って言えば、「キミを探して」のようディスコなハードナンバー系が、旬な似合う表情に思えてくる。この日も、客たちをしっかり揺らしてたしね。今夏、自身初のワンマン・ツアーも決定している彼らの今後が楽しみだ。

何が最初に耳へ響いてきたって、ヴォーカルの声の存在感だ。多少滑舌やピッチの甘さはあるが、ベターッと胸にこびりついてゆく絶対的な存在感は、Tu[ism]にとって大きな武器になっている。いくら激しい音を戦わせようと強烈に際立ってゆく声色は、何物にも変えがたい大きな魅力だ。激情的かつ陰な感情の揺れ伝える、歌謡ロックナンバー「愛言葉」。最後を飾った「ツインテールはアヒル口」では、ドライブ感満載な煽り系スタイルを披露。全体的に粗さが目立つとはいえ、今後どう進化成長してゆくかが楽しみな存在でもある。

美しい者には刺があるのなら、おどろおどろしい空気伝えゆく連中だって、美しい花を持っている。メルヘンな童話本を鏡に映して読んだら、そこには頽廃的でロマネスクな世界が広がっていきそうだと思わないかい!? オトガデッドに触れたとき、僕は開いてはいけないページを開き、そのまま奈落なおとぎの世界へ落ちてゆく気分になっていた。歪みを上げた轟音のファンファーレが、暗鬱としたワンダーランドへ導いてゆく発車音のように。「Dm'の雑音」が誘う狂気の宴。激情な舞台作り上げた「Asterisk」など、大人だからこそ味わえる暗なおとぎ話を、ぜひ食していただきたい。

vmee.net

蝴蝶网
hudie.com

S4RSHI

尽

yu-ta

Yusuke

Not Found

直球勝負の自信作!!

6月2日に自身初となる、PV付きSINGLE「Not Found」をリリースするHERO。初のセルフ·プロデュース作品となる今作は、彼等の持つ【ROCK色】が全面に押し出された作品に仕上がっている。今回は、そんな「Not Found」についてメンバー4人にじっくり語って貰う予定でしたが…Vo.尽の遅刻により、楽器隊3人のインタビューとなっております。プレコンWORLDにて、尽からのお詫び【スッピン&土下座チェキ】のプレゼントあり(笑)。

Interview:YUKA SUGIE

HERO

慧美网
vimee.net

「Not Found」ですが、初のセルフ・プロデュースだけに、今までとの違いも多々あったのではないかなと。

SARSHI：やっぱり、違いますよね。ギターに関しても、今までは音作りからジャッジから、プロデューサー主導でしたけど…今回は、自分の音作りとジャッジでやってたんで。そのぶん、好きなことはできたかなって。

yu-ta：そうだね。音にしてもフレーズにしても、突き詰められる面白さみたいなものは感じましたよ。あと、ミックスダウンのバランスにもすごくこだわったし。

Yusuke：yu-taくんは、すごく音にこだわりが強いからね。それが今回は、すごく良い形で活かされたと思う。ドラマーとしても、これまではプロデューサーの他にドラムチューナーもつけてもらってたんですけど、今回はチューニングとかも全部自分でやって。大変ではありましたけど、ある意味リラックスしてやれたことで、良い演奏ができた気はします。

——ただ、すべて自分たちに委ねられる責任は軽くはないし…どこで線を引くか、その判断が難しくもありそうですよね。

SARSHI：確かに、周りはOKだと思っても、自分的に納得いかなければ何回も録って突き詰めたくなりますからね。でも、学んできたことを活かして、時間をかけてプリプロもしっかりできたんで。

——これまでは、かなりタイトな制作が多かったんですよね。

SARSHI：レコーディングの1週間前に曲ができるとか、よくあるパターンだったし…今までは、プリプロをしてなかったですからね。

yu-ta：レコーディングと一緒にやるみたいな感じだったもんね。でも、そういう過酷な状況でやってきただけに、レベルは上がってましたね。

——ある種の修羅場をくぐって、尋常じゃないバンド力がついちゃいました？

yu-ta：そうかもしれないです。何しろ、Yusukeが録ったドラムを聴いたときに、〝この子、ウマくなったわ！〟って思いましたもん（笑）。

Yusuke：そう言ってもらえるのは嬉しいですよ。自分で自分の録ったものを聴いても、聴きやすくなったと思うし。

yu-ta：そうやって土台がしっかりしてると、僕としてもやりやすいしね。

SARSHI：ホント、ベースもウマかったんですよ。全部、さらっと弾いて終わったんで。ギターにしても、これまでは音作りより録るほうに時間をかけてたんですけど、今回はエンジニアさんと一緒に話しながら、時間をかけて音作りして。録り自体は早かったですね。

yu-ta：傍で見てても、今までで一番さらっと録れてましたからね。

——素晴らしい相乗効果です。今回は3曲それぞれ、タイプがガラッと異なりますが…曲ごとのアプローチに迷うことなく向かえたわけですね。

SARSHI：プリプロでしっかり向かう場所を作れてたから、今回はやりやすかったですよ。表題曲なんかは、本来僕らが得意としている方向性の曲だし。今までは、歌詞の内容にしてもちょっと一線外れているような曲を表題曲に持ってくることが多かったけど、今回はある意味、普通で真面目な曲で勝負をしたくて。

yu-ta：今回のシングルは、全体的におちゃらけがないですからね。

——確かに…これまでは、ある種飛び道具的な曲調だったり言葉だったりで意表を突くのが、HEROの真骨頂のように見えていた節もありましたもんね。

yu-ta：そうそう、そうやっておちゃらけてるのがHEROだっていう印象が、みんなの中に強く染みついてると思うんですよ。だから今回は…変な言い方ですけど、まともなシングルを作れたなって思います、はは。

Yusuke：でもホント、今回は真面目な面も見せられたらいいなっていうのは、思ってたことなんで。

SARSHI：尽くんのキャラにしろ、歌詞にしろ、ライヴの運び方にしろ…ヴィジュアル系の中でも、やっぱりHEROってちょっと浮いた存在というか。そうやって今までは変化球ばっかりやったけど、そろそろ直球で勝っていきたい気持ちもあって。ホント、今回は3曲ともかなり自信がありますから。

——奇をてらわずとも、十分闘えるという自信がついたと。でも、従来のような変化球は変化球で、HEROにしか投げられないものでもありますからね。

SARSHI：そうそう、そうなんですよ。今後、その比重が変わっていくことはあるだろうけど、変化球は投げ続けていくだろうし。それこそ、たとえばアルバム中、全曲で真面目でも…ちょっとね。

yu-ta：うん、面白味がないだろうからね、きっと。

SARSHI：だから、そのへんはウマくバランスとっていきたいなと思いますよ。ま、今回直球投げてみて〝負けた！〟ってなったら、〝やっぱり変化球だ！〟ってなるかもしれないけど（笑）。

——ははは…それはそれでアリですけど。にしても、「人間定義」の音作りに関しては、がっつりとヘヴィロックですね。

yu-ta：あそこまでヘヴィにいききったのは、初めてですからね。

SARSHI：個人的にはヘヴィ系が大好きなんで、こういうのもやってみたかったんですよ。yu-taと一緒に考えながら、〝これ、かなりイカついやん！〟って盛り上がってました。

Yusuke：僕も、ヘヴィな曲は好きですからね。ただ、ドラマー的にはこういう系は得意じゃないと思ってたんですけど…思いの外できたし、何より楽しく叩けたんで。良かったなと。

——通常盤のみ収録の「カゾエウタ。」は、まさにHEROの王道ソングだとは思うんですが…ただメロウに終わらないドラマ性に、さらに磨きがかかったなと。

SARSHI：確かに、今までの王道である〝切ない歌モノ〟を突き詰めた曲ではありますね。起承転結的な流れをつけて、特に最後にグっとくるようにしたかったんで。

yu-ta：ただ、各パート複雑だから、すごく難しくて。

SARSHI：最初スタジオで練習してたとき、バラバラだったもんな。ま、僕はあのリズムが好きですけどね。

——ちなみに、難しいリズムパターンになってしまったのは…自分で自分の首を絞めた的な流れですか？

yu-ta：いや、そういうつもりは毛頭なかったんですけど…ま、結果的にはそういうことですかね。曲がそういうリズムを呼んでしまうんで、それなら致し方ないなと。で、絞めました（笑）。

Yusuke：ただ、僕的にはAメロの16分なノリは得意なんで。わりとすんなりアプローチできたし、やってて気持ち良かったです。

SARSHI：ギターはAメロで4本重なってるんですよ、実は。重なったときの音色がキレイだったんで、半ば無理やりたくさん入れてみました。

——その甲斐あって、美しい響きです。

yu-ta：ですよね。SARSHI色が爆発してくれましたよ。

——ところで、今日は尽さん不在ですが…レコーディング中、彼のことはどう映っていました？

SARSHI：尽くんが歌録りをしてるとき、僕らもいろいろ意見を出したんですけど…幅は広がってきてると思いますね。前は歌詞をハッキリ歌うことに重点を置いてましたけど、今回はピッチは無視して、感情やニュアンス重視のジャッジを、みんなでしたし。

——そういう周りの意見をちゃんと受け止めて、貪欲にトライできる人なんですね。

SARSHI：うん、すごく柔軟ですよ、歌録りに関して。

yu-ta：でもホント、すごく良くなったと思うんですよ。今まではちょっと少年っぽさがあったと思うんですけど、すごくオトナな感じの歌っていうかね。

Yusuke：確かにね。前より成長を感じられますよ、聴いてて。

SARSHI：あと、初回限定盤に付くDVDで「Not Found」のPVが見られるんですけど…尽くん、カッコイイですよ。フロントマンにいてほしい人物像に近づいてきてますから。映像全体としては、すごくバンド感が出てるんで。ポップバンドではなく、あくまでロックバンドとしての躍動感を感じてほしいですっ。

——その躍動感は、5月の高田馬場エリア、7月の大阪RUIDOと、2本のワンマンライヴでも確認できそうですね。

Yusuke：ガッツリいきますっ。

yu-ta：カッコイイシーンのみ、カッコ悪いところは見せません！

SARSHI：あと、ただソールドアウトしたから成功っていうわけではないんで。来てくれ[illegible]に納得してもらえるライヴを[illegible]て、良い発表をしたいなと。今年もまだまだ加速します！

v慧美网
vimee.net

(問) http://hero-izm.com/

ネガ

美魂の音霊『NEGATIVISM』リリース!!

慧美网
vimee.net
蝴蝶网
hudie.com

品を集めたベスト的なものなんですか。
ル：[illegible]年前ぐらいに出したオリジナルのフルアルバムとはまた違うような曲で、残しておきたい曲をまとめました。ただ、タイトルの『NEGATIVISM』はネガ主義的な意味合いと、否定論っていう意味があるんですけど、今のヴィジュアル系に対する否定論みたいな意味合いも含めて、そういう「コンセプト」もあるCDです。
——では選曲はどんな風に?
優：ただ代表曲を入れようとか、そういう感じの選曲ではないです。今の僕らのライヴの流れを意識して選曲してます。
Ray：ライヴを意識した中で、今までの5年間でポイントとなるような曲を詰め込んでますね。
ル：中には録り直した曲もあるんです。一番最初に、アンダーコードに流通してもらった、まだ所属じゃなかった頃の曲とか。それが「壁」と「Rain Falls」ですね。今とデータの規格が違ったので、録り直しせざるをえないところもあったし、今の自分達がやったらどうなのかっていうのもあったし。
——メンバーさんが5人だった頃?
優：いや、3人です。
ル：SANちゃんがいなくて、サポートギターで。
——SAN君は初めて録ったんですね。
SAN：新たにアレンジして、録り直しました。
Ray：本当に今のネガの「壁」と「Rain Falls」になりましたね。
——特に古さを感じたりしないので、ネガが、初めからやりたいことがしっかり決まってたことがわかりますね。
ル：核だけはブレないようにして来たんで。音楽的に幅を広げたりはして来たと思うんですけど、自分達が表現したいものだけは、今後も絶対ブレずにやって行きたいですね。
——これは絶対外せないだろうと思って入れた曲は、各々どれでしょう?
優：録り直した「Rain Falls」は、僕が初めて作曲した曲だし、絶対入れたいなって思ってましたね。
ル：でも、これはちょっと悩んだんです。「Lover」ってバラードがあって、それとどっち入れる?って。ネガの初期を代表するバラードの2曲なんで、それは話し

——SAN君が入れたかったのは?
SAN：三部作の「自虐パラノイド」は入れたかったですね。自分で作った曲で、シングルになったのは初めてだったんで。個人的に思い入れがあるし、3年ぐらい前の曲なんですけど、そのときの良さが出てる曲だと思うんで。
Ray：僕も、三部作ですね。三部作を作ってるときに、初めて壁みたいなのが出来たんですよ。メンバーの脱退とか。そういう意味でも思い入れもあるし。ここから4人で頑張って行こうってさらに強い気持ちになれた時期だったんで。その三部作の「illegitimacy」は、僕らにとって絶対はずせないですよね。その時期に僕らの気持ちも生まれ変わったと言うか、あれがあるからこそ今があるんで。
ル：CDが出来上がってから、その当時の自分の気持ちを思い出しながら聴いてみたんですけど、「illegitimacy」は当時のことを思い出して、泣けましたね。その頃にメンバーの脱退があったり、音楽性の幅が広がったり、歌詞の内容が変化したりもしたんで、思い入れの強い曲でもあります。メンバーが脱退したのもあって、音の問題も出て来るじゃないですか。アレンジ面でも同期の入れ方も変わったきっかけになったんですね。
優：この曲やるまでは、シンセとかピアノはネガではないなって思ってて、全然入れてなかったんですけど、このときからガッツリ入れるようになったんです。
——個々のプレイに関して、変わったとか、成長したと感じるところはありますか。
優：ドラムは全然ちゃいますね。「illegitimacy」辺りまでは、曲を活かした感じのドラムで、悪く言えば普通なんですけど、ある時期からすごいことになって来て(笑)。自分がなりたかったドラマーの姿を思い出して、そこからは主張するドラマーになって来たと思います。
Ray：初期の頃は荒さがあって、それが途中から、いい荒さになって来ましたね。僕は、そのときの感情がストレートにでるベースを弾きたいので、いい感じに荒く弾けるようになったなって。「壁」は録り直したんですけど、昔のと比べて、いい荒さで録れたんで、そういうところも聴いてほしいです。
SAN：過去の曲はわりとアレンジが王

音楽の幅は広げてきたけど核だけはブレないようにして来た。

結成5周年を迎えるネガ。それを記念して、5月26日にセレクションCD『NEGATIVISM』をリリースする。さらにその後も、全国ツアー、DVDのリリース、そして7月26日には渋谷O-WESTでのワンマンと、続々とスケジュールが決まっている。途中メンバーの脱退もありながら、自分達の表現したいものを貫き続けて来た彼ら。5年間という時間を積み重ねて来たからこその力を、おおいに発揮してもらいたい。

Interview:MIYUKI MURAYAMA

けど、「idle」ぐらいから変わって来たかなと思います。
ル：シャウトですね。本当に感情を吐き出してるようなシャウトを目指していて。なかなかそういう面を出せなかったんですけど、新曲の「NEO DESUTRUCTION」は、普通にライヴで使ってるハンドマイクで録ったら、すごいテンションが上がるんですよね。なので、シャウトひとつ聴いてもらっても、表現が変わって来てるんじゃないかと思います。
——「NEO DESTRUCTION」は、新たに書き下ろしたんですよね。
ル：このシーンに対して思うことを書きなぐった曲です。そんなのぶっ壊してしまえよみたいな曲を作りたかったんで、こんなに激しくなりました。でも、僕の中では、最終的にすごい前向きな曲なんです。今のヴィジュアルシーンには自分が惹かれるバンドがいないんで、シーンを壊して、俺がそれになってやるぞっていう気持ちを書いてるんです。
——Aタイプに付くライヴDVDは、去年の大晦日のライヴの模様ですよね。
Ray：あのときってお客さんのパワーがすごくて、逆に自分がパワーが出たんで、映像でもそういう部分を観てほしいですね。感情的なライヴになってると思います。
——Bタイプに収録されるのが、新曲「The Heartless People」。
Ray：曲を作るときに、ここはこうしよう、ここはこうしようって、展開を細かく作ってこだわってしまうんで、結局はこんな複雑な曲になってしまいました(苦笑)。
SAN：かなり皆の要素が入ってるんで、こういう曲になったのかなと思います。
Ray：自分でも聴いてて飽きない曲になりましたね。いろんな面を聴いてほしいと思います。
——世界観とかコンセプトをもとに曲を作っていた頃より、自由になってる?
優：それはそうですね。自分らが出してるものを自由にっていうスタンスじゃないですかね、最近は。
——さて、その後も5周年を記念して続々とスケジュールが決まっていますが、まず全国ツアーですね。
ル：主催イベントのツアーなんで、普段

いろんな曲を取り入れられたらなと思ってます。
——7月にPV集のDVD『VISUAL NEGATIVISM』が発売されます。
Ray：作品ごとにすごい必死でこだわってたんで、いろんなネガが観られると思います。
ル：刺激だけでなく、自分達の曲というものをどう見せたいかが、曲によってちゃんと描かれてますね。ただ演奏してるところを映してるPVではなく、その曲の世界観を意識して作って来てます。
——見どころは?
SAN：最初のあどけなさですかね(笑)。僕は一番変わったと思います。「abase」のときはただ弾くだけだったんで、それから、最終的には(PVで)ミミズを口に入れるようなことまで(苦笑)。過去の作品を見て、昔こうだったんだって楽しんでくれたら嬉しいですね。
優：僕も、男になったり女になったり忙しいですね(笑)。そういうキャラの違いもありますし、映画みたいな気持ちで演技してるんで、初期は大根っぽいんですけど、少しずつ上手くなってるかなって。
——その後、7月26日に渋谷O-WESTでワンマンですね。
Ray：5周年なんで、お客さんも一緒に祝う気持ちもありますし、ここから爆発して行こうっていう気持ちもあります。
ル：このライヴがひとつのターニングポイントになるんじゃないかと思います。後悔のないように自分達が積み重ねて来たものを全部出したいです。
SAN：5周年の集大成なので、全力で挑みます。そこで何かが生まれると思うんで、楽しみにしていてほしいです。
優：最近ワンマンをやることが多くなって来てるんですけど、その中でこの日が一番いいライヴだと思えるようにしたいです。今までの会場より大きくなるんで、高いドラム台で叩くのも楽しみですね。
——この5年間はいかがでしたか。
Ray：この5年っていろんな問題もありましたけど、全てが楽しいなって。ネガやってて、この4年で本当によかったってすごい感じてます。だから、これからも10年20年って、死ぬまでネガをやりたいですね。それぐらいネガが好きです。

蝴蝶网 hudie.com
慧美网 vimee.net

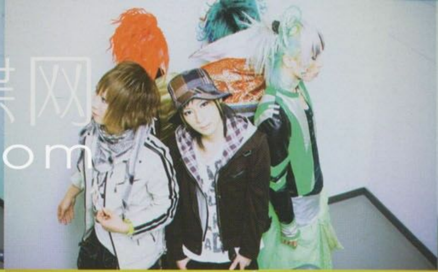
オムニバスCD「NEO VOLTAGE」ヴォーカリスト対談

SHOXX GIG #001

2010年。シーンを牽引する確かな力!話題の5バンドから先鋭メンバーが集結!

慧美网
蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com



いっち（キャンセル）×尽（HERO）

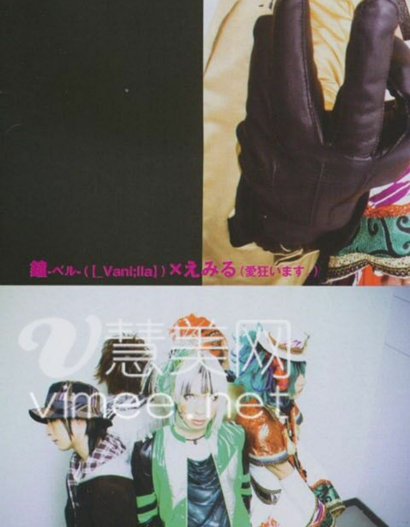
いっち（キャンセル）×みつ（V［NEU］）

鐘-ベル-（［_Vani;lla］）×みつ（V［NEU］）

えみる（愛狂います。）×尽（HERO）

鐘-ベル-（［_Vani;lla］）×えみる（愛狂います。）

慧美网
vimee.net



――皆さんは、この次世代最強と言われるオムニバスアルバムに選ばれたわけですが。
一同：ありがとうございまーす。
――お互いライバル意識があったりとかするんですか。
いっち：今日集まったバンドさんは、個人的にライバルだと思ってるんで、
えみる：今日からライバル？　僕、友達だと思ってたんだけど。
いっち：あ〜、すみません。
一同：（笑）
尽：僕は恋人だと思ってました。今、滑ってるんですけど（苦笑）。
――（苦笑）では早速、収録曲について聞いて行きます。まず、νは、「in my secret…」ですね。
みつ：このオムニバスはエイベックスさんが流通なんで、仮タイトルも「エイベックス」でした（笑）。オムニバスってインパクトが大事なんで、一番手をねらおうってことで、一曲目になりそうな曲を完全に狙って作りました（笑）。
――そしてぴったり一曲目になったと。
みつ：ライヴで使える要素を入れて、自分以外も歌ったりして、うちらしい曲にしようかなと。今まで出した曲の中でも、一番いいのが出来たんじゃないかなってぐらい自信のある曲が持って来れました。
――デジタルの要素をたくさん入れてるところは、やはりνらしいですね。
みつ：デジタルで、メロはめちゃめちゃ綺麗でしっかりあって、っていうのがうちのよさだと思うので、それは聴いてもらえれば出ていると思います。
――HEROの「Days.」は切ないラヴソングです。
尽：フラれる曲です。明るい雰囲気の曲なんですけど、歌詞だけは暗くなっちゃいますね。性格が暗いから（苦笑）。
――でも、メロディーも歌詞もすごくストレートですよね。
尽：メロディーは綺麗な感じで、とにかくストレートに行こうと思いました。ライヴで楽しくて、なおかつ音源でもしっかり聴ける曲にしようと思ってたんで。さらに、一回聴いたら忘れられないぐらいのパンチもほしかったし。それはいつも心掛けてますね。今回からセルフプロデュースになったんで、全部自分達でやってるんですけど、これからもっと自分達らしさを出せるような作品を作って

すよね。
――愛狂います。は、「春夏秋冬」。
えみる：オムニバスってことなんで、やっぱり愛狂います。っぽさを一番表現したかったんです。でも、あえて代表曲より、チャレンジしてみたかったので、これを聴いてこういうことも出来るんだって思ってもらえるような曲を入れました。
いっち：大事ですよね、チャレンジ精神は。
えみる：ありがとうございます（照笑）。
――チャレンジしたのはどういうところになるんですか。
えみる：バンド名からわかるとおり、マッドな曲が多いんですけど、爽やかな感じをチャレンジしたんです。三ツ矢サイダーみたいなイメージで。
――歌詞が学生生活を描いているのか、青春っぽいなって思ったんですけど。
えみる：昔を振り返ってみてるんです。先のことを考えて頑張ろうとせずに、ここまでやって来たっていうところを振り返って。だから、今学校に通ってる子も親しみやすいと思うし、卒業してからこんなことあったなみたいな、そういうところで共感してもらえたら嬉しいなって思います。
――ヴァニラは、「AUTO DEATH CUSSION -別会議 ver.-」ですね。タイトルからして不思議な感じです。
鐘【-ベル-】：バカっぽいって言ったらバカっぽいんですけど、うちらそれが自分達の武器って思ってるんで。出来上がってみて、何だこれは？って思ったんで、これはうちだと（苦笑）。それで自信持って、この曲で行こうって思いましたね。
――別会議ver. ということは、他のヴァージョンもあるんですか。
鐘【-ベル-】：もともと他にあったんですよ。曲の中身も大分変化が起こってます。普通ここまでやらないと思うんですけど、ちょっと危険な言葉などが歌詞に入っていて規制がすごいかかっててめっちゃピーピー言ってるんですよ。
（笑）
――発信音で歌詞が聴けないです（笑）。
鐘【-ベル-】：後半に行くに連れ、どんどんサビが聴こえなくなって、僕がいなくなるんです（笑）。

“VOLTAGE”って意味がわからないけど
わからないまま最後までボルテリジます!?

次々にバンドが生まれて行くヴィジュアル系インディーズシーン。
の中でも、次世代をになって行くであろう12バンドが集められたオムニバスアルバム『NEO VOLTAGE』が、5月26日に発売される。
今回は、収録バンドから5人のヴォーカリストが集まって、各々の個性を強くアピールした。このインタビューで、もちろんCDで、
そして発売後のツアーで、あなたのお気に入りのバンドをみつけてほしい。

Photographay:MASAKAZU KOBAYASHI(SHOXX)
Interview:MIYUKI MURAYAMA

鐘【-ベル-】：すごいインパクトだと思います。それはそれで面白いと思って。
――あえてそういう曲をオムニバスに持って来るところが、ヴァニラらしいですね。
鐘【-ベル-】：そう簡単に忘れないだろうって曲ですよね。これがうちららしいと思います。
――キャンゼルは、「Wish Upon A Star -first edition-」。
いっち：わりと影の代表曲的な感じですね。キャンゼルは振り付け満載で、特に細かい振りが多いんです。この曲も、イントロ、Aメロ、サビと、全部動く場所があって。非常に楽しめる曲になってますね。
――発売後にはツアーもありますが、どんなライヴにしたいですか。
みつ：せっかく一緒にオムニバスに参加する機会なんで、イベントを盛り上げて行きたいなって思いますね。個々のバンドがライバル視し合って盛り上がれば、いつの間にかいいイベントになるのかなって思います。
いっち：絶対楽しめると思いますね。俺、個人的に今日集ったバンドさんが好きなんで楽しみです。そう思えるバンドさんばかりなので、お客さんは絶対楽しめるんじゃないかなと思いますね。
えみる：オムニバスリリースで、サーキットツアーなんで、イベント全体を通して空気感だとか、参加バンドが何かを起こそうとしてるっていうのを感じ取ってもらえれば楽しいのかなって。
――次世代をになうバンドの力を見せ付けてほしいですね。
えみる：でも、いっちさんにはさっきライバルって言われちゃったんで、いっちさんとはライバルで。
いっち：あららら（苦笑）。
えみる：袖で見てますから、険しい顔で。
――尽君はライヴに向けては？
尽：収録曲はライヴで盛り上がるのが見えてるんで、早くやりたいですね。盛り上げて、楽しいって思わせたいですね。
鐘【-ベル-】：自分の好きなバンドだけじゃなくて、全員楽しく、その日一日がよかった日になるように。それがあった上で、俺は個人的に楽屋が楽しくなったらいいなって（笑）。
えみる：それはありますね。
鐘【-ベル-】：それにこので聴いたのと、

す。特に、うちはだいぶ変わるんで。そこはライヴを見たほうが面白いよって。
――そして今日は、5人での撮影でしたが、いかがでした？
えみる：面白かったです。他のバンドさんと写真撮る機会ってないんで。
尽：衣装で撮るって知らなくて（苦笑）。
いっち：確かに俺も（苦笑）。
尽：（撮影場所に）来て、ああ〜、これ本気のやつかって思いました。その辺でピースとかして撮るのかなって思ってたんですけど。
――他の方はフルメイク？
みつ：完全フルでした。
えみる：3人（えみる、みつ、鐘【-ベル-】）は衣装でした。
尽：俺の気まずそうな顔を見てほしいですね。
――その写真は使われないと思います（苦笑）。では、最後にツアーへの意気込みをお願いします。
尽：NEO VOLTAGEって意味がわからないんですけど、わからないまま最後までやって行きます。ボルテリジます（笑）。
えみる：僕、調べたんですよ。VOLTAGEって興奮度みたいな意味で、新しい興奮みたいな感じですよね
尽：そうなんだ。じゃあ、ネオ興奮します（笑）。
みつ：せっかくこういう機会なんで、その日一日はすごく楽しめると思います。やっぱり自分も含めて、各バンドさん各々自分が一番だと思ってると思うので、その上でも存在感を出せればなと思います。
いっち：本当に楽しみでしょうがないです。ツアーもCDも絶対に間違いなく楽しみですね。僕自身、お客さん目線的な感じで楽しみです。自分も楽[illegible]れない夜にしたい[illegible]思います。CDもいっぱい聴いて下さい。
鐘【-ベル-】：その日は[illegible]動[illegible]てぐらい暴れさせたい[illegible]自分達[illegible]だってぐらい暴れて[illegible]たいです。
えみる&鐘【-ベル-】：頑張ります！
えみる：ツアー終わっても、[illegible]何回も聴いてもらえるようなオム[illegible]ツアーもライヴも歴史に刻めれ[illegible]いと思います。
尽：ボルテリジます

慧美网 蝴蝶网 hudie.com

メガマソ

蝴蝶网
hudie.com

慧美网
vimee.net

僕と約束した あの場所が君を呼ぶよ。

Interview:MIYUKI MURAYAMA

蝴蝶网 hudie.com

―「トワイライトスター」は、アニメのタイアップを意識して作ったんですか。

涼平：いや、僕がシングル用に曲を書いたら、打ち込みだけの時点で気に入ってもらって。だから、意識したのは歌詞だけですね。ただ、そうは言っても野球に詳しいとかじゃないから、無理してわからないことを言うより、僕らがミュージシャンとして、漫画を読んで共通する部分をテーマにしました。

―そこで、夢に向かう気持ちみたいなところがリンクしてるわけですね。

涼平：主人公もメジャーリーグに行ったところだし、僕らもメジャーデビューしたばかりなので。新しい場所に行くっていう点では、思うところは一緒かなって。

―曲を煮詰めて行くときは、どんなところを意識して？

涼平：ギターの量を増やしましたね。打ち込みの段階では、もっとシンセが入ってたんです。それだとむしろアニソンになり過ぎちゃうから、ギターロックにしようって話をして。だから、シングル3枚の中では一番ギターの音量は出てます。

Gou：ベースは、今までの曲に比べるとかなりシンプルなラインになってます。最近ステージで動きたいなって思ってるんで、シンプルに仕上げて、ステージで暴れて行こうかなって。

―それでも歌が前に出てますよね。

インザーギ：もともと曲がキャッチーなんで。アニメにリンクするような部分の歌詞は、情景を思い浮かべたりしながら歌いましたね。だから爽やかなだけじゃなく、夢に向かってる強さがあると思います。

―原作を読んだりしました？

インザーギ：タイアップが決まって

3人が贈る2010年の一番新しいスタンダードナンバー、『トワイライトスター』リリース!!

アルバム『M of Beauty』を引っ提げたツアーも、4月6日渋谷AXで見事成功に終わり、休む暇もなく次の展開へと動いているメガマソ。5月26日には、ニューシングル『トワイライトスター』がリリースされる。タイトル曲はNHKで放送中のアニメ『メジャー6th Season』のエンディングテーマ。夏にはまたツアーを控え、ますます活発に、広く活動を繰り広げて行くだろう。

どんなに音楽性が変わっても、音楽は美しい部分は変わらない。

メガマソ

から全部読んだんですけど、人間関係が複雑だったり、心理的な部分も描かれてるんで。そういう部分とか、普通の人でも持ってる感情とか、僕達も普段から思ってる内容の歌詞だし、そこを意識して歌いましたね。

―既にテレビでも放送中ですが。

涼平：観てます。話が面白くなって来てね。自分の曲を聴こうと思って最初観てたのに、来週も見なくちゃってて（笑）。

―反響はどうです？

涼平：新しいお客さんの反応が増えました。どんどん裾野が広がって行けばなって思いますね。ヴィジュアル系とか知らない人も、この曲から入ってもらえたら。

―爽やかな曲なので、入りやすそう。

Gou：確かにそれはありますね。

涼平：ライヴだと泥臭くなりますよ。

Gou：俺は動きながらカッコよく弾きます。熱い感じで。

―そして、カップリングが「パレット」。

涼平：これは、サビ以外はベースが全部打ち込みなんです。

Gou：最初、この曲のあり方が理解できなかったんですよ。でも、説明聞いて、そういうベースもありかなって思って。サビで広がる感じがすごいイイですね。

涼平：サビだけ一気に生々しく。ギターもサビまでは薄くしか入れてなくて、サビで一気にガツンと来る感じです。

―作詞はインザーギ君ですね。

涼平：僕が作曲で、インザーギ作詞って初めてなんです。今回試しにやってみようか的な。新しいアプローチ的な意味で。

インザーギ：春っぽい感じにしたくて。涼平と話し合って、今までやったことなかったパターンなんで、どうなるかなって始まった感じです。

―初回盤Aには、「トワイライトスター」のPVが付くんですね。

涼平：PVは超シンプルです。

インザーギ：バンドっぽいね。

Gou：モノトーンの衣装だし。

涼平：他のアーティストさんからするとありがちなPVなんですけど、それをヴィジュアル系の僕らがやってるのがちょっと面白いかなと思いますね。

―そして、初回盤Bに収録の「純粋培養」は、リレコーディングしたんですね。

涼平：もともと〝GuitarFreaks〟ってゲームのために書き下ろした曲なんです。

インザーギ：この曲でメガマソを知った人がすごい多いんですよ。

涼平：〝メジャー〟のタイアップもあるし、一気に裾野を広げちゃいたくて。テンポとか演奏してることは全く変わってないんですけど、シンセをなくしてます。

―だからストレートなんですね。

涼平：そうです。ストレートで骨太な感じが出てると思います。ツアー中に、僕らとサポートドラムのミニマムな構成でもカッコよく聴かせられるんじゃないかって話をしていて。昔からの曲も、最近はシンセなしでやってるんですね。それでもちゃんと説得力あるように出来るようになったかなって。だから、それを音源でもやってみようよみたいな。

―歌詞もすごいメッセージ性が強くて

インザーギ：一番強いよね。

涼平：書きながらこんなクサイこと書いてどうしようって思ったんです。それでもカッコイイといいなって。

インザーギ：そう言ってますけど、涼平っぽさも出てると思うし。歌詞だけ

慧美网 vimee.net

見てもメッセージ性が強いし、曲を聴いたらもっと入り込めるかなって思います。

――これもライヴで暴れる感じ？

Gou：これも動き回る系ですね。

――通常盤には、「From far」が収録されます。インザーギ君の曲ですね。

インザーギ：他の曲もたくさんあったんですけど、なぜかGouちゃんがこの曲を気に入ってしまったらしく。

Gou：8分の6拍子とか、4分の3拍子とかの曲を聴くのが好きで。メロディーがサビですごい広がるなと思って。最初は静かに始まって、サビでガーンって歪みのギターが入るんですよ。それがカッコよくて。すごい押しましたね。

――メロディーも歌詞も切ないですよね。

インザーギ：この歌詞は、〝メジャー〟の主人公の幼なじみの女の子のことを考えて書いたんです。遠くから見守ってるっていうのがテーマなんですけど。

Gou：遠距離恋愛？

インザーギ：〝メジャー〟を観て下さいって感じです（笑）。

――さて、今はツアーが終わったところですが、いかがでしたか。

涼平：さっき言ったみたいに、ナマで聴かせたい気持ちが出て来たんで、思いつきで同期なしでやっても、カッコよく出来たので、それは自信になったよね。

――それぐらい進化したんですね。

涼平：ただ『M of Beauty』は最高傑作のアルバムだと思ってるし、今後のメガマソにとっても大きいテーマですよね。どんなに音楽性が変わっても、音楽は美しいって部分は変わらないから。

――そこは今後も変わらず。

涼平：今は、夏のツアーが待ち遠しすぎますね。

インザーギ：今までで一番たくさん廻れるので、今から楽しみです。

Tour Final『M of Beauty,M of AX』 Live at 渋谷AX　2010.4.6

艶やかに彩られた渋谷の夜!!

「音楽は美しい」という、本当に大きな命題を掲げたアルバム『M of Beauty』。発売後の全国ツアーのファイナルは、そのコンセプトを真っ直ぐに表現したかのようなライヴになった。

「M of Beauty」でライヴがスタートした途端、メロディーの美しさが際立ち、このアルバムで彼らが伝えたかったことの真髄がまずはっきりと提示された。一気に引き込まれる観客。「肌色」からは、観客もメンバーも動き出し、だんだん会場が暖まり出す。「ハピリーモッシュフロア、ヘッドバンギングソング」では、インザーギが男らしく呼びかけ、観客は左右にモッシュ、ヘドバンとフロアは大きく揺れ動き、ただ単に綺麗な美しさだけではない一面も見せる。

それでも、静けさの中で始まった「MEMORIES」では、インザーギが堂々と歌い上げて切ない想いを伝えると、再び彼らの持つメロディーの美しさ、切なさが光る。そんな中、「sweet change」のカッコいい歌がインザーギにぴったりハマり、見事に歌いこなして行った。

「純粋培養」からの後半戦は、熱いノリと躍動感溢れるステージが続く。これもまた音楽の美しさのひとつ。そこへ始まった「Torisarideishi's Love（トリサリディシズ ラブ）」のインザーギの第一声は、ハッとするほど会場全体の意識を一気に集め、その後ドラマチックな世界が目の前に立ち上がった。そこから、おなじみの曲を立て続けにプレイし、ますます会場を盛り上げて行く。そして最後は、「EYES」。インザーギと共に観客も合唱。ツアーを経て、アルバムの曲がしっかりとファンに浸透していた。

一度目のアンコールでは、ニューシングル「トワイライトスター」を披露。さらにダブルアンコールでは、Gouの物販紹介。アンコールでもしっかりとファンを楽しませる。最後は「ザ・ワールドイズマイン」で、本編とはガラッと印象を変えて大暴れしてライヴを締めくくった。

「音楽は美しい」という大きな命題を、ライヴで表現しようとする強い意気込みを感じさせると同時に、彼らの持つ音楽の美しさをファンもしっかりと受け止めてライヴに臨み、会場全体が音楽を愛しているという空気に溢れた、心地いい一夜となった。

慧美网 vimee.net
蝴蝶网 hudie.com

SHOXX MODE

SHOXXが厳選してお届けする最新情報!!

SHOXX VOICE!!

DEATHGAZE

気持ちに余裕を生んだ『SORROW』

過去の作品と比べても圧倒的な存在感。5月26日にリリースされる新作『SORROW』は、それほどまでに強烈な音色を放っている。ライヴをこなす度に成長できている実感があると語るメンバー。その成果が今作に表れているのかもしれない。そこで、どういった想いで曲に魂を込めていったのかを、4人に訊いてみた。これからワンマン・ツアーも控えているだけに、進化する様が楽しみだ。

Interview:ERI MIZUTANI

—今年初めてのインタビューですので、まずは近況報告からお願いします。

藍：去年の終わり頃からですかね、ライヴに対する考えや意識が変わってきたんですよ。1本1本こなす度に、それが実行できているっていうのが実感としてあるので、そこはこれからも引き続き、一歩一歩前に進んでいけたらと思っていますね。

孝介：俺は、今年こそ体を鍛えます。

藍：何その、バンドとは全く関係のない目標は（笑）。

孝介：いや、ライヴのためにだよ（笑）。

—大事なツアーも控えていることですしね。さて、その前にニュー・シングルがリリースされます。

藍：『SORROW』という作品なんですけど、制作の工程としては、いつから始めたというよりかは、曲が出来たから作品にしようっていう感じだったんですよね。なので、年が明けてから本格的に制作に入っていった感じですね。

—藍さんとしては、ライヴのことを念頭に置いて曲を作っていったのですか？

藍：それは特にはなかったです。前作の『BLOOD』がアッパーな作品だったので、今作はバラードを入れたいなと思って取り掛かっていったところはありますが、いろいろな曲を作っていく中で、この曲が良いと思ったので。

孝介：今回、バラードではあるんですけど、バックの演奏がDEATHGAZEっぽいんですよね。パワフルなところとか含め、ただのバラードでは終わらず、今までの楽曲との良いところが混ぜ合わさっているなと、俺は最初に聴いた時にそう思いましたね。そこから、メンバーそれぞれがやりたいことを乗せていったんですよ。

—バラードなのに、やりたいことをやった、というところがDEATHGAZEらしいところでもありますね。

藍：原曲が形になってきた時点で各々がやりたいだろうことも見えていたし、それを足すことによってさらに良くなるとは思っていましたから。

—ということは、藍さんからは特に注文もせず？

藍：なかったですね。それはこの曲に限らずなんですけど、ここをこうしてというよりも、好きにやってほしかったので。それぐらいアバウトでしたね。ただ、バラードなのでイメージ程度のものは伝えましたけど、フレーズをどうこうという細かい指定はまるでありませんでした。基本、お任せというか。

—それ、反対に難しそうです。

直樹：デモの段階から良い曲だったので大丈夫です。逆にそのままでいいかなっていうぐらい（笑）。

孝介：あとは、どこで目立ったらオイシイかなっていうのを考えながら（笑）。

—前作に比べ、ずいぶんと肩の力が抜けたように感じられるんですけど。

藍：余裕ぶっているだけです（笑）。けど、そう感じてもらえるということは、やはり気持ちに余裕が出てきたのかもしれません。

—だからこそのバラードだったのではないですか？

藍：そうかもしれないですね。だから、ここまで熱く出来たのかも。

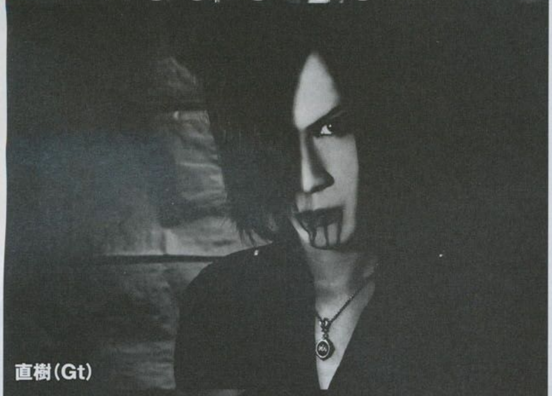
—ドラムもまるで抑えていませんからね。もちろん、良い意味で、ですよ。

直樹：今回はもう、バラードだけどうるさくしてやろうかなと（笑）。

—最初から狙っていたと。

直樹：そうですね。原曲の時点でもそこ（バラードでも力強いところ）が目立っていたので、それなら遠慮せずいくぞ、という感じでしたね。しかも最終段階のミッ

藍(Vo)


直樹(Gt)

貴樹(Gt)

孝介(Ba)

蝴蝶网 hudie.com

慧美网 vimee.net

クスでも、さらにドラムの音を上げましたから（笑）。ただこの曲は元がバラードなので、基本となるリズムを大事にするという部分に特に気を使いました。ひたすら身体に覚えさせたんですけど、その甲斐あってという音が録れました。

孝介：ベースもドラムと同様に、サクサクッと録り終えることが出来たんですよ。今回、初の試みでセルフ・レコーディングでマイクをセッティングするところから自分たちでやったんですけど、そのおかげか、すごくゆとりを持ってと録ることが出来たんですよね。

――決してシンプルにまとめなかったところが、らしいと言いますか。

孝介：あざっす（笑）。フレーズも任せてくれている分、悩まなかったし、自分としては思っていることをそのまま出した感じですね。考えたことと言えば、意外と音が重いので、その中でいかに目立つことが出来るかっていうことぐらいです。

――本来なら、バラードというのは歌を目立たせてなんぼのものですからね。

孝介：それなのに、ギターとベースがジャカジャカ言ってますから。

藍：それに加え、ドラムはドカドカしているし（笑）。でも、歌を引き立てるためにみんなが抑えてしまうのではなく、バックに歌が乗れるっていうほうがカッコいいなって思います。

――そこでライヴ感を引き出すということですね。ところで、ギター録りはというと？

藍：貴樹さんは、DEATHGAZEに加入して、実はこれが初のレコーディングなんですよ。

――音を聴く限り、気負いなく出来たよう感じられましたけど。

貴樹：そうですね。初のレコーディングだけどそこまで緊張しているってわけでもなかったし。良い感じに肩の力を抜いて出来たんじゃないかなって思います。

――みなさんから見ていかがでした？

藍：今回はレコーディング・エンジニアとしての立場から見てて、かなり頑張ってましたね。「SORROW」では僕もギターを弾いてるので、貴樹のポジションで重要なのはバッキングでガチッとしたリズムが中心なんですけど、メンバージャッジ的にOKっていうテイクでも本人はさらに！っていう感じで、かなりこだわってやってましたね。

貴樹：そうですね。自分の中でいちばんこだわったところと言うと、やっぱりリズムなんです。決めるところはきちんとっていうところがやり出すと難しくもあり。

――無事にクリア出来て良かったです。そして、肝心の歌録りは？

藍：結構、大変でしたね。ジャッジを自分でしているので、テイクを重ねるごとにどんどんと自分の中のハードルが上がっていってしまうんですよ。しまいには、Aメロ部分だけで何時間もかかった挙げ句、録り終わったのが気に食わなくてやり直しっていう（笑）。

――まさに己との戦い。それにしても、負のループにハマってしまいましたね。

藍：はい（苦笑）。セルフ・レコーディングしようと思ったのも、自分たちの音は自分たちがいちばん分かっているという自信からなので、今まで以上に聴いた瞬間に"これは良い！"って言ってもらえるものを作っていきたかったのと、やはりバラードだという意識もあって、いつも以上に、歌の息遣いやニュアンスにこだわりたかったんですよね。

――でも、結果として、タイトルが表すように、悲しさが見事に表現できたのではないかなと。

藍：こう表現したいっていうのは出せたと思います。こだわって作っただけに、自分が求める基準を一歩超えた仕上がりになったと思います。

――また、カップリングの「irredeemably evil」では、「SORROW」とは真逆なところを突いてきましたね。

直樹：カップリングは僕の原曲なんですが、「SORROW」をシングルで出すっていうのが決まった時に、正反対のもののほうが良いだろうと思って、この曲を持ってきたんですよね。

藍：この2曲は正反対だけど、どちらにも共通するところがあるように思うんですよね。「irredeemably evil」はすごく熱いけど、「SORROW」に通じる無機質さや冷たさがあったので、それが何か良いなって思いました。最初聴いた時のイメージで"どうしようもなく邪悪"という意味で「irredeemably evil」というタイトルを付けたんですけど、楽曲のままのストレートさが歌詞全体を通して出せていると思いますね。

――じわじわと迫ってくるところがありますね。それにしても、ドラムの炸裂具合ときたら凄まじいものがありますが。

直樹：それはもう、やるしかないと思って叩いていきました（笑）。

孝介：ベースはドラムとは逆にラクだったんですよ。ツーバスが早い分、俺はバスドラに合わせて刻むんではなくシンプルに音を伸ばしていくだけだったんで。

貴樹：ギターは、直樹さんのツーバスに合わせてひたすら速く弾いてます。それによって厚みが出て、曲に合った雰囲気が出せたんじゃないかと思います。

――どちらの曲も、ライヴでどう変化していくかが気になります。

貴樹：これから、ワンマン・ツアーもありますからね。

孝介：大成功に収めるために、最初にも言ったように、1本1本のライヴを頑張っていくだけです。今まで以上に熱いライヴをしていきますよ。

藍：言うまでもなく、日々、精進していきたいと思います。

蝴蝶网
hudie.com

SHOXX LIVE!!

ν [NEU]

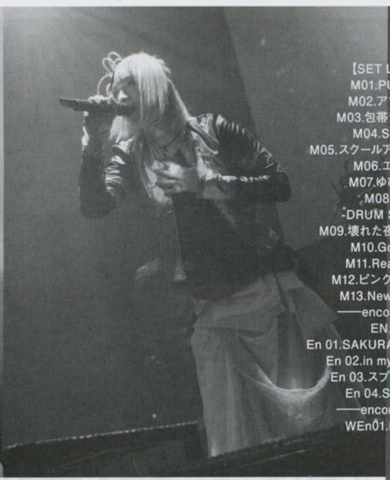
2010-re:1st oneman tour- [Sky's The Limit]

Live at 渋谷O-WEST 2010.4.27

現メンバーになって活動を再開し、迎えた渋谷O-WESTワンマン。
それは、そもそものバンドスタートから考えれば、決して短くはない歴史の中で、
ひとつの大きな通過点となった。

Report：MIYUKI MURAYAMA

vimee.net



【SET LIST】
M01.PULSE
M02.アマオト
M03.包帯ラヴァー
M04.Signal
M05.スクールアタックガール
M06.エコー
M07.ゆびさき
M08.想
-DRUM SOLO-
M09.壊れた夜、並べた嘘
M10.GoSick
M11.ReaL xxx
M12.ピンクマーブル
M13.New World
──encore1──
EN.1
En 01.SAKURAモノクロー厶
En 02.in my secret...
En 03.スプラッシュ!
En 04.START
──encore2──
WEn01.LIMIT

最後まで全力疾走のプレイで
ライヴを駆け抜ける。

キラリンパが瞬くフロアが、メンバー登場を待ち構える。そこへ歓声とSEが、ニューらしいカラフルでにぎやかな空間を作り上げ、5人がステージに揃った。そこで始まった一曲目、「PULSE」。細心の注意を払うかのように丁寧なスタートを切る。さすがに5人とも緊張しているのか、若干おとなしい印象。そんな中、特に気合いの入ったみつの表情が目に入って来る。その横で、華遊は笑顔を浮かべ、早速可愛らしさをアピール。「アマオト」、「包帯ラヴァー」と続くにつれ、徐々に激しさを増して行く。男らしい歌声で切ないメロディーを堂々と歌い上げるみつは、バンドのフロンマンに相応しい存在感を放つ。そして、ヒィロはリーダーとしてバンドをしっかり支えているように、どっしりと安定感のあるプレイでサウンドを支える。その姿からは、激しいステージングでアピールしていた以前とは異なる印象を受けた。

曲間のSE中も歓声が途切れることなく続き、空間を埋め尽くす。ストロボが点滅して「Signal」が始まり、ヘドバンに、手拍子と、反応を示すオーディエンスに対し、みつからも笑顔がこぼれる。熱い空気が会場に立ち込めた「スクールアタックガール」、会場全体を包み込むような明るさが広がった「エコー」。スムーズにライヴが展開して行きながら、タクミと華遊の揃った動き、ヒィロの力強いスラップ、人間らしいパワフルなЯeIのドラムと、個々の魅力をおおいに発揮し、デジタルを取り入れたサウンドの中に、バンドとしてのまとまりをしっかりと感じさせた。

中盤では、歌をしっかりと聴かせ、オーディエンスを曲の世界へとぐっと引き込んで行く。切ない想いがギリギリまで溢れてこぼれてしまうような歌を聴かせた「ゆびさき」では、ダイナミックなドラミングまでがエモーショナルだ。そして、みつは歌だけでなく、表情や視線でもその想いを表現する。憂いを帯びた歌から、感情が爆発するように広がった「想」。楽器隊はパワフルに歌を後押しし、みつは全身の力を込め、振り絞るように歌う。そんな様子を見守るように、オーディエンスはじっと聴き入っていた。

続いて始まったのは、ЯeIのドラム爽やかなメガネ男子風の風貌とはまるで別人。また生々しいリズムは、デジタルが多用されたバンドサウンドとはまた異なる、新鮮な印象を残し、ワンマンの流れの中でいいアクセントになった。

後半戦に再び揃った5人は、気合いを新たにした模様。オーディエンスの呼応に対し、〝足りねえんだよ!〟とののしるみつは、男全開。そのまま、「壊れた夜、並べた嘘」を険しい表情で歌う。タクミの荒々しいリフから「GoSick」が始まる。タクミのギターは、歪んだリフから、繊細なフレーズまで幅広いプレイで、デジタルサウンドに彩りを添えていた。タオルを振り回し、にぎやかな「ReaL xxx」は躍動感あるプレイで、クールなヒィロも激しく動き出す。「来い」という言葉に、逆ダイで応じるオーディエンス。そして柵から身を乗り出して、挑発するフロント4人。熱い生々しいライヴに無機的なサウンドが響いた。一転、「ピンクマーブル」が始まればギターを置いた華遊が、ピカピカ光るサングラスにヘッドセットをつけて、みつと一緒にラップとダンスを披露。明るく楽しく、賑々しいステージとなった。そして最後は、「New World」。タイトルどおり、新しい世界へ向かうような輝きに満ちた締めくくりとなった。

最初のアンコールでは、リラックスした様子で、メンバー一人ひとりからお礼の一言が。特に、ЯeIのバンドを続けることの難しさを感じていた想いや、ヒィロの〝このバンドを信じてよかったです〟という言葉には、長い時間をこのバンドと共に過ごして来た二人だけに、喜びもひとしおのようで、素直に祝福の拍手を贈りたくなった。5人の浮かべる笑顔と、通過点と言い切るみつの強い言葉に、彼らの明るい未来を感じた。新曲の「in my secret…」を披露し、さらには「START」、そしてダブルアンコールでは最後の最後に「LIMIT」と、最後まで全力疾走するようなプレイで、力強く駆け抜けて行った。満面の笑顔と充実した表情は、このワンマンの成功を物語っていたのはもちろん、自信を深め、今後もっと力強く前進して行くことを宣言していたように感じた。

hudie.com

WHITEBLACK

最後まで感傷にひたる時間はない。ひたすらチャレンジしつづけるだけ!!

7月22日に京都府立文化芸術会館で行われるワンマン・ライヴを持って、WHITEBLACKは解散する。その答えを導いた理由を、今回はじっくりと伺った。彼らがどんな決意と意志を持って、バンドの封印を決めたのか？。ヴォーカルのTATSUYAが、なぜバンド活動の引退を宣言したのか!?　その真意を吐き出した言葉たちへ、しっかりその目を這わせてくれ!!

Interview：TOMONORI NAGASAWA

vimee.net

蝴蝶网 hudie.com

――7月22日に京都府立文化芸術会館で行われるワンマン・ライヴを持って、WHITEBLACKは解散し、そしてリーダであるTATSUYAさんは、現役を引退し、今後はCROW MUSICのプロデューサーに専念すると発表しましたが、その決意を固めたのは、何時頃だったんですか?

TATSUYA：WHITEBLACKは、今年で活動5年目を迎えましたが、SHOGOと風太が加入した1年後くらいの時に、解散に近い話をメンバー全員へしたことがあったんです。

――それは、具体的にはどんな話だったんですか?

TATSUYA：当時、〝あと2年間、今まで以上に頑張りながらも、自分等の目標とするところまで到達できないようであれば、このバンドの存続を考えないといけない〟という話をしました。そのリミットが昨年の末頃。現実問題、自分が求めてきた結果は得られなかったので、今年に入りメンバーを集め〝バンドにケジメをつけよう〟という話を全員にしました。

――TATSUYAさん的には、苦渋の決断だったんじゃないですか?!

TATSUYA：期限を決めて以降の2年間、それまで以上に頑張ったけど、なかなか越えられない壁がありました。ただWHITEBLACKを始めたときからバンドのメンバーはもちろん、CROW MUSICの仲間達にも〝WHITEBLACKが自分にとっての最後のバンド。これで結果を出せなかったら、自分は表舞台から引退する〟と宣言していました。悔しさはありますけど、男なら決断が必要な時期もあるなと思ったからこその答えを出しました。

――メンバー自身は、その言葉を聴いたとき、どんな気持ちでした?

YOUDAI：TATSUYAさんの覚悟は、WHITEBLACKを立ち上げたときから聞いてましたし、3年前に話が出たときも、結果が追いつかないのなら、それもあり得る答えだということはわかっていました。だからこそ絶対に結果を出してやるとの想いで必死に頑張ってきました。ただ、今年に入った頃から、逆に長く続けることで、バンドがぬるま湯状態な活動へ陥ってしまうのがすごく怖かった。かと言って自分が〝もう潮時です〟とバンドに止めを刺すことも出来なかった。だから変な言い方ですが、この解散が決まり、ホッとした部分があったのも確かです…。

SHOGO：TATSUYAさん自身がWHITEBLACKを最後のバンドと決めて結成したことを知っていたとはいえ、3年前にその話をTATSUYAさんがした時は〝どういうことですか!? 俺は納得できないです〟という話をしたし、と同時に〝かならず結果を出すので絶対にTATSUYAさんを引退させませんから〟と言ったんですけど…。結果的に力及ばず、今は来るべき時が来たのかなという想いで受け止めています。

風太：僕がその話を3年前に聴いた時は、むしろ結果を出せばええんやからと、全く気にしてへんかったんです。だけど去年の冬頃からその(現状の)風をバンド内で感じた時には、僕もTATSUYAさんと同じように覚悟は決めました。

TATSUYA：バンド活動に対しては一つの区切りを付けるけど、音楽自体が嫌いになったわけじゃないですからね。今後は自分の経験を活かしながら後輩たちの育成へ全力を注いで行くし、本当に気が向いたらたまにステージにも上がるつもりです。でもWHITEBLACKは、結末が迫っているとはいえ、最後の最後まで攻めの姿勢で活動し続けていきます。一切の妥協ない姿をこれからも見せ続けますから。

――4月に、TATSUYAさんの過去のバンド活動を集大成したベスト盤『Largest ever scream』をリリース。5月26日には、WHITEBLACKのベスト盤『Be Enwrap Super Trash』が発売になります。

TATSUYA：『Largest ever scream』へは、〝自らの音楽〟を形にして残したいと想い、TATSUYA&WhiteBlack/NUDE/7sevenという、自分が歩んできた歴代バンドの代表曲を1枚にまとめました。全て僕の作詞作曲による楽曲ばかりです。WHITEBLACKのベスト盤『Be Enwrap Super Trash』に関しては、応援してくれたファンの人達の心へ〝一生残り続ける作品を〟との想いから、初のベスト盤制作を決意。しかも小細工など一切ない。完全にファンの投票制で選ばれた上位17曲を収録しました。

YOUDAI：中には初期メンバー時代の楽曲が幾つか入ってるんだけど、明らかに現メンバー時の音楽スタイルとは違う楽曲もあります。でも僕らが満足するのではなくファンの人達が満足する作品にしたかった。ファンの人達の気持ち完全優先で作りあげています。嬉しかったのが、こうやって1枚並べて聴いた時、時期によって変化があるとはいえ、全体を通し、1本貫いた芯を持った活動をしていたことを確認出来た事。その事実は、今後の僕らの自信にも繋がることなんでね。

風太：〝このバンドには、明るめのバラードがないやん!〟と思って昨年末に作った楽曲をベスト盤の冒頭に収録しました。懐かしく歴史を振り返るのだけではおもんない!進化し続けるリアルな今を映し出した作品にもなっています。もちろん今も新曲を作り続けているし、6月には、WHITEBLACKとして最後のリリースとなるシングルも発売します!

――今でも攻め続けている姿勢こそ、WHITEBLACKらしさだもんなぁ。

YOUDAI：7月のワンマンを持って、バンドの歴史にケジメを付けるとはいえ、最後の最後まで、上を目指してやってきたテンションを崩したくはないし、お客さん達に〝一番格好いい姿の時期で終わった〟と思ってもらえる姿で幕を引きたいです。

TATSUYA：5月末からはこれまでにお世話になった全国各地のライヴハウスを廻る最後のツアーをやりますが、決して感傷的なステージを演るつもりはない。むしろ新曲を引っ提げて〝ファイナル会場へ全国のファンを呼び集めてやる〟という意識で攻め続けていきます。

YOUDAI：俺ら自身も最後のワンマンが終わったとき〝なんで解散なんて言ったんやろ。このままやったらもっと上に行けたんじゃないか〟と後悔残るくらい進化し続けてゆく姿のまま幕を閉じようと思ってます。

SHOGO：ましてファイナルは大きな会場だけに今回のツアーでは、これまで以上に〝客を奪い取ったる!〟という強い気合いと覚悟を持って望もうと思っています。

TATSUYA：感傷に浸るなんて、終わったあと幾らでもやれること。それよりも今は、もっともっと沢山の人たちをドキドキさせたいし、最後までマンネリした姿へ陥ることなく突っ走りたいですね。

風太：むしろ最後のホール・ワンマンで、どんな風景をWHITEBLACKが描き出していくのかが楽しみです。

TATSUYA：実はこのバンドを結成した時にメンバーに今まで観たことのない景色を見せたいと思い続けてきました。それを最後の最後に経験するわけだけど、僕も含めメンバー全員ワンマンという形でホール・ライヴを体験するのは今回が初めてのこと。その風景を、最後にこの4人で瞼に焼き付けたいです。

――最後の最後まで進化を止まないWHITEBLACKですが、改めて間もなく登場するベスト盤に対する想いを聴かせてください。

SHOGO：ここには、僕や風太が参加していなかった頃の楽曲から、今とは色の違う曲調の歌も入っているけど、でも聴いてみると、〝やっぱしWHITEBLACKの作品やな〟と思えるんです。

風太：たしかにそうやな。いろんな変化を含めつつも、芯を持った活動をしてきた姿こそが〝WHITEBLACK〟という生き様だよな。

TATSUYA：WHITEBLACKというバンドの歴史は幕を閉じますけど、音源を通しバンドが歩んできた音の歴史は、ずっと手元へ残り続けていく。これから出す新作も含め、ズッとみんなのお気に入りの1枚になってくれたら嬉しいですね。

YOUDAI：期間的には残[illegible]ないけど、〝もっと観ておけば良かった〟と後[illegible]するくらいのライヴを、これからファイナルへ向かって見せ続けていきます。

TATSUYA：一切の余力を残すことなくすべてを出しきりながら、俺らは最後まで進化し続けていく。その生き様を瞼に焼き付けて欲しいです!

最後の最後まで攻め姿勢で活動し続ける。一切の妥協はしない!!

(TATSUYA談)

hudie.com

Interview：TOMONORI NAGASAWA

the Riotts.

変幻自在。そしてセカンドシーズンは始まった。

たら(B)・雪希(G)・楓栖(Dr)という、元176BIZのメンバーが集結し、the Riotts.というバンドを結成。5月26日に1stマキシ盤『スターゲイザー』を発売する。じつはこのバンド、3人以外のメンバーは固定化されていない。今回セカンド・シーズン用のゲストメンバーとして参加したのが、えんそくのぶぅ(Vo)、そしてtetsu(G)の2人。彼らを加えたthe Riotts.が描き出した風景。その成り立ちを含め、いろいろと伺った。

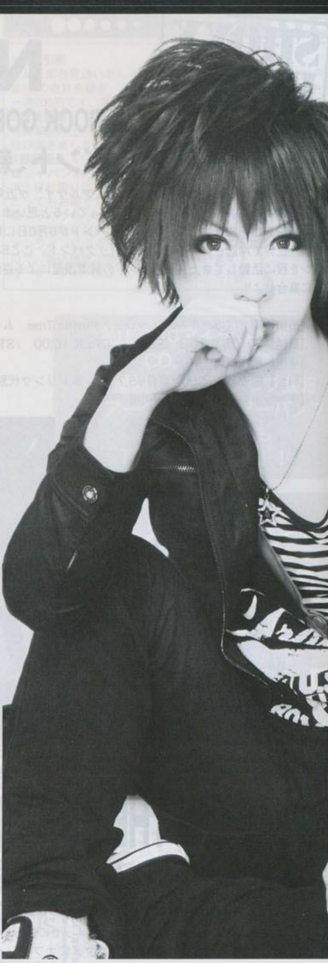
——まずは、the Riotts. 誕生の経緯から聞かせてください。

たら：結成したのは、昨年11月のこと。もともとこのバンドは売れたいとか、動員をアップしたいなど、そういうビジネス的な戦略は一切ないところで誕生しました。と言うのも、結成前に雪希から相談を受けたんですね。その内容は〝176BIZで活動している頃から形にしたかったけど、作品のテーマ性やリリースのタイミングから音源化出来なかったり、ライヴ演奏をせずに終わった楽曲がたくさんあるんだけど、それを、どうにかして176BIZを応援してくれてたファンたちに届けたい〟という事だったんです。

雪希：176BIZのことを応援してくれたファンたちへ、言葉や文面を通してじゃなく、ちゃんと〝ありがとう〟の気持ちを、歌や演奏、楽曲にして僕は伝えたかったんですよ。

たら：実は176BIZ解散後に、一度だけセッションライヴを通し、このメンバーが集まってライヴをしたことがあったんですけど、なんと300人を越す人たちが足を運んでくれたんですね。その時に改めて、176BIZの事を想い続け、しかも、ズッと活動を待っててくれてるファンの人たちの熱い気持ちを感じることが出来たんです。その経験が（バンド結成に向けて）雪希や楓栖の心を動かした、大きな原動力になったのは間違いないと思います。

nudie.com



——その頃って、たらちゃんはもうバンド活動を上がっていた時期だったんでしょ。

たら：僕が176BIZを途中で脱退して以降、いろんなバンドの方々に声をかけていただけたんですけど、当時は〝もう、人生を賭けたバンド活動はやらない〟と心に決めていたので、すべてのオファーを断っていました。でも、2人から声をかけられた時点で、僕も2年半くらいバンド活動から遠ざかっていたし、先に前のバンドを抜けた自分を、雪希と楓栖が誘ってくれたことの嬉しさもあり〝2人の活動のためのお手伝いが出来るのであれば〟という気持ちのうえで、協力することを決めました。そうしたら…。

——一時的な活動のつもりが、ここまでの形になってしまったと（笑）

たら：そう（笑）。雪希の中にあった感謝の気持ちを形にしたミニ・アルバム『StarInvitation』が、発売したとたんに完売。応援してくれているファンたちから、数多く嬉しい声をいただけたことから、改めてバンドの行く末を、その時点から真剣に考え始めました。

雪希：たらちゃんに声をかけたのも、俺と楓栖の〝付き合いが長くて、お互いのことを深くわかりあえる人と演りたい〟という想いからだったし。最初は、形にしたかった楽曲たちをみんなへプレゼントとして届けたくて、ミニ・アルバム『StarInvitation』へ参加したメンバーたちにも助けてもらって作品にしたんだけど…。

楓栖：やっぱし、またちゃんとやりたくなっちゃったんだよね（笑）

——3人とも、期間の長短はさまざまとはいえ、一度バンドを上がったわけでしょ。

雪希：そう。今でも、個々に音楽以外の表現したいことがあるから、バンド一筋というわけではないんだけど、無理ない程度に。でも、やるからには本気でやろうという話になり。結果、セカンド・シーズンを担うメンバー探しを始めました。

たら：そこが、ファースト・シーズンとの違いなんですよ。前は、あくまでも雪希の中にある『StarInvitation』に詰め込んだ世界観を表現するために集ったメンバーたちだったんで。

——今でも、the Riotts.の正式なメンバーは、たら/雪希/楓栖の3人なんですよね。

たら：そうです。ヴォーカルのぶぅくんは、自分のバンドで活動してますからね。彼に声をかけたのも、何の予備知識もない状態でライヴを観たとき、ぶぅ君のヴォーカリストとしての存在感に未知数の魅力を感じたことからなんです。

——活動しているバンドがある人へ、〝一緒に演らない?〟と声をかけてゆくのも、すごいことだよね。

たら：僕が同じ立場に居たら、絶対に断るね。（笑）

ぶぅ：そこまでカリスマ性を感じてくれたならと。（笑）って言うか、俺以外のメンバーみんな、自分以上に経験値の高い人たちばかりなんで、一緒にやるデメリットなんてなにも無いと思ったし、何をやるにしてもメリットばかりなんですよ。幸い自分のバンドの活動も、今はそんなメチャクチャ忙しいわけじゃないから、そこは俺の経験としてもありかな?と思って（笑）

たら：てっちゃん（tetsu）に関しては、楓栖と以前一緒にバンドを組んでた仲間であり、雪希とも面識があり。1枚目のアルバム制作のときも、スタジオに遊びに来てくれてたんですよ。で、the Riotts.の第二期を始動させるにあたり、〝ギターを2本にしたい〟という意見が出てきたので〝じゃあてっちゃんを呼ぼう〟とすぐに決定しました。

雪希：自分とは異なる魅力や味を持ったギタリストなので、the Riotts.の中へ、彼ならではの広がりを作ってくれそうだなと。

ぶぅ：tetsuさんが入ったことで、ビジュアル面、主に身長が強化されました。（笑）

——tetsuさんは、自分で活動はしていなかったの?

tetsu：ボチボチ地下活動は行っていたんですけど、本格的に動いてたわけじゃなく、むしろthe Riotts.が本気を出すんだったら、〝ギターは俺しかいないだろう〟と思って。（笑）

ぶぅ：このメンバーになったのは、まだ最近のことなんだけど、ガッチリと歯車が合った感触はありましたからね。

——でも、ぶぅくんもtetsuさんも、セカンド・シーズンのゲスト・メンバーという形での関わりなんですよね。

たら：ヴィジュアル・シーンの中で考えたら、メンバーが固定化されてないって、ある種ものすごいデメリットにも思えてしまうんですけど、こうやって活動していく中で感じているのが、僕らは作品を作るごとに音楽性が多彩に広がっていくので、むしろ、いろんなヴォーカリストや演奏者と組んでいくことで、楽曲自体の世界観が広がりもするし、また表現も深くもなっていくと考えているんです。もちろん今は、このメンバーでセカンド・シーズンはこのまま走っていくんですけど。今後また作品次第ではサード・シーズン/フォース・シーズンと変化をしていくかも知れないし。そこに関しては僕らも、今後、作品として届けたいスタイルが見えてきたときに考えるようにしています。

tetsu：映画やゲームにしても、パート2/パート3と重ねていくごとに、内容も濃く面白くなっていくじゃないですか。その感覚なんですよ、the Riotts.は。

ぶぅ：でも、たいていシリーズ物の中では「パート2」が一番人気があるんですよねぇ。（笑）

——5月26日に発売する1stマキシ盤『スターゲイザー』を聴くと、このメンバーを選んだ理由がわかります。

たら：雪希から、次は「スターゲイザー」や「METEOLITE」を音源にしたいという声をもらったとき、〝これらの曲のライヴ感を持った表情を活かすのは、ぶぅちゃんやてっちゃんしかいない〟と僕ら3人は一致して思ったです。

ぶぅ：自分のバンドって、基本的に俺のわがままに全部やれるんですよ。だけどこのバンドでは、それぞれが意見を出し合いながらthe Riotts.をプロデュースしていて、むしろ俺に関しては、みんなのディレクションを受けて、自分の中の新しい扉を開けてくって作業が、すごく刺激的だったので、それを楽しみました。まぁ歌詞に関しては、特定の狭い世界ではなく、たくさんの人たちの心に届く世界観を書いて欲しいとのリクエストもあったことから、苦労はしましたけど。

雪希：『StarInvension』の頃は、キラキラとした世界観を描いたからこそ、今回はメロディックさを持ちながらも、激しい表情を描きたかったんですよ。『METEOLITE』のような激しい表情の曲は、ぶぅ君でなきゃ歌えないスタイルだからね。

——マキシ盤の中には、ミニ・アルバムへ収録していた『星屑と月と灰色の街（Re:new ver.）』を収録しています。

たら：1枚目は、176BIZを応援してくれたファンたちへの感謝の気持ちとして作り上げた作品ですけど、今回のマキシ盤『スターゲイザー』は、それだけじゃなく今のthe Riotts.が表現したい音楽性を形にできた作品です。だからこそ過去の楽曲も、今のthe Riotts.のメンバーの色に染めて届けたかったんです。

ぶぅ：俺、自分以外の人が作った詞を唄うの初めてだったし、いかに自分の色に染めていくのかがかなり難しかったです。結果的に、キラキラ感全開の『StarInvantion』とは違い、『スターゲイザー』は歌物ながらもアブレッシブさ全開な作品に仕上がったので、俺やtetsuさんのカラーを活かした形になりましたね。そこが、このメンバーでやるセカンド・シーズンの良さなんだろうなと思ってます。

楓栖：1枚目の作品を聴いてきた方からすれば、これを聴いたら〝え!? 同じバンド!?〟と驚きを覚えそうだけどね（笑）

たら：むしろ、そうやって作品ごとにガラッと色を変えてく遊び心を発揮していける。それがthe Riotts.のスタイルであり、他にはない魅力的な独自性なんですよ。

vimge.net
hudie.com

SHOXX INFO!!

NEXUS

"J-ROCK GOES TO THE WORLD"

逆輸入イベント、新木場にて開催!!

日本独自のシーンだった"ヴィジュアルケイ"が近年、海外でもおおいに盛り上がっているのはSHOXXの読者ならよーく知っていると思いますが、そんな海外での活動に積極的なバンドが一堂に会して行われるイベントが6月6日に新木場コーストで開催される。長い間、世界で冷遇されてきた日本のロックバンド。ここ5年で状況は一気に逆転。世界のシーンを股に活動してきた先鋭5バンドの純潔国産による逆輸入ショー。みんなこぞって新木場に集合せよ!!

【出演】葵、LC5、ギルガメッシュ、Plastic Tree、ムック
【日時】2010年6月6日（SUN） OPEN 16:00 /START 17:00
【場所】新木場コースト
【料金】前売り¥5,250-/当日¥5,775- ※ドリンク代別
【チケット発売日】絶賛発売中!!

「JACK IN THE BOX 2010 SUMMER」

今年もJACKがあんたを熱くさせます!!

SHOXXと共に常にシーンを牽引してきたMAVERICKグループが贈る一大イベント「JACK IN THE BOX」が今年も幕張メッセに帰ってくる。出演アーティストは現時点ではヒ・ミ・ツ。順次発表になるので、マメにオフィシャルHPをチェックするべし。今年も信じられないような豪華キャストでアナタの楽しい夏の思い出作りをサポートします!!

【日時】2010年8月21日（土）open 10:00
【場所】幕張メッセ国際展示場4～6
【チケット料金】前売 ¥11,500（全立見・税込） 当日 ¥12,000（全立見・税込）
【チケット一般発売日】7月3日（土）
【問い合わせ】キョードー東京 ☎03-3498-9999
【オフィシャルHP】http://www.jack-itb.com/

BugLug

主催イベント・ツアー決定！

東名阪にて行なわれた"EXTRA-TERRITORIAL"ツアーでは、初々しくもパワフルなステージで、観客のココロを鷲掴みにしていたBugLug。そんな彼らの、東名阪での主催イベント・ツアーが決定した。スケジュールは下記の通り。

■8月20日（金）名古屋ell.FITS ALL
（問）ズームエンタープライズ☎052-290-0909
■8月21日（土）心斎橋ルイード
（問）サウンドクリエーター☎06-6357-4400
■8月28日（土）原宿アストロホール
（問）フリップサイド☎03-3466-1100

OPEN 16:30 / START 17:00
TICKET ¥3,500（tax in）+D代
チケット発売日:6月5日（土）～

http://www.buglug.jp/

boogieman

アルバム・リリース&ツアー決定！

4月にシングルをリリースしたばかりのboogiemanだが、待望のフル・アルバム『boogieman』が、いよいよ6月23日にリリースされることが決定した!!

初回盤と通常盤の2タイプ同時リリースとなり、収録はどちらも全12曲。それぞれの仕様は下記の通り。

【初回盤】
[CD]
ヒステリシス/d.CHILD/99.9/要らぬ赤紙/極我執/new world（Re Recording）/故に自壊、他
[DVD]
「キジョウノ空論」PV/PVオフショット/boogieman 2008-2010 ドキュメント
【通常盤】
[CD]
ヒステリシス/d.CHILD/99.9/要らぬ赤紙/極我執/new world（Re Recording）/故に自壊/他

また、アルバムを引っ提げての全国ツアー「邂逅go」もスタート!!
■6月19日・岡山Crazy Mama 2nd Room
■6月20日・神戸スタークラブ
■6月27日・仙台HOOK
■7月2日・名古屋ell.SIZE
■7月3日・大阪ルイード
■7月9日・高崎フリーズ
■7月10日・新潟RIVERST

●Ticket:前売り¥3500（D別）
●一般発売5/22（土）～

次号にてアルバム・インタビューの掲載予定。お楽しみに!!

http://www.boogieman.jp/

Annie's Black ~SARINO PROJECT~

勢力的に活動するSARINOの新たなプロジェクト

今年春。奇跡の再結成をしたAioriaのヴォーカリストであり、ニンジャマンジャパンでは完成されたパフォーマーという、幾つもの顔を持つアーティスト"SARINO"に新しい切り口が加わった!! その名はAnnie's Black（アニーズ ブラック）。いきなり1stワンマンライヴが渋谷のチェルシーホテルで決定。夏に音源リリースもあるぞ!! 真性の伊達男SARINOの甘い誘惑に貴方ものっちゃいなっ!!

■1stONEMAN GIG『DEEP IMPACT』
SHIBUYA CHELSEA HOTEL
開場18:30/開演19:00
前売券¥3,675（D別）/当日券¥4,200（D別）
【チケット】
4/25（日）より一般発売！
ライカエジソン東京店/
ローソンチケット（L:70803）
（問）渋谷チェルシーホテル/☎03-3770-1567
http://www.chelseahotel.jp/

■1stSINGLE『PLACE』2010.8.18 ON SALE!!

■～OTHER LIVE～
6月6日仙台darwin/7月18日渋谷O-EAST/8月30日高田馬場AREA

【SARINO OFFICIAL WEBSITE】
http://sarino-web.com

Vimee.net
蝴蝶网 hudie.com

高額査定中！

貴重盤、ブランド古着、音楽雑誌、ツアーグッズ、
ツアーパンフ、ファンクラブ会報…
まずは、お問い合せ下さい！！

高額査定リスト

Plastic Tree
『奇妙な果実』初回 CD 3,000円
『あおむしドロップ』本 3,000円
『WORLDTOUR2006[chandelier]』通販限定写真集 7,000円
『忘却モノローグ』DVD付き本 3,000円
『パレード』初回CD 3,000円
『トロイメライ』初回CD 3,000円
『ネガとポジ』初回CD+DVD 3,000円
『シャンデリア』初回CD+DVD 3,000円
『シロクロニクル』初回CD 3,000円
『Cell』初回CD 3,000円
『二次元ヲルゴール２』初回DVD 4,000円

シド
『吉開学 17歳（無職）』2ndMD 6,000円
『流通盤』CD 3,000円
『憐哀』初回CD 3,000円
『星の都』初回CD 2,000円

ガゼット
『別れ道』2nd CD 10,000円
『午前0時のとらうまラヂヲ』CD 8,000円
『鬼畜教師（32才独身）の悩殺講座』CD 8,000円
『十四歳のナイフ』配布CD 5,000円
『泥だらけの青春』会場限定CD 4,000円
『Verwelktes Gedicht』初回CD付き写真集 4,000円
『STANDING LIVE TOUR 2006 NAMELESS LIBERTY SIX GUNS TOUR FINAL AT BUDOKAN』初回DVD 5,000円

全国に即日発送いたします！

送料+代引手数料
全国一律700円
ポスターが付く場合、ポスター箱代200円が別途かかります

送料全国一律500円 代引手数料200円
10,000円以上ご購入の場合は送料無料！

＊月末一括発送＊
まとめ発送
毎月最終日発送

商品を複数注文されている方は、毎月月末に一括発送しちゃいます。（同月発売の商品のみです） 発送を急がない人で、送料を節約したい方や、給料日後に一括購入したい人は、是非利用してね！
※途中での変更は出来ませんので、よく検討してから申し込んでね！

通販方法

1.代金引換
商品を即日発送いたします。商品到着時に、商品代+700円(
数料)の合計金額を、配達員にお支払い下さい。送料代引き
一律700円です。関東はもちろん、九州、沖縄まで送っちゃ

2.現金書留
在庫確認の上、商品代と送料(500円)の合計を現金書留で送
金が届きましたら、商品を発送いたします。

3.銀行振込（1週間以内の振込でお願い致します）
■ジャパンネット銀行に口座をお持ちの方→インターネッ
365日お振り込みができます。ジャパンネット銀行間の手
とってもお得です。
■ジャパンネット銀行に口座をお持ちでない方→通常の銀
り込みになります。
オンラインによる管理ですので、24時間リアルタイムで確
ので、振込確認次第、即発送しちゃいます！
オーダーフォームより、お申し込み下さい！

約5000アイテムを網羅
CD、DVDの他
貴重盤、ファンクラブ会報
ツアーグッズ、ツアーパンフ
ブランド古着も
取り扱ってます！！

http://www.guruguru.co.jp

GURUGURU 検索

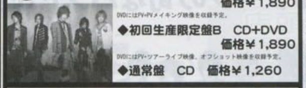
http://www.guruguru.co.jp/

06.16 on sale
Kagrra,10th Anniversary！
Kagrra,
月に斑雲 紫陽花に雨
3種同時発売
◆初回盤A CD+DVD 価格¥1,890
DVDには「月に斑雲 紫陽花に雨」PVを収録。
◆初回盤B CD+ブックレット 価格¥1,890
スペシャルブックレット付き。
◆通常盤 CD 価格¥1,260
GURUGURU特典 ポストカード+交渉中！

06.23 on sale
己龍
水無桜
4種同時発売

◆Aタイプ 初回限定盤 CD+DVD 価格¥3,675
DVDには3月5日＠オーウエストライブ映像12曲収録予定。
◆Bタイプ 初回限定盤 CD+DVD 価格¥1,890
DVDには「別レ日和ハ仄カニ染マル ヴィデオクリップ」を収録。
◆Cタイプ 初回限定盤 CD+DVD 価格¥1,890
DVDには「雨夜ニ笑エバ ヴィデオクリップ」を収録。
◆Dタイプ 通常盤 CD 価格¥1,575
GURUGURU特典
イベント整理券6/23発売「水無桜」4種類の中から2枚ご購入でイベント整理券
（7/12 18:00 マルチスペースエフ「己龍プレゼンツ～全国唯一のフル衣装・フルメイクでインストアイベント～」トーク、握手、撮影会）

06.16 on sale
彩冷える -ayabie-
きら星（仮）
3種同時発売
GURUGURU特典 交渉中！
◆初回生産限定盤A CD+DVD 価格¥1,890
DVDにはPV+PVメイキング映像を収録予定。
◆初回生産限定盤B CD+DVD 価格¥1,890
DVDにはPV+ツアーライブ映像、オフショット映像を収録予定。
◆通常盤 CD 価格¥1,260



07.14 on sale
メジャー1stシングル！
THE KIDDIE
smile.
2種同時発売
◆初回生産限定盤 CD+DVD 価格¥1,575
DVDにはPVを収録。
◆通常盤 CD 価格¥1,260
ボーナストラック収録。

07.07 on sale
ViViD PRECIOUS
3種同時発売
◆初回盤A CD+DVD 価格¥1,890
◆初回盤B CD+ブックレット 価格¥1,890
◆通常盤 CD 価格¥1,575
GURUGURU特典
初回盤Aと初回盤BのW購入でイベント整理券
3種購入でコメントDVD（TYPE-1）
>>イベント 8月26日(月) 14時～ マルチスペースエフ

05.12 on sale
SCREW
Cursed Hurricane
3種同時発売
◆初回限定盤Aタイプ CD+DVD 価格¥1,890
◆初回限定盤Bタイプ CD+ブックレット 価格¥1,890
◆通常盤 CD 価格¥1,575

06.09 on sale
3種同時発売
ANCIENT RAIN
◆初回限定盤Aタイプ CD+DVD 価格¥1,890
◆初回限定盤Bタイプ CD+ブックレット 価格¥1,890
◆通常盤 CD 価格¥1,575
GURUGURU特典
ポストカード+イベント整理券
（8月6日 14:00 マルチスペースエフ
※5月12発売「Cursed Hurricane」初回限定盤AとB、6月9日発売「ANCIENT RAIN」初回限定盤AとBの4種お買い上げの方対象、先着にてイベント参加券を配布いたします）

06.02 on sale
KISAKI NEW BAND！！
凛 -the end of corruption world-
As If Forever Exists.
GURUGURU特典 コメントDVD
3種同時発売

◆初回限定盤TYPE:A CD+DVD 価格¥2,100
DVDにはPVを収録。
◆通常盤TYPE:B CD+DVD 価格¥1,670
◆通常盤TYPE:C CD 価格¥1,670

06.23 on sale
Phantasmagoria
Diamond Dust in Truth
◆DVD 価格¥6,300

05.26 on sale
DIR EN GREY
2種同時発売
UROBOROS -with the proof in the name of living...- AT NIPPON BUDOKAN
◆初回生産限定盤 DVD 価格¥10,500
2010年1月9・10日日本武道館にて行われたライブの模様を収録！！DVD3枚+CD1枚の4枚組。
◆通常盤 DVD 価格¥7,140
2010年1月9・10日日本武道館にて行われたライブの模様を収録！DVD2枚組。

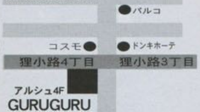
05.26 on sale
メガマソ
トワイライトスター
3種同時発売
◆初回限定盤A CD+DVD 価格¥1,890
◆初回限定盤B CD 価格¥840
◆通常盤 CD 価格¥1,050
GURUGURU特典
いずれか2種購入でイベント整理券
（7/16 マルチスペースエフ）+コメントDVD

05.26 on sale
メジャー1stシングル！
heidi.
予感
2種同時発売

◆初回限定盤 CD+DVD 価格¥1,890
DVDには「予感」のPVを収録。
GURUGURU特典 ポスター（予定）
◆通常盤 CD 価格¥1,260

2010/05/26 12012「THE PAIN OF CATASTROPHE」初回盤A
¥1500
2010/05/26 12012「THE PAIN OF CATASTROPHE」初回盤B C
2010/05/26 12012「THE PAIN OF CATASTROPHE」通常盤 CD
2010/05/26 DEATHGAZE「SORROW」CD ¥1050
2010/05/26 Fatima「to Exit Grand Finale」DVD ¥3800 店頭
ばずに予約完売し、長らく廃盤になっていたあの幻の作品
別限定復活に合わせ、Disc 1（ライブ本編）のみの廉価版
再発！
2010/05/26 the Riotts.「スターゲイザー」初回限定盤 CD+DVD
2010/05/26 the Riotts.「スターゲイザー」通常盤 CD ¥1575
2010/05/26 V.A.「NEO VOLTAGE」CD ¥2500 【収録バンド
/exist†trace/ゴールデンボンバー/シリアル⇔NUMBER/
バディーズ/【_Vanilla】/HERO/ベルベット/仮面（第3期）
2010/05/26 V.A.「EXPECTATION of FORCE」CD ¥1575【収
VEL/ZELGYER/Venus/茶々丸/Pharaphilia/RUI/ESCAPE/R
崇拝教團JUSTIC KING
2010/05/26 YOUTHQUAKE「Beyond The Void Of Black」CD ¥
2010/05/26 アンド「兇」A-TYPE CD+DVD ¥1890
2010/05/26 アンド「兇」B-TYPE CD+DVD ¥1890
2010/05/26 ケミカルピクチャーズ「世界を撃った男 case 1
¥1575
2010/05/26 ネガ「NEGATIVISM」TYPE A CD+DVD ¥4200
2010/05/26 ネガ「NEGATIVISM」TYPE B CD ¥3150
2010/05/26 ネガ「VISUAL NEGATIVISM-complete-」DVD ¥472
2010/06/02 exist†trace「KNIFE」CD ¥1260
2010/06/02 HERO「Not Found」初回限定盤 CD+DVD ¥2100
2010/06/02 HERO「Not Found」通常盤 CD ¥1575
2010/06/02 VELGREED「Awakening the 4 Ray」CD ¥1575
2010/06/02 シド「レイン」初回生産限定盤A CD+DVD ¥170
2010/06/02 シド「レイン」初回生産限定盤B CD+DVD ¥170
2010/06/02 シド「レイン」通常盤 CD ¥1250
2010/06/02 遺伝子組換こども会「東京デスティニーランド ミ
アルバム」CD ¥1995
2010/06/02 大佑と黒の隠者達「翻弄」CD ¥1260 大佑(the
初のソロ「大佑と黒の隠者達」待望の1st Single「翻弄」リ
2010/06/05 ミニコミ「h'evn 048」BOOK ¥1050 表紙巻頭：
アーティストコメントCD
2010/06/09 NoGoD「カクセイ」完全限定プレス盤 CD+DVD
2010/06/09 NoGoD「カクセイ」通常盤 CD ¥1260
2010/06/09 カル・ヴァリ「JOIN」CD ¥1890
2010/06/09 ダウナー「タイトル未定」A-TYPE CD ¥1575
2010/06/09 ダウナー「タイトル未定」B-TYPE CD ¥1575
2010/06/09 ムック「約束」アニメ盤（期間生産限定）CD ¥13
2010/06/09 ムック「約束」初回限定盤 CD+DVD ¥1680
2010/06/09 ムック「約束」通常盤 CD ¥1260
2010/06/09 花少年バディーズ「Balloon」Type-A 初回限定盤 C
GURUGURU特典：コメントCD
2010/06/09 花少年バディーズ「Balloon」Type-B通常盤 CD ¥
GURU特典：コメントCD
2010/06/16 Creature Creature「タイトル未定」初回受注
CD+DVD ¥3675
2010/06/16 Creature Creature「タイトル未定」通常盤 CD ¥
2010/06/16 Mix Speaker's Inc.「NEVER ENDING STORY」初回
シャツ ¥4500
2010/06/16 Mix Speaker's Inc.「NEVER ENDING STORY」通常盤
2010/06/16 V-last.「Red Rabbit」CD ¥1260
2010/06/23 A&D「BLACK HEAVEN」初回限定盤 CD+DVD ¥
2010/06/23 A&D「BLACK HEAVEN」通常盤 CD ¥1260
2010/06/30 0801弐209336「携帯撲滅委員会」CD ¥1260
2010/06/30 0801弐209336「元カノからの逃れ方。」セカンド
¥2100
2010/06/30 D「タイトル未定」初回盤A CD+DVD ¥1890
2010/06/30 D「タイトル未定」初回盤B CD+DVD ¥1680
2010/06/30 D「タイトル未定」通常盤 CD ¥1050
2010/07/01 レインマン「落日/青」CD ¥1050
2010/07/14 Dear L'Novel「The last recollection」CD ¥1470
2010/08/11 Dear L'Novel「Winter lover」CD ¥1575

GURU GURU
有限会社 グル・グル
〒060-0063
札幌市中央区南3条西4丁目アルシュ4F
TEL 011-251-4480
e-mail▸order@guruguru.co.jp
FAX 011-251-4481
OPEN10:30-CLOSE20:00



全国通販OK
代引きOK
即日発送

Radio-UZU-「渦」 ON
毎週火曜23:00 FMアップル 7
※札幌圏のみ
インターネットでも生中継します！
http://www.channel-apple2.com/streamin
Kagrra,白水と女雅の道産子
ヴィドールの真夜中の美人館
バックナンバーはこちら

彩冷える ayabie

■SHOXX表紙巻頭撮影メイキング『撮影秘話』

表紙巻頭特集・彩冷えるの撮影風景を見よう!! シングルとしては約半年振りのリリースとなる新作『ドラマティック』を引っさげて登場となった、最新の彩冷えるをお届けします!!

■撮影メイキング、待ち受け配信、その他企画など配信中

咲人 / takuya & 輝喜 / THE KIDDIE / HERO
凜 / NEO VOLTAGE / etc...

音楽せんか?

音楽専科社公認公式携帯サイト
http://mobile.ongakusenka.com/

ARENA37℃ とSHOXX に掲載された記事と連動した企画が盛りだくさん!
ここでしか観ることが出来ない撮影メイキング・ムービーや、ここでしか手に入らない待ち受け画像、着ボイスなど、絶賛配信中!! 今すぐアクセス!!

月額315円の会員になれば、待ち受け取り放題・ムービー見放題!! その他にも楽曲試聴や、着うた、アーティストのコラムも読めます!!

×びじゅけい ヴィジュアル系ファンのための携帯サイト♪
http://www.visukei.com/

びじゅけいpresentsイベント第6弾!
ケイタイで連動企画が見られるよ!! 詳しくはびじゅけいを見てね!

蝴蝶网
hudie.com

びじゅけいpresents

「Revolutions」- 四面楚歌 出演者募集!! -

2008年から始まり、シーンの登竜門として
ビジュアルシーンの旬なバンドが多数出演するお祭りイベント!!

出演希望バンドは、バンドの紙資料、音源を右記宛先へお送りください。

150-0013 東京都渋谷区恵比寿 4-28-5 プレサージュ 406
株式会社 VisualRock.NET『びじゅけい』係まで

数々のアーティスト電子書籍を配信中!!

慧美网
vimee.net

ナイトメア SHOXX FiLE EDITION.1

ナイトメアの軌跡を収録したスペシャルブック「SHOXX FiLE ナイトメア Edition1」がケイタイ書籍になったよ!

~グラビア堂書店 Presents~
モバフォト!

QR コードからアクセス!

蝴蝶网
hudie.com

PURE SOUND

ヴィジュアル系専門店

販売・買取

☆西新宿店・店頭のみの特別企画☆

PICK UP アーティスト SALE!!

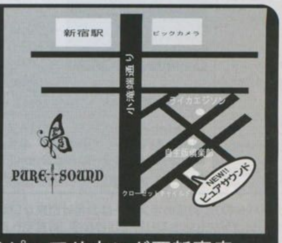
期間：5/21 ～ 6/20

内容：対象アーティスト中古商品 20%OFF

対象アーティスト

●アンド ●WHITEBLACK ●heidi ●Sadie ●SCREW
●カル・ヴァリ ●SKULL ●Kaya ●東京ミカエル。

いずれもこの時期 LIVE やイベントを控えているアーティストばかりを集めた今回の企画。予習・復習はぜひピュアサウンド西新宿店で!!



●ピュアサウンド西新宿店
東京都新宿区西新宿 7-16-14
ミクラビル 1F
TEL＆FAX　03-6304-0360

春の買取キャンペーン 5/31 着まで !!

当店ではまだまだ商品が足りません!!

特にゴシック＆ロリータ古着、小物、人気アーティスト商品などは特に高価買取します！

人気アーティスト：アヲイ/vistlip/ViViD/キャンゼル/人格ラヂオ/DELUHI/9GOATS BLACK OUT/電脳ロメオ etc

是非、この機会をお見逃しなく!!

ゴスロリ専門サイ
~maiden clothin
http://www.maidenclothi

◇春の買取キャンペー

下記の春の大量処分大
キャンペーンは maiden clot
と合同キャンペーンになり
期間中であれば洋服・小物も
期間中に CD.DVD. 洋服，小
是非、アメリカ村・西新宿
お送り下さい！

◇モバイル販売に OP

郵送買取なら絶対ピュアサウンド!!

◆CD（邦楽・洋楽・etc）
◆DVD（ミュージック・映画・アニメ・etc）
◆音楽雑誌 ◆ツアーグッズ各種
◆FC会報◆ゴスロリ服（その他V系古着）

1枚からでも**無料**！ 着払いでお送り下さい　送料代金は**当店**が**負担**します！

店頭にて持込での
買取も行っております
その場で専門スタッフが査
↓
即現金にてお支払い♪
（身分証明書をご持参下さ
＋
18 歳未満の方は親権同意
が必要となります。）

買取方法

1. ・お売り頂く商品
・身分証明書のコピー
（運転免許証・保険証・パスポートのいずれか1点）
・買取依頼書
・親権者同意書（18歳未満の方のみ）
を必ず同封の上お送り下さい。
2. 当店到着後すぐに専門スタッフが一点ずつ丁寧に査定。
3. 査定結果をメールor電話にてお知らせします。
査定にご納得いただけない商品はキャンセル可能です!
4. お客様からの承諾をいただき次第ご指定の口座にお振込み♪
*お振込みの際には、査定金額より送金手数料400円を引かせて頂きます。

買取依頼書について
ピュアサウンドホームページにてプリントアウト出来ます。手書きの依頼書でも結構です。以下の点を記載した用紙を同封して下さい。［振込先の金融機関情報、氏名、住所、連絡先、メールアドレス］

親権者同意書について
18歳未満の方のみ。ピュアサウンドホームページにてプリントアウト出来ます。手書きの同意書でも結構です。「CD・DVDを売ることに同意します。」と、ご家族の方にご記入頂き、親権者氏名、本人氏名、住所、連絡先を記載した用紙を同封して下さい。

査定後不成立の商品返送について
即日ご返送させて頂きます。その際の送料は、お客様のご負担となります。ご了承下さいませ。

5/31 着まで

春の大量処分大歓迎キャンペーン !!

売れば売るほどボーナスが付いてくる！

査定金額¥200以上の商品 **10点**以上で **+¥1,000**

さらに**10点**ごとに **+¥1,000**

50点ではなんと査定金額 **+¥10 000**

100点以上 **+¥25,000**

60点以上	+¥12,000
70点以上	+¥14,000
80点以上	+¥16,000
90点以上	+¥18,000

（※買取依頼書に必ず「SHOXX で春の買取キャンペーン見た！」とご記入下さい。）

西新宿店もついに郵送買取スター

店頭での買取も随時行っております。
専門店なので安心査定価格♪
是非この機会に郵送・店頭買取をご利用下
詳しくは下記のお電話にてお問い合わせ下
（※お電話での査定価格のお答えは出来ま

買麗の極意！

① CDなどの帯は捨てたらアカン！
② 美品、完品（付属品が完備）が一番！
③ リストにないようなレア商品を売る際、補足説明を書いたメモがあればGOOD！

vimee.net

Pure Sound Amerikamura ピュアサウンド

こちらの宛先まで、「佐川急便着払い」にてお送り下さい！

〒542-0086
大阪市中央区西心斎橋 2-10-34
心斎橋ウエスト 363 ビル 2F
TEL:06-6214-2549

詳しい買取価格などは、
ピュアサウンドホームペー
http://www.puresound

A37℃ SPECIAL 2010年2月号 vol.66

Alice Nine 巻末14ページ

2009.12.16 "WHITE PERIOD Ⅱ (Part.2)" LIVE at 新木場 STUDIO COAST レポート、アフター・ライヴ・インタビュー、"冬休み"をテーマにインタビュー、ポラ日記

SuG 10ページ

パーソナル・ボディチェック・アンケート、どうしで他のメンバーの事を紹介する"他己紹介"イン クラッカーとケーキでプチお祝いショット

∞ 表紙+巻頭12ページ　ON/OFF 8ページ
ESS 8ページ　FTIsland 8ページ　超新星 6ページ
TICK 6ページ　Mnet PRESS vol.11

ールカラーA4ワイド判　定価980円（税込）+送料290円

ARENA37℃ SPECIAL 2009年7月号 vol.58

RUKI (the GazettE) 表紙+巻頭40ページ

ルキの中に潜む"DARKNESS"をとらえた有終の美を飾るにふさわしい鮮烈なグラビア、"近況""今回の撮影のテーマ""表現する上で一番大切にしていること""プロとしてのプレッシャーは?""ライブとは?""自分で自分をどういう人間だと思う?"etc.の20000字超ロングインタビュー、ポラ日記、100問のQ&A

超新星 10ページ

"「超新星 Fes. Vol.2」・「超新星 1st Fan Meeting」の感想""マイブームは?""今後の目標"etc.をインタビュー、2009.5.6"超新星 Fes Vol.2 Six Shooting Star ~Dream~" LIVE at 五反田ゆうぽうとホールレポート

FTIsland 10ページ／T-MAX 8ページ／SMASH 8ページ
alma 4ページ／ON/OFF 4ページ／Mnet PRESS Vol.3
韓国版「花より男子～Boys Over Flowers」記者会見&イベント取材

オールカラーA4ワイド判　定価980円（税込）+送料290円

ARENA37℃ SPECIAL 2009年5月号 vol.56

戒 (the GazettE) 表紙+巻頭40ページ

"閉鎖的ではないが、孤独感のあるもの"をモチーフに据え、"ポジティヴで努力家"のイメージを持つ戒が真の"孤独"の意味を表現するグラビア、胸のうちに思う"孤独"・the GazettEのこと・戒自身のことetc.を超ロングインタビュー、ポラ日記、100問のQ&A

Gackt 巻末18ページ

"10分間の逃亡者"を追い・追われるシューティングのグラビア、"Gackt Job"10年目の真実に迫るインタビュー、"Requiem et Réminiscence Ⅱ ～再生と邂逅～"ツアーも大詰め、そしてアリーナツアーもスタート間近なGacktの近況インタビュー

河村隆一 10ページ／GiFT／alma／古川雄大
中河内雅貴／リュ・シウォン／Mnet PRESS

オールカラーA4ワイド判　定価980円（税込）+送料290円

㊟バックナンバーの為、付録のポスターはお付け出来ない場合がありますので、御了承下さい。
近くの書店に在庫がない場合には、その書店へお申し付け下されればお取り寄せ頂けます。御自宅へ直送希望のお客様は当社経理部まで定価に送料を加えた金額を誌名記入の上、
用、現金書留、または郵便振替（口座番号00190-6-407846・加入者名㈱音楽専科社）にてお送り下さい。まとめて2冊以上をお申し込みの場合は、送料を450円とさせて頂きます。
更に貴方のP.C.又は携帯から当社ホームページにアクセスの上でお申し込み下されば、お近くのセブンイレブン・ローソン・ファミリーマートの各店でもお支払いできます。
音楽専科社オフィシャルウェブサイト　http://www.ongakusenkasha.co.jp/　アクセスして下されば当社発行の現在在庫のある全アイテムを御覧頂けます。
宛先　㈱音楽専科社　〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3 ダヴィンチ銀座アネックス5F　TEL.03-3574-0201　FAX.03-3574-8548

ARENA37℃ back number

㊟この欄に掲載されているアリーナ37℃のバックナンバーにつきましては、付録のポスターが無い場合（在庫切れ）もありますので御了承下さい。

〈2009年 7月号〉
①表紙+巻頭特集＝GLAY…究極のベストアルバムをメンバーに聞く&パーソナル・キーワードインタビュー（全22ページ！）
②GACKT…新曲のカップリング曲に込められた想いとは? 涙なしでは読めないロングインタビュー！全10ページ。
③麗（ガゼット）…ニューアルバムレコーディング中の近況を聞く（全6ページ）
④VAMPS…フルアルバムインタビュー！
⑤ナイトメア…ライブ密着取材！
⑥虎×チキン+Naoの大冒険の2本立て！
★定価880円（税込）+送料140円

〈2009年 8月号〉
①ガゼット…アルバム&パーソナルインタビュー全20P！
②東方神起…シングル&パーソナルインタビュー！
③GACKT…シングル&企画インタビュー！！
④Acid Black Cherry…「優しい嘘」インタビュー！
⑤Ni～ya（ナイトメア）…パーソナル！
⑥Alice Nine…「華」インタビュー！！
⑦シド…アルバムインタビュー！
⑧SuG…4人になった新生SuG！
★特別定価930円（税込）+送料140円

〈2009年 9月号〉
①表紙+巻頭特集＝Acid Black Cherry…衝撃のアルバムを徹底解剖、全20P！
②Coming Century…ファーストミニアルバムを音源インタビューとパーソナルインタビューで取材！8P！
③東方神起…東京ドーム公演完全レポート！8P！
④GACKT…シングルインタビュー！！
⑤ガゼット…市川市文化会館ライブ！
⑥仙台貨物…千葉インタビュー！
⑦THE KIDDIE…夏大好き！
★特別定価930円（税込）+送料140円

〈2009年 10月号〉
①表紙+巻頭特集＝V6…「GUILTY」インタビュー&パーソナル+カミセン・ライブレポート！
②ナイトメア…シングル&YOMI×Ni～yaのパーソナル&全員Q&A！
③ジェジュン&ユチョン（東方神起）…2人に

⑦Alice Nine…国際フォーラム！
★定価880円（税込）+送料140円

〈2009年 11月号〉
①表紙+巻頭特集＝UVERworld…ニューシングル徹底インタビュー&ホットな撮り下ろし全30P！
②ガゼット…全員&パーソナルインタビュー
③仙台貨物…『凸～デコ～』の本誌オリジナルストーリー！
④Alice Nine…原宿スタイルコレクション&有明コロシアムライブ！
⑤Kra…シングルインタビュー
⑥SuG…2カ月連続リリース第1弾！
★定価880円（税込）+送料140円

〈2009年 12月号〉
①表紙+巻頭特集＝GACKT…神威楽斗の音楽革命、ジパングロックとは?
②堂本光一…横浜アリーナライヴレポート！
③シド…シングルインタビュー&国立代々木第一体育館ライブレポート！
④RUKA（ナイトメア）…パーソナル取材。
⑤Alice Nine…ライブDVDインタビュー！
⑥THE KIDDIE…「ポプラ」インタビュー
⑦SuG…シングルインタビュー！
★定価880円（税込）+送料140円

〈2010年 1月号〉
①表紙+巻頭特集＝LANDS（赤西仁）…映画『BANDAGE バンデイジ』に登場するロックバンド・LANDSのボーカリスト、赤西仁インタビュー。小林武史×赤西仁対談。
②GACKT…2010年もGACKTは止まらない！
③山下智久…横浜アリーナライブレポート！
④UVERworld…初のベストアルバムリリース！
⑤戒（ガゼット）…パーソナルスタート！
⑥ナイトメア…『ジャイアニズム』リリース！
★特別定価880円（税込）+送料140円

〈2010年 2月号〉
①表紙+巻頭特集＝GACKT…ハードボイルドGACKT。キーワードインタビュー他3本立て大特集！20P
②ナイトメア…YOMI&咲人インタビュー！
③葵（ガゼット）…パーソナル企画第2弾！
④虎（アリスナイン）…虎パーソナル企画第1弾は虎が「陰陽師」に大変身だ！
⑤THE KIDDIE…赤坂ブリッツレポート
⑥SuG…祝・メジャーデビュー！
⑦彩冷える…メジャーファーストアルバムインタビュー！
★定価880円（税込）+送料140円

デビュー、今井翼を大特集！12P
②東方神起…究極のベストアルバムをリリース！東方神起を9ページで大特集！
③KinKi Kids…東京ドーム公演を徹底レポート！
④ガゼット…東京ビックサイトレポート！
⑤れいた（ガゼット）…パーソナル企画第4弾！カッコイイれいたが6ページで大特集！
⑥Alice Nine…バレンタイン大特集！
⑦シド…シングルインタビュー！
★定価880円（税込）+送料140円

〈2010年 4月号〉
①表紙+巻頭特集＝T.M.Revolution…ガンダムSEEDとのコラボ集大成アルバムリリース！20P
②東方神起…ニューシングル急きょ発売！
③遊助…Zepp Tokyoを徹底レポート！
④Alice Nine…ニューアルバムインタビュー！
⑤雅-MIYAVI-…新曲入りDVDリリース！
⑥SuG…アルバムインタビュー！
⑦Kra…ベストアルバムインタビュー！
★定価880円（税込）+送料140円

〈2010年 5月号〉
①表紙+巻頭特集＝UVERworld…ニューアルバム徹底解剖全20P
②V6…ニューシングルインタビュー！
③GACKT…男限定ライブ完全詳報！
④Alice Nine…虎・大フィーチャー&ライブレポート！
⑤YOMI（ナイトメア）…パーソナルインタビュー！
⑥SuG…ライブレポート！
⑦THE KIDDIE…メジャーデビューの意気込みを聞く！
★定価880円（税込）+送料140円

〈2010年 6月号〉
①表紙+巻頭特集＝超新星…3日間連続シングルを発売する韓国イケメングループ大特集！
②ガゼット…麗パーソナル特集！ロケ特写&最新インタビュー！
③ナイトメア…咲人パーソナル特集！スタジオ特写&内面を探るインタビュー！
④Alice Nine…ヒロトが愛犬MOGUと登場！カワイイショット満載！&ライブ取材！
⑤GACKT…究極の表現者、3大会見取材！
⑥DAMIJAW…ka-yuのソロプロジェクト、1stアルバムについて特写&インタビュー！
★定価880円（税込）+送料140円

お申し込みご希望の方は、最寄りの書店にてお申し付け下さるか、もしくは小社経理部まで定価に送料を加えた金額を誌名記入の上、切手代用または現金書留でお送り下さい。まとめて4冊以上をお申し込みの場合は、送料を450円とさせて頂きます。

宛先▼㈱音楽専科社

HOXX & ARENA37℃ バックナンバーフェア実施店

札幌》グルグルアルシュ店（011）251-4480／旭屋書店札幌店（011）209-5181／ジュンク堂書店札幌店（011）223-1911　《仙台》ブックスみやぎ（022）
7-4422／リトルハーツ（022）264-8003　《新潟》紀伊國屋書店新潟店（025）241-5281　《栃木》うさぎや栃木城内店（0282）21-7351　《秋葉原》
泉ブックタワー（03）5296-0051　《神保町》書泉ブックマート（03）3294-0011　《新宿》ライカエジソン東京店（03）3369-3119／タワーレコード新宿店
3）5360-7811　《原宿》山下書店ラフォーレ原宿店（03）3475-0447　《渋谷》文教堂書店渋谷店（03）5468-2431　《吉祥寺》Booksルーエ（0422）
-5677　《豊橋》精文館書店（0532）54-2345　《名古屋》星野書店近鉄パッセ店（052）581-4796／ライカエジソン名古屋店（052）229-8211／白樺
房西店（052）774-7223　《京都》ブックストア談京都店（075）255-0654　《大阪》ライカエジソン大阪店（06）6252-6[illegible]／ヤマハミュージック大阪（06）
31-6776／ジュンク堂書店千日前店（06）6635-5330／紀伊國屋書店バンドスコアハウス店（06）6373-0748　《姫路》[illegible]Begin（0792）83
88　《東広島》フタバ図書ゆめタウン黒瀬店（0823）81-2662　《福岡》リーブル天神（092）713-1001／福家書店福岡店（092）7[illegible]1-826[illegible]　《大分》
屋書店セントポルタ店（097）532-4343

hudie.com

EXPECT RUSH
エクスペクト・ラッシュ
期待の注目バンドをピックアップ!

ケミカルピクチャーズ

ALSDEAD

ALSDEAD(オルスデッド)

【メンバー】MAKI(マキ/Vo) 沁(シン/Gt) 玲人(レイト/Ba) 刹亞(セツア/Dr)
【結成日】2008年12月29日
【主な活動場所】都内・海外
【アイテム】
2009年1月28日 1st Single『Violent of Reason』(入手不可)
2009年2月25日 2nd Single『S.a.g.A』(入手不可)
2009年10月7日 3rd Single『PARADOX』(入手可)
2010年1月13日 4th Single『Distrust』(入手可)
【問い合わせ】オフィシャルサイト http://www.alsdead.com/
TOTAL INFORMATION【GALAXY】
〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-9-18 ライオンズプラザ608

ケミカルピクチャーズ

【メンバー】てんてん(Vo.)/Joe-ジョー-(Gt.)/ビリー(Gt.)/Jimi-ジミー-(Ba.)/子雲-シウン-(Dr.)
【結成日】2009年
【主な活動場所】都内近郊
【アイテム】2009年9月23日1st Maxi Single「Praprat」/2010年5月26日2nd Maxi Single「世界を撃った男 case1.トカレフ」
【問い合わせ】SPEED DISK 〒169-0075東京都新宿区高田馬場3-3-8-609
http://chemical-pictures.net/
※4月末日時点の情報です。

慧美网
vimee.net
蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

Ba.Jimi/Cosmic Boy

Gt.Joe/GruNge StRange

Vo.てんてん/Trick Master

ケミカルピクチャーズ

世界を撃った男 case1.トカレフ

2007年の2月に、惜しまれながらも解散した個性派バンドKuRt。そんなKuRtのヴォーカリストだったてんてんが新しくバンドを結成。メンバーは、2005年の11月に解散したSCISSORのドラマー子雲と、ニューカマーのJoe(G)、ビリー(G)、Jimi(B)の5人だ。しばらくぶりの活動となる、てんてんと子雲が、ニューカマーを引き込んで魅せる新たな世界は、素晴しくロックで熱い世界である。

Interview:NAOKO TAKEICHI

Gt.ビリー/Mr.Fantastic

てんてん：良かったです。また会えて。俺、もう表舞台には戻ってくるつもりもなかったというか……。前のバンドを越えるバンドを作らないと、やっても意味ないなぁって思ってて。次は、みんながいいねって言ってくれる音楽を作れるバンドがやりたかったんで、地元の友達だったJoeを誘ったんです。

Joe：仕事やってたんで1回断ったんですけど、〝いい音楽作りたい〟っていうてんてんの気持ちに共感したんです。最初はてんてんと2人で始めたんです。今に至るまでにも、ギターが脱退したりして活動が止まったりもしたので、現メンバーになって動き出したのが、まだ今年の3月14日だったりするんですよ。

てんてん：知り合いに頼んで紹介してもらったのがJimiだったんです。正直ビックリしましたよ外国人だったんで！ でも、話してても面白かったし、いろんなアーティストのサポートでベースを弾いてたり経験を持つヤツで腕もたしかだったんで、一緒にやろうって誘ったんです。

Jimi：僕はカルフォルニア出身で日本語を勉強しつつ、英語を教えつつな感じで、4年前に日本に来たんですけど、てんてんの昔のバンドは知ってたし、面白そうだなと思って一緒にやることにしたんです。

子雲：これもう（インタビュー）始まってるんですか？

――みたい（笑）。子雲は？

子雲：僕も、もう一線でバンド組んでドラム叩くことはないかなって思ってたんです。最初誘われたときは、〝てんてんでしょ〜、じゃぁいいや〟って断ったんですけど（笑）、ずっと口説かれてて、ある日、Joeさんがデモテープを持って来てくれたんです。それ聴いたらめちゃめちゃ良くて。一緒にやろっかなと。

てんてん：SCISSORの頃から上手いと思ってたんで、めちゃめちゃ口説いたんです。音を聴いてくれる前までは、サポートならいいよって言われてて。自分でデモテープ渡しに行けなかったのは、直接断られるのが怖かったからで…。

子雲：そうだったんだ(笑)。また随分ヴィジュアル系っぽくない人が持って来てくれたなぁって思ったんだよね（笑）。

Joe：え？ あ、僕ですか？ そうなんですよね、普段はそんなに（笑）。

てんてん：みんなそこまでヴィジュアルシーンにどっぷりと浸かってた人たちじゃなかったんで、僕的には子雲さんが居てくれて、すごく安心というか、お兄ちゃん的な存在なんですよね。

――音も新しいもんね。ビリーは？ どっぷりヴィジュアル系じゃないし。

ビリー：はい。僕、8人家族で、玄関入れて3部屋しかないんで、いつも玄関で曲作ってるんですよ。

子雲：いきなりそこ（笑）!?

ビリー：毎年年末に地元の仙台の古川で、先輩たちがやってる飲み会があるんですけど、そこでてんてんさんと知り合って。てんてんさんのことは昔から知っていて憧れでもあったんで、誘ってもらったときは嬉しかったです。だからギターでもいいかなって。

てんてん：ビリーはヴォーカル志望だったから、最初誘わなかったんですけど、飲み会の帰りに渡されたデモを聴いて、絶対に一緒にやりたいと思ったんですよ。彼、めちゃめちゃいい曲作るんです！

ビリー：あ。曲作るの趣味なんですよ。

てんてん：で、ギターで参加してみない？って誘ったら、最初は入るって言ってたんだけど、やっぱどうしてもヴォーカルやりたいからって断ってきて。でも、もうスタジオ取っちゃったし、1回おいでって呼んで、一緒にスタジオに入って、そこから一緒にやることになったんです。

――5月26日に『世界を撃った男』がリリースされるけど、その何曲目を？

ビリー：2曲目の「My Harlot BrOker」って曲が僕の曲ですね。

――いい曲だよね。しかし、この先、5ヶ月連続リリースも控えてるんでしょ？

てんてん：はい。これには仕掛けがあって、全部、『世界を撃った男』っていうタイトルで、それと連動する9月17日のワンマンライヴのタイトルが『世界を売った男』になってるんです。音源の力は、聴いてくれた人たちの心を撃つっていう意味が込められていて、ジャケットもいろんな銃になっているんです。1枚目がトカレフだったり、3枚目が火縄銃だったり、とにかく幅広い曲調を、音源ごとに見せていこうと思ってるんです。そして、ライヴの〝売った〟には、ワンマンを観に来てくれたときは、その固定概念を全部売り払うくらい、俺たちの世界に引き込んでやるっていう意味が込めてあるんです。なので、その繋がりをぜひ、その目で確かめてほしいなと思います。

Dr.子雲/Rhythm Geek

※このインタビューは4月末に行われました。

慧美网
vimeo.net

蝴蝶网
hudie.com

EXPECT RUSH
エクスペクト・ラッシュ
期待の注目バンドをピックアップ!

ALSDEAD

構築された世界観を提示する！

結成から1年半。過去に4枚のシングル盤をリリースし続けてきたALSDEADが、6月16日に待望と言うべき1stアルバム『ALSDEAD』を発売する。その先行リリースも兼ね、6月9日には渋谷BOXXを舞台に、主催イベント「ALL SIXX NINE DEAD」も開催。こいつら、今後面白い動きをしそうだ。ぜひ、注目してくれ！

Interview:TOMONORI NAGASAWA

——ALSDEADが掲げたコンセプトが、精神異常に陥った人間の行動、感情への理解と探求。精神異常ですかぁ。

MAKI：メンバーは、みんな〝正常〟なんですけどね（笑）。もともと僕は心理学が大好きで、その分野のことを研究していました。その興味深いテーマ性を音楽と絡めたら、より奥深い形で表現できるのではないかと思ったのがALSDEADとしての始まりなんです。

——1stアルバム『ALSDEAD』には、病んだ精神性を、多彩な角度から楽曲の中へと描きあげました。

MAKI：この作品を通し、結成から1年半という歳月の中で突き詰め続けてきたテーマ性を、一度集約させました。と言うのも、〝病んだ精神性〟というあまりにもヘヴィなテーマ性に自分自身が縛られ始めてきたこともあって、そのテーマの探求を、一つここで完結させたかったんです。

——それ、もったいなくないですか!?

MAKI：いままで芯を持ったバンドとして進んでこれたのは、明確にコンセプトを打ち出し、その世界観を突き詰め続けてきたからなのは確かです。でも同時に、テーマ性が深すぎるうえに、歌詞を書いている自分自身が〝妄想の中の病んだ存在〟に乗り移られ、本当に心病みそうにもなってしまうんです。さらに、もっと自由に表現の枠を広げたいと言う意志もあって、今後はコンセプトの幅をもっと広げて表現していくつもりです。

——バンドの曲調としてはアグレッシブな表情を描いているとはいえ、どの楽曲にもメロディアスな要素があり、アルバム全体のイメージとしては〝歌物作品〟に仕上げていますが、ライヴでは、激しく攻めゆく姿勢を提示していますよね。

沁：音源とライヴでは、あえて違う表情を意識してると言うか。〝通常／異常〟という異なる感情を対比させてゆく歌詞の世界観と同じように、バンドの中でも、〝音源／ライヴ〟では、両極にある姿を描き出していきたいんです。

玲人：このバンドの面白さは、その両極性であり、日々変化を求めてゆく姿勢にこそあるんですよ。

沁：一辺倒へ傾いたことばっかやってると、すぐに飽きるからね。むしろみんな、いろんなことをやりたがると言うか。

MAKI：だからこそアルバムの最後を飾った「虹色の雨」のような、普段の荒々しい姿からは想像もつかない、ポップなバラードだって入れたわけだし。

沁：〝うちら、こういう音楽性だってやれますよ〟という姿勢を示す意味でもね。

剎亞：アルバムへは、結成から現在までの1年半の活動のすべてを集約しているので、芯を持ちながらも多彩な色を持った曲たちを味わえるはずです。

——曲調はカラフルなれど、歌詞はどれも、〝痛い感情〟を多彩な病んだ角度から綴っています。

玲人：一歩間違ったら、ヤバいですよね。

MAKI：この歌詞の世界へ気持ちを深入りさせてくと、本当にヤバいんで。もちろんすべてが自分の経験談ではなく、想像やフィクションも含まれての話なんですけど。でもこれらは、人なら誰もが心の中へ包むように隠してある感情なんです。そして、それこそが〝誰にも生まれ得る異常な精神性〟だと思うんです。そういうみんなが目を伏せたい感情を、ALSDEADはさらけ出そうとしているんです。

沁：人間誰しも、心の中に病んでる部分を持っているもの。誰もがそれを納得できる部分があるはずなんです。

MAKI：よく人って、病んだ人と自分を見比べながら、〝自分はまだまだ正常なんだ〟と思うことってあるじゃないですか。それが、自分の心の中の薬にもなっていると言うか。むしろこれらの曲たちを、〝こうなったらあかん〟という反面教師的に捉えてもらえたらなと思ってる。

玲人：反面教師にするには、かなり病み過ぎてるけどね（笑）

剎亞：俺自身、わかりやすい歌詞や歌が好きなんだけど、MAKIの持ってくる病んだ歌詞には理解できるんです。彼の歌詞には誰もが共感する面が絶対にあると思ってます。

沁：このアルバムに触れた瞬間から、一気に物語の中へ引き込まれるはず。

——6月9日には、アルバム発売を記念したイベントも開催になります。

剎亞：ロックの日に主催するイベントでは、ALSDEADなりのロックンロールな神髄を叩きつけてやるつもりなんで。

MAKI：第一章の物語を集大成しつつ、次の世界の幕も、この日開けてやるぜ。

慧美网
vimee.net

ke an Edison presents Live チケット発売中

E FIVE ELEMENTS

愛狂いま / 平成 / 宍 / V-last. / ダウナー

10.06.05 SAT 表参道FAB

START 16:00/16:30 ADV3,300 DAY3,800
ライカエジソン東京店(03-3369-3708)
/チケットぴあ(Lコード:78222)/チケットぴあ(Pコード:103-729)

A
Dolly / AN / Dual Jewel / ケミカルピクチャーズ
DOG in The パラレルワールドオーケストラ / Bug Lug

OSAKA 2010.05.29 SAT ESAKA MUSE
(O.A.)VELGREED
OPEN/START 16:30/17:00 ADV3,500 DAY 4,000

NAGOYA 2010.05.30 SUN Electric Lady Land
(O.A.)EAT YOU ALIVE
OPEN/START 16:30/17:00 ADV 3,500 DAY 4,000
チケット:ライカエジソン名古屋店(052-229-8211)/ローソンチケット(Lコード:43253)/チケットぴあ(Pコード:105-371)

最新情報と楽しいコンテンツが盛り沢山!

ライカエジソンの携帯サイト!

ライカエジソン公式携帯サイト「Like an Edison.com」では、商品情報やオリジナル特典情報、インストアイベント情報等の情報はもちろん、簡単に商品の予約や通信販売の申込が出来ます!
さらにメルマガ会員になると最新情報をいち早くメルマガにてお届けします!
さらに携帯サイトラジオ番組『どこラジ』やここでしか観られないアーティスト動画、着うた、アーティスト特集企画等コンテンツが盛りだくさん!是非一度アクセスしてみてください!

全キャリア着うた配信中!

---

ki — Album ¥2,300 INSPIRE ★オリジナル特典:B3ポスター

EAT YOU ALIVE — Maxi Single ¥1,300 5/19 Missing you/暁 ★オリジナル特典:サイン入り生写真

カル・ヴァリ — PVシングル店舗限定発売 5/19 君のための ¥1,050 / 6/9 Mini Album JOIN ¥1,890 (イベントあり)

黒色すみれ — Full Album ¥3,000 5/19 ALICE IN THE UNDER GROUND ★オリジナル特典:生写真

the birdman — 5/19 Maxi Single 壱 ¥1,500

TELLA... — Album ¥2,625 塞廻ノ刻 ★オリジナル特典:ポスター

spiv states — Mini Album 初回盤¥2,800/通常盤¥2,400 5/19 NOVELTY HUNTER ★封入特典:(通常盤のみ)トレカ

Virgil — Mini Album Atype ¥2,625/Btype ¥2,415 5/19 奇才楽団物語「白之章」

12012 — Maxi Single 5/26 THE PAIN OF CATASTROPHE (イベントあり)
初回限定盤A ¥1,500/通常盤B ¥1,200/通常盤C ¥1,000
★オリジナル特典:(初回限定盤A・B W購入)フォトカードセット (通常盤)フォトカード・(共通)ポストカード さらにトリプル購入でTシャツ&インタビューDVD

O-PARTS — Maxi Single 5/26 煌[kou] ¥1,200 ★オリジナル特典:スペシャルDVD

ケミカルピクチャーズ — Single 世界を撃った男 ¥1,575 (イベントあり) ★オリジナル特典:メッセージDVD

XI〜サイ〜 — Maxi Single 5/26 疑惑の種火 ¥1,260 / Maxi Single 6/30 朧月夜舞い謳う蛾 ¥1,260 (イベントあり)

Dir en grey — 5/26 LIVE DVD UROBOROS -with the proof in the name of living...- AT NIPPON BUDOKAN 初回限定盤 ¥10,500/通常盤 ¥7,140

DEATHGAZE — Maxi Single 5/26 SORROW ¥1,050

ネガ — Full Album 5/26 NEGATIVISM TYPE A ¥4,200/TYPE B ¥3,150 (イベントあり)

kidi. — Maxi Single 予感 (イベントあり) 初回限定盤 ¥1,890/通常盤 ¥1,260

メガマソ — Maxi Single 5/26 トワイライトスター (イベントあり) 初回限定盤A ¥1,890/初回限定盤B ¥840/通常盤 ¥1,050 ★封入特典:トレカ

遺伝子組換こども会 — Mini Album ¥1,995 6/2 東京デスティニーランドミュージック・アルバム (イベントあり)

シド — 6/2 Maxi Single レイン 初回限定盤A・B ¥1,700/通常盤 ¥1,250
★封入特典:(初回A・B)別柄ジャケットポストカード (通常)アニメステッカー&紙コップデザイン

大佑と黒の隠者達 — 6/2 Maxi Single 翻弄 ¥1,260

ERO — Single Not Found (イベントあり) 初回限定盤 ¥2,100/通常盤 ¥1,575
★封入特典:メッセージDVD(3店舗共通・通常、別内容)&(初回のみ)フォト

VELGREED — Maxi Single ¥1,575 6/2 Awakening the 4 Ray (イベントあり)

凛 — Maxi Single 6/2 As If Forever Exists. (イベントあり)
初回限定盤:TYPE A ¥2,100/通常盤:TYPE B・C ¥1,670
★封入特典:トレカ/オリジナル特典:(TYPE A)メッセージDVD (TYPE B)フォト5枚組 (TYPE C)直筆サイン入りフォト

NoGoD — Maxi Single 6/9 カクセイ 初回限定盤 ¥1,680/通常盤 ¥1,260

花少年バディーズ — 6/9 Mini Album Balloon (イベントあり) Type-A 初回限定盤・Type-B 通常盤 ¥2,100

:dis — Single ライカエジソン限定販売 ¥500 threw away tomorrow.

彩冷える — 6/16 Maxi Single ドラマティック 初回限定盤A・B ¥1,890/通常盤 ¥1,260 ★封入特典:(通常盤のみ)トレカ / 7/14 LIVE DVD タイトル未定 ★封入特典:チェキケースなど(予定) ¥5,800

OUROBOROS — 6/16 Maxi Single Wish ¥1,260

Kagrra, — Maxi Single 初回限定盤A・B ¥1,890/通常盤 ¥1,260 6/16 月に斑雲 紫陽花に雨

TOON-FACTORY — LIVE DVD ★封入特典:トレカ(2枚) 6/16 Innocent World 2010.4.25 ¥3,150 / 7/14 Mini Album ¥2,625 Heart ★封入特典 トレカ(2枚)

龍 — Maxi Single 水無桜 (イベントあり)
Aタイプ ¥3,675/通常盤:Bタイプ ¥1,890
Cタイプ ¥1,890/通常盤:Dタイプ ¥1,260
ル特典:(初回A)アーティストフォト5枚組
C・D)別柄サイン入りフォト/封入特典:トレカ
4タイプ2枚ご購入でコメントDVD

ナイトメア — Maxi Single 初回盤A・B・通常盤 ¥1,500 6/23 a:FANTASIA

Phantasmagoria — LIVE DVD ¥6,300 6/23 Diamond Dust in Truth

SuG — Maxi Single 6/30 小悪魔Sparkling 初回限定盤A・B ¥1,890/通常盤 ¥1,575 ★メーカー特典:トレカ

0801弐209336 — Maxi Single 6/30 携帯撲滅委員会 ¥1,260 / 同時リリース Mini Album 元カノからの逃れ方。2ndプレス ¥1,260

Maxi Single タイトル未定 A ¥1,890/初回限定盤B ¥1,680/通常盤 ¥1,050

THE KIDDIE — Maxi Single 7/14 smile. 初回限定盤 ¥1,575/通常盤 ¥1,260

PlasticTree — 7/28 Maxi Single ムーンライトー。 初回限定盤A・B ¥1,575/通常盤 ¥1,260

太平洋ベルト — 5月25日 Full Album 海っ子NOW!⑤ ¥3,150

TAFUCA — 5月31日 CLIP DVD TAFUCameral ¥3,500

Acid Black Cherry — 6月30日 Cover Album Recreation2 初回限定盤 ¥3,000/通常盤 ¥2,500

Dear L'Novel — 7月14日 Maxi Single ¥1,470 The last recollection

---

an Edison.com ラフォーレ原宿店イベント情報

★「NEO VOLTAGE」東京インストアサーキット
内容未定

★「NEO VOLTAGE」東京インストアサーキット
kidi. 29日(土)PM5:00〜 サイン&握手会
凛 6月19日(土)PM6:00〜 サイン&握手会

ライカエジソン WEBショップ
Like an Edison.com

ライカエジソン通販改革! さらに便利になりました!

ライカエジソンのWEBショップがオープンしました!
これまでの電話受付、携帯サイト受付に加えパソコンからのご注文も出来るようになりました!
どんどん便利になっていくライカエジソン通販を是非ご利用下さい!詳しくは「ライカエジソン」で検索!!

PC>http://www.like-an-edison.com/

通信販売専用ダイヤル
0120-624-999 お問合せは お電話で!
もしくはライカエジソン東京店(03-3369-3119)まで!

全国一律 送料400円!!
*代金引換の場合は手数料が別途300円です。

通信販売をご利用で、名古屋/大阪のイベントへご参加希望のお客様へ
通信販売でもイベント参加可能です(但し枚数制限がございます) ※一部対象外のイベントがございます。詳しくは通販センターまでお問合せください。
通信販売は東京店で受付しております(名古屋店/大阪店では通信販売を行っておりません)
尚、イベント参加希望のお客様の通信販売の受付は現金書留のみとなります。

ライカエジソン東京店
〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-15-14 坂本ビル1F/2F
☎(1F)03-3369-3119/(2F)03-3369-3708

ライカエジソン名古屋店
〒460-0011
愛知県名古屋市中区大須2-1-15 伏見ヨックスビル2F
☎052-229-8211

ライカエジソン大阪店
〒542-0086
大阪府大阪市中央区西心斎橋1-6-8 トムズハウスビルディング2F
☎06-6252-6262

Like an Edison.com ラフォーレ原宿店
〒150-0001
東京都渋谷区神宮前1-11-6 ラフォーレ原宿B1F
☎03-3746-6002

靓蝶网 indie.com
V慧蝶网 vimee.net

Like an Edison Release Information

※価格はすべて税込

■ライカエジソンディストリビューション 今月の大プッシュアイテム

不良品種

花少年バディーズ

6月9日 Mini Album

Balloon

Type-A 初回限定盤 ¥2,100【1. Balloon 2. チューリップ 3. ココロ 4. ポケット 5. スポット 6. NBL 7. 球体重力】
Type-B 通常盤 ¥2,100【1. Balloon 2. チューリップ 3. ココロ 4. ポケット 5. スポット 6. NBL 7. ボンビーマン】

オリジナル特典
Type-A：超メイキングなDVD
Type-B
：たまにはゆっくりホームパーティー♥DVD
W購入完全予約者限定特典
変顔缶バッチ「Balloon」編

東京店インストアイベント
6月13日(日) PM1:00～
大好評企画東京編！
花少年バディーズの
東京の願い叶えます
&握手会

名古屋店インストアイベント
6月12日(土) PM12:00～
1時間店員（やる気あり）
＊当日、「Balloon」をお買い上げの方はメンバーがCDにサインをします
6月27日(日) PM2:00～
新ボーカリストヤギユウキの
貘とバンギャルの10の約束&握手会

大阪店
6月9日(水) PM5:00～
1時間店員（やる気あり）
＊当日、「Balloon」をお買い上げの方はメンバーがCDにサインをします
6月26日(土) PM2:30～
新企画！イワイヒロシの
おもろな～いの会&握手会

■ライカエジソン オススメ ネクストブレイク アーティスト

EAT YOU ALIVE

5月19日
Maxi Single **Missing you/暁**
オリジナル特典
サイン入り生写真
1.Missing you 2.REM 3.暁 ¥1,300

イベントあり 「-One by One- SHOWCASE FREE ACOUSTIC LIVE」in Like an Edison
＊どなたでもご参加いただけるフリーアコースティックライブです &サイン会が東名阪で開催決定！
【名古屋店】5/22(土) 15:30 【東京店】5/29(土) 13:00 【大阪店】6/13(日) 15:00

■ライカエジソン オススメ ネクストブレイク アーティスト

VELGREED

イベントあり
大阪店:6/6(日) 15:00
ミニトーク&サイン&握手会
東京店:6/16(水) 19:00
ミニトーク&サイン&握手会
名古屋店:7/7(水) 16:30
5ショット撮影会

6月2日
Maxi Single ¥1,575
Awakening the 4 Ray

★東京店イベント情報（♣:カメラタイム有り）

XI	5/21(金)	PM6:30～トーク&握手会
BrainStein	5/22(土)	PM2:00～ゲーム大会&握手会
[illegible]	[illegible]	[illegible]トーク&握手会
OUROBOROS	5/23(日)	PM3:00～トーク&握手会
[illegible]	5/23(日)	PM5:00～内容未定
-OZ-	5/23(日)	ライブ終了後 握手会 ＊会場:高田馬場AREA
メガマソ	5/26(水)	[illegible]～トーク&アコースティックミニライブ&握手会
花少年バディーズ&ゴールデンボンバー	5/26(水)	PM8:00～爆笑トークバトル & 握手会 ＊会場:都内某所
EAT YOU ALIVE	5/29(土)	PM1:00～「SHOWCASE FREE ACOUSTIC LIVE」(参加フリー)&サイン会(CD購入者のみ)
heidi.	5/29(土)	PM2:00～トーク&握手会
[illegible]	5/30(日)	PM5:00～トーク&握手会
ネガ	6/4(金)	PM6:00～内容未定
HERO	6/5(土)	PM2:00～トーク&握手会
Sadie	6/12(土)	PM3:00～トーク&握手会
Administrator	6/12(土)	PM5:00～トーク&握手&5ショット撮影会
aki	6/12(土)	PM6:00～トーク&握手&サイン会
遺伝子組換こども会	6/13(日)	時間未定 トーク&握手&サイン会
花少年バディーズ	6/13(日)	PM1:00～「花少年バディーズの東京の願い叶えます」&握手会(参加特典:カレンダーカードA)
VELGREED	6/16(水)	PM7:00～ミニトーク&握手&サイン会
凛	6/19(土)	PM3:00～トーク&サイン会
平成維新	6/20(日)	PM3:00～トーク&撮影会
Aioria&愛狂います&ν[NEU]&HERO&ベルベット	6/20(日)	PM6:00～合同トーク&握手会
XI	6/21(月)	PM7:00～トーク&握手会
己龍	6/27(日)	PM2:00～ドッキリ企画&トーク&サイン会
OUROBOROS	7/11(日)	PM6:00～トーク&握手会
12012	7/17(土)	(1部)PM2:00～握手会 (2部)PM3:00～トーク&撮影会
XI	7/25(日)	PM1:00～トーク&握手会

★名古屋店イベント情報（♣:カメラタイム有り）

EAT YOU ALIVE	5/22(土)	PM3:30～「SHOWCASE FREE ACOUSTIC LIVE」(参加フリー)&サイン会(CD購入者のみ)
ケミカルピクチャーズ	5/30(日)	時間未定 1時間店員
-OZ-	6/4(金)	ライブ終了後 握手会 ＊会場:名古屋ボトムライン
Sadie	6/5(土)	PM5:00～トーク&握手会
メガマソ	6/6(日)	PM7:00～トーク&アコースティックミニライブ&握手会
花少年バディーズ	6/12(土)	PM12:00～1時間店員
愛狂います。&exist trace&花少年バディーズ&HERO&ベルベット	6/12(土)	PM1:00～合同トーク&握手会
凛	6/12(土)	PM3:00～トーク&サイン会
heidi.	6/13(日)	PM12:00～ショートトーク&握手&サイン会
ネガ	6/13(日)	PM2:00～内容未定
aki	6/26(土)	PM7:00～インターネットTV「akiya」公開生放送&握手&サイン会
花少年バディーズ	6/27(日)	PM2:00～『ボーカリストヤギユウキの貘とバンギャルの10の約束』&握手会
vistlip	6/27(日)	PM5:00～トーク&握手&サイン会
VELGREED	7/7(水)	PM4:30～5ショット撮影会
HERO	7/10(土)	PM1:00～トーク&撮影会
己龍	7/18(日)	PM6:00～トーク&握手&撮影会
12012	8/8(日)	(1部)PM2:00～握手会 (2部)PM3:00～トーク&撮影会

★大阪店イベント情報（♣:カメラタイム有り）

-OZ-	6/3(木)	ライブ終了後 握手会 ＊会場:大阪MUSE
凛	6/5(土)	PM6:00～トーク&サイン会
メガマソ	6/6(日)	PM12:00～トーク&アコースティックミニライブ&握手会
VELGREED	6/6(日)	PM3:00～ミニトーク&握手&サイン会
花少年バディーズ	6/9(水)	PM5:00～1時間店員
愛狂います。&exist trace&ν[NEU]&花少年バディーズ&HERO	6/9(水)	PM6:00～合同トーク&握手会
heidi.	6/12(土)	PM1:00～ショートトーク&握手&サイン会
EAT YOU ALIVE	6/13(日)	PM3:00～「SHOWCASE FREE ACOUSTIC LIVE」(参加フリー)&サイン会(CD購入者のみ)
BrainStein	6/25(金)	PM6:00～握手&サイン会
花少年バディーズ	6/26(土)	PM2:30～『新企画！イワイヒロシのおもろな～いの会』&握手会
ネガ	6/27(日)	PM2:00～内容未定
vistlip	6/28(月)	PM6:00～トーク&握手&サイン会
HERO	7/9(金)	PM4:00～トーク&撮影会
己龍	7/27(火)	PM6:00～トーク&握手&撮影会
12012	8/15(日)	(1部)PM2:00～握手会 (2部)PM3:00～トーク&撮影会

closet child

ゴシック/ロリータ/パンク/ロックブランド古着ショップ

h.NAOTO / Moi-meme-Moitie / alice auaa
BPN / ALGONQUINS / SEXPOT ReVeNGe / PUTUMAYO
Angelic Pretty / BABY,THE STARS SHINE BRIGHT / metamorphose
Emily Temple cute / MILK / Innocent World / Mary Magdalene

ご不要なお洋服 靴/鞄 アクセサリー お買取いたします★

http://closetchild.ocnk.net

リニューアルオープンしました!!携帯電話でもお買物いただけるようになりました!!

インフォメーション

物買取大強化中!! 期間限定春夏物お洋服買取キャンペーン

ゴシック/パンクブランド

春夏物まとめてお売りいただくとお得です★

ブランドの春夏物を指定着数お売りいただくと
で査定額5%UP
点以上で査定額10%UP

買取キャンペーン対象ブランド
MIHO MATSUDA/EXCENTRIQUE/VISIBLE
MARBLE/MA/Qutie Frash/Millefleurs
Carina e Arlequin/Na+H/despair
Deorart/Ozz on/危機裸裸商店
GADGET GROW/ALGONQUINS/PEACE NOW
PUTUMAYO/LISTEN FLAVOR/
BANANA FISH/SEXY DYNAMITE LONDON/
SEX POT ReVeNGe/HIDE ROCK Design
HELL CAT PUNKS/SUPER LOVERS（現行タグのみ）

● 買取/宅配買取のご案内

ご不要になられた洋服/アクセ/靴・鞄を買取致します。買取対象ブランドは下記HPをご覧下さい。
遠方/数量の多いお客様には宅配での買取をお勧めしております。段ボール等に梱包し、必要事項（氏名・住所・電話番号、メールアドレス・生年月日・銀行名・支店名・口座番号・口座名義人名（フリガナ・雑誌名）を記入した用紙と身分証のコピーを同封し、下記住所までご郵送下さい。
※必ず佐川急便をご利用下さい。送料無料!!
商品到着後一週間ほどで確認のお電話をさせていただき、了承をいただきましたら、ご指定の銀行口座へ入金させていただきます※振り込み手数料はお客様負担となります。（ぱるるはご利用いただけません）
キャンセルアイテムの返品にかかる送料はお客様のご負担となります。
未成年の方は保護者の方の同意書が必要となります。

● 宅配買取送料無料!!

宅配買取受付窓口・お問合せ先 160-0023西新宿7-10-20ワセダSTビル5F
クローゼットチャイルド ショックス 10.5月号宅配係
TEL 03-3365-6361 webtakuhai@closet-child.com

宅配買取用段ボールご用意致します

宅配買取をご希望の方に梱包用の段ボールと郵送用の伝票をご自宅まで無料でお送りいたします★ご希望のお客様はwebtakuhai@closet-child.comまでご連絡下さい★

リータ春夏物買取キャンペーン!!
象ブランドの
洋服5点で 買取査定額10%UP

Baby Ribbon Cornet Heart E
Innocent World Jane Marple
Juliette et Justine
metamorphose Victroian maiden
※小物・状態の悪い物は対象外となります。

GOLDEN WEEK SUMMER ITEM CAMPAIGN

ゴールデンウィークキャンペーン!!
ロリータ・ゴシック・パンクブランドの夏物アイテムを期間中総数3000着放出!!

ックロリータブランド古着オンラインショップ

TO/BABY,THE STARS SHINE BRIGHT/Moi meme Moitie/Emily Temple cute
ク・ロリータブランドのユーズドオンラインショップ!!
予約完売品　今期物　定番物までを随時800アイテム取り揃えたゴスロリ専門オンラインショップ!!
p://closetchild.ocnk.net

Vivienne Westwood 専門オンラインショップ

80年代の貴重なヴィンテージアイテム　入手困難なオープライター等のレア物　人気のアクセサリー等の定番アイテムのリーズナブルなユーズドアイテム、更に市場価格より最大7割引きの財布などの新作新品等を随時300点以上出品中！！
ヴィヴィアンマニア　ビギナーまで満足いただける専門ショップです！！
http://www.rakuten.co.jp/ainahaina/

ンズブランド開始

強化ブランド

ALO BOBS casva Diavlo DISREV FUGA GLAD NEWS HYSTERIC GLAMOUR JACKROSE
Order Sixh. VANQUISH VICE FAIRY WILD PARTY Xfrm Justin Davis LAGUST roar Roen

ブランド一覧

※シルバー類の買取はギャランティが付属してあるものに限ります。ご了承下さい。

OMMES 9CHAINS ADDICTIVE Amarantine ANGELICA ROSES BLACK FLAME BLACK LIST JAPAN brand BRING LEADS Brodiaea by gold bood ALO BOBS CRYSTAL BURBERRY BLACK LABEL Burden BUZZ SPUNKY casva charm cult CHROME HEARTS CIVARIZE cluise COAL BLACK IKER CRYSTAL Cure Crisis CUSTOM CULTURE D&G Daisy DEADLY JESTER Deary Del Mundo Jewelry Diavlo Diavlo DT Dior homme LCE&GABBANA Dress Camp drestrip Eight by EIGHT BY JAPAN FAD HEDGE FARM RECORDS FranCisT_Mor::K:S. FUGA FULL BLOOD ENNARO GLAD NEWS goa graffity Grasum GRZ&M hidden charms High BRAND HIROMU TAKAHARA infectcolors J.C. BEAST JACKROSE n Davis JUVICE Jwyed KINGDOM kiryuyrik KNIGHT ERRANT LA GATE LAGUST LAWLESS Le Materiel Lord Camelot oree Rodkin uv maison LUXURY GENEDR MAY CHAMP MAYHEM Midas Moonage Devilment MORGAN HOMME mtp homme MURDERLICENSE -NO CROSSING NO ID. PLATIVE PPFM PUERTA DEL SOL RECYCLAGE RED CAT RHYDEAL Riot roar Roen Roi Franc Rounder ROUTINE Riddre RUPERT sabgreed SESSION SHELLAC Silver Bullet SIVA Sixh. SKULL SLANGY SLOW HAND JAM stillgreen STUNNING BLUE WITCH THIRTEEN JAPAN Tokyo Rush The Real Colors TORNADO MART Tres VANQUISH Varentine varosh VAROSH the Corner VCTO RAND sparkl VICE DYNE VICE FAIRY VivienneWestwood WILD PARTY WOLFMAN B.R.S Xfrm YOBOSS ZEALL ZERO

ラインショップOPEN!!

今期物/定番品/人気アイテムがリーズナブルなお値段で
ます!!更にDISREV等人気ブランドのアウトレット商品も多数展開中!!
m-closetchild.ocnk.net/

売り切れの　ございます。　　　ます。お願いいたします

大歓迎!!梱包用　　お届けいたします!!
　　　　　　　業者様買取も歓迎!!

洋服　お買取いたします
期間限定!
宅配買取査定額20%UP
Justin Davisは対象外となります
6月末日迄!
配買取のご案内

キャンセルアイテムの返品にかかる送料はお客様のご負担となります。
宅配買取システムの詳細は弊社HPを必ず参照下さい。
未成年の方は保護者の方の同意書が必要となります。

買取/宅配買取のご案内ページ

宅配買取大歓迎!!

お売りいただける品を宅急便でお送りいただくだけ!

① お売りいただける品をダンボール等に梱包下さい。
② 佐川急便で送料着払いでお送り下さい。
③ 査定担当者が1点1点お見積もりを致します。
④ 査定額をメール、もしくは電話にてご連絡致します。
⑤ 了解いただけましたら、指定口座へご入金となります。

梱包用ダンボールお届けいたします!!◆宅配買取送料無料!!

宅配買取受付窓口・お問合せ先 160-0023
新宿区西新宿7-16-12 YSビル1F
クローゼットチャイルド MensSpider 宅配係
TEL 03-3365-6316 webtakuhai@closet-child.com

宅配買取をご希望の方に梱包用の段ボールと郵送用の伝票をご自宅まで無料でお送りいたします。ご希望のお客様はwebtakuhai@closet-child.comまでご連絡下さい★

ブランド別買い取り額目安一覧

こちらの査定額は状態の良好なものの査定額の目安となります。
デザインの古いものに関しましてはこちらの金額は適用されませんので
ご了承をお願い致します。

	ジャケット(SS)	ヴェスト/ジレ	トップス	シャツ	Tシャツ	デニムボトム	その他ボトム	ハット	バッグ	レザーベルト	ブーツ/シューズ	小物
BUFFALO BOBS	5500円買取	2500円買取	3000円買取	2500円買取	1000円買取	4200円買取	2500円買取		2500円買取	2500円買取	5000円買取	1500円買取
BUFFALO BOBS CRYSTAL	6000円買取	2500円買取		2500円買取	2000円買取	5000円買取					4000円買取	1500円買取
Diavlo(Diavlo DT)					1000円買取			1000円買取	3500円買取	2200円買取		1500円買取
DISREV	4000円買取	1800円買取	2000円買取	2000円買取	1000円買取	4000円買取	2000円買取	2000円買取				高価買取
FUGA	5000円買取	2500円買取	2800円買取	2500円買取	1500円買取	4500円買取				2500円買取	6000円買取	高価買取
JACKROSE	4000円買取	2500円買取	2000円買取	2000円買取	1200円買取	3800円買取	3000円買取	1200円買取		2200円買取	4000円買取	高価買取
VANQUISH	5000円買取		2200円買取	2400円買取	1200円買取	4000円買取	2500円買取	1800円買取		2000円買取	4000円買取	高価買取
TORNADO MART	8000円買取	3500円買取	3500円買取	3200円買取	2500円買取	5000円買取	5000円買取	2000円買取	4000円買取	3500円買取	8000円買取	高価買取
HIROMU TAKAHARA												
MURDERLICENSE	4500円買取	2500円買取	2800円買取	2800円買取	1400円買取	4000円買取					4500円買取	高価買取
Xfrm	5000円買取	2500円買取	3000円買取	2400円買取	1500円買取	3800円買取	2500円買取	1200円買取		2200円買取		高価買取
CIVARIZE												
RHYDEAL by Silver Bullet	3500円買取		2500円買取	2000円買取	1000円買取	4000円買取		2500円買取	2500円買取	2500円買取		高価買取

Justin Davis買取強化中!!

ギャランティが付属した物のみ買取となります。状態・付属品の有無により買取査定額は変動いたします。
買取査定額は予告なしに変更する事がございます。ご了承お願いします。

closetchild

160-0023 新宿区西新宿7-16-12 YSビル1階 03-3365-6316
営業時間 11:00 - 20:00(買取受付は19:00迄)

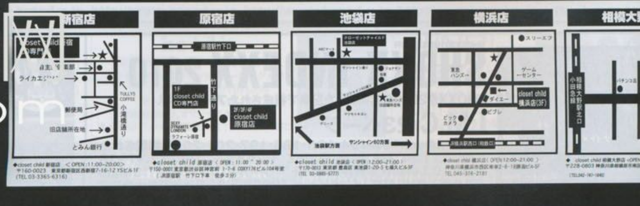
Mens Spider掲載ブランド多数取り扱いブランド古着ウェブショップ
(買取の詳細もご覧いただけます)
http://m-closetchild.ocnk.net/

クローゼットチャイルド新宿店

hudie.com

closet child

蝴蝶网 hudie.com



日本一の在庫量!ユーズド～貴重盤～アーティストグッズ～新譜

超高額買

★クローゼットチャイルドオンラインショップ!!★

クローゼットチャイルドのCD/レア盤/グッズ等が携帯電話&PCにて購入いただけます!!

メールでも在庫確認が出来ます☆

モバイルサ

発売されたばかりの新譜がリーズナブルに,入手困難な貴重盤が,そして
ライブ会場やファンクラブ限定のアーティストグッズ…がお買い物いただけます!!
更に、お宝アイテムのオークション&新譜の予約も可能になりました!!!

closetchild_cd@closet-child.com

http://closetchild.j

年に3度の特大処分祭!! CD/DVD/VTR/GOODSアウトレットキャンペーン

大好評!!恒例のアウトレットセール開催!!
大人気商品～貴重盤までを30～90%OFFにて放出!!

6/12 (sat) START!!!!!!!!!!!!!!

30%～90% OFF!!

クローゼットチャイルド各店にて開催!!

クローゼットチャイルド 横浜店 移転

Re-Newal OPEN!!!

ヴィジュアル系CD独立専門店として

6.1-6.30 期間限定買取査定額大幅アップ キャンペーン 20%UP

対象アーティストのアイテムは査定額20%UP

ViViD R指定 Versailles ダウト ギルガメッシュ
DELUHI DEATHGAZE ゴールデンボンバー 摩天楼オペラ lync

< 中古CD/DVD/アーティストグッズ/貴重盤 買取表 >

★は買取キャンペーン、20%UPの金額の表示にな

アーティスト	タイトル	形態	買取額
ア行			
R指定	オカルト地獄	CD	¥1440★
R指定	裏音源盤。	CD	¥1200★
R指定	裏映像盤。PV集	DVD	¥1200★
R指定	人間失格 [初回限定盤]	CD+DVD	¥2400★
アンティック-珈琲店-	BEST ALBUM	2CD	¥1800
アンド	-&-[初回限定盤]	CD+DVD	¥1800
emmure'e	灯陰(ほかげ)	CD	¥1700
ViViD	THE ViViD COLOR(初回盤)	CD+DVD	¥2160★
vistlip	THEATER -visiter [CD+DVD]	CD+DVD	¥2000
Versailles	JUBILEE [初回限定盤]	CD	¥2160★
Versailles	Philharmonic Quintet 【写真集】	GOODS	¥2400★
Versailles	CHATEU DE VERSAILLES	DVD	¥3600★
M	燦燦 【初回盤】	CD+DVD	¥2000
カ行			
Kaya	サロン・ド・ショコラ(DVD)	DVD	¥2000
cali≠gari	再教育　会場限定盤セット(封筒入り完品)	2CD	¥12000
cali≠gari	從 [初回生産限定]	3DVD	¥4000
cali≠gari	(BOOK)A Moveable Feast Authorized	BOOK	¥2000
THE KIDDIE	NOAH / elite STAR+	CD+DVD	¥800
THE KIDDIE	SINGLE COLLECTION	CD	¥1400
KYOKUTOU GIRL FRIE	勝手にしやがれ	CD	¥1800
己龍	明鏡止水 [初回限定盤]	CD+DVD	¥2000
己龍	水無桜 【Aタイプ】	CD+DVD	¥1800
ギルガメッシュ	13's reborn [初回限定盤]	CD+DVD	¥3000★
ギルガメッシュ	NOW [スーパー初回盤]	CD	¥3000★
ギルガメッシュ	CRAZY CRAZY CRAZY	2DVD	¥2880★
ゴールデンボンバー	金縛ねんごろツアーファイナル初ワンマン	DVD	¥2400★
ゴールデンボンバー	ザ・ゴールデンベスト-Brassiere-(初回B)	CD	¥1200★

アーティスト	タイトル	形態	買取額
サ行			
SuG	BL⇔Rock Party MonstAr	DVD	¥4500
SuG	TOKYO MUZiCAL HOTEL [初回限定盤]	CD+DVD	¥2000
SaTaN-サタン-	WELCOME TO THE DEAD	CD	¥1200
Sadie	Singles	CD	¥1200
Sadie	『MASTER OF ROMANCE』 at SHIBUYA-AX2009	DVD	¥6000
シド	流通盤	CD	¥5000
シド	Side B complete collection～ [初回限定盤A&B]	CD+DVD	¥2000
シド	SIDNAD Vol.3～TOUR 2008(初回限定盤)	2DVD	¥3000
シド	SIDNAD Vol.4～TOUR 2009 hikari	DVD	¥3000
SHULA(シドVo.マオ在籍)	Shu-la-tic	CD	¥10000
人格ラヂオ	証拠 (通常盤)	CD	¥1700
SEX-ANDROID	完売トラック1.2.3-Mのアナログ狂い咲き-	CD	¥1700
ゾロ	「COSMO」・ステンレスミュージック [初回限定盤]	CD+DVD	¥2000
ゾロ	CORE(初回限定盤)	CD+DVD	¥2000
タ行			
ダウト	ZIPANG(初回CD+DVD)	CD+DVD	¥3000★
D	7th Rose [初回限定盤A]	CD+DVD	¥2000
D	ALICE	CD	¥15000
D	1st Video Clips	DVD	¥3500
DaizyStripper	「CROSSTRIP」 2008.0909.LIVE	DVD	¥1600
D'espairsRay	モノクロになった最後の日(配布CD)	CD	¥5000
D'espairsRay	murder Day 2004.9.23(限定盤スリーブケース仕様)	DVD	¥4000
DIR EN GREY	BLITZ 5 DAYS	5DVD	¥7000
DEATHGAZE	THE CONTINUATION	CD	¥1920★
DELUHI	Surveillance	CD	¥6000★
DELUHI	ユグドアライヴ(初回ピクチャー盤)	CD	¥2160★
東京ミカエル。	36.5℃(通常盤)	CD	¥1500
トゥーン工場	Innocent World 2010.4.25	DVD	¥1600

アーティスト	タイトル	形態
ナ行		
ν[NEU]	LIMIT	CD+DV
ハ行		
お遊戯わが魔々団	the other side of paradeis(トレカ封入]	CD
【PaRADEiS】	Col・Tempo 【初回盤】	CD+DV
Plastic Tree	cell(初回限定デジパック仕様/アーティストカード付)	CD
Plastic Tree	黒テント(DVD)	DVD
Plastic Tree	テント [通常盤]	DVD
Plastic Tree	忘却モノローグ	DVD+
有村竜太朗	あおむしドロップ(帯付)	GOODS
ベリィ	白痴	CD
ベルベット	闇	CD
マ行		
摩天楼オペラ	alkaloid showcase	CD
摩天楼オペラ	ANOMIE (通常盤)	CD
摩天楼オペラ	COUPLING COLLECTION 08-09	CD
摩天楼オペラ	DAWN OF ANOMIE in Akasaka BLITZ	DVD
Mix Speaker's,Inc.	NEVER ENDING STORY [通常盤]	CD
メガマソ	M of Beauty [初回限定盤]	CD+DV
ラ行		
LAREINE	Fleur (BEST ALBUM)	CD
Lycaon	Royal Oder [初回限定盤]	CD+DV
lynch.	『THE SHADOW IMPULSE』 FINAL 2009.09.06	2DVD
lynch.	SHADOWS [初回限定盤]	CD+DV
少女-ロリヰタ-23区	.doc(ドキュメント)	2DVD
V.A.オムニバス		
V.A.	NEO VOLTAGE	CD
V.A.	原石の庭	CD
V.A.	裏貴族「日本耽美革命」ドキュメンタリーDVD	DVD

もちろん、掲載品以外も買取してます!

< 配布アイテム買取の際はその時のライブなどのチケット半券と共にお持ち下さい。上記の買取額は実際の査定時の在庫状況、人気、状態などにより変動いたします。査定後のキャンセルもできますのでご了承下さい。>

ツアーグッズ・ファンクラブグッズ・物販写真・ツアーTシャツ・コラボアクセサリー・写真集等アーティストグッズ大歓迎!!

宅配買取大募集中!!10点以上は送料無料!!

惠美网 yimee.net

遠方のお客様、大量処分のお客様は宅配買取をご利用下さい。
段ボール等にCD等の商品が破損しないよう梱包し、以下の住所までお送り下さい。
(**必ず佐川急便にて着払いでお送り下さい**) ※混雑状況により1～2週間程お時間をいただく事がございます。

★ 買取の際に必ず身分証をご持参下さい。宅配買取の際には身分証のコピーを同封下さい。
★ 氏名/住所/TEL/E-MAIL/銀行名/支店名/口座番号/口座名義人名(フリガナ)を記入した紙を同封下さい。

→発送先住所 160-0023 新宿区西新宿7-16-12YSビル1F 03-3365-6316

宅配キットご自宅までお届けしま

梱包用ダンボール・佐川急便送付状
をご自宅までお届けいたします!!
ご依頼方法 メール・電話
webtakuhai@closet-child.com 03-3365-6316

SHOXX2010年3月号増刊

SHOXX INDEXX 2010

SHOXXが2009年に掲載した記事で構成されたアーカイブス

LM.C 23ページ

SHOXXのvol.192・194・195・196・197・201・202に掲載された"2008.11.24 高崎 club FLEEZ インタビュー""2009.1.17〜18 渋谷 C.C.Lemon ホール レポート""ワールド・ツアー報告""Single『PUNKY♥HEART』インタビュー""2009.5.2 日比谷野外大音楽堂レポート""2009.8.30 新木場 CLUB COAST レポート""Single『GHOST†HEART』インタビュー"の各記事を再録

ナイトメア 50ページ／Plastic Tree 31ページ
ムック 28ページ／彩冷える 24ページ

オールカラー A4ワイド判 定価1,890円（税込）+送料340円

SHOXX2010年5月号増刊

SHOXX glitter Pop No.3

Plastic Tree 表紙+巻頭12ページ

初のCDから15年目の"今"を探る A to Z アンケート

D 6ページ

常に進化し続ける感性で"D"たる世界観を追求する彼らに50問のアンケート

lynch.／heidi.／ギルガメッシュ／Sadie／ダウト／アンド

特別付録・特大ポスター10枚付
有村竜太朗／長谷川 正／佐藤ケンケン／ナカヤマアキラ
D／lynch.／heidi.／ギルガメッシュ／Sadie／ダウト

オールカラー A4ワイド判 定価1,500円（税込）+送料290円

SHOXX2009年11月号増刊

SHOXX glitter Pop No.1

アンティック-珈琲店- 表紙+巻頭12ページ

今想っている"様々な事"を A to Z アンケート

LM.C 6ページ

彼らのココロを改めて知るために、100問のアンケート

イロクイ。／ViViD／THE KIDDIE
SuG／ゾロ／トゥーン工場

特別付録・特大ポスター10枚付
みく／takuya／カノン／ゆうき／輝喜
LM.C／THE KIDDIE／SuG／ゾロ／トゥーン工場

オールカラー A4ワイド判 定価1,500円（税込）+送料290円

SHOXX2010年1月号増刊

SHOXX glitter Pop No.2

SuG 表紙+巻頭12ページ

個々のキャラクターを紐解く A to Z アンケート

アンティック-珈琲店- 6ページ

"もし〜なら"をテーマにした11の質問インタビュー

彩冷える／THE KIDDIE／キャンゼル
トゥーン工場／「東京指定」／ν(NEU)

特別付録・特大ポスター10枚付
武瑠／masato／yuji／Chiyu／Shinpei
アンティック-珈琲店-／彩冷える／THE KIDDIE／キャンゼル／トゥーン工場

オールカラー A4ワイド判 定価1,500円（税込）+送料290円

SHOXX 2009年8月号増刊　創刊200号　記念特集号

ARTIST'S BOX SELECTION '09

（アーティストボックス・セレクション'09）

"ミュージシャンが作るページ"として、SHOXXでの人気コーナーを丸々この1冊に集約!!連載が終了している幻の連載や、現在連載中の人気コーナーが第1回から全てまとめて読めちゃう。更に過去に掲載された「Mission in ぼっくん」も、まとめてお届け

- ●ナイトメア『ZOZZY』
- ●柩（ナイトメア）『猫ふんじゃった』
- ●アンティック-珈琲店-『ピーポー君は役立たず』
- ●葵（彩冷える）『ヒナタごっこ』
- ●D'espairsRay『マニアの覗き穴』
- ●ヴィドール『ヴィドールの美微doll?』
- ●マコト（ドレミ團）『月刊少年マコトピア』

A4ワイド判132ページ 定価1,350円（税込）+送料340円

SHOXX 2009年6月号増刊

COLLABOXX Vol.1

（コラボックス）

SHOXXから飛び出したビックリ企画!! バンドの枠をこえてアーティストたちがコラボする夢の企画!!

- ●有村竜太朗（Plastic Tree）×逹瑯（ムック）×みく（アンティック-珈琲店-）
- ●YUKKE（ムック）×seek（Mix Speaker's,Inc.）
- ●逹瑯（ムック）×柩（ナイトメア）
- ●ギガフレア（仙台貨物）×キュー（アンジェリックカフィー）
- ●ナカヤマアキラ（Plastic Tree）×潤（ALvino）
- ●人格ラヂオ×heidi.
- ●他、企画満載!!

A4ワイド判164ページ 定価1,890円（税込）+送料340円

SHOXX2009年5月号増刊

SHOCK WAVE SELECTION 2009

2008年にSHOCK WAVEに掲載された記事からオイシイところをピックアップしたアーカイブ

the GazettE 巻頭36ページ

SHOCK WAVEのNo.8から『紅蓮』リリースインタビュー&フォトセッションを、No.11からルキ・パーソナル特集「穏やかな日常。狂気の感情とのハイコントラスト」を、No.14から『LEECH』と富士急コニファーフォレストで行われた野外ライヴのインタビューを再録

アンティック-珈琲店- 24ページ

SHOCK WAVEのNo.8から 2008.1.5 "NYAPPY GO AROUND FEVER" LIVE at C.C.Lemonホールのレポートを、No.13から「夏の思い出」インタビューをNo.15から『小悪魔USAGIの恋文とマシンガンe.p.』と横浜赤レンガ倉庫特設ステージで行われた野外ライヴのインタビューを再録

ムック 24ページ／LM.C 24ページ／D 15ページ
Mix Speaker's, Inc. 15ページ／彩冷える 15ページ

オールカラー A4ワイド判 定価1,890円（税込）+送料340円

Over The Edge

2008 Edition.1

Plastic Tree／ムック／メリー／LM.C／D'espairsRey
Mix Speaker's, Inc.／ヴィドール／12012／heidi.
ギルガメッシュ／Sadie／Kαin／少女-ロリヰタ-23区／the studs

2008年12月31日に渋谷C.C.レモンホールで行われた一大イベント"Over The Edge 2008"を丸々この一冊に完全収録! 全14バンドが12時間に渡って繰り広げた白熱のライヴをパーフェクトリポート! バックステージでの超レア写真やスペシャル・フォト・セッションなど800点以上掲載! インタビューと面白企画も盛り沢山!!

A4ワイド判 116頁 ピンナップ付 定価1,980円（税込）+送料340円

HIDE 無言激

HIDEを愛したあなたに
HIDEと出会ったあなたへ
今、ここにHIDE永遠の閃光を贈る。
1992年に発表された伝説の写真集。

【仕様】A4版 全142ページ
【書籍コード】ISBN978-4-900343-32-0
定価2,850円（税込）+送料450円

hide BIBLE《OFFICIAL BOOK》

今だから語れるhideのすべて!

YOSHIKI・TOSHI・PATA・HEATHソロインタビュー全32ページを始め、hideと関係の深いアーティストや仕事仲間たち【George（LADIESROOM）・J（LUNA SEA）・Kiyoshi（hide with Spread Beaver）・SUGIZO（LUNA SEA）・I.N.A.（hide with Spread Beaver）・木村世治・t.o.L（LEMONedデザインチーム）・杉本圭司（バックステージプロジェクト）・山本広子（ヘッドワックス）】によるロングインタビューで今明かされる『hideの真実』全72ページ、さらにミュージシャン・関係者など60名以上の方々からアンケートに答えてもらった『hideリスペクトコメント』、hideの用語満載の『hide辞典』、カラー32ページの『hideフォトアルバム』、貴重なARENA37℃の過去の記事を全45ページに集大成した『hideアーカイブス』、hideの生涯をまとめた『ミニヒストリー』など、見ごたえ&読みごたえ充実のhide本決定版!

A5判260ページ 定価2,500円（税込）+送料290円

ARENA37℃ 2009年2月号増刊

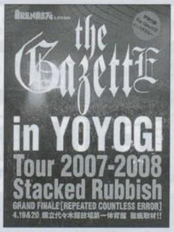
PS COMPANY 10周年記念公演

Peace&Smile Carnival

at 日本武道館

2009年1月3日に日本武道館にて行われた、PS COMPANY 10周年記念公演「Peace&Smile Carnival」をあますところなく徹底取材! PS COMPANY所属の全バンドが出演した、1日だけの華麗なる競演をまるごと完全収録! 全アーティスト（雅-miyavi-・Kagrra,・Kra・the GazettE・アリス九號.・SuG・SCREW）の最新撮りおろしフォト、バックステージ密着レポート パーフェクトライブレポート、アフターインタビュー、オリジナル直筆メッセージ

オールカラー A4ワイド判 定価1,260円（税込）+送料290円



ARENA37℃ 2008年6月号増刊 ライヴ・ドキュメンタリーブック

the GazettE in YOYOGI

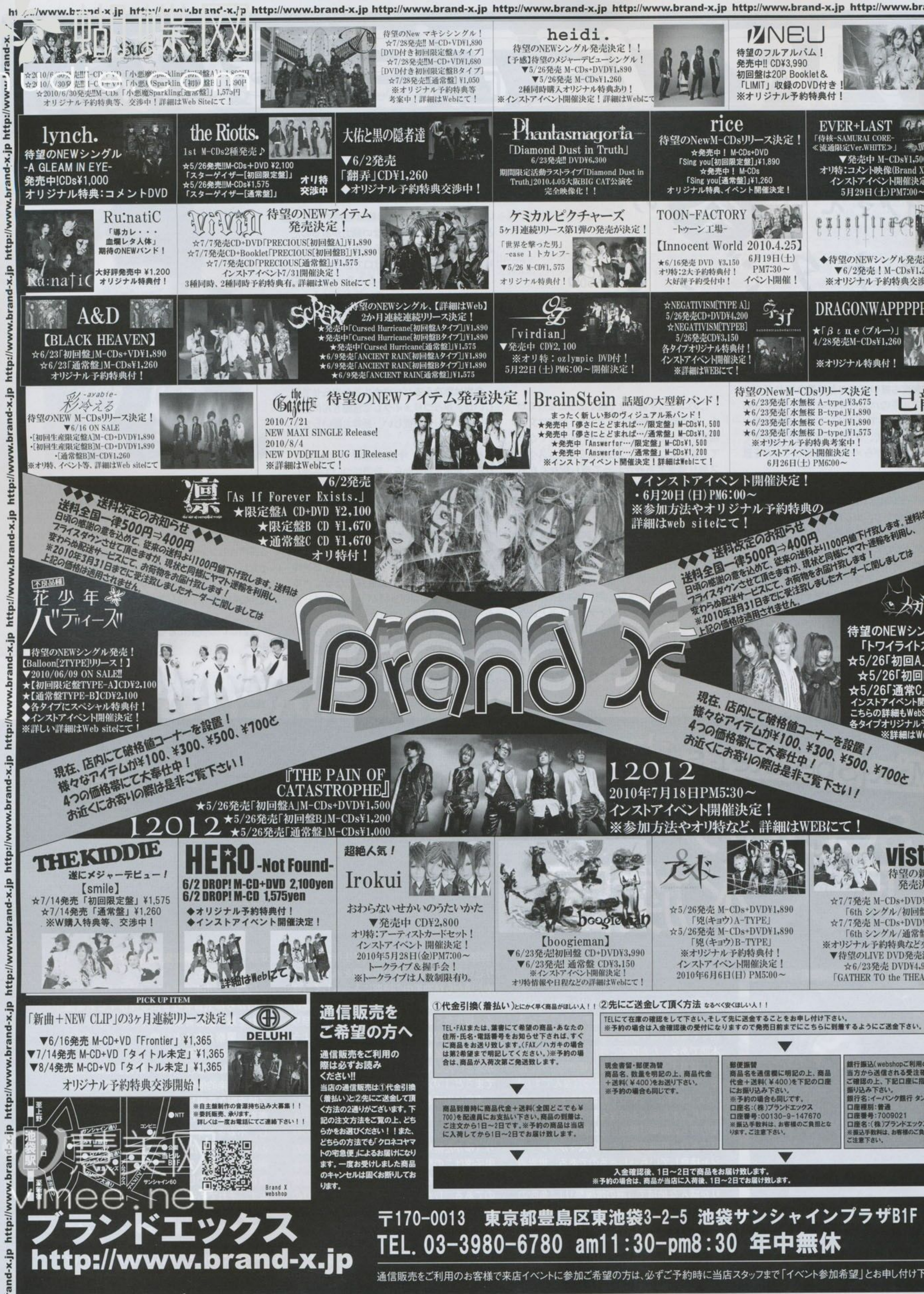
2008.4.19&20 国立代々木競技場第一体育館 "REPEATED COUNTLESS ERROR"をバックステージからライヴまでパーフェクトレポート!
2008.4.13 大阪城ホールのライヴもレポートして収録
さらに、撮り下ろしフォトや、ツアーアフターインタビューと盛り沢山な内容
9ヵ月に及ぶロングツアーの集大成がこの一冊に!!

オールカラー A4ワイド判 定価1,260円（税込）+送料290円

㊟バックナンバーの為、付録のポスターはお付け出来ない場合があります（在庫切れ）ので、御了承下さい。

お近くの書店にない場合は書店にご注文いただくか、または直接当社経理部まで定価に送料を加えた金額を誌名記入の上、切手代用、現金書留、または郵便振替（口座番号00190-6-40784・加入者名㈱音楽専科社）にてお送り下さい。まとめて2冊以上をお申し込みの場合は、送料を450円とさせて頂きます。
また貴方のP.C.又は携帯から当社ホームページにアクセスの上でお申し込み下されば、お近くのセブンイレブン・ローソン・ファミリーマートの各店でもお支払いできます。

発売 ㈱音楽専科社 〒104-8223 東京都中央区銀座6-2-3 ダヴィンチ銀座アネックス5F TEL.03-3574-0201 FAX.03-3574-8548


http://www.brand-x.jp http://www.brand-x.jp http://www.brand-x.jp http://www.brand-x.jp http://www.brand-x.jp http://www.brand-x.jp
BUG
☆2010/6/30発売!!M-CDs「小悪魔Sparkling[通常盤]」1,575円
オリジナル予約特典等、交渉中！詳細はWeb Siteにて！
待望のNew マキシシングル！
☆7/28発売!! M-CD+VD¥1,890
[DVD付き初回限定盤Aタイプ]
☆7/28発売!!M-CD+VD¥1,680
[DVD付き初回限定盤Bタイプ]
☆7/28発売!![通常盤] ¥1,050
※オリジナル予約特典等
考案中！詳細はWebにて！
heidi.
待望のNEWシングル発売決定！！
【予感】待望のメジャーデビューシングル！
▼5/26発売 M-CDs+DVD¥1,890
▼5/26発売 M-CDs¥1,260
2種同時購入オリジナル特典あり！
※インストアイベント開催決定！詳細はWebにて
NEU
待望のフルアルバム！
発売中!! CD¥3,990
初回盤は20P Booklet＆
「LIMIT」収録のDVD付き！
※オリジナル予約特典付！
lynch.
待望のNEWシングル
-A GLEAM IN EYE-
発売中!CDs¥1,000
オリジナル特典：コメントDVD
the Riotts.
1st M-CDs2種発売♪
☆5/26発売!!M-CDs＋DVD ¥2,100
「スターゲイザー[初回限定盤]」
☆5/26発売!!M-CDs¥1,575
「スターゲイザー[通常盤]」
オリ特交渉中
大佑と黒の隠者達
▼6/2発売
「翻弄」CD¥1,260
◆オリジナル予約特典交渉中！
Phantasmagoria
「Diamond Dust in Truth」
6/23発売!! DVD¥6,300
期間限定活動ラストライブ「Diamond Dust in Truth」2010.4.05大阪BIG CAT公演を完全映像化！
rice
待望のNewM-CDsリリース決定！
★発売中！ M-CDs+DVD
「Sing you[初回限定盤]」¥1,890
★発売中！ M-CDs
「Sing you[通常盤]」¥1,260
オリジナル特典、イベント開催決定！
EVER+LAST
「侍核-SAMURAI CORE-《流通限定Ver.WHITE》」
▼発売中 M-CDs¥1,500
オリ特：コメント映像(Brand X
インストアイベント開催決定
5月29日(土)PM7:00～
Ru:natiC
「導カレ・・・血爛レタ人体」
期待のNEWバンド！
大好評発売中 ¥1,200
オリジナル特典付！
ViViD
待望のNEWアイテム
発売決定！
☆7/7発売CD+DVD「PRECIOUS[初回盤A]」¥1,890
☆7/7発売CD+Booklet「PRECIOUS[初回盤B]」¥1,890
☆7/7発売CD「PRECIOUS[通常盤]」¥1,575
インストアイベント7/31開催決定！
3種同時、2種同時予約特典有。詳細はWeb Siteにて！
ケミカルピクチャーズ
5ヶ月連続リリース第1弾の発売が決定！
「世界を撃った男」
-case 1 トカレフ-
▼5/26 M-CD¥1,575
オリジナル特典付！
TOON-FACTORY
-トゥーン工場-
【Innocent World 2010.4.25】
★6/16発売 DVD ¥3,150
オリ特:2大予約特典付！
大好評予約受付中！
6月19日(土)
PM7:30～
イベント開催！
exist†trace
◆待望のNEWシングル発売
▼6/2発売！M-CDs¥1,2
※オリジナル予約特典交渉
A&D
【BLACK HEAVEN】
☆6/23「初回盤」M-CDs+VD¥1,890
☆6/23「通常盤」M-CDs¥1,260
オリジナル特典付！
SCREW
待望のNEWシングル、【詳細はWeb】
2か月連続連続リリース決定！
★発売中「Cursed Hurricane[初回盤Aタイプ]」¥1,890
★発売中「Cursed Hurricane[初回盤Bタイプ]」¥1,890
★発売中「Cursed Hurricane[通常盤]」¥1,575
★6/9発売「ANCIENT RAIN[初回盤Aタイプ]」¥1,890
★6/9発売「ANCIENT RAIN[初回盤Bタイプ]」¥1,890
★6/9発売「ANCIENT RAIN[通常盤]」¥1,575
OZ
「virdian」
▼発売中 CD¥2,100
※オリ特：ozlympic DVD付！
5月22日(土)PM6:00～開催決定！
★NEGATIVISM[TYPE A]
5/26発売CD+DVD¥4,200
★NEGATIVISM[TYPEB]
5/26発売CD¥3,150
各タイプオリジナル特典付！
インストアイベント開催決定！
※詳細はWEBにて！
DRAGONWAPPPPP
★「βιuε(ブルー)」
4/28発売M-CDs¥1,260
※オリジナル特典付！
彩冷える
-ayabie-
待望のNEW M-CDsリリース決定！
▼6/16 ON SALE
・[初回生産限定盤A]M-CD+DVD¥1,890
・[初回生産限定盤B]M-CD+DVD¥1,890
・[通常盤B]M-CD¥1,260
※オリ特、イベント等、詳細はWeb siteにて
the GazettE
待望のNEWアイテム発売決定！
2010/7/21
NEW MAXI SINGLE Release!
2010/8/4
NEW DVD[FILM BUG II]Release!
※詳細はWebにて！
BrainStein 話題の大型新バンド！
まったく新しい形のヴィジュアル系バンド！
★発売中「儚さにとどまれば…/限定盤」M-CDs¥1,500
★発売中「儚さにとどまれば…/通常盤」M-CDs¥1,200
★発売中「Answerfor…/限定盤」M-CDs¥1,500
★発売中「Answerfor…/通常盤」M-CDs¥1,200
※インストアイベント開催決定！詳細はWebにて！
待望のNewM-CDsリリース決定！
★6/23発売「水無桜 A-type」¥3,675
★6/23発売「水無桜 B-type」¥1,890
★6/23発売「水無桜 C-type」¥1,890
★6/23発売「水無桜 D-type」¥1,575
※オリジナル予約特典考案中！
インストアイベント開催決定！
6月26日(土)PM6:00～
己龍
凛
▼6/2発売
「As If Forever Exists.」
★限定盤A CD+DVD ¥2,100
★限定盤B CD ¥1,670
★通常盤C CD ¥1,670
オリ特付！
▼インストアイベント開催決定！
・6月20日(日)PM6:00～
※参加方法やオリジナル予約特典の
詳細はweb siteにて！
送料改定のお知らせ
送料全国一律500円⇒400円
日頃の感謝の意を込めて、従来の送料より100円値下げ致します。送料は
プライスダウンさせて頂きますが、現状と同様にヤマト運輸を利用し、
変わらぬ配送サービスにてお荷物をお届け致します！
※2010年3月31日までに受注致しましたオーダーに関しましては
上記の価格は適用されません。
Brand X
花少年バディーズ
■待望のNEWシングル発売！
【Balloon[2TYPE]リリース！】
▼2010/06/09 ON SALE!!
★【初回限定盤TYPE-A】CD¥2,100
★【通常盤TYPE-B】CD¥2,100
◆各タイプにスペシャル特典付！
◆インストアイベント開催決定！
※詳しい詳細はWeb siteにて！
メガマソ
待望のNEWシン
「トワイライト
☆5/26「初回A
☆5/26「初回
☆5/26「通常C
インストアイベント開
こちらの詳細もWebS
各タイプオリジナル
※詳細はWe
現在、店内にて破格値コーナーを設置！
様々なアイテムが¥100、¥300、¥500、¥700と
4つの価格帯にて大奉仕中！
お近くにお寄りの際は是非ご覧下さい！
『THE PAIN OF CATASTROPHE』
★5/26発売「初回盤A」M-CDs+DVD¥1,500
★5/26発売「初回盤B」M-CDs¥1,200
★5/26発売「通常盤」M-CDs¥1,000
12012
2010年7月18日PM5:30～
インストアイベント開催決定！
※参加方法やオリ特など、詳細はWEBにて！
THE KIDDIE
遂にメジャーデビュー！
【smile】
☆7/14発売「初回限定盤」¥1,575
☆7/14発売「通常盤」¥1,260
☆W購入特典等、交渉中！
HERO -Not Found-
6/2 DROP! M-CD+DVD 2,100yen
6/2 DROP! M-CD 1,575yen
◆オリジナル予約特典付！
◆インストアイベント開催決定！
詳細はWebにて
超絶人気！
Irokui
おわらないせかいのうたいかた
▼発売中 CD¥2,800
オリ特：アーティストカードセット！
インストアイベント 開催決定！
2010年5月28日(金)PM7:00～
トークライブ＆握手会！
※トークライブは人数制限有り。
boogieman
【boogieman】
▼6/23発売!初回盤 CD+DVD¥3,990
▼6/23発売! 通常盤 CD¥3,150
※インストアイベント開催決定！
オリ特情報や日程などの詳細はWebにて！
アンド
☆5/26発売 M-CDs+DVD¥1,890
「兇(キョウ)A-TYPE」
☆5/26発売 M-CDs+DVD¥1,890
「兇(キョウ)B-TYPE」
※オリジナル予約特典付！
インストアイベント開催決定！
2010年6月6日(日) PM5:00～
vistlip
☆7/7発売 M-CDs+DVD
「6th シングル/初回盤
☆7/7発売 M-CDs+DVD
「6th シングル/通常盤
※オリジナル予約特典など
▼待望のLIVE DVD発売
☆6/23発売 DVD¥4,9
「GATHER TO the THEA
PICK UP ITEM
「新曲＋NEW CLIP」の3ヶ月連続リリース決定！
DELUHI
▼6/16発売 M-CD+VD「Frontier」¥1,365
▼7/14発売 M-CD+VD「タイトル未定」¥1,365
▼8/4発売 M-CD+VD「タイトル未定」¥1,365
オリジナル予約特典交渉開始！
※自主制作作品の音源持ち込み大募集！！
※委託販売、承ります。
詳しくは一度お電話にてご連絡下さい！！
Brand X webshop
通信販売をご希望の方へ
通信販売をご利用の際は必ずお読みください!!
当店の通信販売は①代金引換(着払い)と②先にご送金して頂く方法の2通りがございます。下記の注文方法をご覧の上、どちらかをお選びください！！また、どちらの方法でも「クロネコヤマトの宅急便」によるお届けになります。一度ご注文いただいた商品のキャンセルは固くお断りしております。
①代金引換(着払い)とにかく早く商品がほしい人！！
TEL・FAXまたは、葉書にて希望の商品・あなたの住所・氏名・電話番号をお知らせ下されば、すぐに商品をお送り致します。(FAX／ハガキの場合は第2希望まで明記してください。)※予約の場合は、商品が入荷次第ご発送致します。
商品到着時に商品代金＋送料(全国どこでも¥700)を配達員にお支払い下さい。商品の到着は、ご注文から1日～2日です。※予約の商品は当店に入荷してから1日～2日でお届け致します。
②先にご送金して頂く方法 なるべく安くほしい人！！
TELにて在庫の確認をして下さい。そして先に送金することをお申し付け下さい。
※予約の場合は入金確認後の受付になりますので発売日前までにこちらに到着するようにご送金下さい。
現金書留・郵便為替
商品名、数量を明記の上、商品代金＋送料(¥400)をお送り下さい。
※予約の場合も同じです。
郵便振替
商品名を通信欄に明記の上、商品代金＋送料(¥400)を下記の口座にお振り込み下さい。
※予約の場合も同じです。
口座名:(株)ブランドエックス
口座番号:00130-9-147670
※振込手数料は、お客様のご負担となります。ご注意下さい。
銀行振込(webshopご利用の
当方から送信される受注
ご確認の上、下記口座に
振り込み下さい。
銀行名:イーバンク銀行 タン
口座種別:普通
口座番号:7009021
口座名:(株)ブランドエック
※振込手数料は、お客様のご負
ご注意下さい。
入金確認後、1日～2日で商品をお届け致します。
※予約の場合は、商品が当店に入荷後、1日～2日でお届け致します。
ブランドエックス
http://www.brand-x.jp
〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-2-5 池袋サンシャインプラザB1F
TEL. 03-3980-6780 am11:30-pm8:30 年中無休
通信販売をご利用のお客様で来店イベントに参加ご希望の方は、必ずご予約時に当店スタッフまで「イベント参加希望」とお申し付け下

ARTIST'S BOX

ミュージシャンが作るページ

彩冷える 葵 の ヒナタごっこ

第50回

…一年ぶりの彩冷える表紙！ ぽっくん、…さんをはじめSHOXX編集部の皆さんあ…とうございます。

…度表紙になっても嬉しい。このコラム…何度も書いてるかとは思うけれどヴィ…アル系のバンドを始めた時、まずこの…XXに載っているバンドさん達の写真と…めっこして、メイクのマネをして自分で…錯誤しながらメイクの練習してたのを思…します。

…れからバンドを組んで、ライヴの告知や…バー募集にはがきを送って、毎月21日に…と自分たちの出した原稿は載っているの…キドキしながら本屋さんに行ったのを今…覚えています。

…めてSHOXXの誌面にアーティストとし…せてもらった時に、撮影場所にいて、とっ…怖く見えたぽっくんも今ではとてもフレ…リーに僕の指を舐めてくれます…。い…やフレンドシップとして（?）さすが…XXの編集長ですよね。

…っくん実は音楽活動もしてまして、新作…来ると送ってくれるのですが、今度僕のラジオ番組で電波に乗せようと企んでおります。かなり衝撃的な内容ではあるのですが、意外と好きで結構聴いている自分がいます。それが悔しい。なんつって。

このコラムを書かせて戴くようになってから、もう何年も経つワケですが、最初は文字指定があったのに、今ではそれすらなくなってしまいました。いつも紙面を見て「スペース取り過ぎてるかな」って申し訳なくなったりします。それでも何も言わずに載せて下さってるSHOXXさん大好きです。

最近シーンの流れに疎くなり始めた僕も、SHOXXさんを観て勉強している1人なのですが、常に新しいバンドさんが続々と生まれていますね。

最近よくこのシーンと関係ない方々と話す機会があるのですが、ヴィジュアル系というマーケットは確かに世間的にはまだまだ狭いフィールドではあるけれど、決して消えることなく時代を問わず指示されると言っていました。僕もそう思います。ヴィジュアル系というジャンルの持つ世界観は独特であるし、どの音楽のジャンルにもない魅力があるのだと思います。それは時に心の拠り所であったり、救いであったり、はけ口であったり。

ヴィジュアル系と言ったらやっぱりこのSHOXXがバイブルだと僕は思うのです。いつまでも、ヴィジュアル系を盛り上げて行く雑誌として存在して欲しいですし、僕もできる限り連載していたいなって思いますのでこれからもどうぞ御贔屓に。

今度は彩冷えるパーソナルとかやらせて欲しいな。がっつりメイクして宮脇さんに芸術的に撮り下しして欲しい。是非お願いします。

そうだそうだ、今回はNEW SINGLEのリリース特集だったから、音源についても少し触れないと。

今回も三曲共僕が作詞を担当しているのですが、特に三曲目の「brand new story」について少し書いてみよう。インタビューでも語っているとは思いますが、この曲の歌詞は夢人が加入してからのライヴツアーの全タイトルを織り込んだ歌詞になっているんです。最初のツアー「バージンスノーカラー」からこの前終ったばかりの春ツアー「彩-irodori-」までの全ツアータイトルが歌詞の中に入っています。そしてメジャーデビューしてからのシングル三作品のタイトル「会いたくて、夏物語、サヨナラ」そして「彩冷える」というバンド名も入っています。この曲はまた思い入れの深い作品になりました。その他二曲もいい感じにできています。6/16彩冷える四枚目のシングル「ドラマティック」どうぞ宜しく!!!! それでは、皆さんからの感想お待ちしています。それが一番の活力になるし、至高の幸せです。僕らミュージシャンにとって。

次回はいつ表紙になるのかな。楽しみ楽しみ_

あおい

Mix Speaker's, Inc. seekの凡人水族園

第九十八回

「だぼ」「ごうわく」「なんどいや」「べっちょない」「いてまうど」これらはフランス語でもなければ中国語でもない。歴とした日本語である。ただ関西と呼ばれる地方の西の端に棲息する人々が日常使う標準語なのである。ちなみに「あほ」「腹が立つ」「なんですか」「大丈夫ですよ」「やってしまいますよ」の意。この凡人水族園でも何度も登場している様に僕の育ちの故郷「姫路」とは非常に不思議な町であり一筋縄ではいかない人々がウジャウジャ棲息していらっしゃるのである。世界遺産「姫路城」がドデンと構える姫路の町は祭りが盛んな地域で「灘の喧嘩祭り」「魚吹の提灯祭り」などが有名である。周辺に住んでいる…徒は学生、社会人問わず祭りの季節になると当然の様に登校、出社を怠る様になり祭りに専念される。現に僕が在校していた「姫路南高校」でも1/3程の男子生徒がごっそりといなくなった。祭りの季節を風で感じ始めた頃から精神集中の時期に入るらしく「ぼく」という一人称が「わい」へと変貌を遂げる。毎年多くの怪我人が出る為、とても祭りとは思えぬ程の警察官が隊を成す。そのような市民の安全を守る方々に対しても「おどれが危ないんじゃ。ダボ。引っ込まんかい。いてまうど。」の罵るのである。

東京に出てきて暫く経った或る日。テレビを点けると懐かしの「姫路」の町が映し出されていた。忘れてはいけないもう一つの祭り「ゆかた祭り」の映像だった。姫路に住む男子達はこの祭りに浴衣を着た女子とデートするというのが一年の中で最も重要な一日なのである。しかし画面に映るは色とりどりの衣装を纏った「暴走族」。昔から問題になっていた「暴走族」は警察の絶え間ぬ努力の甲斐あって改造バイクと共に町から姿を消した。筈だった。なんとバイクに乗れなくなった「暴走族」達は「徒歩暴走族」と形を変え町に戻ってきたのである。

「ブォンンボボボボボン。バンババババン。」と口から排気音を吐き出し徒歩する若者達。それを取り囲む警察官。「ブォンンボボボボボン。警察がなんどいや。バンババババン。いてまうど。だぼが。」

姫路市は二〇〇八年に「祭礼または、興行その他娯楽的催物に際し、公共の場所において特攻服を着用して、二人以上共同して、大声を発生するなどの著しく公衆の迷惑を及ぼし、不安を与える行為に対し罰則を与える」という条例を制定した。「まつり会場では条例の内容をマイクで知らせ、違反者には市職員がビデオ撮影しながら中止命令を三回繰り返す。それでも退去しなければ、警察官が逮捕する予定」なのだそうだ。

嘘の様な本当の話しである。べっちょなくない。

今月はこの辺で。しいくでした。バイバイ。

v慧美网 vimee.net
蝴蝶网 hudie.com

夢のぐるぐる大回転 第26回

アーティストがつなぐ、リレー連載☆
Chiyu(SuG)『ワンピース』➡勇（ZUCK）

どーもChiyuです。

なんか噂によると前の人がお題を出して次の人にどんどん繋げていくとゆう企画らしいやん。
そして、俺はheidi.のコースケさんから「ワンピース」とゆうお題で回ってきました。え～っとコースケさん…。まだお題がワンピースやからいいものの文才のない俺によく回した（笑）。

とゆう事でそんな勇気のあるコースケさんからのお題を熱く語ろうと思います！

まず俺がどんだけワンピースが好きか一言で言うなら「お台場冒険王のゴーイングメリー号に乗りに行きました」です（笑）。キャラクターで一番好きなのはロロノア・ゾロです。初めて三刀流を見た時はあまりカッコイイとは思わんかったけど読んでいく内にいつの間にかゾロの男らしさ+刀の魅力に引き込まれていました。
初めて引き込まれてる事に気づいたのは十一巻のローグタウンでの武器屋にて。たしぎに薦められた妖刀三代鬼徹の呪いvsゾロの運試し。見事ゾロが勝ったのを見た武器屋の店主いっぽんマツはゾロの男粋に惚れて店で最高の刀「雪走」をあげるっていうシーンがあんねんけど気づいたら何回も読み直してたから（笑）。
刀で思い出したけどゾロが持ってた和道一文字、三代鬼徹、雪走の刀のレプリカが一時通販で売ってて真剣に買おうか悩んだ事があったわ。まぁ財布と相談して止めたけどな（笑）。あ～ほんま欲しかったな～…。
そのかわりとゆうか俺がワンピースグッズで集めてるのがPOPのフィギュアかな。フィギュア自体あんま興味ないねんけどこのフィギュアだけは俺の心を鷲掴みにしていきやがった（笑）。とにかくリアルで完成度が高いフィギュアやから気になる方は俺のブログを見てみてくださいな♪
そしてやっぱりどんなアニメにも名シーンってあるやん。もちろんワンピースにも沢山の名シーンがありますよ。そこで、俺のオススメ名シーンベスト3を発表します！

第3位
十一巻アーロンを倒したルフィがナミに言った一言
「お前はおれの仲間だ」

第2位
十七巻ドクトリーヌがチョッパーに言った一言
「行っといでバカ息子､､､」

第1位
八巻サンジがオーナーゼフに言った一言「長い間くそお世話になりました」

番外編
五十六巻ボンちゃんがルフィに言った一言
「必ずアニキ救ってこいやァ～」

まぁ書き出したらキリがないからこれぐらいで止めとくけどほんま名シーンの多いマンガです。
そして何より注目してほしいのは単行本のSBSコーナーと扉絵。ここに色んなヒントが隠されてたり本編とは別に扉絵で話しが構成されてたりするから絶対見逃さないように！
後、ワンピースのマンガの何が凄いかって作者が天才（笑）。まぁ冗談じゃなくて尾田先生いわくどうゆう話しのマンガにしよかなって事を最初にキッチリ決めていてそれを辿って書いてるだけらしいんやんか。まぁ当たり前の事みたいやけどその決め方に抜かり無さすぎるんですよ！　その証拠に最近出てきたハンコックやねんけどずっと前に後ろ姿だけ扉絵に出てたり村長が名前だけ言ってたダダンってのが最近になってやっと明らかになったりと色んな伏線があるけど全てちゃんと繋がってるとゆう素晴らしさ！　ほんまに奥が深いマンガで何回読んでも色んな発見があるから楽しいよ。
ちなみにほんまかどうかはわからんけどワンピースは100巻まではやるらしくてまだ物語的には半分ぐらいらしいからまだ読んでない子は頑張って追いつこう（笑）。
あ～そしてまだまだ語り足りないけどお時間がきてしまいました。

じゃあ次に回す人は最近やっとバンドが動き出したZUCKのヴォーカル勇に回そうと思います！　お題は何にしよっかなぁ…勇造は釣りが好きみたいやしなぁ。

よし！　決めた！

お題は「Chiyu」で（笑）。

とゆう事で俺について熱く語ってくれたまえ♪

じゃあ長くなったけどワンピースで俺に勝てると言う子達の挑戦待ってます！

ほな☆

TOON-FACTORY Kiss☆My★Choice

第13回目 レガ

お、もう回ってきたな。
そんな気分なレガだ。

俺だけで三回目だから…メンバーが5人いるから…なんて考えると、もうこんなに時間がたったのだと思います。バンドしてると日々、辛いこと、楽しい事で溢れてて時間が過ぎるのが早く感じる。

ありがとう、みんなを始め、ショックス様、関係者様にはなんとお礼をしたら…。

うん、人気が出ることだな。

今回ワンマンツアーが決まった。
2010年8月20日（金）仙台HOOK『Triangle Heart. in sendai』
2010年8月27日（金）名古屋ell.SIZE『Triangle Heart.in nagoya』
2010年8月29日（日）心斎橋FUNJ『Triangle Heart. in osaka』
2010年9月1日（水）高田馬場AREA『Innocent Heart.』

これは!!　なんと金曜日、日曜日という、めっちゃ来やすいじゃん、もちろん来るよね？
日曜とか金曜だし、1日って始業式やらなんやら、社会人は休んで（笑）、それに伴い
■2ndミニアルバム発売決定！
2010年7月14日（水）『Heart』CD【5songs 1inst】/¥2,625-/TMP-30
収録曲【1.未定2.未定3.未定4.未定5.未定6.未定（inst）】
※初回生産分:『Heart』限定トレカ2枚封入（全18種）

発売!!　これ!!　未定未定未定…。
只今レコーディングスタジオからこれを書いてるけど、まだ未定。さて、どうなることか。

とは、いえ今回は、デモ段階から前回を大きく上回る作品になりそうで、俺も楽しみだから、みんなにも楽しみにしてて欲しい。

ってか、今回ライヴDVDが出るんだけど俺ライヴ中顔くしゃくしゃにして笑ってる自分の顔に引いたけど楽しそうなので見てみたら？

2010年6月16日（水）『Innocent World 2010.4.25』DVD/¥3,150-/TMPD-6
2010年4月25日池袋BlackHoleワンマンライブを収録！
※完全限定生産:『Innocent World』限定トレカ2枚封入（全18種）

初の映像。

俺、個人としてはアップライトベースに挑戦（まだ早いって関係者から怒られた）したものだったりで、見所満載になってるからよ。

なんか宣伝ばかりになっちまったな。

俺は中指立てて虹を歩いてやる。
ついてこいよ
な？

ゆのが次だな

お題
『仲間について』

お楽しみに。

vimoo.net
hudie.com

THE KIDDIE 佑聖

第12回

絶頂モンスターハイゲイン

ーう！

分が最近勢力を弱めたなと、余裕をぶっこた瞬間再び攻撃再開されたよーう佑聖です。・）

気が悪い日々が続いておりますが、僕らはだいま次の作品にむけて絶賛レコーディン中なので関係ないのです。

や、関係ないは言い過ぎた。湿気というのレコーディングする上で大敵だからじゃ。っとどうでもいいか！

んなある日天気が良かったのでメンバーと に出てキャッチボールをしたのです。

僕はボールを取り損ねて何年ぶりかに全力疾走しました。しかも2回！ その瞬間思った。

「俺まだまだイケるな」ってね。

レコーディング現場は近くに原っぱや川があるので天気がいい日にはつい寝転がりたくなるよねー。そうかどうでもいいかそんなこと。

俺が言いたいのは人間ってのはやっぱり太陽の光を浴びてないと体調が優れなかったり、なんだか気分が落ちたりっていうのがマジであると信じてるのよ！ だからなんだか最近イマイチだなーと感じてるそこのきみ。一度外に出てみないか？ キャッチボールの相手がいないだって？

俺がいつでも相手になってやるぜ（・。・）

そして最近マイブームがあるんだ。

キャラT。

この前シンプソンズのホーマーのTシャツ着てたのに誰にも気づいてもらえず寂しい思いをしたな…

そんなとこで先月の答えを言ってしまおうか！

シンプソンズ一家の隣人の名前はフランダースです。ああ見えて実は60歳っていううわさ。

ちなみにホーマーは38歳。

今月の問題！

「使う前はペッタンコ、使った後はとんがり帽子。これなーんだ？」

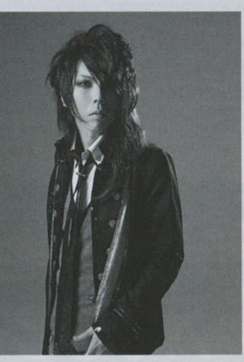
じゃらば。

蝴蝶网
hudie.com

heidi.

第13回：義彦

『ハイジのアルプス日記』



どうも義彦！

まずは始めに皆に一番伝えたいこと。

皆さんのおかげで僕たちは5/26発売のシングル「予感」でメジャーデビューすることになりました！

本当に感謝してます。
結成して約4年、早いか遅いかなんてわからないけど、ひとまず僕たちの夢が叶ったと思います。

といってもまだスタート地点。
本当の俺達はここから始まる！笑

なんて言いながら、メジャーに行っても僕たちは変わりません!!

約束♪

一人でも多くの人にheidi.の曲を聞かせられるこのチャンスを無駄にしないように、そして今も、これからも僕たちを応援してくれる皆の気持ちを忘れずに頑張って行きます！

だからこれからも宜しくお願いします。

…少し熱くなりすぎだぜ、ふぅ〜。笑

話しを変えて、
僕は今、ハイボールにハマってます。

きっかけは、

大人になりたくて…

最近考えるんだよね〜このままで大丈夫かなって、一人！笑

んでハイボールっておかしいけどね！

まぁ急に変わることは出来ないだろうから、少しずつ大人になっていこっと。笑

楽しみにしといてくれ…俺の大人の魅力を!!!
汗

んじゃ、バイバイキーン♪

ってこりゃダメだな。笑

さようなら。

ドレミ團マコトの♪ 月刊少年マコトピア

第75回
「結局…」の巻

い、ただいま絶賛ツアー中です。

回のツアーは6箇所と比較的短期間のツアーなのですが、ユウが加入して初のツアーということもありすごく新鮮な気持ちだったします。

めてワンマンツアーを廻ったときのような覚で、当時のことを少し思い出したりしてね。

年大体3月ころにツアーしてましたが今年5月にということで、「春ツアー」と呼ぶにも少し微妙かもしれんけど、今年の春は寒かったのでちょうどよいかと。

とにかく、楽しいツアーになってると思います！

で、先月ここに書いた「趣味」の話やけど、やっぱり見つからないままなのです。

でもね、いまっさらやけどモンハン始めたよ。ウチ、ユウがゲーム好きでツアー中に一緒にやろうという話になり始めました。

おそらくこのコラムが掲載される頃にはもうどっぷりハマってることでしょう。

結局、ゲームか…。
ま、いいやどうせそんな趣味に費やす時間なんてないし。

だったらもっとライヴやろう！

というわけで（そういうわけではないけど）今年の夏はライヴをたくさんやりたいと思います。

久々にイベントにいっぱいでます。

みなさま、会場で会いましょう。

ほな♪

蝴蝶网
hudie.com

DéspairsRay マニアの覗き穴

第93ブレイク
HIZUMI 編「溜め込む」

もう5月か～早い。今D'espairsRayは絶賛アルバムのREC中なんだけど、他にやりたい事はたまっていく一方。まず映画。「アリスインワンダーランド」とか「タイタンの戦い」とか「シャッターアイランド」「9ナイン」「TRICK」いろいろあるね～。

「アリスインワンダーランド」はティムバートンとジョニーデップのコンビだし何となく見たいなと。Karyuの反応は微妙だったみたいだけど、映画はラーメンと一緒で好みによって評価変わるからね～。次「タイタンの戦い」これはCMをみてZERO氏とモンスターハンターみたいだって盛り上がってたやつ。モンハンブーム再来してなければ気にしなかったかもしれないけど、また始まったモンハンブームに乗っかってきたような感じかな（笑）。

「シャッターアイランド」は何かの映画を観に行った時に新作紹介で出てたんだよね。まあCMだし良いとこ取りなんだろうけど、短時間でも飲み込まれた感じがあったんだよね。俺的には一番期待してる作品かな。「9ナイン」は原作を見てあのティムバートンが「これまでの人生で見た映像の中で、最高の11分間だった」って言ってるんだよな。カリュバートン的にはどうなんだろう？　今度聞いてみよう。

「TRICK」はドラマ見てたからみたいってくらいかな。短い!!(笑)。映画はこんなもんかな。

次は～旅行に行きたいな。屋久島とか、とりあえず自然に囲まれたい（笑）。

理由は歌詞を書く上で都会に居ると感覚とかいろいろ麻痺してしまうので一度全部をリセットしたいんだよね。まあ俗にいう息抜き？　ガス抜き？　そう考えると俺って案外自然派なんだなと思ってしまう。携帯を持たない生活も悪くないから試してみると良いよ。ちゃんと仕事が休みの日にな（笑）。

あとは買い物とか引っ越しとか…。

そんな感じでやりたい事溜まったまま、まだまだRECは続くんだけどどんなドロドロな作品になるのか（笑）。

楽しみに！　では。

少女-ロリヰタ-23区 "KING" of the world!!

第二十七回　ユ≠キ

今月4日に誕生日を迎え、ギターを始めて数年がたつ。

ギター始めた当初はCDも聴かないくらい音楽に無縁で、何度もそれが自分に向いているのかわからなくなって悩む日もあった。

ギターの練習を楽しそうにしている人を見ると、そこまで好きになれてることが羨ましくて仕方なかった。

もちろん楽しいのはわかるんだけど、ただ楽しいだけじゃなくて、もっとその芯の魅力を知りたいのにどうしても気づくことが出来なかった。

そんな悩みながらでも音楽活動は続けていて、今のメンバーと出会い、いろんな人やいろんな音楽に触れてきて、そしてやっとこれなんだって思える本当の魅力に気づくことが出来た。

言葉に表せって言われると難しいけど、今ではギターも音楽もなければ一日を始められないくらいだ。

最初からそれに気づけてれば良かったのか考えてもみたけど、この流れがあったからこそ得れた物だと思ってる。

自分達の作ってきた物をどう聴き受けるかは人それぞれだけど、一度でも聴いてもらえることは幸せなことだ。

そして、今後は今まで以上に一つ一つが最高に思える物をこのバンドで見せて行きたい。

まずは6月9日までしばし待たれよ。

ヴィドールの 美 doll? 微

[illegible] テロ の巻

慧美网
vimee.net

久しぶりです。テロです！　ツアーも終わりました。
今回は個人的にピアノを全国各所（静岡以外）で弾く事になった。

前々からアコースティックLIVEとか全国でやってみたかったが、今回は1月に出した『Monad』って言うアルバムの中に「Dear close friend」ってPIANOの曲があるんだけど、

(1月の半ばのC.C.Lemonホールのワンマンで初披露したんだけど……緊張しすぎて何にも覚えてない)

ホールでPIANO弾いたの二回目だからね（笑）。

今回のツアーのタイトル
『Real Monadism』

と言うタイトルでPIANO一曲やって終わりと言うのも淋しいんで。何曲かPIANOヴァージョンにして全国でやっちゃいましょう………………と3月入って作り始めた。

「めっちゃ時間無い」
けど今までチャレンジした事もないしやってみようと話もなく。今回は少し今までと違う感じでね(;´∩)

ちなみに曲は「Dear close friend」「十年後の今日此処で…」「ラストラバーズ」「リマインドストーリー」「Cloud」の五曲。

各、LIVEHOUSE一曲ずつ。
正直リハーサル後や本番DRUM打っ叩いた後や緊張とかで大変でした！

DRUMの叩き加減や呼吸を保たないとうまく指が動かないし、DRUMは力を抜くように気を付けて叩いた。

まあ失敗もあったけど全国でPIANO弾く機会があって個人的には良い経験になったしいい緊張感を持ってツアーが出来たかな。

まあ終わってみたら少し物足りなさも感じるけど、色々なミュージシャンと出会いもあったし、FC旅行で旭山動物園も行ったり、お客さんに沢山飲まされたり、LIVEは盛り上がったし春ツアー楽しかった。

あとは美味しいビールを飲むだけだぜー
Ψ(∀´#)

したっけねー。

oran Hitomiの「瞳孔反射」 第25回 『本能』

※注意※　今回のコラムは読むだけで体が痒くなったり、気分が悪くなったりする可能性があります。なるべく「絵」を想像しないようにしてください。

俺たちは人間であり、人間というものは地球上に存在する生物の一種に過ぎないということをふとした瞬間に思い知らされる。哺乳類という動物なのだ。全ては種としての本能が司っているといっても過言ではないだろう。例えば別に誰かに教えられたわけでもないのに、ある特定のモノに強い恐怖や嫌悪感を抱く時がある。腐った食べ物を「臭い」と感じ食べようと思わないのがいい例である。それが健康を害し、もっと言えば生命の危険に繋がると本能的にわかっているからである。人間は無意識の内に、危険を回避すべく本能に守られて生活しているのだ。そういえば幼稚園生ぐらいの頃、腐ったスイカを食べさせられたことがある。俺の本能は危険！　と警報を鳴らし続けていたにも関わらず、「大丈夫よ」とゴリ押しする親戚のおばちゃんに負けて無理矢理完食した。そして見事に腹を下した俺はそれ以来数年間、スイカ恐怖症になってしまった。おばちゃんより、本能が正しかったのである。

『蓮コラ』というものを知っているだろうか。知らないという人もいるであろうが、パソコンで検索するのは、このコラムを読み終えた後よく考えてからにするのをお勧めする。俺はコイツの存在を知ってしまったことを死ぬほど後悔している。己の純粋な好奇心をこれほど恨んだことはないかもしれない。しかし、見るなと言われれば言われるほど見たくなってしまうのが人間の心理。みんなもきっと後で検索してしまうのだろうなぁ。そうとわかっていながらコラムのテーマに選んでしまうなんて、俺って嫌な奴。

この文章を書きながらも思い出しては気分が悪くなってしまうほどなのだが、まずは『蓮コラ』というものが何なのか説明しよう。『蓮コラ』とは、文字通り蓮のコラージュである。別名『蓮画』ともいう。蓮の実と人の体（顔や掌、胸など様々）の合成画像で、まるで皮膚に無数の穴が開いているかのように見えるなんとも悪趣味なシロモノである。蓮も人の体もそれぞれ単体で見れば何の違和感も覚えないのだが、これらがコラージュされることによりなぜか非常にグロテスクさを増し、見る者に驚異的な不快感を与えることになる。個人的には、今まで見たグロ画像の中でもコレがぶっちぎりでナンバー1である。

俺が『蓮コラ』を知ったキッカケは、やはり知人からだった。彼は非情にも俺に検索してみるよう勧め、俺はまんまと思惑通りの行動をとってしまったというわけだ。普段、某『S○W』系ホラー映画等によく出てくる臓器まみれのシーンを見ても何も感じないぐらいグロ系には強いと自負していたので、どうせ「なんだこんなものか」くらいのものだろうと高を括っていたが、甘かった。初めてその画像を見た時のなんとも言えない生理的不快感は今でも忘れられない。肌が粟立ち、瞬時に気分が悪くなった。すぐに画像を閉じたのにも関わらず、その絵は脳裏にこびりつき離れない。しかも体中が痒くなってくる始末。ちなみにこれを書いている今も体がむず痒い。

なぜここまで人を不快にさせるのか、それにはいくつか説があるらしい。主な説は、皮膚にコラージュされた蓮の実のブツブツを、人間は本能的に伝染病等の病の信号だと認識し、近寄ってはいけないもの、危険なものだと認識するからだというもの。またはただ単に、まるで自分の体に穴が開いているかのように錯覚し精神的にダメージを受けるからだという説もある。とにかく、潜在的に危険を察知し、回避しようとする本能の表れのようだ。

しかしなぜこんなものが作られたのだろうか。発案者は一体何を考えているのだ。『蓮コラ』以外にもグロ画、グロ映像というものは無数に存在する。見てもいい思いなんて一つもしない。けれど「見ない方がいいよ」なんて言われると、余計見たくなるものだ。この人間の滑稽な性自体も、本能といっていいのかもしれない。そして本能に逆らうことのできないみんなの多くは、このコラムを読み終えた後『蓮コラ』を画像検索するだろう。見てしまったことを後悔し、そして俺を恨みたくなるかもしれない。でも喜びも悲しみも分かち合わなきゃってことで、許してね。

SHOCK WAVE アポロ Vol.39

2010年6月18日(金)高田馬場AREA

★★★★★★★★★★★★★★★★★出演★★★★★★★★★★★★★★★★★

TOON-FACTORY/SCAPEGOAT /
0801弐209336/Luzmelt /ギャロ/
diva/BALLY

毎月18日は、本誌イベント『SHOCK WAVE アポロ』の日♪
毎回、多彩な顔ぶれのバンドが競演！　6月のアポロもお見逃し無く♪

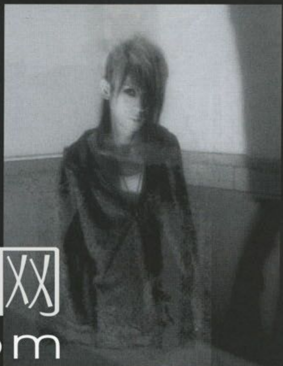
チケットは絶賛発売中♪ 詳細は、

音楽専科社 HP
[http://www.ongakusenkasha.co.jp/]
携帯サイト：音楽せんか？
[http://mobile.ongakusenkasha.com/]

(問)高田馬場AREA ☎03-3361-1063

hudie.com

うしろの正面
—ただしづら—



第131回

by 長谷川 正
/Plastic Tree

皆様こんちくわ！ さて…今年は寒暖のアップダウンがなかなか激しい春でしたが、5月を迎えてようやく気候も安定して来たかな?といった感じですね。そんな中われわれは『Strange fruits』の追懐公演を行っております。この原稿を書いている時点ではちょうどJCBホールでの公演が終わったところですが、何とも不思議な余韻の残るライヴでした。自分の中で15年という歳月は決して短いものではありませんが、あのライヴには当時の感覚を呼び戻される瞬間が何度もありました…それはまた、あの頃から途切れる事なく現在に至れている幸せを実感出来た瞬間でもありました。終わってからふと[illegible]当時の自分が今日のライヴを観[illegible]言うかな?なんて考えてみましたが…たぶん「変わらないねぇ」なんて言われて終わりだったような気がします(笑)。[illegible]上の追懐公演も現時点ではまだ続くので引き続き楽しませてもらおうと思ってます。そういえば[illegible]月は[illegible]ーについていろいろ語りまし[illegible]、今月はベースについて。『Re:Chord』ツアー後半から新たに加わった白いベース…「白雪さん」と名付けましたが、形の上では今のメインベース「青林檎さん」の弟分、もしくは妹分に当たります（性別不明なので…／笑）。これがなかなか魅力的な音を出せる楽器で、現在何となくメイン扱いに昇格してしまいました…とはいえ青林檎さんもかなり愛着のある楽器なので、しばらくは気分で使い分けて行こうと思ってます（笑）。さて…今月はHoleの『NOBODY'S DAUGHTER』という作品をご紹介します。まさかHoleの新作がリリースされるとは！という驚きがまずありましたが、そういった話題を抜きにしてもすごくいい作品だと思います。ビッチなコートニー節(笑)が炸裂する曲もあれば、繊細で胸にじんわり染みる曲まで内容的にも充実していて、個人的にはどの曲も歌詞がすごく印象的でした。今年はフェスで来日もするらしいので、興味のある方はぜひチェックしてみて下さい。という事で…明日からのツアーに向けてこれから旅支度を始めます（笑）。この本が出る頃にはツアーも終了していますが、ぜひ感想などを教えて頂けると嬉しいので皆様よろしくお願いします！ それでは今月もマリモーランドよりお届けしました！ さよーなり－！

麺は固め!!
第144回 by 竹入隆行

HIDEちゃんの13回忌が行われた。テレビのニュースで3万5千のファンの方々が参列されたと聞いた。あれから12年か…

今思えば、あの出来事から確実にバンド業界、何かが変わったね。よくありがちな時代の変換とかじゃなくて、もっと何か違うわり方。良い事も悪い事もあり、何か不思議な転換があった気がす

竹入はあの時、あの場所にいて、御葬儀をお手伝いしていた。んせ必死で、寝る暇もなく、毎日コンビニで下着とカッターシャを買って…終わってからもしばらくの間、いろいろあって走り回た。HIDEちゃんが亡くなった悲しみで改めて泣いたのは数ヶ月やった。

すごい大事件やったよね…。

あの事件がきっかけでバンドをやめてた人が復帰したり、逆にめた人がいた。そして、亡くなった人もいた。その中には自ら命絶った人もおるし、葬儀に向かう途中に事故で亡くなった人もい

俺はあの事件がきっかけで「生きて行く、夢を追う」と言う事改めて考えた。それまでに考えてた事がまるで無意味で、まるでめて死に直面したかのような、そんなふうに改めて考えた。多俺と同じようにそう思ってはる人はめちゃくちゃおると思う。

改めて何かを背負ったり、何かから逃げたり…。

自分の生き方を決めたり、わからなくなったり…。

様々な人がいてはったやろうと思う。

あの事件がきっかけで知り合った人達が沢山いる。

今でも良いお付き合いをさせてもらってる人も少なくない。

12年経ち、その間にはHIDEちゃん以外の仲間も沢山亡くし。
「これでもか！ これでもか！」と悲しい出来事があった。

あの頃にやっていた「CHARISMA」は終わり（そう言えばHIDちゃんと知り合ったのはカリスマ始めた時やったな…)、今はタバンで唄っていて、忙しくさせてもらってる…

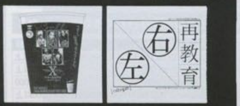
その中であのニュースを見て、あの人の何かはまだ生きていて、そして育っている感じがした。

何が変わったのか結局上手く言えないけど。

俺はとにかくこれからも唄を唄って行こうと思う。

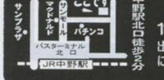
押忍！

通好みの集う店
Flower Record
の広告
tel 03-5380-3505
fax 042-563-7793
mail:apples@flower-record.com



豆鉄砲、喰らった鳩（ハト）に策は無し?母親譲りの小判の山に、明日を憂う心も忘れ、優柔不断なダメな僕!!そんな厳しい立場の貴女に送る、音源・映像・グッズのラヴメッセージ!! FLOWER RECORDを よろしく!!

FLOWER RECORD
164-0001 東京都中野区中野5-59-1 興産ビル305
tel 03-5380-3505 fax 042-563-7793
Email:apples@flower-record.com
URL:http://www.flower-record.com



木曜定休
11:30～21:00
出張買取で 20:00 に閉める場合も有

東京近郊の配布物・会場限定物取得代行
地方の方でも、配布・会場限定CD,デモ、ビデオ、DVD等が、リーズナブルな値段で手に入ります。お気軽にお申し付けください。

リサーチ お探しのアイテムをお申し付けください。Wants List 大歓迎。在庫の無いものも、入荷時にお知らせいたします。

通信販売 全国どこへでもお届けします。TEL、ハガキ、封書、FAX、E-メールにてお問い合わせください。在庫確認後、代引、口座振込、現金書留にてお承ります。

ホームページ まだ未完成ながら、広告誌面で記載できない量の在庫・入荷・買取等の情報が見られます。

今月の貴重盤
[カリガリ]洗脳、第2、第3、第4実験室、第6実験室(ドキドキセット)、再教育(会場限定赤ジャケ2CD)，君が咲く山、走馬燈、プロモーション1(限定ビデオ)、FC会報、ラロイドザビのビデオ[愚童、百足]音源各種 [アリス九號]配布DVD・ビデオ各種 [アンミュレ]頽廃ロマン [ガゼット]プロモオンリーデモ音源集 '06～' 09CDR, プロモオンダイジェストDVD [イロクイ]駄犬(配布DVD) [ジェッジジョンソン]ミルクミックスナイトエピソード(ビデオ, 青<カリガリ>) [己龍]配布CD, DVD [lab]配布CD, 会場限定ビデオ(カリガリ) [リンチ]アンダーニース(CD) [ノイズ]イミテーションポップ(CD)[サディ]黒衣の. . 、溺愛(CD)[シド]吉開学17歳(初回MD)

今月の貴重盤・クラシックス
[Xジャパン]エンドレスレイン(発売告知ポスター),Tシャツ各種, ラストライヴ(2DVD) [HIDE]X時代のシャツ!!, ハイドヨアフェイス(初回CD, 帯付, 未開封)[HIDE他]年記念フェルナンデスプロモビデオ [横須賀サーベルタイガー]ライヴ(ソノシート!) [アフターイメージ]Vol. 3(配布ビデオ) [かまいたち]会報、ステッカー、缶バッヂ形、パンツ、T-シャツ、[カイン(Kein)]木槿の棺(デモ), クランケ(配布CDS) [ニュークリッドロマンス] '92～' 00ヒストリー(抽プレDVD) [ラルクアンシエル]配布ビデ[SUGIZO]垂直の夢(CD) [プラスティックトゥリー]ビデコン用ビデオ、アリスの眠り袋

今月のサイン付グッズ・色紙
バクチク、ボディ、カリガリ、カラー、D、ディルアングレイ、デザイア、ディスパーズレイ、FUZZ、グレイ、ガーゴイル、JILS、蜉蝣、黒夢、かまいたち、河村隆一、KAYA、ラレーヌ、ディースルーム、ラピュータ、メフィストフェレス、ルアージュ、ムック、ナイトメア、シャムシェイド、TOSHI、覇叉羅、イエローモンキー. . . . etc.

ヴィジュアル系アイテム、高価買取させていただきます
中古CD,DVD,デモテープ,ビデオ,レコード,グッズ,本その他80年代から現在まで!!!
*特に、業界もの、配布もの、会場限定もの、限定枚数の少ないもの、発禁もの、前身バンドのものは、大歓迎の特別限定!

買取り強化月間継続!! あなたの聴かなくなった貴重盤・他をお売りください。プレス枚数が500枚以下のものは、特別査定!! TELハガキ、封書、FAX、Eーメールにての大まかな査定もOK！送金は、口座振込み、現金書留にて！

宅配便買取 郵便・宅配便にて、ドシドシ送ってください。1枚からでもOKです！もし、CDアルバム20枚以上、もしくは、当店の高価買取例のアイテムが含まれる場合は、送料着払いOKです。なるたけ早めの査定後、連絡させていただきます。

出張買取 東京近郊(神奈川、埼玉、千山梨 etc.)のまとまった処分貴重盤放出の場合は、出張無料でお伺いいたします。お軽にお問い合わせください

今月の万単位買取例 *本気です
[Xジャパン] '85ライヴデモ, 配布デモ、配布ビデオ, X現る(ビデオ), 直筆サインもの, スタッフオンリーグッズ,インディーズ時代のもの大歓迎!! [デランジェ]キッズブル(プレゼントビデオ), デモ各種, FC限定DVD.プロモ [ジャンヌダルク]1stデモ、配布ビデオ [シド]吉開学(初回MD) [シュラ]DE I. . (ビデオ) [デザイア]プロモビデ[YUKIYA]ソロデモ [黒夢]サス4・ダブルベッド、ガーネットのデモ [ラルクアンシエル]4thアヴェニュー、前身バンドのデモ [ラピュータ]サディストの夢(配布デモ), パドキシカル(ビデオ) [ルナシー]デモ各種 [SUGIZO]ブリリアントデイズ [マリスミゼル・摩天楼・キャインスフィール]デモ各種, ビデコン用ビデオ [松川敏也(ラン)]ハニング(CD) [マインカンプ]スピーダー(緑ジャケ7") [メリーゴーランド]毒・夢・月・・・(デモ) [シャムシェイド]配布CDS

今月の高価買取例
[カリガリ]第5実験室(CD), 第2実験室(6曲入りデモ), ラロイクドザビのデモ [フロート]蒼の休日[D]アリス [ガゼット]別れ道、午前0時、14歳、泥だらけ [リンチ]グリーィ. , (CD) [デスゲイズ]29403、ダウナー、配布、会場CD各種 [ベリー]白痴、ブラッドプール(CD) [デルヒ(DELUHI)]サヴェイランス [ジェニヴァ]忌命(配布CD) [beaU]無糞悪異(配布CD) [犬神サーカス団]ご霊前(CD), デモ, 詩集 [ジェッジジョンソン]ミルクミックス(CD)、初期CD各種 [レヴェリー]僕の彼女はグラビアアイドル(配CD) [メトロノーム]ヤプー(CD) [陰陽座]デモ[ロオレライ]デモ [SIZNA(SUGAR)]ソロ音源 [刺四]レトロモダン・刺盤・壊れた音達(CD) [サディ]' 08パンフ [デュルジュエル]ノア、ラピダリー [パブロハニー]彩色蜂蜜パレット(CD) [ゴールデンスパイダー]回転欠落遊戯……………
[アイオン]デモ、BOOTLEG7. 8(ビデオ), ヒストリー(プレゼントビデオ) [アフターイメージ・アマデウス]配布もの [バクチク]FC限定DVD, ハリアップモード(自主CD),トゥーチ(プレゼントCD) [ベビーシッター]配布デモ [グニュツール]パンフ、配布もの [ディープ]ライヴビデオ [デザビエ]デモ各種 [ガーゴイル]クレイジーサディズム(デモフューチャー. . (完全版) [ルイマリー]デモ [INORAN]アナザーワールド(DVD), FC限定DVD [かまいたち]デモ各種 [ラレーヌ]1stデモ [マリスミゼル・ガクト] '95パン会報初期号、サインもの各種 [メリーゴーランド]. . . イズデッド(CD) [MORRIE]薔薇色に染まる(CDS) [マディスグレイル]グッズ他 [リボン]特典CD [スケアクロウ]立(CD), ライヴビデオ, いずみソロ [スラットバンクス]裏の裏ビデオ(DVD) [ヴァラブチュアス]デモ [Xジャパン]インディーズFC会報、ポスター、ステッカー、[ZEED]ビデ[ジキル]ホールド. . (ビデオ) [V. A]GIV創刊準備号(ビデオ)………………

Kain一朗のコライチ

第92回

やっと暖かくなってきましたね。少し前に買った春モノの服がやっと上着なしで着れるようになって嬉しいです。ごきげんよう、Kainの一朗です。

最近のKainはと言いますと、昨年からの約一年間のライヴ活動休止が嘘のように積極的にライヴ活動を行っています。

4月24日には大阪FANJで、4月25日には名古屋ell. SIZEで、ファンクラブ限定ワンマンを行なってきました。

実は東京以外でファンクラブ限定ライヴをやるのは初めてだったんですが、やはり普段のツアーの時より会場内の愛情の密度が濃い気がして、最高の気分でライヴがやれたと思います。ライヴ中、「ここに来てくれているファンの皆さんがいつも応援してくれてるから、ステージに立ててるんだなぁ。」と実感しました。

ライヴ自体はいつも通りというか、特に変わったことをしたわけでもなく、ただ純粋にKainらしいライヴをやろうとメンバーと話し合っての内容だったんですが、完全未発表の新曲の披露もあったり、とてもアツいライヴが出来たと思います！ 来てくれた方ありがとう！

5月2日には川崎クラブチッタでワンマンライヴも行ないました。

この日はKainのリーダーのYUKI-YAさんの誕生日でもあり、Kainが現メンバーで行なう、最後のライヴだということもあり、これまでKainとして活動してきた中でも、ベストライヴと思えるようなライヴにしたい、と思ってライヴに臨みました。

とても気合いが入っていたので、珍しく前日眠れないくらいでした。笑

っていうか、チッタくらいのキャパでのライヴも数十回と経験してるし、馴れてるはずなのに緊張してるとかありえないよね！ 笑 ちょっと気負いすぎたのかな。ハハ笑 でもおかげで準備万端で臨めたので、結果としては良かったかもです。

この日はKain側はメンバーもスタッフも準備が完璧で、当日のリハーサルもすべて予定通り、すべてがパーフェクトに進んで、さあ、いよいよ本番！というところで、まさかの会場側の機材トラブル！ 当日リハーサルの最後にやる予定だったオープニングのチェックが出来ないまま、1時間近くもステージの上に立ったまま待たされるという前代未聞の事件が起き、正直「ああ、もうこれで今日のライヴは終わりだ。この後YUKI-YAさんが会場の責任者を血祭りにあげてもう帰るに違いない。」と一度は本気であきらめたのですが、メンバー、スタッフの祈りが通じたのか、予定時間を45

分も過ぎたものの、何とかライヴを始めることが出来ました。

かばうわけではないですが、YUKI-YAさんはもう3日くらい前から本当に張りつめて準備していたので、一度あそこまで落ちてしまったテンションをもう一度強引にあげるのは大変だったろうなと思います。

ファンの皆さんも開演時間を大幅に押してしまって申し訳なかったんですが、ライヴが始まったらそんなこと忘れるくらい盛り上がってくれて本当にありがたかったです。

この日は2部ではYUKI-YAさんの誕生日を祝うためにtheJEANのメンバーも駆けつけてくれてKainのメンバーと合体し、ツインドラム＋トリプルギターでの演奏も披露しました。あれはなかなか見れないと思うのでファンの皆さんも楽しかったんじゃないかな。あの重低音は癖になりそうなくらい刺激的でしたね☆

とにかく、この日のライヴは、凄くいい景色が見れましたし、来てくれた多くの人の記憶にも残るライヴだったんじゃないでしょうか。

気付いてくれた方もいると思いますが、この日のライヴは10台以上のビデオカメラがボクを狙ってましたよね？ あれ？ お前の為に用意したんじゃねーぞ！・・って社長の声が聞こえたような・・。

とにかく、勘がいいコはわかるよね？ 映像化されるのを震えてまて！な感じです。

あとあと、この日から発売されたボクが初プロデュースしたグッズ「ICHIRO#006スティック」は買っていただけましたか？

これは色々と希望を言って社長にデザインしてもらったり、色もたくさんの中から自分の好みでチョイスしたりと、かなり満足のいく出来になりました！ 長い間仮タイトルだった[illegible]曲の正式なタイトルがなんとグッズ内で発表されてるというのも異例だと[illegible]

発売と同時に100人以上の人が買ってくれたみたいで[illegible]演奏するとき予想より多くの[illegible]くれて凄く嬉しかったな☆[illegible]口な曲の雰囲気ともあってて、とっ[illegible]した。これからのライヴでもど[illegible]ください。

ん？ そんなこと[illegible]今後のKainがどうなるかって？

ええっと、[illegible]Kain[illegible]んだ[illegible]か。

・・

これは、僕の口からはうまく伝えられる自信がないのですが、簡単に言うと今後の

Kainは、ライヴによって参加出来るメンバーと参加できないメンバーが出てくる、って感じです。

ちなみにボクは、現在のところ発表されているライヴには全部参加させてもらうつもりですので！ 社長！ よろしくお願いします！笑

詳しくは近日HPで発表されると思うからWEBでみて欲しいんだよね。URL書くから気になる方はみてください。

http://www.kranze.net/

でも、これもみて。コレ。

※※※※※※※※※※※※※※

■2010年6月13日（日）
「Kain VS about tess 2マン」
・会場：新宿MARZ
・時間：開場17：30／開演18：30
・料金：前売3，500円／当日4，000円（＋1d）
→チケット一般販売：5／16より一斉発売！
プレイガイド：ローソン［Lコード72428］

※※※※※※※※※※※※※※

■2010年6月18日（金）
・会場：仙台darwin
・時間：開場17：00／開演17：30
・料金：前売3，675円（＋1d）
・出演：-OZ-／SCREW／Virgi-l／【Vani;lla】／Kain／…他
→チケット一般販売：4／17（土）より一斉発売！
・RISKY会員（A、001～）
・littleHEARTS、店頭（B、001～）
・ローソンチケット／L：79052（C、001～）
・RISKY web予約 web_order@risky-ltd.com（D、001～）
※各バンド予約なし
問 リスキー／TEL：025-243-0799

※※※※※※※※※※※※※※

■2010年6月19日（土）
・会場：新潟LOTS
・時間：開場16：30／開演17：00
・料金：前売3，675円（＋1d）
・出演：-OZ-／SCREW／Virgi-l／【Vani;lla】／Kain／…他
→チケット一般販売：4／17（土）より一斉発売！
・RISKY会員（A、001～）
・RISK DRUG STORE店頭／TEL：025-241-9200（B、001～）
・ローソンチケット／L：77307（C、001～）
・RISKY web予約 web_order@risky-ltd.com（D、001～）
※各バンド予約なし
問 リスキー／TEL：025-243-0799

※※※※※※※※※※※※※※

実はね、ここでは書けないライヴ情報とかまだまだ沢山あるんだよ。5／2の川崎クラブチッタのワンマンに来てくれた人は、知ってるよね！ そう、ライヴ沢山あるから、みんなちゃんとついてきてくださいね！

あ、この本が出るくらいの頃に実はシークレット的に大阪に行くかもです。

と、今月はこの辺で。

バイバイ。

蝴蝶网 hudie.com

CD/DVDの買取はメディアオークションまで ☎048-649-0065 nack5 town 検索

緊急買取キャンペーン!!

6/30迄!!

買取商品10枚以上で 25%up!

30枚以上で 30%up!!

¥50以下の商品は対象外となります。

※キャンペーンは期間中に広告をみて商品を送っていただいた方が対象となります。店頭にお持ちいただく場合は、受付の際必ず「SHOXX6月号を見て」とお伝え下さい。
※同一タイトル複数枚の場合は1枚でカウントいたします。
※BOX、セット商品は1枚でカウントいたします。
※他のキャンペーン、ボーナス査定との併用はできません。
※お電話での買取査定はお答えしておりません。
※査定の都合上、1枚ごとの明細はお出ししておりません。
※¥50以下の商品は対象外となります。

メディアオークションがあるNACK5 TOWNでは
ラジオ局FM NACK5 79.5hzの
VISUAL系番組「BEAT SHUFFLE」を
店内サテライトスタジオにて毎週公開生放送しています!!
※「BEAT SHUFFLE」に関するお問い合わせ等は、番組HPにご案内しております。
(注)メディアオークションではお問い合わせにお答え出来ません。

「BEAT SHUFFLE」
毎週(金)18:00~19:50
詳しくは番組HPまで!
http://www.nack5.co.jp/hitnit.com/bs/

買取の手順 手数料無料 送料無料

●買取希望の商品を宅配便着払いでお送り下さい。
その際、身分証明書の写しと、振込み希望の口座名(銀行名・支店名・口座番号)ご希望の連絡先を書いたメモを同封して下さい。18歳未満の方は、保護者の承諾書が必要となります。

●商品が到着次第、査定価格をお出しします。
結果は電話、FAX、E-mailの何れかのご希望方法でご連絡いたします。

●査定額に納得していただきましたら、直ちに手数料当店負担にて指定の口座に送金いたします。

●直接お持ちいただいてもOK!

店頭にお持ち込みの場合は、その場で査定し、現金でお支払いいたします。18歳未満の方は、保護者の承諾書が必要となります。

買取梱包キット

●無料の梱包キットをご用意しております。
もし、ダンボール等をご用意頂けませんでしたらお送りいただく商品の量に合わせたキットをご用意いたしますのでお気軽にお申し付け下さい。(梱包用資材・買取申込書・宅配便伝票)

大宮西口アルシェ5F THE NACK5 TOWN内
中古販売・買取 メディアオークション
www.mediaauction.net

■着払い送付先■ 〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町2-1-1 アルシェ5F THE NACK5 TOWN内 メディアオークション SHOXX 6月号係
TEL:048-649-0065 FAX:048-649-0065
営 AM11:00▶PM9:00 買取受付はPM8:00まで
※買取時間・買取方法等については予告なしに変更する場合があります。御了承下さい。

洋楽・邦楽CDの新譜買取基準
1ヶ月以内 国内盤フルアルバムなら ▶ 税抜定価の60%買取り!
3ヶ月以内 国内盤フルアルバムなら ▶ 税抜定価の50%買取り!
注 コンディション不良や在庫状況等によって表記の基準外になる場合もございます。

高額買取の一例 ▶ www.mediaauction.net

VISUAL CDタイトル	買取額
彩冷える(アヤビエ) / バージンスノーカラー	¥1,500
Alice Nine / Alice Nine Complete Collection 2006-2009	¥1,600
UnsraW / GUILTY	¥1,500
アンティック -珈琲店- / アンティック -珈琲店-	¥1,800
アンド / AGENT FILE、-&-	各¥1,500以上
12012 / mar maroon	各¥1,300以上
イロクイ。/ オープンハートキングダム	¥1,400
イロクイ。/ おわらないせかいのうたいかた	¥1,600
【_Vani;lla】/ 偽カルチャー	¥1,400
ViViD / THE ViViD COLOR	各¥1,300以上
ViViD / Take off	¥3,200
vistlip / 全フルアルバム(ミニアルバム含)	各¥1,000以上
ヴィドール / Monad	各¥1,400以上
ヴィドール / proposal~卒業告白~	各¥2,000
Versailles / JUBILEE(初回)	¥1,800
Versailles / NOBLE(通常)	¥1,400
蜉蝣 / 心中歌	¥1,800
ガゼット / 鬼畜教師(32才独身)の悩殺講座	¥11,000
ガゼット / NIL	各¥1,400以上
kannivalism / helios	各¥1,700以上
cali≠gari / 全フルアルバム(ミニアルバム含)	各¥1,000以上
THE KIDDIE / SINGLE COLLECTION	¥1,600
THE KIDDIE / elite STAR+(Aタイプ)、NOAH(Aタイプ)	各¥1,200
キャンゼル / NeO PRESENCE E.P.S	¥2,300
キャンゼル / NeW WINDOWS E.P.	¥1,900
己龍 / 明鏡止水	各¥1,800以上
ギルガメッシュ / 獄 -初犯型円盤-(初回)	¥2,000
ギルガメッシュ / その他全フルアルバム(「girugamesh」除く)	各¥1,400以上
Kra / Twinkle star BEST 2006-2009	¥1,400
ゴールデンボンバー / ザ・ゴールデンベスト~Pressure~、~Brassiere~	各¥1,000以上
SuG / TOKYO MUZiCAL HOTEL	各¥1,700以上
Sadie / Singles、MASTER OF ROMANCE	各¥1,400以上
Sadie / 「SADIE」~UNDEAD13+2~	各¥2,000以上
シド / 全フルアルバム	各¥1,000以上
人格ラヂオ / 証拠	各¥1,000以上
新興宗教楽団NoGoD / INDIES BEST SELECTION 2005-2009	¥2,100
新興宗教楽団NoGoD / 羅針盤(初回)	¥1,300
SKULL / ナチュラルボーンキラー	¥1,000
Sel'm / brilliant force	¥1,200

VISUAL CDタイトル	買取額
ゾロ / CORE、「COSMO」-ステンレスミュージック-	各¥1,300以上
ダウト / CARNIVAL浮世	各¥1,800以上
ダウト / ZIPANG(初回)	¥2,000
DaizyStripper / THE BEAUTY、CROSS	各¥1,000以上
D'espairsRay / IMMORTAL、REDEEMER	各¥1,300以上
D'espairsRay / TERRORS(1st、2nd)	各¥2,000以上
DEATHGAZE / THE CONTINUATION、AWAKE-evoke the urge-	各¥1,400
DEATHGAZE / 「294036224052」	¥3,000
Duel Jewel / Revine	¥1,400
DELUHI / Yggdalive	各¥1,400以上
DELUHI / Surveillance	¥7,500
東京ミカエル。/ 35.6℃	各¥1,400以上
DOG in The パラレルワールドオーケストラ / メルトトルカカトル	¥1,200
Dolly / Primary,Premium Best	¥1,100
ドレミ團 / ドントレットミーダウン	各¥1,300以上
ナイトメア / Nightmare 2003-2005 Single Collection	¥1,600
9GOATS BLACK OUT / TANATOS	各¥1,700以上
9GOATS BLACK OUT / Black rain、Devils in bedside	各¥1,100以上
heidi. / 渦奏(通常)	¥1,300
ベリィ / 白痴	¥8,000
ベルベット / 闇	¥1,200
摩天楼オペラ / 全フルアルバム(ミニアルバム含)	各¥1,000以上
Mix Speaker's,Inc. / ANIMAL ZOMBIES	¥1,500
メガマソ / M of Beauty	各¥1,800以上
rice / 六極シンパシー	¥1,400
lynch. / SHADOWS	各¥1,400以上
lynch. / THE BURIED、THE AVOIDED SUN	各¥1,300以上
少女-ロリヰタ-23区 / :BeSt	¥1,600

VISUAL DVDタイトル	買取額
12012 / 無法地帯	¥3,000
vistlip / BUG	¥2,000
ガゼット / TOUR09-DIM SCENE-	各¥3,000以上
己龍 / 龍驤虎視~二〇一〇年十二月七日渋谷オーウエスト単独公演~	¥2,500
シド / SIDNAD Vol.2~4	各¥1,900以上
Dolly / 再コレクトピクチャー	¥1,400
9GOATS BLACK OUT / 2009 shibuya BOXX live in Bright Garden	¥2,000
摩天楼オペラ / DAWN OF ANOMIE in Akasaka BLITZ	¥2,000
lynch. / 「THE SHADOW IMPULSE」FINAL 2009.09.06	¥3,000
少女-ロリヰタ-23区 / .doc~TOUR'09 Carnival of Ⅲ ward	¥3,800

●上記のタイトルは予告なく変更する場合が御座います。予めご了承下さい。●上記の買取額は、基本的に国内盤でキズ等の無い状態での買取額です。●上記の買取額は在庫、販売状況等により買取額が変動する場合が御座います。予めご了承下さい。●ディスクのキズやジャケット、ケース、ライナー等のコンディションにより買取価格は変動致します。●状態によっては当店で取り扱う事が出来ない為お値段がつかない場合も御座います。●現在8cmシングル、サンプル・プロモ・カット盤、レンタル落ち、CD-R、レコード、LD、ビデオ、アダルトDVDの買取は行っておりません。●同一タイトルを複数枚同時買取りの場合、在庫状況により買取価格が変動する場合が御座います。

vimee.net

蝴蝶网
hudie.com

輝く夢のヴィジュアル玉手箱　SHOXXからスピンオフ!!

SHOXX glitter Pop グリッターポップ No.4

V系雑誌SHOXXから生まれた
徹底的にヴィジュアルにこだわった
新メディア『glitter pop』!!
36ページのスペシャルブックと
ポスター10枚を封入した
スペシャル玉手箱の
夢のコラボメディア!!

大好評第4弾!!

なんと!!
特大ポスター
10枚付き!!

ViViDのメンバーの
個人ポスターが
5枚付きます。
＋（プラス）
takuya×輝喜/LM.C
SuG/DaizyStripper
TOON-FACTORYの
ポスター付き

takuya（アンティック-珈琲店-）
×輝喜（アンティック-珈琲店-）
オリジナル・フォト・セッション
8ページ大特集!!

最新撮り下ろし特集

ViViD

Special Front 12 Pages Edition

★LM.C ★SuG
★DaizyStripper
★TOON-FACTORY
★HERO

SHOXX 2010年6月号増刊号
雑誌コード:04538-06　1,500円（税込）
A4ワイド版 本体36ページ　オールカラー
ポスター10枚付き
発売日（4月28日）を過ぎても店頭に商品がない
場合はインターネット及び携帯サイトからもご注文、
ご購入いただけます。
http://www.ongakusenkasha.co.jp

vimee.net

hudie.com

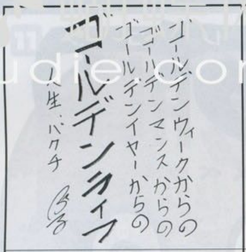
Mission in ぽっくん
ミッション イン ぽっくん

すっ!! 暖かくなったり、寒かったりでジェットコースターのような天候だった４月を過ぎて一年間で
らかな気候の５月を迎えました。そんな過ごしやすい気候とはうらはらに、５月病なる憂鬱な気分で過ご
る人もいるのでは。そんな悩み多きあなたに"悩んでいるのは君だけじゃないっ!!"ということで、今月
時期のミュージシャンの悩みを聞きました。それにしても今月もミヤくんの作品がダントツ一等賞だと
すが、みなさんはいかがでしょうか。

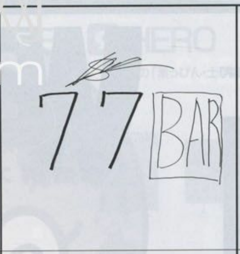
雨よ頼むから俺が外に出る時は上んでてくれ… 一志 (Kagrra,)	べつにない。 SATOち (ムック)	メタルゲームが好きだけど、下手なんだよね…。増えないんだよ…。 ゆっけ。 YUKKE (ムック)	目のしょうてんがあわない ミヤ (ムック)	五月病になってみたいもんだ!! たつろー。 達瑯 (ムック)
肌がピチピチしすぎてる 宮脇渉 (12012)	隣人 白水の五月病… 白水 白水 (Kagrra,)	頭痛 俺です 女雅 (Kagrra,)	趣味の時間… 真 (Kagrra,)	旅に出たし 楓弥 (Kagrra,)
heidi. コースケ何でそんなに「疲れた」ばかり… 義彦 (heidi.)	体調が良すぎる。 亨 川内亨 (12012)	沖縄に行きたいなぁ… 五月病かなぁ… 朋 塩谷朋之 (12012)	無感動 すが 須賀勇介 (12012)	なやみ無用 酒井洋明 酒井洋明 (12012)

vizive.net

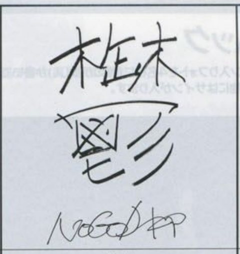
hudie.com



華凜
(NoGoD)

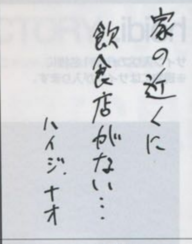


Shinno
(NoGoD)



Kyrie
(NoGoD)

団長
(NoGoD)

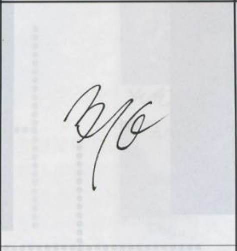


ナオ
(heidi.)

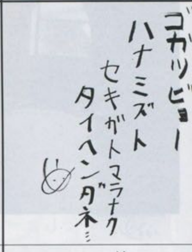
ルイ
(SCREW)

マナブ
(SCREW)

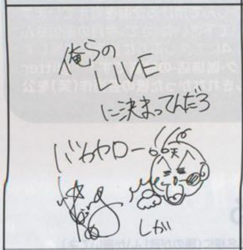
和己
(SCREW)



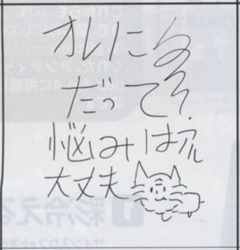
鋲
(SCREW)



K
(NoGoD)

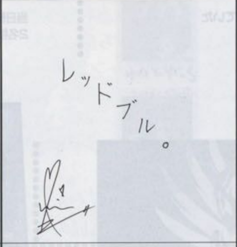


レガ
(TOON-FACTORY)



夢叶
(TOON-FACTORY)

雫
(TOON-FACTORY)



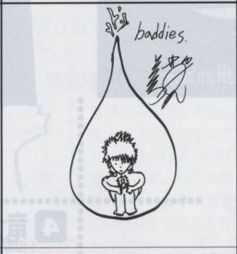
ひかる
(TOON-FACTORY)

ジン
(SCREW)

ツブク
(花少年バディーズ)

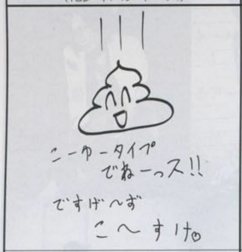
琢磨
(花少年バディーズ)

ミネムラ
(花少年バディーズ)



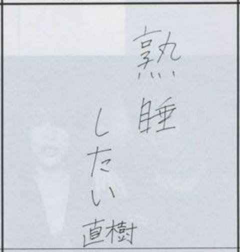
貘
(花少年バディーズ)

ゆーいち
(TOON-FACTORY)

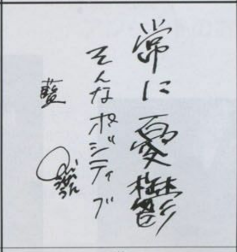


孝介
(DEATHGAZE)

貴樹
(DEATHGAZE)



直樹
(DEATHGAZE)



藍
(DEATHGAZE)

広志
(花少年バディーズ)

★応募の決まり★

このアーティスト直筆の回答書をプレゼントしちゃいま〜す。欲しい人は143ページの左下にある応募券を官製はがきに貼って、あなたの住所、氏名、年齢と希望アーティスト名を書いて 〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3ダヴィンチ銀座アネックス5F音楽専科社「ぼっくんくれっ！」係まで応募してください。締め切りは2010年6月21日（当日消印有効）です。

vimee net

蝴蝶网
hudie.com

☆どうも、こんにちわ。最近めっきり暖かくなって、このポカポカ陽気のせいで、日々睡魔と戦っているぺろちゃんです(笑)。先月末にJCBホールにて行われたSHOXX20周年記念イベント、満員御礼！ 大成功をおさめることが出来ました。ありがとうございます！ これからも、皆様に楽しんで頂ける企画を考えていますので、楽しみにしていて下さいね。さて、今月の画伯さんは、glitterpop No.4にて久しぶりに誌面に登場してくれた、アンティック-珈琲店-の輝喜です！ glitter pop No.4に掲載しきれなかった彼の芸術作(笑)を公開です♪

1 彩冷える

サイン入りフォトを6名様に(誰のが欲しいか書いてネ)
※現物にはサインが入ります。

2 ムック

サイン入りフォトを4名様に(誰のが欲しいか書いてネ)
※現物にはサインが入ります。

3 SHOCK WAVE2010

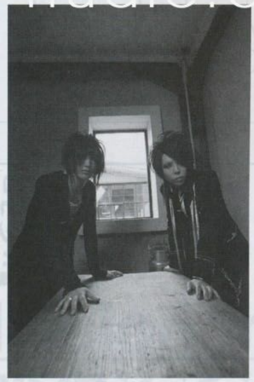
当日配布された記念ステッカーに出演バンド全員のサインを入れて2名様に

4 竜太朗(Plastic Tree)×Aiji(LM.C)

サイン入りフォトを1名様に
※現物にはサインが入ります。

heidi.

サイン入りフォトを1名様に
※現物にはサインが入ります。



ヴィドール

ツアー"Real Monadism"で使用していたバックドロップを1名様に

ViViD

サイン入りフォトを4名様に(どちらのが欲しいか書いてネ)
※現物にはサインが入ります。

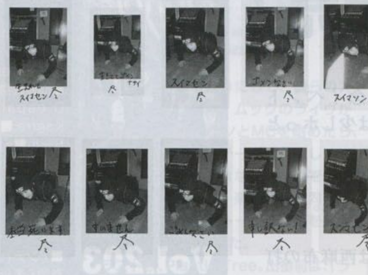
慧美网
vimee.net

11 NEO VOLTAGE

サイン入りPhoto(A4版)を1名様に

9 HERO

尽の「素っぴん・土下座」チェキ(笑)を10名様に



8 TOON-FACTORY

P90-91に掲載されている、コメント入りチェキを10名様に
(誰のが欲しいか書いてネ)

12 凛

サイン入りPhotoを3名様に

蝴蝶网
hudie.com

10 アンド

サイン入りチェキを5名様に
(誰のが欲しいか書いてネ)

イラスト：輝喜（アンティック-珈琲店-）

プレコンWORLDアンケート用紙 VOL.209

住所	〒　　　TEL（　　）
氏名	フリガナ　　年齢　　男・女

★A. よかった記事の番号を良かった順に3つあげてください。

1　2　3　理由

★B. 好きなアーティスト・バンドは？
(　　　)(　　　)(　　　)

★C. 最近気になっているアーティスト・バンドは？
(　　　)(　　　)(　　　)

★D. 今月号に対する意見・不満・または希望企画を聞かせて下さい。

慧美网
vimee.net

★E. 希望プレゼントの番号（P150〜151）　　番

アンケートのお願い

●アンケートに答えて、用紙を切り取り、はがきに貼って送ってね。コピー不可。
●宛先は〒104-8228　銀座6－2－3　ダヴィンチ銀座アネックス5F
音楽専科社　SHOXX 編集部　プレコン WORLD 係まで。
●締め切り：2010年6月21日当日消印有効
当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

◆今月の記事一覧（アンケート）

①彩冷える ②ナイトメア ③ムック ④シド ⑤SHOCK WAVE 2010 ⑥竜太朗(Plastic Tre
×Aiji(LM.C) ⑦Plastic Tree ⑧LM.C ⑨Alice Nine ⑩Kagrra, ⑪D'espairsRay ⑫
⑬Versailles ⑭heidi. ⑮ヴィドール ⑯SCREW ⑰零乃×怜我(ViViD) ⑱TOON-FACTOR
⑲続・凡人水族園 ⑳Mix Speaker's,Inc. ㉑杉本善徳 ㉒deep sleepers ㉓SHOCK WAV
アポロ ㉔凛 ㉕ネガ ㉖HERO ㉗DEATHGAZE ㉘メガマソ ㉙the Riotts. ㉚WHITEBLAC
㉛ν〔NEU〕 ㉜花少年バディーズ ㉝12012 ㉞大佑と黒の隠者達 ㉟NoGoD ㊱アン
㊲NEO VOLTAGE対談 ㊳ケミカルピクチャーズ ㊴オルスデッド ㊵アーティストBC
㊶Mission in ぼっくん ㊷早耳情報 ㊸ロックンロール日記

次号Vol.210予告
（ぽっくんの主張：哀愁と涙目と私の巻）
6月21日全国一斉発売！

4月29日。JCBホールで行われたSHOXX20周年記念イベント「SHOCK WAVE 2010」も無事終了して、ぽっくんは少しホっとしています。
ライヴはおかげ様で完全ソールドアウト。本番直前にステージ袖からこっそり客席を覗いたのですが、そこには人、人、人。その景観は壮観だったよ。
そして、白熱のライヴは終了し、ロックスター一行は西麻布の打ち上げ会場に移動。
そして23時。打ち上げ会場にて。場内乱痴気騒ぎ、逹瑯が吠える喧騒の中、奥のソファーで竜太朗としっぽりお喋り。グラスを片手にぽつり、ぽつり竜太朗がつぶやく。**「最近、ライヴの打ち上げって少ないでしょー。だからライヴ終わったらすぐ家に帰るんだよー。そしたらさぁー独りでしょ。それがすっごく淋しいよねー。その日あった事をみんなで楽しくお話したいよねー、やっぱり…」。**
哀愁のロック・ヴォーカリストそれは有村竜太朗。
そんな太朗と対照的なYUKKE。何やら酔った勢いで、SHOXXでの企画を思いついたらしく、テンション20パーセント増で、ぽっくんと担当編集に自らの企画を猛アピール。何故か涙目になっているYUKKEはいつになく粘着質。オーケー、YUKKEわかったよ。今度、お日様のある時間にマネージメントを通してYUKKEの企画は正式にオファーします。
そして1時間後。すっかり泥酔したぽっくん。1件目のお店を出て、次の場所はフォトグラファー宮脇巨匠の事務所と決まる。そこで仕切っているのはこちらも巨匠のAiji先輩。しらーっとフェイドアウトしようとしているぽっくんの背中ごしからAijiの声が。**「編集長〜帰ろうとしてるでしょ」**。振り返ると全てを見透している様なあのAijiの冷静な瞳。素知らぬ振りして全部お見通し。すいません、Aijiさん。所詮ぽっくんはお釈迦様（Aiji）の手の平の上…。南無ぅ〜。

月の表紙&巻頭特集は
HOXX　Vol.210
ナイトメア
待ちかねのニューシングル『a:FANTASIA』リリース決定!!
力十分の5人を特集します。

記のバックナンバーを希望の方は、定価に送料（1冊＝¥140、2冊＝¥220、3冊以上は全て¥450）を加えて、代用または小為替で、〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3 ダヴィンチ銀座アネックスビル5F音楽専科社経理「SHOXXバックナンバーVol.○」（○の中に号数を入れる）係まで申し込んで下さい（ただし、付録ポスターいてない場合もあります。ご了承ください）。
た、近くの書店でVol.210（6月21日発売）を買いそびれないようにするには、書店へ予約しておくと便利です。

バック・ナンバーのご案内

蝴蝶网 hudie.com

Vol.202
09年12月号 ¥980

■the GazettE巻頭&表紙20ページ大特集■RUKA(ナイトメア)パーソナル特集■将(Alice Nine)パーソナル特集■LM.C■シド■アンティック-珈琲店-■Plastic Tree■仙台貨物■ムック■D'espairsRay■Kagrra,■Kra■ヴィドール■ドレミ團■メガマソ■lynch.

Vol.197
09年7月号 ¥980

■彩冷える巻頭&表紙18ページ大特集■YOMI & 柩(ナイトメア)メンバー内対談■Nao(アリス九號.)パーソナル企画第2弾■アンティック-珈琲店-■Plastic Tree■雅-miyavi-■シド■LM.C■一志(Kagrra,)■Kra■ヴィドール■Mix Speaker's,Inc.■heidi.■ギルガメッシュ

Vol.203
10年1月号 ¥980

■アンティック-珈琲店-巻頭&表紙18ページ大特集■un SCAR NERVE 夢のセッションバンド撮り下ろし特集■柩×Ni〜ya(ナイトメア)■ムック■仙台貨物■Alice Nine■シド■靖乃(Kra)■ヴィドール■ASAGI(D)■KAMIJO(Versailles)■lynch.■ドレミ團

Vol.198
09年8月号 ¥980

■シド巻頭&表紙20ページ大特集■沙我(Alice Nine)■Plastic Tree■X JAPAN■ナイトメア■アンティック-珈琲店-■ヴィドール■ムック■D'espairsRay■Versailles■12012■heidi.■Dolly■boogieman■ギルガメッシュ

Vol.204
10年2月号 ¥980

■ナイトメア巻頭&表紙20ページ特集■Plastic Treeアルバム『ドナドナ』完成■D'espairsRay■ムック■D■景夕(Kra)■ヴィドール■ギルガメッシュ■Sadie■Wizard■heidi.■陰陽座■THE KIDDIE■メガマソ■人格ラヂオ■宇宙戦隊NOIZ■KISAKI

Vol.199
09年9月号 ¥980

■the GazettE巻頭&表紙20ページ大特集■Alice Nine■千葉(仙台貨物)■アンティック-珈琲店-■Psycho le Cému■Plastic Tree■ナイトメア■ムック■Kagrra,■ヴィドール■Kra■D■Sadie■ギルガメッシュ■龍寺(ゾロ)■姫苺■メガマソ■アンド■Versailles

Vol.205
10年3月号 ¥980

■カラス巻頭&表紙20ページ特集■YOMI(ナイトメア)■The LEGENDARY SIX NINE■彩冷える■アンティック-珈琲店-■ミヤ(ムック)■Plastic Tree■LM.C■Alice Nine■ヴィドール■12012■ギルガメッシュ■SuG■Versailles■D■D'espairsRay

Vol.200
09年10月号 ¥980

■ナイトメア巻頭&表紙20ページ大特集■the GazettE■虎(Alice Nine)■有村竜太朗(Plastic Tree)■アンティック-珈琲店-■D'espairsRay■Mix Speaker's,Inc.■仙台貨物■舞(Kra)■彩冷える■摩天楼オペラ■キリト(Angelo)■KISAKI■PENICILLIN■Aoi

Vol.208
年6月号 ¥980

■西川貴教×YOMI(ナイトメア)巻頭&表紙18ページ特集■the GazettE■有村竜太朗■heidi.■Sadie■THE KIDDIE■一志(Kagrra,)■Kra■ギルガメッシュ■ゾロ■SCREW■ドレミ團■ViViD■TOON-FACTORY■boogieman■人格ラヂオ

慧美网 vimee.net

Vol.207
10年5月号 ¥980

■ナイトメア巻頭&表紙20ページ特集■The LEGENDARY SIX NINE■EXTRA-TERRITORIAL対談■カノン(アンティック-珈琲店-)■Plastic Tree■ムック■D■D'espairsRay■Versailles■Kagrra,■MIX Speaker's,Inc.■ドレミ團■ギルガメッシュ

Vol.206
10年4月号 ¥980

■Alice Nine巻頭&表紙12ページ特集■LM.C■The LEGENDARY SIX NINE■ナイトメア■シド■彩冷える■D■ヴィドール■12012■SuG■メガマソ■ドレミ團■ギルガメッシュ■Sadie■THE KIDDIE■ViViD■ゾロ■DuelJewel■HERO■boogieman

Vol.201
09年11月号 ¥980

■ナイトメア巻頭&表紙20ページ大特集■the GazettE■D'espairsRay■アンティック-珈琲店-■仙台貨物■Plastic Tree■D■Alice Nine■ムック■LM.C■結良(Kra)■heidi.■ドレミ團■ヴィドール■SuG■ViViD■ゾロ■少女〜ロリヰタ〜23区■SCREW■シリアル⇔NUMBER

イラスト:AKEMI OHSH

大島暁美のロックンロール日記

hudie.com

4月29日
祝SHOXX20周年！

JCBホールで行われた盛大な記念ライヴ「SHOCK WAVE2010」の司会を、jealkbのdunchくんと一緒にさせていただいた。SHOXX自体もシーンをリードする歴史のある雑誌だけど、SHOCK WAVEも数々のバンドがこのライヴをきっかけに大きく羽ばたいていった由緒正しいイベント。90年代半ばには、渋谷公会堂（現C.C.レモンホール）でGLAYとL'arc～en～Cielが、一緒に出演したこともあったんだよ。その時も司会をさせていただいたことを、なんだか懐かしく思い出した。

午後2時半に会場に入ると、司会チームは一緒の楽屋で、ひと足早く入ってたdunchくんがメイクさんと一緒にケータリングの黒カレーを食べてた。そこへ、ぶらっと逹瑯くんが登場。久しぶりだったので、「逹瑯くん、髪が伸びたね～」といったら、早速、dunchくんに「つっこむとこ、そこ？　ふつー、ヒゲのほうをチェックしないですか？」と、いわれる。ははは、たしかに（笑）。カラスで一緒にバンドをやってるだけに、逹瑯くんとdunchくんの会話は、まるで漫才みたいでかなり笑わせてもらった。てか、逹瑯くん、自分の楽屋にいるよりも、司会部屋にいる方が多かったんじゃないかな。いつの間にか、ムックの楽屋みたいになってたもんね～（笑）。

イベントは、まずオープニングアクトのSCREWから、スタート。先輩だらけのイベントなので、ステージに向かう前に各バンドに挨拶したり、みんないつになく緊張してた。続いて、ヨーロッパ・ツアーから帰ってきたばかりのLM.C。出番前にAijiくんから、アイスランドの火山噴火の影響で、ドイツのフランクフルトで5日間も足止めされてたエピソードを入手。でも、ライン川下りをしたり、突然のお休みを楽しんだといってた。そんな二人に、記念写真を頼んでるdunchくん。なんでも、jealkbを始めた頃からの知り合いなので、メイクしている二人と一緒に写真を撮りたいんだって。出番前は時間がなくて撮れなかったので、ライヴが終わり、2人が袖に引っ込んできた時、「僕、これからちょっと司会をしてきますけど、メイクを落とさないで待っててくださいね」と、必死にお願いしている。それで、MCが終わった瞬間に、LM.Cの楽屋に飛んで行った。その様子がとても面白かったので、次のMCの時に「念願のツー・ショットは、撮れたの？」と聞いてみたら、「mayaくんはわざと意地悪して、メイクを落としちゃってました。Aijiくんは逆にメイク直しをして待っててくれて、mayaくんがシャッターを押してくれました」とのこと。dunchくん、念願のツー・ショットの1/2が撮れて、よかったね（笑）。

次は、Alice Nine。ちょうど出番前のBGMがX JAPANの「X」で、沙我くんやヒロトくんが、楽屋の通路でXジャンプをして盛り上がってる。「これからライヴ！」という時に、気分を盛り上げるのにはぴったりすぎる選曲だ。実は、この日、会場に流れていたBGMは、編集長ぼっくんが自分で編集したヴィジュアル系ベストといえるような曲ばかりだったの。それで、Aliceのマネージャーさんが、「うちの出の前には、『X』を」ってリクエストしたらしい。ん～、正しい選曲（笑）。Alice Nineの「Aジャンプ」も、Xジャンプと同じく、広く浸透するといいよね～！

Aliceの次は、ムックが登場。dunchくんは出番を終えたばかりのヒロトくんと一緒に、楽屋のモニターにへばりつくようにして、彼らのステージを見ていたよ。ムックのライヴが終わって、dunchクンとMCを始めたら、突然、逹瑯くんがステージに乱入してきた。ホントに予定にはなかったのでマジにびっくりしたけど、楽屋の時と同じく、dunchくんと絶妙なトークで会場を沸かせてくれて、楽しかった。

ラストは、Plastic Tree。出番前は、「ライヴが2カ月ぶりなので、ちょっと緊張する～」といってたけど、さすがのステージを見せてくれた。竜太朗くんも、ライヴが終わった後に、突然、トークに出てきて、汗だくなのに客席を盛り上げてくれたよ。ラストは、ぼっくんも加わって、3人で最後の締めのご挨拶。長時間のイベントだったけど、お客さんはとても楽しんでくれたみたいで、よかった、よかった。

ライヴが終わった後は、全出演バンドが参加しての大打ち上げパーティ。音楽業界不況の中、こんなに盛大な打ち上げはめずらしい。ミュージシャンのみなさんも、他のバンドの人と交流したり、遅くまで盛り上がっていたよ。そして、最後はぼっくんに指名されて、締めの音頭をわたしがとることに。振り返ってみれば、創刊号の巻頭特集ZIGGYのインタビューをやらせていただいてからこの号まで、SHOXXに原稿を書かなかったことは一度もない。なにしろ、3号目からは、ずっとこの日記を連載しているからね。20年間、ずっと一つの雑誌に原稿を書き続けてこれたことって、とてもありがたいことだなとあらためて思った。

ぼっくん、SHOXX編集部のみなさま、音楽専科社のみなさま、本当にありがとうございます。そして、こういう節目のイベントにも参加させていただいて、とても嬉しく思います。SHOXX、ばんざ～い！300号、400号をめざして、これからもどんどん邁進してくださいっ!!

5月2日

hideちゃんの十三回忌。12年前と同じく、築地の本願寺で法要が営まれた。あれから、12年。早かったような、長かったような、不思議な感覚だ。亡くなって12年もたっているのに、たくさんのファンの方が集まってくれて、あらためて「すごいアーティストだったんだな」と、痛感。若いファンの方も多くて、hideちゃんの音楽は今も聞き継がれているんだと、暖かい気持ちになる。

少し早めに着いたので、ゆっくり本堂の中を見ながら、しばし感慨に耽る。12年前は、告別式の7日までの6日間、hideちゃんに会うために毎日通ったし、本堂で行われた告別式にも参列しているはずなのに、内装とかまったく覚えていない。まるで初めて足を踏み入れたような感覚で、あの時は、周りを見る余裕なんて、まったくなかったんだなぁ～と、あらためて思った。

家に帰ってから、いろいろhideちゃんについて書いたものを読み返してみる。実際に自分で体験して、自分で書いてるはずなのに、覚えてないことって意外と多いんだなと、ちょっと愕然。そういう意味でも、この日記を書き続けていて、よかったなぁ～。日記に書いてなかったら、忘れちゃってたことがたくさんあ
もの。web版の日記も内容が違うので、この機会に
思って、読み返してみた。←膨大な量なので、一度し
とても読み切れなかったけど（笑）。

いろいろ読んでた中で印象的だったのは、web版
Q&Aコーナーで、読者からの「今までで一番hideち
んを『かわいい』と思ったのはどういう時ですか
という質問に対する答え。「酔っ払ってもうみんな
帰ろうとしているのに、hideちゃんはまだ飲みに行
たがっていて、『俺ってお荷物？　俺って嫌われ者
俺ってバイキンマン？』と駄々をこねたとき。あの
を見たら、『しよーがない、もう一軒行くかぁ』ってな
ちゃうんだよね」と答えていて、その文章を読んだ
間に、その時のhideちゃんの表情とか口調が、目の
に映像でくっきりと浮かんできた。その時のhideち
んは、普段よく着ていた赤いニットと帽子という姿
ちょっとすねた時によくする唇をぷくっと膨らます
情をしていた。超懐かしい～。自分の中で、hideち
んはこんなにも生き生きとしているんだなと再確認
きた気がして、嬉しい瞬間だった。

×月×日

今月は、自分に中で節目となることが二つもあっ
ので、日記はほとんどそのことで終わってしまった
他にもいろいろなことがたくさんあった1カ月だっ
忘れないように、一口メモ（笑）。

☆ヒロトくんの愛犬MOGUたんの撮影。めちゃめち
可愛い！

☆MORRIE率いるCreature Creatureのレコーデ
ングスタジオに行き、TD中の新曲をいち早く聞
せてもらう。hiro作曲のアルバムのリード曲。名曲
素晴らしいアルバムが、完成しそうな予感！

☆最近、ツイトモ（Twitter友達）であるTE
UNDERNEATHが、解散。完全燃焼という言葉
ふさわしい素晴らしいラスト・ライヴだった。

SHOXX創刊20周年記念
SHOCK WAVE2010
4.29 @JCBホール

オムニバスのようなアルバムになったな

“花少年バディーズ”として活動を始めて1年。ミニ・アルバム『Balloon』が6月9日にリリースされる。結成当初から抱いていたという“日常に溶け込める作品”を具現化しながらも、様々な表現を追求したことで、オムニバスのようなジャンルレスの作品に仕上がったという。1周年を迎えた彼らの心境の変化と、今作に賭ける想いを聞いた、久々のインタビュー。

Interview:RIE MAKINO

――花少年バディーズとして活動を始め1周年を迎えてどうですか？

ミネムラ：いやもう走りすぎて……昨日のことのようには思えないよね。

ツブク：長距離を短距離のスピードで走って来た気がする（笑）。活動開始した時の写真を見ると、自分の顔がものすごい若いの（笑）。

――顔つきも変わってきたんですかね。

ツブク：……老けたのかもしれない（笑）。

貘：大袈裟に言えば、1年の半分は東京にいなかったよね？

ミネムラ：日本にいなかったんじゃない？（全員爆笑）

琢磨：どこ行ってたんだよ！（笑）

――忙しい1年だったようですけど、前シングル『乙女桜』がインディーズ週間ランキング1位（総合34位）を獲得したりと、結果に結びついているのは嬉しいですよね！

ミネムラ：ちゃんと地方のファンに会いに行くことの大切さを知ったよね。

広志：うん、ライヴの反応も全然違うし。バディーズになって初めて行ったところでも、あらかじめ音源を聴いてくれてて最初から盛り上がってくれたりしてね。

――そういう中で、バディーズの音楽性や姿勢に変化はありました？

ミネムラ：常にバカなことをやってるネタバンドだと思われてる空気が何となくあったので、前作の「乙女桜」を出す時に、より説得力のあるものを作らないと僕らはネタで終わってしまうと思って。そういう意識の中で作った作品が、（セールスの）数字も含めていろんな人に支持されたのは嬉しいよね。

――なるほど。今作のミニ・アルバム『Balloon』は明るくポップで、肩の力が抜けてる印象でした。

ミネムラ：ああ、それは嬉しいね。元々、良いポップ・アルバムを作りたいなっていうところから始まってて。奥さんが洗濯物を干してる時とか、OLさんが電車通勤してる時とか、学生さんが夜な夜な勉強してる時とかに、BGMとして日常に溶け込める作品を作ろうと。それはバディーズを組んだ時点であったことなんだけど、それをより具体化した感じかな。あと今回は、実験的なことをいっぱいや

――まさに！ 新たな試みや、いろんなジャンルのテイストを取り入れた曲が揃ってますね。

ミネムラ：ツブクがよく言うんだけど、オムニバスのようなアルバムだと。聴いてて飽きないんじゃないかなって。

ツブク：うん。1つのバンドなんだけど、いろんなジャンルのバンドが集まった感じがして。ずーっと流しっぱで聴けるところがオムニバスっぽいなって。

――では新たな試みが見える、印象的な部分を中心に聞いていきたいと思います。まずは、貘くんとツブクくんによる初の共作「スポット」から。

貘：ツブクが原曲を作って来て、僕が歌メロを乗せていったんだけど、2人で〝あでもない、こうでもない〟と言いながら作ったよね。

ツブク：最終的にミネが、右側のギターをいい感じで入れてくれて。

――ワウ・ギターですね？

ツブク：そうそう、あれが入ったことですごい良くなったんだよね。

ミネムラ：曲を聴いた時に、ディスコチックな方向性が見えたので、それならワウとかコンガを入れたらよりオシャレな感じになるかなと思ってやってみたら、すごく綺麗にハマったので。

――新しい作曲の血が加わった感じですけど、また一緒に作ってみようと？

貘：えっ、それをここで言う……？（笑）

ミネムラ：その言葉が全てです！ もう二度と一緒にやりたくないっていう。

貘：違う違う！ それはもう制作中に言ってたもんね？ 〝効率化を見つけ出せたから、また一緒にやろうね〟って。

ツブク：僕はまだOK出してないけどねっ！（全員爆笑）

貘：来週、オマエんちに行くってなってるじゃねーか！

ツブク：来て何すんのかな？って思ってた（全員爆笑）。

――次作も楽しみにしてます！（笑）それから広志くん作詞・作曲の曲「ポケット」も収録されてますね。

広志：これは自分でも、『Balloon』の中で浮いてるんじゃないかなと思うんですけど……。

ミネムラ：浮いてない、沈んでるよ？（全員爆笑）

珍しいジャジーな良い曲ですよ。

広志：ジャズロックっぽい暗めの曲を作りたいなって思って作った曲だね。

――歌詞は、思春期の男の子ならではのリアルな気持ちを描いてますね。

広志：気持ちというか、現象を赤裸々に書いてみた感じだよね（笑）。

ミネムラ：その感覚、女子に分かるかな？ 女の子と初めて手を繋いだ時、チ○○が立ってるっていう？……（全員爆笑）。

琢磨：はっきり言っちゃったよ！（笑）

――広志くんだから書けた曲ですよね。

ミネムラ：まぁそうだよね。俺が書いたらただのエロオヤジだからね（笑）。〝ポケットのオオカミが〟って、俺が言うのと広志が言うのではだいぶ違う（笑）。

貘：学生時代、授業が終わって起立した時、前屈みになっちゃうことってやっぱあったし。そういうのを思い出しながら歌ったら、思い出し笑いじゃないけど、意外と楽しいニュアンスになったなと。

――「NBL」は同期モノとアコギを取り入れたハジけたポップ感ある曲ですね。

琢磨：うん。アコギと同期のバランスに最初悩んだ部分もあるんだけど、歌が栄えるようなプレイを考えてやって、結果うまくハマったなって思う。

――この曲ではツブクくんも歌ってます。

ツブク：男の子と女の子の2人がブログでやり取りしてる歌詞なので、歌も分けたほうがいいよねってなって。もっとラップっぽくするんだったら、たぶんめちゃめちゃうまく出来る自信はあるの。

――そ、そうですか（笑）。

ツブク：でも曲がいちばん映える形を考えたら、ブログを読んでるような口調で歌うのがいいのかなと。リズムに乗りながらだからちょっと苦戦したかな。

――ミネくん的に曲作りでチャレンジしたところは？

ミネムラ：「チューリップ」でモータウンの感じをわざと使ってみたかな、ダサくならないようにね。世の中では使い古されているリズムだけど、僕たち的には使ってなかったので。他の曲に関しても言えることなんだけど、ゼロから無理やり自分たちの音楽を作り上げるって言うよりは、今回はこの世の中にある音楽を吸収して作っていった感じがするんだよね。

良いなって思いました。

ミネムラ：うん、それはいちばん最初に決めた〝ポップ〟というところを忘れずに作っていったから。みんないい歳になってきたので（笑）、音楽をより熟成させていかなければいけないなって思って。

――また、本格的にそのジャンルを[illegible]ちゃうと違った方向に行きますけど……。

ミネムラ：そう、そのさじ加減なんだよね。Jポップのアーティストって、売れてからの音源より、売れる直[illegible]か爆[illegible]した時の音楽のエネルギーってス[illegible]んだよね。そういった音楽、曲のエネルギーを持って来れたらいいなって思って結構参考的に聴いたかな。

――通常盤のラスト「ボンビーマン」では全編、広志くんが歌ってますね。広志くんでシメちゃっていいのかなって心配しちゃったんですけど……（全員爆笑）。

広志：ゴホンゴホン（←咳き込む）。

琢磨：動揺しちゃったよ（笑）。

広志：俺のヴォーカルどうのこうのじゃなくて、〝俺でいいのか⁉〟っていう話だからね（全員爆笑）。

――今のは冗談で（笑）、遊び心があって面白かったです。

広志：ヴォーカル（の話）はいつか来るんじゃないかなって思って、覚悟は決めてたんでっ！（全員爆笑）

ツブク：ただまぁハートは弱かったけどね！（全員爆笑）〝こうしてくれ〟って言われた後、ガクンと声量が下がって。

広志：自分的にはテンションとか下がってるつもりはないんだけど、声に出てたみたいで（苦笑）。

ミネムラ：そういう広志の姿を見てて、すごい勉強になったよね。

――改めて今作は、ファンにとっては新たなバディーズの一面がいろいろ見られて、初めて聴く人には入りやすい作品になったかと思うんですが。

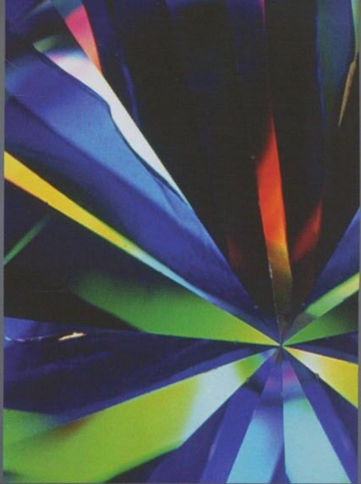
ミネムラ：うん、そう思う。自分たちはコビを売ったつもりはないから、すごく気持ちいいんだよね。

貘：バディーズを結成した時から〝自由な作品作り〟っていうところはブレてなくて、それが今回ミニ・アルバムという形で完成して。オーディエンスに伝えられることもより楽しみになったので、これからさらに全国各地を暴れまくりたい

vmee.net
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

琢磨 Gt



ミネム

貘 Vo

花少年バディーズ

1周年！
ミニ・アルバム『Ballon』完成!!

広志 Dr

ツブ

慧美网
vimee.net

蝴蝶网
hudie.com

12012

“決意”の先の『THE PAIN OF CATASTROPHE』

5人が熱くなれるもの…それをパッケージしたかった

——4月上旬に行なった“SPRING TOUR 2010「TATTOO -the name of decision-」”は、いかがでした？

宮脇：僕的には、すごくいいツアーでした。最近は、自分たちにしか出来ないことというのを強く考えてて。僕もヴォーカリストとして、自分にしか歌えないものや、自分にしか表現できないことを、やっていきたいと思っているんです。そこに関して、納得できるところまでいけたので。手応えを感じると同時に、もっといけるという確信も持てたし。いい形で次に繋げられると思います。

須賀：12012は、新たに目指す方向に向かって走り始めたばかりなので、ここからどんどん磨きをかけていきたいと思っています。個人的には、いい具合にだんだん力が抜けてきたかな…というのがあって。それは、よかったですね。

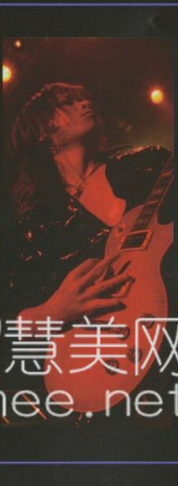
塩谷：今年に入ってから“TATTOO”という名前がついたライヴを2回やって。3月の渋谷WOMBの時は、“これが俺らの決意だ！”ということを提示するライヴだったんですね。今回のツアーは、それを受け入れてくれたみんなが集まってくれた印象があって。今の12012に共感してくれる人たちと、思い切りぶつかり合えたんじゃないかなと思います。毎回お客さんのリアクションがすごくて、熱くさせられました。

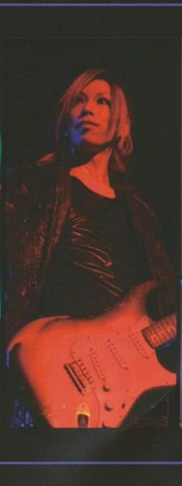
川内：今回は、これといって大きなトラブルもなく、平和に終わりました。いつも、“平和がいちばんだな”と思っているので（笑）。トラブルがなかったことで、今回はプロとしての仕事を見せられたと思います。個人的にもバンド的にも、今日はダメだったという日がなくて。毎回いいライヴが出来ました。

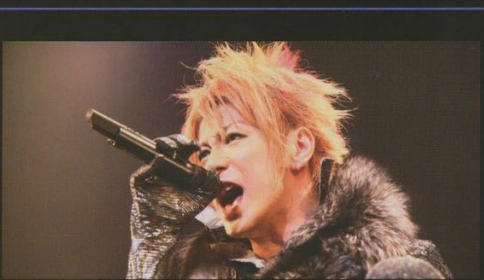
酒井：2010年の一発目として、「TATTOO」をリリースして、そこに込めた決意が伝わるライヴをしないと意味がないなと思いながらツアーに出て。今回は、どのライヴでも、いい形で表現できたと思います。俺らの中でも、“これがライヴだろう”という感触を得られたし。今は、早く次のライヴをしたいです。

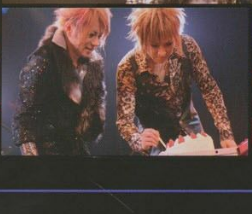
——収穫のあったツアーだったんですね。続いて、5月26日にリリースされるシングルの話をしましょう。

酒井：タイトル曲の「THE PAIN OF CATASTROPHE」は、5人でスタジオ









慧美网
vimee.net

彼らの〝決意〟を封じ込めた前作『TATTOO』を引っ提げての全国ツアーを、4月11日・渋谷AXにて終えた12012。そのツアーを経て、〝ライヴに足りないもの〟を叩き込んだというニュー・シングル『THE PAIN OF CATASTROPHE』が、早くも5月26日にリリースされる。ナチュラルなまでの彼らの想いを封じ込めた今作。12012はますますソリッドにシンプルに突き進んでいく！

Report & Interview:TAKAYUKI MURAKAMI

に入った時に、たまたま僕が持っていたリフを元にして、そこから拡げて完成させました。最初は一直線な感じの曲でしたけど、5人で音を出していくうちに、いろんなアイディアが出てきて。ただ単にアグレッシヴなだけでは終わらない曲になって満足しています。

宮脇：「THE PAIN OF CATASTROPHE」は、曲を聴いた時に爆撃みたいな映像が見えて。その時点で、歌詞やPVといった、全てのイメージが湧いてきました。歌詞に関しては、小さかった頃に祖父から戦争に行った時の話を聞いたことを思い出して。それがテーマになっています。でも、戦争の現場や、実際に戦ってる人たちの話ではなくて。こんなことがあったよ…という話を聞いた時に、自分が感じた印象を書きました。

川内：この曲のドラムは、変わった録り方をしてて。上半身と下半身を、別々に録ったんです。スネアやタムを録る時はキック（バスドラ）を踏まないでおいて、キックを録る時はキックだけを踏むという。そうやって、ドラム同士の音が被らない音に仕上げました。結果的に、ドラムがすごくタイトになったし、他の楽器もよく聴こえる形になって。イレギュラーなパターンですけど、トライして正解だったと思っています。

塩谷：ドラムの分離がよくなったことで、よりベースが抜けて聴こえるようになって。自由度が上がった感じがして、ベースはいいところに落とし込めたと思います。あまり歌モノっぽくしたくなかったので、最後のサビはベースだけ3連符で攻めたりしてて。全体的に、上手くまとめられた印象がありますね。

須賀：テンポが速くて、リズム隊が〝バシッ！〟ときているので、ギターは1音1音の発音をしっかりさせた弾き方をする必要があって。そこを強く意識しました。かなり荒々しいギターですけど、実はすごくシビアに弾いているんです。シビアにいきつつ、〝グワシャーッ！〟といきたかったので（笑）。音作りには、相当こだわりました。

酒井：サビまでは怒濤のリフ攻めなので、もう須賀兄さんに、お任せして（笑）。歌詞が日本語に変わる辺りから、ちょっとシャシャってみようかなと（笑）。ガラッと変わる感じを出したかったので、そこからコード感を活かしてサウンドを拡げるようにして。上手くいったんじゃないかなと思っています。

宮脇：歌は、いろんなことをやっていますね。パートによって表情が全く違ってて。でも、それは意識したわけではなくて。曲の世界に入って自然と歌ったら、こうなりました。最近の歌録りは、ライヴ乗りで1本通して歌うようにしているんですけど、さすがにエンジニアから、この曲はパートごとに録りたいという要望が出て。そういう中でも、1本で通して歌っているような勢いが感じられる歌ということにこだわりました。

――切なさと力強さを併せ持った「影綴り」と、ラグジュアリーな「CLOSET GARDEN」も要チェックです。

塩谷：「影綴り」は、酒井くんが得意としているエモーショナルな曲を自分なりにやってみたら、どういうものが出来るかなと思って作りました。僕が作ったデモのイメージを保ったまま、みんながアレンジしてくれて。結果的に、いわゆる〝酒井節〟みたいなものとは、また違ったテイストになりましたね。

川内：この曲は、始まり方からすると、バラードが来るのかな…と思うじゃないですか。でも、途中から全員が入るところは、バラードにしたくないという意志の塊りです（笑）。みんなでプリプロをしてる時に、ガッツリそこにドラムを入れてやった思い出があります（笑）。この曲をバラード・アレンジにすると、もう完成形が見えてしまったんですよね。それは面白くないなと思って、見えなくしてやりました（笑）。「CLOSET GARDEN」は、宮脇さんに歌詞のイメージを聞いたら、〝CLOSET GARDEN＝秘密の箱庭〟というキーワードが出てきて。それを聞いた瞬間に、ドラムは変態にしようと思って（笑）。気がヘンな感じを目指したんですけど、本人の気がヘンなのでスンナリいきました（笑）。

須賀：「CLOSET GARDEN」も、スタジオでセッションしながら作った曲です。俺が、その場で思いついて弾いたリフがキッカケになって、ツルツルッと曲の形になったんです。でも、「影綴り」と同じように、〝これ、前にもやったよね〟みたいなものは作りたくなかったので。この曲もみんなのアイディアを活かして、独自のところに落とし込みました。

酒井：「影綴り」のギターは、久々に100点です（笑）。冒頭のアルペジオ、Aメロのカッティング、サビに入ってまたアルペジオ。で、ギター・ソロ…みたいな（笑）。〝この美しい流れ、分かるかな？〟という（笑）。「CLOSET GARDEN」は、テーマとして〝禁断の愛〟という言葉を告げられていたので。Aメロで、禁断の愛を表現しました（笑）。

宮脇：「影綴り」の歌詞は、もう書いてあるままというか。歌詞を読めば、伝えたいことは分かってもらえると思います。「CLOSET GARDEN」は、禁断の愛の歌です。実は、別に同じテーマの曲があって（笑）。この曲の歌詞は、それをそのまま持ってきました。最初に〝CLOSET GARDEN〟という言葉が浮かんできたんですけど、陽の目を浴びられないようなニュアンスを感じて、〝アッ！〟と思って。その時に聴いてたのが、その禁断の愛の曲だったんです（笑）。その歌詞がそのまま入るんじゃないかなと思って歌ってみたら、いけると（笑）。こんなこともあるんやなと思いました（笑）。歌に関しては、もうキッチリしたものをパッケージするのはやめようと思ってて。僕らは、よく自分たちのことをライヴバンドだと言ってるじゃないですか。〝じゃあ、それが伝わるような音源にしろよ〟と思って。そういう風に観点が変わってきているので、歌にもそれが出ていますよね。

――情熱的な歌に圧倒されました。「THE PAIN OF CATASTROPHE」は、個性的かつ完成度の高い曲が顔を揃えた作品になりましたね。

宮脇：今回は、シングルを作る意識はなくて。ライヴで足りないものを叩き込んでやろうという感じで曲を作って、それをシングルという形にパッケージしました。今は、何が聴きやすくて、何が難しくて、何が分かりやすいかといったようなことは、どうでもいいと思ってて。「THE PAIN OF CATASTROPHE」は、5人がカッコいいと思えて、ちゃんと熱くなれるものを…ということだけを考えて作った作品です。

SPRING TOUR 2010 TATTOO-THE NAME OF DECISION-
2010.4.11 SHIBUYA-AX

12012が2010年の始まりを飾る音源としてリリースした「TATTOO」は、〝唯一無二の存在を目指す〟という彼らの決意が込められた作品だった。「TATTOO」をリリースした12012のライヴの在り方も変わる予感を抱いたが、思ったとおり、今回のライヴで12012は新たな顔を見せてくれた。

ライヴはヘヴィな「vomit」で幕を開け、ハードにドライヴする「crazy the [illegible]」を経て、躍動感に溢れた「breaking [illegible] modern society」へ続く構成か[illegible]ト。ライヴが始まると同時にメンバー全員が一気にヴォルテージをあげて、緊迫感を保って突き進むステージは実に観応えがある。荒々しさと華麗さを併せ持った12012ならではのサウンドとパフォーマンスに、場内はオープニングから熱い盛り上がりを見せた。

〝今日は、全員で限界を超えようと思っています。1人1人の心の中にある、わだかまりとかを吐き出して、スッキリして帰ってください〟という宮脇のMCを挟んだ後は、パワフル＆セクシーな「罠」や、シアトリカルなサビ・パートを活かした「icy ~cold city~」、ラグジュアリィな「TATTOO」、エモーショナルなスロー・チューンの「deep forest」といったナンバーをプレイ。エネルギーの放射と集積を繰り返して世界観を深めていく流れは見事なもので、様々な感情に揺さぶりをかけられる中盤となっていた。

ファスト・チューンの「heavenly」から始まったライヴ後半では、「[6]party」や「浸色」「薄紅と雨」といったハード・チューンを相次いで演奏。勢いと安定感を併せ持ったサウンドは心地好さに満ちていたし、〝伝えたい！〟という想いを全面に出した宮脇の歌は圧巻だった。〝綺麗に歌う〟という姿勢とは対極のアプローチにもかかわらず、感情の垂れ流しになっていなかったのはさすがと言える。彼の全身全霊を込めたヴォーカルとパフォーマンスに、目と耳を奪われた。

2009年に築きあげたパワフル＆エッジィなサウンドを引き継ぎつつ、エモーションに一層の磨きを掛けたライヴを披露した12012。この方向性を突き詰めることで、今後の彼らは独自のドラマ性を持ったバンドとなるに違いない。

蝴蝶网 hudie.com

vimee.net

蝴蝶网
hudie.com

慧美网
vimee.net

いちばん良い形の"ソロ"作品を…

これまで蜉蝣、the studsといったバンドの中で、その特異な存在感を示して来た大佑が、"大佑と黒の隠者達"として活動を開始した。すでに4月6日に渋谷O-WESTで初ワンマン・ライヴを終え、6月2日には1stシングル『翻弄』をリリース。6月11日には、渋谷O-EASTでのワンマンも決まっていて、これからの活動が注目される。彼は、新しくどんな歌を聴かせてくれるのだろうか。まずはこのCDで、その姿の一端に触れてみたい。

Interview:MIYUKI MURAYAMA

──"大佑と黒の隠者達"は、大佑さんのソロ活動ということになるんですか。

「はい。ソロなんですけど、サウンドとしてはバンド・スタイルで…ということです。これが、自分のソロのいちばん良い形かなと思ったし、ステージにバンドとかがいなくて自分だけになっちゃうと違うなと思ったので。生の演奏で、でもワイワイした感じではなく、じとっとひとつの世界観を作るためには、この形かなと思いました」

──新たにバンドを作ろうということは、考えてなかったんですか。

「それはないですね。何でも全部自分で決める、そういう形がよかったんです。バンドになってしまうと、ひとりの考えよりもっと良いものも出来るんですけど、やっぱり頼っちゃうところもあるので、それだと、今のこのタイミングを上手に使えないなと。何でもやっていきたいと思ったし、やったことのないことをやろうと思いましたね」

──ソロとバンドでは、活動に向かう気持ちも違います?

「初ライヴの前の日、寝られなかったですね。あれはちゃんとあったかな…とか、いろいろ気になってしまいました。ソワソワしましたね。今まで味わったことのない感じでした」

──写真や名前もそうですが、イメージするカラーとしては、"黒"?

「陰と言うか、負の感じがこういう色を選ばせたんでしょうね。ワイワイするのが昔から苦手なんです」

──本来の性格が出ていたり?

「出てますね。ひがみもあると思うんですけど、嫉妬とか劣等感とか、被害妄想とかがありますね」

──音楽的な部分では、こういうものをやりたいという考えはありましたか。

「音楽的には、ものすごくフラットな状態で、こういうのをやろうというのはあんまりないですね。ただ、どんなに明るい曲でも、自分が歌詞を書いてしまうとネジ曲がると言うか。そういうところはあるんですよ。言葉で持って行く自信があるんで、音楽性には特にこだわりはないですね。自分がやるということが、いちばんのこだわりです」

──そして、初音源の『翻弄』ですが、"大佑と黒の隠者達"という名前のイメージからは意外なタイトル曲ですよね。

「いい意味で裏切るみたいな感じですよね。こういうスタイルをしていて、こういう曲を歌ってる切なさ、って言うんですかね。こんなに爽やかな感じの曲を歌ってるのに、どうして（こんな格好）…?っていう」

本来の意味での"音楽"を作りたい

──そのズレみたいなものは狙い?

「狙いでもあり、この曲に助けられ、そして裏切られ、大人の事情的なところもありつつ（苦笑）。「翻弄」だけ聴いた時に、爽やかなのかなって思って写真とかライヴを見て、ガッカリしてほしいですね（笑）」

──それを敢えて1曲目に持って来たと。

「メロディとかもすごくいいと思うんで、普通に音楽家としては名刺代わりに出したいものですね」

──きちんと歌を聴かせると言うか、歌いたいという気持ちがあるんですね。

「それはありますね」

──歌い方としても、優しかったり柔らかかったりしているのも新鮮でした。

「やっぱり歌は曲に合わせてというのが、本来の音楽のあり方ですよね。昔から言ってるんですけど、"商品"を作るんじゃなく、"作品"を作る意識で、曲に忠実にやってます」

──アコースティック・ギターとかストリングスを入れたサウンドになっているのは、大佑さんのアイディア?

「変にロックという感じではなく、バンドでは出来なかったようなことをしたかったんです。バンドだと、ヴァイオリンの音の大きさを上げちゃうとギターが聴こえなくなるから出来ない、みたいなのがあるから、そうするとどんどんバンド・サウンドになっていくと思うんですよ。だけど、今の形であればヴァイオリンを出すことも出来るし、その辺は自由ですよね。かと言って、別に歌謡曲になろうともしてないですけど」

──この曲にはそのサウンドが合う、ということなんですね。

「こっちのほうが本来の意味で、"音楽"なんじゃないかと思います。ただ歌うだけじゃなく、世界観も含めての表現だし、それでガラッと聴こえ方が違うと思うんですよ。ただ熱いとか激しいとかじゃなく、爽やかっていうのでもなく、どっかに哀しい感じがあったり、引き込まれたりして、最終的に感動とか、そういうのに繋げられればと思いますね。ただやってますっていうロック・スタイルではなくて、作り込んだ感じでやりたいんです」

──そうなると、レコーディングも今までと違うところがありましたか。

「バンドの時は、やっぱり自分の声のいい部分とかを出したいじゃないですか。でも今回は、その曲の世界観に合えば別に自分の声のいい部分じゃなくても出してますね。逆に、いい部分を出してても歪みをかけてしまうとか。だから全部、曲に合えば、ということなんですね。頭の中に指揮者みたいなのがいたとして、自分もそのオーケストラの中のひとりなんです」

──でも、こんなに爽やかな曲なのに、"君"との別れを描いた哀しい歌詞を乗せているんですよね。

「ざっくり言うと、失恋ですね（苦笑）。Bメロで、笑顔が殻の中に閉じ込められてるっていう表現が出て来ますけど、二人とも笑顔がないわけですよ。ミックスの時に、いちばん最後の1行《僕は君に笑顔で手を振った》で自分が震えましたね。あ、最後笑えたんだって」

──生々しいですけど、歌詞としては綺麗な物語として描かれています。

「変にリアルに出すと、逆に伝わんないのかなって思ったんです。ちょっと広がりを持たせたほうが、聴いてる人が自分に当てはめやすいかなと。曲の世界観と、作品としてというところを意識しましたね」

──そんな綺麗な印象が、カップリングの「ザッヘル」でガラッと変わって。このタイトルはマゾッホの名前ですが、テーマはマゾヒズム?

「そういうことを考えながらギター弾いて作ったんで。だから全裸です」

──全裸…（苦笑）。勢いのある、激しい部分は、大佑さんらしくもあって。

「両極端な感じですよね。今回の作品を1枚聴いただけだと、全ての人が、何がやりたいか分からないって言いたくなるような」

──キャラ的にはSのイメージなんですけど、この曲はMの歌ですよね。

「そこが切ないですよね。今回の自分のキャラで（Sのように）鞭でビシッとかやってたら、なるほどって感じじゃないですか。でも実は…みたいな（苦笑）。これもまた対極な感じです」

──こういう性質に生まれ持った哀しさが出てるんでしょうか（苦笑）。

「でも、外ではこういう（写真のような）顔をしてるという」

──これはレコーディングでも勢いで歌ったんですか。

「勢いでしたね。すごく早かったです。早かったんですけど、その後2日間、頭がすごい痛かったです。頭が痛くて、目を開けられないんですよ」

──それぐらいの勢いで叫んだと?

「そうですね。最後にワーッって言った時に、一瞬目の前が真っ白になりました」

──この2曲では"大佑と黒の隠者達"の全貌が、まだまだ判断がつかない感じですね。

「ライヴ1本でひとつのショーにしたいので、その中の2曲だけ抜いてしまうとこうなってしまうんです。それで逆に想像させられればと思います。映画で、仲のいい二人が映った直後に、いきなり殺してたみたいになっちゃうと、何でだろう?ってなるじゃないですか。そういう感じで、その後にライヴとかアルバムで全体像が分かるっていう意味では、シングルの役割としてはありかなと。この1枚じゃ、別に分かんないよと」

──ライヴに関しては、ひとつのショーとして、いわゆるロック・バンドのライヴとはまた違うものになってるんですか。

「突き抜ける感じではなく、イヤな気分になって終わる感じです。ハッピーエンドにはしたくないんですよね。あぁ、何か気持ち悪いって。そこで終わりたいんです」

──6月11日には、渋谷O-EASTでワンマン・ライヴ「恍惚は雨と共に…」が決まっています。このタイトルの意味は?

「6月11日に、見ている人たちに恍惚が訪れるっていう感じですかね。もう、自分、自分っていう感じなんでね。自分の色が濃すぎるんです」

──自分が好きなんですか。

「そうでしょうね。でも、実際どうなんですかね、分かんないですね」

──自分が好きな部分と、自分に対して劣等感がある部分が混ざって複雑になってるような。

「ごちゃ混ぜですね」

──まだまだ全貌がつかみ切れないので、ライヴで確かめたいです。

「ぜひライヴに来てほしいですね」

hudie.com
vimee.net

9GOATS BLACK OUT + cocklobin

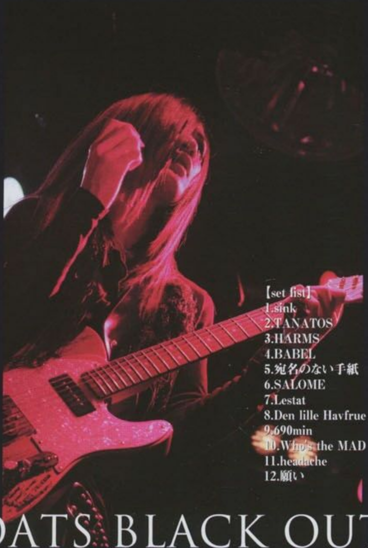
coupling tour

【deep sleepers】

2010.4.20 OSAKA MUSE

互いに「死」というテーマを掲げた作品を引っ提げて、9GOATS BLACK OUTとcocklobinが、カップリング・ツアー『deep sleepers』を行なった。「死」の先に作り上げた表現とは、一体どのようなものなのか。4月20日・OSAKA MUSEでの模様をご覧いただきたい。そこにあるのは、「死」を通して彼らが伝えようとする、熱い「生」と「愛」のメッセージだった。

Photography:REIKO ARAKAWA(ZOISite)
Report:MIYUKI MURAYAMA



【set list】
1.sink
2.TANATOS
3.HARMS
4.BABEL
5.宛名のない手紙
6.SALOME
7.Lestat
8.Den lille Havfrue
9.690min
10.Who's the MAD
11.headache
12.願い

9GOATS BLACK OUT

蝴蝶网 hudie.com
慧美网 vimee.net

蝴蝶网
hudie.com

【set list】
1.死と再生
2.the dark
3.WELCOME
4.GAMUT
5.生まれ落ちた世界
6.chloe
7.cock
8.DELIC
9.black

cocklobin

session

『死』の先に見た、『生』へのメッセージ

青白い照明とスモークの中、まず登場したのはcocklobin。繊細なギターの音色から、最新アルバムのタイトル曲「死と再生」が始まると、音が重なり合い、そこにniguの歌声が絡んで、重層的なサウンドの世界が広がる。それは重苦しくも美しく、会場全体に広がって行く。ダークな雰囲気を漂わせつつも、あくまでメロディはキャッチーで、朗々と歌い上げるヴォーカルの声は、会場隅々まで届き、天井高く昇っていくよう。かと思えば、「WELCOME」では、拳を振り上げる激しいノリがフロアに広がり、そのノリを体で感じて楽しむ熱いライヴが展開された。続く「GAMUT」で、さらに熱気は増し、パワーで押すようなエネルギッシュなステージは意外な印象を受けるほど。

さらに意外だったのは、niguのMC。歌っている時の雰囲気とは全く違う、人の良さそうな空気さえ漂わせ、笑いを誘う。けれども、そこから『死と再生』収録の「生まれ落ちた世界」が始まると、また雰囲気がガラッと変える。同期や各々の楽器のサウンドを活かしたアレンジで、荒涼とした世界が目の前に広がった。激しくも美しい、熱く冷たい「chloe」から、ますます盛り上がる会場。思いのたけを歌詞に封じ込め、〝死〟というテーマを通して、『死と再生』で彼らが伝えたかったのは、生きているということ。そんなことを語ったMCの後は、〝生きていること〟を身体で感じるような熱いサウンドと激しいノリ。決して明るく〝生〟を謳歌するというわけではないけれども、確かに〝生〟の息吹があったように思う。また、そんな小難しいことを考えなくても、熱いサウンドや構築されたアレンジや構成など、音楽を素直に楽しめる要素も多く、その魅力の一端を感じられるライヴとなっていた。

おなじみのSEから、歓声を受けてメンバーが姿を現す。9GOATS BLACK OUTの登場だ。「sink」で静かに幕を開けると、そのまま「TANATOS」へ。重々しくはあっても、それは信念や想いの強さを表すもの。決して重苦しい、辛い印象ではない。浮遊感漂うコーラスとコントラストを描きながら、白い衣装姿が清らかな美しさを放つryoが叫んだ「HARMS」から、「BABEL」へと続けば、感情の昂ぶりがそのまま伝わって来る。そんなエモーショナルな印象とは裏腹に、プレイはあくまでタイト。全く無駄はない。

沈黙の中、「宛名のない手紙」が語りかけるように、そしてファルセットを交えて歌い上げられる。そこへ真っ赤に血塗られて始まったのは、「SALOME」。生々しい感情を露わにして、罵るように訴えかけるryo。「Lestat」では、まるで人ではない者と化したかのように、変化するサウンドに合わせて巧みに表情を変えていく。さらにバンド全体はしっかりとひとつの表現に向かう。その方向性の確かさが、彼らの表現の純度を高めているのだろう。

予定外のMCを挟みつつも場の空気が壊れることはなく、熱いバラード「Den Lille Havfrue」。清浄な世界に、切ない想いがとうとうと歌い上げられる。大きな拍手で締めくくられた後は、ガラッと一転、大きく空気が動き出す。体にどっしりと響いて来るサウンドからは、逞しささえ感じられ、utaとhatiの二人もダイナミックな動きで、ステージを彩る。目まぐるしくスピードを上げていくと、ステージ上もフロアも狂ったような騒ぎっぷり。無我夢中になって音に酔いしれている。熱いロックバンドのライヴらしい光景が広がっていた。

〝ありがとう!〟と叫ぶryoは、心からの笑顔を浮かべ、表情を輝かせて楽しんでいる。最後に贈られたのは、「願い」。大切なものの存在を考えて聴いてほしいと告げたryoの言葉には、大切な存在を失って、アルバム『TANATOS』を作るに至ったという、深い想いが込められていた。そうして始まった歌には、死を超える愛という存在、その貴さが高らかに歌い(謳い)上げられていた。静かに光が降り注ぐように、音が、声が、会場に広がって、〝生〟を持つ一人ひとりの心に浸み込んでいく。温かい拍手に包まれて、ライヴは終了。

その後、9GOATS BLACK OUTの楽器陣とniguによるセッションで、cocklobinの「chloe」をプレイ。ryoも加わって、たくさんの突き上げられる拳と共に熱い一夜を締め括った。ステージに溢れていたのは、彼らのイメージには似つかわしくないほどの満面の笑顔。生きることの素晴らしさ、命の貴さを彼らは伝え、彼ら自身がステージの上で生を謳歌している姿。一見、暗く重苦しい2バンドでありながら、彼らは生きることの熱さを何よりも強く感じていたのだ。

慧美网
vimee.net

蝴蝶网
hudie.com

Interview : RIE MAKINO

シーンをカクセイする、メジャー・デビュー作完成!!

NoGoD

“キープメタル”しに行くんです!?

6月9日にリリースされるシングル『カクセイ』にて、ついにメジャー・デビューを果たすNoGoD。作品から受けるバンドのイメージを、新鮮にも意外にも感じられるように、バンドの姿勢を見直した部分もあったという彼ら。充実の4曲が収録された今作について、“キープメタル”精神炸裂でお届けします…!?

――メジャー・デビューおめでとうございます！ どんな心境ですか？

団長：まぁ素直に嬉しいですよ。ただ、何て言うんですかね？ 〝明日から億万長者だ！〟みたいな、大きく何かが変わるっていうイメージも掴めてなくて。

Kyrie：〝億万長者〟のイメージって……（全員爆笑）。

団長：まぁ今まで通り、良いものを作っていこうっていう感じですよ。

Kyrie：単純に楽しみですね。経験したことないんで、どうなるのかなって。

Shinno：1つのターニングポイントと捉えて、まぁ頑張ろうかなっていうところですかね。

――デビュー・シングル『カクセイ』は、NoGoDの王道的な曲調に、全員の見せ場があったりと、NoGoDらしさが炸裂してますね。

団長：メジャー・デビュー・シングルとして恥ずかしくないもの……〝NoGoDってこういうバンドだったっけ？〟って昔から知っている人に思われるのはシャクだし、かと言って新しい人に〝このもイヤだし。〝NoGoDってこういうバンドなんだ！〟って胸を張って思っていただける曲にしなければならないなと。

Kyrie：〝胸を張って思っていただける〟？（笑）

団長：どっち目線か分かんないね！（全員爆笑）決して俺たちはコビを売るためにメジャー・デビューしたわけじゃない。〝キープメタル〟しに行ったんだぞと（笑）。

――新しいスタッフが増えたことで、様々な意見があったと思うんですけど？

Shinno：それはプラスになったよね、〝そういう見方もあるんだな〟って。

華凜：うん、いろんなバンドさんを見てきた人がそう言うんだから…みたいな。やっぱりアレンジやフレーズ作りの時、自分たちのクセって出るんですよね。そこから脱して新しいところに行くにも、客観的な意見はありがたいですよね。

Kyrie：プラスになる意見だとか、それこそヘコまされるような意見もありましたけど、それら含めて1コの経験に

蝴蝶网
shudie.com

Kyrie(Gt)
華凛(Ba)
団長(Vo)
K(Dr)
Shinno(Gt)

ル〟っていうことですね（全員爆笑）。

K：今回、スネアの音にすごいこだわりました、Kyrieが（笑）。〝とにかくスネアの音を良くしたい〟と言ってて。

Kyrie：ドラムフェチなんで（笑）。より自分たちが求めてる音になるには？って思った時に、とりあえずスネアの音を強化することだろうと思って。

K：でも、巨匠（Kyrie）とはちょっと趣味が違ってて。

Kyrie：フェチズムがね（笑）。

Shinno：今回ギターの音決めにもすごい時間かけたよね？

Kyrie：〝今出してる音は本当にいい音なのか？〟っていう話になって。ギター単体ではすごくいい音だけど、オケとの馴染みが悪いとか……エンジニアを含めてすごく話をしましたね。

――音作りに対して、今まで以上に追求したと。

Shinno：今まではみんな直感でやってたと思うんですよ。一度音を作った後、さらに冷静に考えたんだよね、〝本当にこれでいいのか？〟って。歌に関しても、口出しまくられて、団長もハマってたよね（笑）。巨匠からすごい言われてたじゃん、〝そこのニュアンスが違う〟って。

団長：歌のジャッジもさらに厳しくなりましたね。ただ、求められるものに対しての返しは早くなったかなと。〝ロニー・ジェイムズ・ディオみたいに歌ってくれ〟とか、〝ロブ・ゾンビみたいに歌ってくれ〟って言われたら、〝こんな感じですか？〟って、レスポンスは早くなりました。出来てはないんですけど（全員爆笑）。

Shinno：とりあえず宿題やってきたけど、答えは間違ってる、みたいな（笑）。

団長：やってきたことは認めてほしい、みたいな（笑）。

――歌詞は、今のメール社会に対する言葉の大切さをメッセージしてます？

団長：それも入ってます。いろいろ含めているんですけど、まぁわりと分かりやすく書いたつもりですね。

――歌詞を説明したがらないのはデビュー後も変わらないんですね（笑）。

団長：ええ、ハズかしい……（照笑）。

Shinno：でも、タイトルは言えるようになったよね？　前は、タイトルもゴニョゴニョ言ってたから。あと、歌詞もみんなに送るようになったしね。今まではCDが出来てから歌詞カード見て〝そうか〟っていう感じだったから（笑）。

団長：（ディレクターに）やれって言われたんで……（苦笑）。でもまぁより良いものを作るにはメンバーの意見もいるかなと。でもハズいですけどね～（照笑）。歌は、やっぱりメッセージソングであってほしいので、歌詞をいかに聴かせるかっていうところはすごく意識しましたね。

――2曲目「ワンダーワールド」はスラップ・ベースが印象的なポップ・チューンですけど、原曲は華凛ちゃんですか？

華凛：はい、僕です。団長に〝全部スラップの曲が欲しい〟と言われて作った中の1曲ですね、

K：今のとこ、華凛ちゃんの曲の中でいちばん好きです。最高です！

――歌詞は、〝ワンダーワールド〟と〝NoGoD〟をかけてるんですか？

団長：歌詞は基本的に皮肉ですね。パッと見、かわいらしい雰囲気ですけど、ものすごい怖いと思います。かわいい曲に怖い歌詞っていうのが好きなんですよ。あまのじゃくな人間なので。こう楽器が主張してる曲って、メロディを乗せるのがすごい難しくて。今回のシングル4曲の中でいちばんツラかったですね。

――そんな苦労が見えないくらいハマってますけど。

団長：そこに行くまでにものすごい苦労がありました。イントロからベースがバチバチ、インパクトあるから、サビでまた違ったインパクトを与えないといけない。どうサビを立たせるか、何パターンも試しましたね。

――3曲目の「月のタクト」は歌とエレアコのみの曲で、NoGoDにとって新しい世界観ですね。

団長：新しいっていうか、恥ずかしめしかないですよ。

――歌が大フィーチャーされてますすもんね（笑）。普通なら聴かせるバラードがきそうなところ、こういう曲をやろうと思ったのは？

Kyrie：このシングルのそもそものコンセプトの話になるんですけど。とりあえず振り切った作品にしたかったんですよ。俺らが持ってる音楽の振り幅を最大限に活かそうと。それでバラード系を1曲入れようと思った時に、ちょっと幅が広がったくらいじゃ分かんないから、これくらい振り切った感じがいいかなって。モダンジャズのスタンダードみたいなものをモチーフにして作ったんですよ。

団長：歌はもう……うんざりですね！（苦笑）レコーディングは終始ブルーでした。でもジャズだからそれくらいの気持ちのほうがいいのかなって。

Shinno：ジャズに失礼だろ！　ブルーな気持ちでやってねーぞ！（笑）

団長：一歌い手として挑戦するのもいいかなと思って。でもキツかった～（苦笑）。

――通常盤の4曲目「敬虔」はメタルな曲で、これぞNoGoDだなと。

Kyrie：これでしたか、俺ら（全員爆笑）。

――やっぱりこういうメタルの曲が1曲入ってないとなっていう（笑）。

団長：おぉ～いいですね～。

Shinno：（Kyrieに向かって）全国のキッズに向けてひと言！（笑）

団長：ここであのひと言を言ってくれよ。

Kyrie：キープメタルです！（全員爆笑）

（笑）

――この曲はライヴが観モノですね！

団長：イタいとこつきますねぇ（苦笑）。

K：頑張るしかない。スタミナつけなきゃ（笑）。

――1曲でものすごく体力消耗しそうですからね（笑）。

団長：僕、メタルってそんなに好きじゃないんですよね～（笑）。歌謡曲になってないと俺は聴く気がしないので、いかに歌メロで歌謡曲にするかっていうところに集中しました。歌詞に関しては、昔の曲のリバイバルというか。1stミニ・アルバム（『天罰円盤』）のシークレットトラックに「祈祷」という曲がありまして。歌詞が〝祈りなさい〟しかなかったんで、何に対して祈りなさいなのか、突き詰めて書きましたね。

――改めて、NoGoDのデビュー作に相応しい、面白い1枚になりましたね！

団長：雑誌を読んでくださってる方が1人2枚くらい買ってくださったらチャートでも良いとこまで行くかもしれないんで、ぜひとも、人助けだと思って買っていただければ幸いでございます。ただ、写真を見てガッカリする可能性はありますけどね、それはご了承ください！

慧美网
vimee.net

最新シングル『兇』リリース!!

点回帰!!
れがアンドの持つ世界観なんだ。

ドの最新作『兇』(5月26日リリース)は、
かまさかの展開に驚かされる2曲が収録されている。
ションを重ねる毎に強靭になっていくバンド像、
がこの先どうなっていくのか、是非ともその目で確かめていただきたい。
は6月、初の五大都市単独公演巡業任務「地獄轟」に集合すべし。
には、次なるミッションの内容も発表されるとのことなので、見逃すなかれ!
view : ERI MIZUTANI

さは陰を隠し 偽りの影を映す

hudie.com

狂暴さ汚さやを出してきたね。

キリ：まさに、俺たちの狙いとしては、そこだったんですよ！

けん：やっぱ、アンドってライヴバンドなんですよ。だから、今回、暴れ曲をリードにしてみたんです。それにより、バンドの原点を思い出すことができました。

キリ：俺は、この曲をけんが持ってきたときから良いなとは思っていたんですけど、まさかこれがメインになるとは思っていなかったんですよね。3分にも満たないぐらい短かったし。でも、逆に、これをメインに持ってきたらみんな驚くんじゃないかなって。

——私自身、最近のアンドの傾向からすると、メロディ重視の曲を出してくると考えていたし。

キリ：自分たちらしさを出すためには、スタンダードなことをするのは面白くないと思ったんです。なので、今までのアンドの流れに逆らうかのようなことを、敢えてしてみたんですよね。でも、俺としては、このタイミングだからこそ、こういった曲が出せたのかなと思うんです。アルバムリリースやライヴを通して感じたことや見えたこと、それがこの作品に集約されているのではないかなと。

——逆を言うと、アルバム『I-&-I』のリリースがなかったら、ここに行き着くこともなかった?

キリ：かもしれません。アンドって、結成した当初は、俺が作る曲が大半を占めていたんですよ。でも、今では、他のメンバーが作る曲がだいぶ増えてきた。それって、バンドにとってすごく大きなことだと思うんです。アンドは俺だけの力じゃ決して成り立たないし。だから、今回の作品は、けんのセンスがなかったら絶対に生まれていないと思うんです。

けん：いつになく褒めるねぇ〜。

——（笑）。ほんと、みんなの力がうまく作用した結果だよね。だから、「兇」は音源にもかかわらず、ここまでのライヴ感が出たのだと思うし。

鈴音：確かに、自分としても、レコーディングという感覚では録っていなかったですね。それは、デモを聴いたときからそうしようと思っていたし。だから、特に難しく考えて録っていないんですよ。

——これ、ドラマーがしっかりしてなかったら、ずいぶんと薄っぺらい曲になってしまうよね。

鈴音：そうですね。まぁ、そういう意味では難しい曲なのかもしれないけど、そこは気にせず、勢いや激しさが出せたと思うんで良かったです。

——でもさ、これ以上、曲が長かったら倒れていたんじゃない?

鈴音：そうかも（笑）。でも、それはみんなに言えることだよね。

PECO：（笑）。俺は、今回のレコーディング、初めて、重たいなって思える音で録っていったんですよ。それが思っていたよりも素直にできたのが良かったかなと思います。

——PECOさんのキャラ的なものもあるのかもしれないけど、今までは、綺麗目な音担当って感じがしたけれど、この曲でそれを一気に覆してきたなって。

PECO：おー、そうですか。やっぱり、曲でバンドの原点を出してきた以上、自分としても音を変えていかないといけないって思ったんですよね。なので、原点を思いだしつつ、気持ちの良い音を作っていったんです。それだけに、すごく楽しんで弾くことができましたね。

キリ：今回、初めての場所でレコーディングしたんですよ。そこは、いっぺんに2人録れるところだったんですね。それで、ギターも一緒に録ることができて。でも、ギターの録りがどうこうというよりは、俺が録っているときに、ブースの外にいるみんなが話しているのが気になって仕方なくて。

——[illegible]俺の悪口言っていたらどうしよう！とか

キリ：それ、嫌ですね（笑）。けど、いっぺんに音が出せる分、音作り的には楽でしたね。ここが物足りないっていうのが一瞬でわかるので。なので、いつもの倍の迫力は出せたと思います。

けん：僕は鈴音と一緒に録ったんですけど、3回ぐらい録って終わったんですよ。何ていうか、ミスしてもかっこいいっていうか。お互い、そういった勢いを大事にして録っていきましたね。グルーヴが良ければちょっとズレていてもいいかなって。

うになったんだね。

けん：前までは細かいところの方が気になってましたからね（笑）。でも、元々、この曲って〝怒り〟をテーマにして作っていったんです。その辺も、こうして勢いを重視したことによって活かされたかなって思うんですよね。ただ、終わったとき、本当に疲れました（笑）。でも、結果的に、全体を通して、怒りというところは存分に出せたと思います。

——さらに、歌が乗ることで余計に凶悪になっていて。

郁磨：俺、怒りん坊なんで（笑）。まぁ、けんから怒りをテーマにして曲を作ったって言われていたので、そこに近しい感じで歌詞は書いていったんですけど、過去にはないものに仕上ったかなと。全編英詞なんですけど、すごくストレートになっていると思います。

——全編英詞というのは、前々から挑戦したいことだったの?

郁磨：特には。ただ、英詞のせいで聴きにくくなってしまうのは避けたかったので、今回は歌詞カードに日本語でこの曲の真意を載せたんです。そこで、曲がより深く伝わるのではないかなと思います。あと、歌唱面で言うと、新しいことに挑戦しようと意気込んだのではなく、かなりラフな感じで歌っていったんですよ。エフェクトとか入れない方が、リアルさが出ると思ったんですよね。

——そのおかげもあって、人間らしさが浮き彫りになったというか。

郁磨：感情は伝わりやすくなったと思います。プラス、そこでライヴ感を感じてもらえたらなと。

——また、PVもライヴ感満載で。

キリ：全力でやりすぎたせいか、久々に疲れましたね（笑）。そこでも、原点回帰というか、これがアンドの持つ世界観なんだなって改めて思いました。

——そして、もう片方の「蘭」も、アンドにとっては意外性のある楽曲になっているけど。

けん：今までシャッフルビートの曲ってなかったですからね。まぁ、それがこの曲を作るキッカケでもあったんですけど。とにかく、新しさに挑戦してみました。

——きっと、少し前にシャッフルに挑戦はならずに、明るさが全面に出ていたものになっていたかもしれないよね。

PECO：うーん、大人っぽさが出たということは、アンドも歳を取ったってことですかね。

キリ：3歳を目前にして（笑）。

けん：で、僕がシャッフルビートの曲にして何がやりたかったっていうと、ブラスを入れたかったんです。アンドで「蜥蜴-トカゲ-」って曲があるんですけど、あれに似た雰囲気を持つ曲が欲しくて。なので、この「蘭」は、それをよりパワーアップさせた曲になったと思いますね。

鈴音：あと、こういった曲は、リズム隊が重要になってくると思うんですよ。

——シャッフルは特にそうだよね。それにしても、この気だるい感じがたまらないなぁと。

鈴音：そこはすごく意識したところではありますね。曲を聴いて何が違うかって言ったら、ドラムが1番違うじゃないですか。自分もそこに関しては難しいだろうなと思ってたんですけど、いざ実際にやってみたら、意外としっくりきて。それは「兇」と近いライヴ感があったからなんですよね。なので、2曲通して、同じ感覚でできたのは良かったなと。

PECO：僕は、シャッフルっていうと、カッティングっていうイメージがあったので、そこが綺麗に聴こえればいいなという思いで弾いていきましたね。

キリ：俺は、ロカビリー的な感じでやりたかったので、1番オヤジくさいフレーズを弾いています（笑）。ロカビリー、イコール大人っぽいというか。そこが、俺の音として入ることで良いアクセントになるかなって。

郁磨：否応なしに、こういう曲ってリズムにノレると思うんです。だから、歌を単純に乗せるだけでもすごく映えて。自分としても好きな曲調な分、やり甲斐がありましたね。きっと、この曲は、この先すごく活きてくるんだろうなって。

——早くライヴで聴きたいもの。

キリ：次のミッションとして、初の五大都市単独公演巡業任務もありますからね。また、8月には3周年を記念して生誕祭を行いたいと思いますので、是非そこで。

けん：震えて待っていて下さい！

蝴蝶网 hudie.com
慧美网 vimee.net

二〇一〇年五月一九日 New Mini Album Release
『塞廻ノ刻』
-サイカイノトキ-
STLCD001 2,500(tax in ¥2,625) 発売元：STL office 販売元：株式会社ライカロリーポップ
初回盤三〇〇枚限定
※初回盤のみ、「華ビラ人ヒラ(再録Ver.)収録」
蝴蝶网
hudie.com
STELLA...
慧美网
vimee.net
『華ビラ人ヒラ』
品番：stl-cds 001
価格：¥2,100(tax in)
発売日：2007年09月01日
『神芝居』
品番：stl-cds 002
価格：¥1,575(tax in)
発売日：2008年02月20日
2010 STL office
http://stella-official.com info@stella-official.com
〒171-0014
東京都豊島区池袋4-28-8 302「STL office内 STELLA...」

蝴蝶网 hudie.com
慧美网 vimee.net

little HEARTS. ON LINE STORE OPEN!!

little HEARTS. 通信販売開始★

little HEARTS. の HP からご注文下さい。 http://littlehearts.jp

◆掲載の商品は全て通信販売でお買い求め頂けます。

◆インストアイベントの参加チケットや特典もお付け致します。

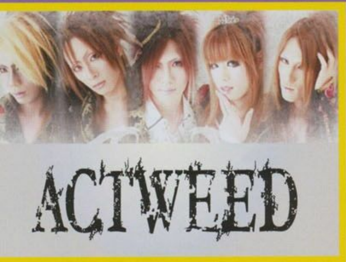
little HEARTS.

little HEARTS.presents

『MY little HEARTS. Vol.3』

限定配布有り
来場者様、特典♪
コメント DVD 配布
(東京ミカエル。/
SKULL/ 我羅道 /
ACTWEED)

日程： 2010 年6月4日（金）
時間： OPEN17:30/START18:00
会場： 仙台 HOOK
出演： Kaya/ 東京ミカエル。/ SKULL/ 我羅道 /ACTWEED
価格： ¥3,000（前売り，DRINK 別¥500）
チケット発売： 2010 年4月25日（日）
little HEARTS. 店頭、通信販売
ローソンチケット（L コード：26709）



le HEARTS. にて
ストグッズ販売中
々入荷しております。
earker' s,Inc.
中です♪♪

e HEARTS.
PECIAL 企画
、第3【日曜日】
ンプ倍 Day
000→1 スタンプのところ
00→2スタンプ！！

INSTORE EVENT RERORT

4/18Daccoのインストアイベントが開催されました!
フレッシュ＆エナジーをお買上の方対象のイベントです(^o^)/
楽曲についてお伺いしました♪
Lidaさん、『どこがフレッシュで、エナジーなのかと思うかもしれないけれど、ひっくり返して聴くとやはり!!フレッシュ＆エナジーでした。』
…おぉっ!!真面目なコメントを、ありがとうございます。
YURAさんにも、語っていただきました(^O^)
どうやらYURAさん、弾き語りでタンバリンを録るはずがすっかり忘れちゃったみたいです!元々あっても無くてもいっか…的な感じだった様ですね。笑。『俺、居る意味無いやんっ』と、
YURAさん寂しがっておりますねっ(°∀°)/お客様からの質問で、
牛タンのお話や、仙台までの車移動の壮絶話等々、沢山お答えいただきました♪Dacooのお二人、お客様ありがとうございました♪

INSTORE EVENT RERORT

4月23日、愛狂います。のトーク＆握手会のインストアイベントが開催されました!
ケセラ：セラをお買上のお客様対象イベントです(^o^)/
去年の夏以来とだけあって、えみるさん「緊張しちゃってますっ」
とのお言葉が…(^～^)
しかし、楽曲については沢山お話して下さいました♪
『新生活が始まる人への応援ソング、大丈夫だよ』と、言う気持ちがこもった曲だそうです。
トークでは、お客様からの質問にお答えいただきました。
朝ご飯は食べるかパン派か米派か等々(笑)
他にもご当地ならではの仙台ネタの質問も頂戴しました♪
愛狂います。皆さん、お客様ありがとうございました♪

ナイトメア

2010.06.23 SINGLE『a:FANTASIA』RELEASE!!

【初回盤A】CD+DVD ¥1,500
<CD>
1. a:FANTASIA 作詞／作曲：咲人
2. Romeo 作詞／作曲：RUKA
<DVD>
a:FANTASIA PV

【初回盤B】CD+DVD ¥1,500
<CD>
1. a:FANTASIA 作詞／作曲：咲人
2. Romeo 作詞／作曲：RUKA
<DVD>
Romeo PV

【通常盤】CD ONLY ¥1,500
<CD>
1. a:FANTASIA 作詞／作曲：咲人
2. Romeo 作詞／作曲：RUKA
3. Rover (Bonus Track) 作詞：YOMI／作曲：Ni~ya

THE KIDDIE

2010.07.14 SINGLE『smile.』RELEASE!!

【初回生産限定盤】(CD＋DVD)[illegible]
▼収録曲
〈CD〉1.smile.
2.shooting star
〈DVD〉smile. MUSIC CLIP

【通常盤】(CD only) ¥1260
▼収録曲
〈CD〉1.smile.
2.shooting star
3.HERO(BONUS TRACK)

インストアイベント情報

05/29(土)14:00 【Sadie】トーク＆握手会
06/06(日)13:00 [illegible]
06/08(火)18:00 [illegible]トーク＆握手＆サイン会
06/10(木)18:00 [illegible]＆握手会
06/17(木)18:00 [illegible]トーク＆握手会
06/18(金)14:00 [illegible]握手会
07/04(日)13:00 [illegible]サイン＆握手会
07/06(火)18:00 【己龍】トーク＆握手＆サイン会
08/20(金)未定 【TOON-FACTORY】未定

little HEARTS.

イベント決定次第、little HEARTS. の HP にて続々更新中！！

little HEARTS. 携帯サイトでも
インストアイベント情報や
STAFF ブログがご覧頂けます！

アクセス方法■JR仙台駅より徒歩15分■地下鉄広瀬通駅西4出口より徒歩1分

蝴蝶网 hudie.com
慧美网 vimee.net

蝴蝶网 hudie.com
慧美网 vimee.net

花少年バディーズ
愛情の重力を受け止めて
幸福の浮力で飛んでいこう——
MINI ALBUM
BALLOON
6/9 BLOOM!!
■Type A BDBX-0002A 税込価格:¥2,100 (税抜価格:¥2,000) 収録曲:1. Balloon 2. チューリップ 3. ココロ 4. ポケット 5. スポット 6. NBL 7. 球体重力
■Type-B BDBX-0002B 税込価格:¥2,100 (税抜価格:¥2,000) 収録曲:1. Balloon 2. チューリップ 3. ココロ 4. ポケット 5. スポット 6. NBL 7. ボンビーマン
発売元:Badegg Box / 販売元:ライカロリーポップ
■『Balloon』インストアイベント
6.09(水) ライカエジソン大阪店一時間店員 6.10(木) ピュアサウンドアメリカ村店 6.12(土) ライカエジソン名古屋一時間店員 6.13(日) ライカエジソン東京店、自主盤倶楽部、池袋ブランドX
6.18(金) 仙台little HEARTS. 6.26(土) I.D.PILOT DEAD ONE、ライカエジソン大阪店 6.27(日) ライカエジソン名古屋店 7.18(日) ZEAL LINK渋谷店
■イワイヒロシ生誕祭『商業高校卒ボンビーマン』
7.06(火) 池袋BlackHole
■ヤギ貘ユウキ生誕祭『ジャンが生まれてジョンと呼ばれた』
8.15(日) 宇都宮HEAVEN'S ROCK Utsunomiya VJ-2
花少年バディーズ単独公演-ONLY-TOUR2010『Boys Stare Ballerina』
09/11(土)仙台HOOK 09/12(日)宇都宮KENT 09/24(金).25(土)札幌COLONY
10/16(土)大阪MUSE 10/17(日)名古屋ell FITS ALL
TOUR FINAL『気球に踊るバレリーナ -リキッドドッキリ-』
11/07(日) 恵比寿リキッドルーム
baddies.jp

蝴蝶网 hudie.com
慧美网 vimee.net

NIGHTMARE

a:FANTASIA

2010.6.23 [wed] Release

【初回盤A】CD+DVD

¥1,500 (tax in) VPCC-82640

★応募券封入予定

CD ▶ 1.a:FANTASIA + 2.Romeo

DVD ▶ a:FANTASIA PV

【初回盤B】CD+DVD

¥1,500 (tax in) VPCC-82641

★応募券封入予定

CD ▶ 1.a:FANTASIA + 2.Romeo

DVD ▶ Romeo PV

【通常盤】CD ONLY

¥1,500 (tax in) VPCC-82293

★初回生産分のみ封入特典あり★応募券封入予定

CD ▶ 1.a:FANTASIA + 2.Romeo + 3.Rover (Bonus Track)

NIGHTMARE 10th ANNIVERSARY
SPECIAL ACT VOL.2

re:Start of tell[all]ifm

Tour Final 8.25 [wed]

日本武道館

OPEN/17:30 START/18:30 info.ディスクガレージ 03-5436-9600【チケット料金】全席指定：¥6,300(tax in) ※3歳以上有料、3歳未満入場不可【一般発売日】6月26日(土)

SHOXX 先行予約

受付期間
5/21(fri)12:00～5/30(sun)23:00
http://eplus.jp/nmshoxx-bdk/ ※お1人様1公演につき4枚まで

Nightmare Official website [http://www.nightmare-web.com/] Nightmare Official mobilesite [http://m.nightmare-web.com/]

慧美网
vimee.net
蝴蝶网
hudie.com

Printed in Japan
雑誌04537-07

特別定価980円
本体933円

株式会社 フロスト
凸版印刷株式会社

4910045370708
00933